

同志社女子大学
卒業生・修了生アンケート

実施結果報告書

2021年3月

はじめに

2026年に創立150年を迎える同志社女子大学は、約6万人の卒業生を輩出してきました。現在は、京田辺キャンパス・今出川キャンパスで学芸学部、現代社会学部、薬学部、看護学部、表象文化学部、生活科学部の6学部、大学院5研究科および1専攻科で約6000人の学生が学んでいます。本学では、歴史の長い大学でありながら、創設以来卒業生・修了生の動向を把握する大規模な調査はしておりませんでした。そこで、卒業生に対して大学在学時の生活や卒業後の就職状況などのライフコースおよびジェンダーについて調査することで、在学生のキャリア支援に繋がりたいと考えました。

今回の卒業生アンケートは女性アクティベーションセンターが企画・実施し、報告することになりました。「女性アクティベーションセンター」は、2015年に卒業生や在学生を対象として、女性が生涯にわたって社会的役割を担い、能力を発揮できるよう支援と提言を行うことを目的に開設されました。主な活動は、「女性のための起業家セミナー」、「女性アクティベーション講座」、「女子大学連携ネットワーク」など女性のキャリア形成のためのプログラムの企画や講演会の開催をしております。

2016年4月に10年間の時限立法として施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」いわゆる「女性活躍推進法」があります。基本原則第二条2には、職業生活を営む女性が結婚、出産、育児、介護を理由に退職が多いことから、家族を構成する男女を問わずに相互の協力と社会の支援の下、家庭生活における活動を家族の一員として役割が果たせるように必要な環境の整備等が謳われています。

女子大学は就職における優位性が高いといわれており、その理由として比較的小規模な大学が多く、丁寧なキャリア支援の提供があげられています。本学でも、リベラル・アーツ教育の充実とともに、キャリア教育にも力を入れており、1年次：将来への意識形成、2年次：キャリア教育科目で将来像の具体化、3年次：就職活動への豊富な実践対策、4年次：きめ細やかな個別サポート、そして卒業生に対しては、生涯サポートを行っております。

本調査の結果では、「女性活躍推進法」の基本原則で謳われている女性としてのライフコースやジェンダーについての卒業生の状況が明らかとなっており、今後在学生の女性としての生き方のロールモデルとして参考になると思われます。また、本学の今後の在学生教育やキャリア支援の際の検討資料とさせていただきますと思います。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、女性アクティベーションセンターでも「女性アクティベーション講座」以外の活動は中止や延期を余儀なくされましたが、今後の諸活動に多くの卒業生や在学生の皆様が参加してくださることを願っています。最後に、本調査に回答いただいた卒業生の皆様、本報告書を作成のためにご尽力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

女性アクティベーションセンター長
當目雅代

目 次

調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査時期	1
3. 調査対象	1
4. 調査方法	1
5. 調査項目	1
6. 分析方法	2
7. 倫理的配慮	2
8. 調査分析・報告書執筆担当者	2
第一部 卒業生アンケートの結果概要	3
1. 回答者の属性	3
2. 年代別学部別質問項目の集計	6
1) 大学在学中の生活	6
2) 卒業時の状況	11
3) 卒業後の就職状況	20
4) 現在の就職状況	28
5) 免許・資格の取得状況	34
6) 大学在学中のキャリア教育・支援	35
7) 女子大学の意義	37
3. 大学への要望	40
第二部 過去から学び、未来につなぐ ―同志社女子大学卒業生の生き方とジェンダー―	57
〈資料1〉調査票：アンケート依頼文・アンケート内容	107
〈資料2〉年代別・学部別のクロス集計表	125

■■■ 調査の概要 ■■■

1. 調査目的

本学では、140 余年の歴史を持ちながら、卒業生の卒業後の情報が不十分であった。そこで、女性アクティベーションセンターでは、女性のキャリアに関する調査の一環として、本学卒業生および修了生を対象に、卒業・修了後の就職状況や社会生活、在学中のこと、本学への要望等、今後本学の教育やキャリア支援、事業運営に役立てるための基礎的資料とすることを目的に本調査を行った。

2. 調査時期

2019 年 9 月 15 日（日）～11 月 30 日（土）

3. 調査対象

2018 年度までに卒業した約 5 万人

4. 調査方法

対象者へのアンケートの周知は、本学ホームページ、卒業生メールマガジン等で行った。調査方法は、Web 調査とした。2019 年ホームカミングデーの案内に同封した「女性アクティベーション講座」チラシの裏面に卒業生・修了生へのアンケートについての依頼文を掲載した。アンケートは、QR コードあるいは本学ホームページからパソコン・スマートフォンでの回答とした。

5. 調査項目

本調査は、9 領域 35 項目で構成した。9 領域は、①あなたのことについて、②大学在学中のこと、③卒業時の状況について、④卒業後の就職状況等について、⑤現在の就職状況等について、⑥免許・資格の取得状況について、⑦在学中のキャリア教育・制度について、⑧ジェンダー観について、⑨女子大学についてである。なお、質問項目作成にあたっては、『お茶の水女子大学卒業生のライフコース報告書』（文部科学省特別経費「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」《平成 22 年度-平成 27 年度》）を参考にした。

6. 分析方法

量的データは、基本属性において年齢は 20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上の 6 区分として分析した。また、各質問項目については年齢を 20・30 歳代、40・50 歳代、60 歳以上の 3 区分、学部を学芸学部（音楽学科・情報メディア学科（現：メディア創造学科）・国際教養学科）、現代社会学部（社会システム学科・現代こども学科）、表象文化学部（英語英文学科・日本語日本文学科）、生活科学部（人間生活学科・食物栄養科学科）の 4 区分でクロス集計した。なお、薬学部と看護学部については回答者数が少数であり当該学部の卒業生を反映しないため、年代別、学部別クロス集計の分析から除外した。統計ソフトは IBM SPSS Ver.26 を使用した。本学への希望についての自由記述は内容が類似したものをまとめて記載した。

7. 倫理的配慮

得られたデータは統計的に処理し、特定の個人が識別できないよう情報を取り扱うことを明記した。得られたデータは、USB に保存し、パスワードをかけて保管した。

8. 調査分析・報告書執筆担当者

1) 第一部 卒業生アンケートの結果概要

- ・ 當目 雅代 （看護学部教授・女性アクティベーションセンター長）
- ・ 萩本 明子 （看護学部准教授・女性アクティベーションセンター運営委員）
- ・ 西岡 慎介 （キャリア支援課長・女性アクティベーションセンター運営委員）
- ・ 真喜屋直美 （学術研究支援課長・女性アクティベーションセンター運営委員）

2) 第二部 過去から学び、未来につなぐ

—同志社女子大学卒業生の生き方とジェンダー—

- ・ 塘 利枝子 （現代社会学部長・前女性アクティベーションセンター長）

第一部 卒業生アンケートの結果概要

1. 回答者の属性

調査の回答者数は 980 名であった。平均年齢は 42.5 ± 13.2 歳であり、最年長は 81 歳、最年少は 22 歳であった。図 1 には年齢の内訳を示した。20 歳代 20.2%、30 歳代 22.7%、40 歳代 23.8%、50 歳代 19.0%、60 歳代 7.0%、70 歳代以上 3.2%であった。比較的若い 20 歳・30 歳代が 4 割を占めていた。

図 2 には卒業した学科・専攻の内訳を示した。英米語・英文学が 27.7%と最も多く、次いで食物 17.9%、日本語日本文学 13.0%、現代こども 11.7%、人間生活・家政 9.5%、音楽 6.8%、社会システム 6.3%、国際教養 2.0%、情報メディア 1.3%、医療薬学 0.8%、看護 0.2%であった。

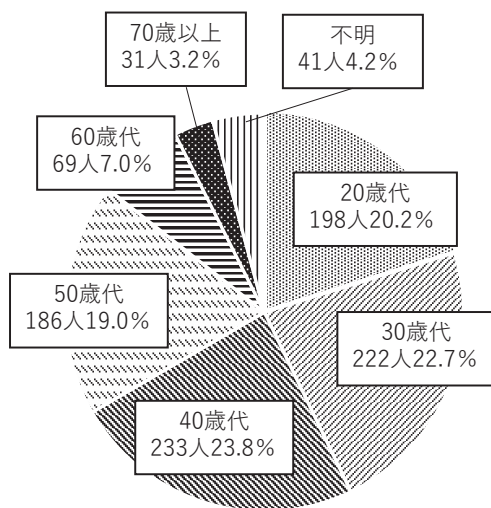


図1 年齢の内訳

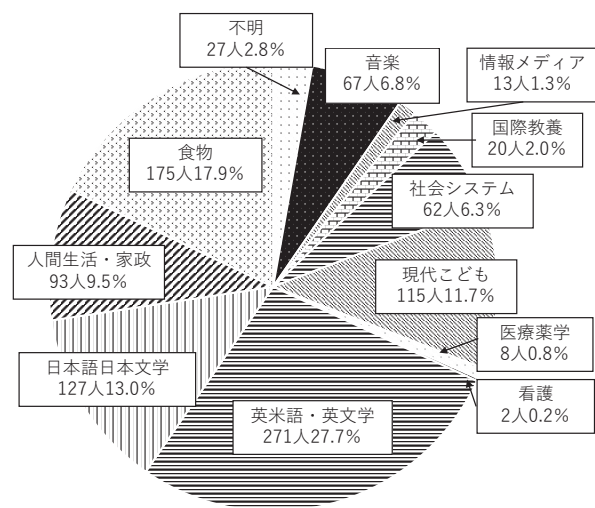


図2 卒業した学科・専攻の内訳

表 1 には年代別卒業学科・専攻を示した。20 歳代では現代こども学科、30 歳代では社会システム学科、40 歳代・50 歳代・60 歳代・70 歳代では英米語・英文学科の割合が高かった。40 歳代以降で英米語・英文学科や食物学科の割合が高いのは、1949 年の開学当初より開設されているためである。一方、社会システム学科、情報メディア学科、現代こども学科、医療薬学科、国際教養学科、看護学科は 2000 年以降に開設されたためである。

表 2 には年代別現在の配偶者の有無について示した。現在「配偶者あり」は 62.5%、「配偶者なし」は 30.8%であった。20 歳代の 7 割は「配偶者なし」であるが、30 歳代になると 65%が「配偶者あり」と回答していた。40 歳代・50 歳代・60 歳代では 7 割以上が「配偶者あり」と回答し、70 歳代では「離別・死別」が 12.9%と回答していた。

表 3 には年代別子どもの有無について示した。「子どもなし」は 43.2%、「子どもあり」は 53.9%であった。20 歳代では約 9 割が「子どもなし」、30 歳代以上では 5 割以上が「子どもあり」と回答していた。

表 4 には年代別平均結婚年齢および平均卒業年齢を示した。平均結婚年齢は 28.0 ± 3.9 歳であり、各年代の平均結婚年齢は 20 歳代後半であった。平均卒業年齢は、 22.2 ± 2.6 歳であり、各年代とも平均卒業年齢は 22 歳・23 歳であった。

表 1 年代別卒業学科・専攻の内訳

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
音楽	17	(8.8)	13	(6.0)	23	(10.1)	4	(2.2)	4	(6.1)	0	(0.0)	61	(6.7)
情報メディア	5	(2.6)	6	(2.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	11	(1.2)
国際教養	18	(9.3)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	19	(2.1)
社会システム	14	(7.2)	44	(20.2)	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	59	(6.4)
現代こども	79	(40.7)	31	(14.2)	1	(0.4)	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	112	(12.2)
医療薬学	2	(1.0)	6	(2.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(0.9)
看護	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(3.7)	2	(0.2)
英米語・英文学	12	(6.2)	39	(17.9)	79	(34.6)	84	(46.2)	30	(45.5)	16	(59.3)	260	(28.4)
日本語日本文学	12	(6.2)	31	(14.2)	63	(27.6)	18	(9.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	124	(13.6)
人間生活・家政	9	(4.6)	17	(7.8)	21	(9.2)	29	(15.9)	12	(18.2)	3	(11.1)	91	(9.9)
食物	25	(12.9)	30	(13.8)	41	(18.0)	45	(24.7)	20	(30.3)	7	(25.9)	168	(18.4)
合計	194	(100.0)	218	(100.0)	228	(100.0)	182	(100.0)	66	(100.0)	27	(100.0)	915	(100.0)

注*「看護 70 歳以上 1 名」は回答時の入力間違いの可能性あり

表 2 年代別現在の配偶者の有無

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
配偶者なし	138	(69.7)	68	(30.6)	48	(20.6)	24	(12.9)	7	(10.1)	4	(12.9)	289	(30.8)
配偶者あり	57	(28.8)	145	(65.3)	171	(73.4)	143	(76.9)	53	(76.8)	18	(58.1)	587	(62.5)
離別・死別	0	(0.0)	8	(3.6)	12	(5.2)	11	(5.9)	3	(4.3)	4	(12.9)	38	(4.0)
その他	2	(1)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.1)	0	(0.0)	1	(3.2)	5	(0.5)
無回答	1	(0.5)	1	(0.5)	2	(0.9)	6	(3.2)	6	(8.7)	4	(12.9)	20	(2.1)
合計	198	(100)	222	(100.0)	233	(100.0)	186	(100.0)	69	(100.0)	31	(100.0)	939	(100.0)

表 3 年代別子どもの有無

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
子どもなし	173	(87.4)	97	(43.7)	78	(33.5)	46	(24.7)	9	(13.0)	4	(12.9)	407	(43.2)
子どもあり	23	(11.6)	122	(55.0)	149	(63.9)	134	(72.0)	56	(81.2)	22	(71.0)	506	(53.9)
無回答	2	(1.0)	3	(1.4)	6	(2.6)	6	(3.2)	4	(5.8)	5	(16.1)	26	(2.8)
合計	198	(100)	222	(100.0)	233	(100.0)	186	(100.0)	69	(100.0)	31	(100.0)	939	(100.0)

表4 年代別平均結婚年齢および平均卒業年齢

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計
結婚年齢	n = 54		n = 143		n = 154		n = 137		n = 46		n = 17		n = 551
	25.9	± 1.3	28.6	± 3.3	29.3	± 4.7	27.8	± 3.7	25.5	± 2.2	25.5	± 2.2	28.0 ± 3.9
卒業年齢	n = 197		n = 220		n = 230		n = 186		n = 69		n = 31		n = 933
	22.2	± 0.6	22.2	± 1.3	21.8	± 1.2	22.3	± 3.7	22.0	± 0.3	23.7	± 9.5	22.2 ± 2.6

以上のことから、本学の卒業生は22～23歳で大学を卒業後、20歳代後半で結婚し、30歳以降に子どもを有しているライフコースをたどっていることがわかった。

表5には年代別現在の居住地について示した。居住地については、近畿地方（大阪・京都・滋賀・和歌山・奈良・兵庫）、北海道・東北地方（青森・岩手・宮城）、南関東地方（埼玉・千葉・東京・神奈川）、北関東地方（茨木・栃木・群馬・長野）、北陸地方（新潟・富山・石川・福井）、東海地方（岐阜・静岡・愛知・三重）、中国地方（鳥取・岡山・広島・山口）、四国地方（徳島・香川・愛媛・高知）、九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）・沖縄地方、外国の10区分にした。今回の調査で現在の居住地として秋田県・山形県・福島県・山梨県・島根県に居住している人はいなかった。居住地で最も多かったのが近畿地方で64%を占めていた。その内訳は大阪が23.9%、京都17.2%と大阪と京都で全体の約4割を占めていた。その他の地域は、南関東地方13.1%、東海地方6.6%、九州・沖縄3.9%、中国地方3.7%、北陸地方2.3%、外国2.2%、四国2.1%、北関東1.5%、北海道・東北0.8%であった。現在、本学の卒業生の多くが近畿地方に居住していることがうかがえた。

表5 年代別現在の居住地

	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
近畿	138	(70.8)	144	(66.4)	134	(59.6)	108	(60.0)	38	(58.5)	17	(65.4)	579	(63.8)
北海道・東北	1	(0.5)	3	(1.4)	2	(0.9)	1	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	7	(0.8)
南関東	25	(12.8)	21	(9.7)	30	(13.3)	24	(13.3)	13	(20.0)	6	(23.1)	119	(13.1)
北関東	2	(1.0)	3	(1.4)	2	(0.9)	6	(3.3)	1	(1.5)	0	(0.0)	14	(1.5)
北陸	4	(2.1)	3	(1.4)	6	(2.7)	7	(3.9)	1	(1.5)	0	(0.0)	21	(2.3)
東海	8	(4.1)	18	(8.3)	18	(8.0)	12	(6.7)	4	(6.2)	0	(0.0)	60	(6.6)
中国	7	(3.6)	6	(2.8)	10	(4.4)	8	(4.4)	2	(3.1)	1	(3.8)	34	(3.7)
四国	2	(1.0)	6	(2.8)	4	(1.8)	6	(3.3)	1	(1.5)	0	(0.0)	19	(2.1)
九州・沖縄	6	(3.1)	9	(4.1)	10	(4.4)	5	(2.8)	4	(6.2)	1	(3.8)	35	(3.9)
外国	2	(1.0)	4	(1.8)	9	(4.0)	3	(1.7)	1	(1.5)	1	(3.8)	20	(2.2)
合計	195	(100.0)	217	(100.0)	225	(100.0)	180	(100.0)	65	(100.0)	26	(100.0)	908	(100.0)

近畿地方 内訳	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
大阪府	54	(27.7)	54	(24.9)	48	(21.3)	43	(23.9)	14	(21.5)	4	(15.4)	217	(23.9)
京都府	35	(17.9)	37	(17.1)	34	(15.1)	31	(17.2)	14	(21.5)	5	(19.2)	156	(17.2)
兵庫県	10	(5.1)	22	(10.1)	25	(11.1)	17	(9.4)	8	(12.3)	3	(11.5)	85	(9.4)
奈良県	17	(8.7)	20	(9.2)	13	(5.8)	9	(5.0)	2	(3.1)	4	(15.4)	65	(7.2)
滋賀県	16	(8.2)	7	(3.2)	12	(5.3)	4	(2.2)	0	(0.0)	1	(3.8)	40	(4.4)
和歌山県	6	(3.1)	4	(1.8)	2	(0.9)	4	(2.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	16	(1.8)

2. 年代別学部別質問項目の集計

以下の分析では、年齢および卒業学部が未記入の回答者、薬学部と看護学部については回答者数が少なく該当学部の卒業生の動向と解釈に反映しないため、分析から除外することとした。その結果、905名が分析対象となった。その内訳は、年代別3区分では20・30歳代403名（44.5%）、40・50歳代410名（45.3%）、60歳以上92名（10.2%）、学部別4区分では学芸学部91名（10.1%）、現代社会学部171名（18.9%）、表象文化学部384名（42.4%）、生活科学部259名（28.6%）であり、質問項目毎にクロス集計した。

1) 大学在学中の生活

(1) 大学在学中に「力を入れた」こと：Q7

大学生は在学中に学業とともに様々な経験をしている。そこで、大学に在学中の活動ではどのようなことについてどの程度力を入れたかを聞いた。先行調査を参考に10項目の内容を設定した。質問選択肢を「力を入れた」「ある程度力を入れた」を「力を入れた」、「あまり力を入れなかった」「力を入れなかった」を「入れなかった」に再区分し、分析した。「力を入れた」と回答した年代3区分別の結果を図3-A、学部4区分別の結果を図3-Bに示した。「力を入れた」項目の全ての年代区分で5割以上だったのは「友人とのつきあい」、「大学の授業や研究」、「関心領域についての自主的学習・読書」、「自分の趣味」、「サークルやクラブ活動」であった。大学での学生生活では、在学中に友人とのつながりを大切にしていることがわかる。年代区分別では、「大学の授業や研究」「アルバイト」「教員との交流」「ボランティア活動」で20・30歳代の割合が高かった。平成30年度学生生活調査結果（独立行政法人 日本学生支援機構）からも約9割の学生が「アルバイト」をしているという傾向と一致する。一方、60歳以上では「サークルやクラブ活動」「語学学校等への進学」の割合が他の年代区分より高かった。60歳以上は英米語・英文学科が半数以上を占めていることから、語学力をさらに高めたり、資格取得のためダブルスクールに通っていたと思われる。

学部による特徴がみられたのは「アルバイト」「教員との交流」「ボランティア活動」で現代社会学部の割合が高かった。現代社会学部の学生は、学外活動が活発であることがわかる。「語学学校・専門学校・各種学校への進学」で表象文化学部が他の学部より高い割合であったのは、年代区分と同様の英米語・英文学科が半数以上を占めているためであると思われる。

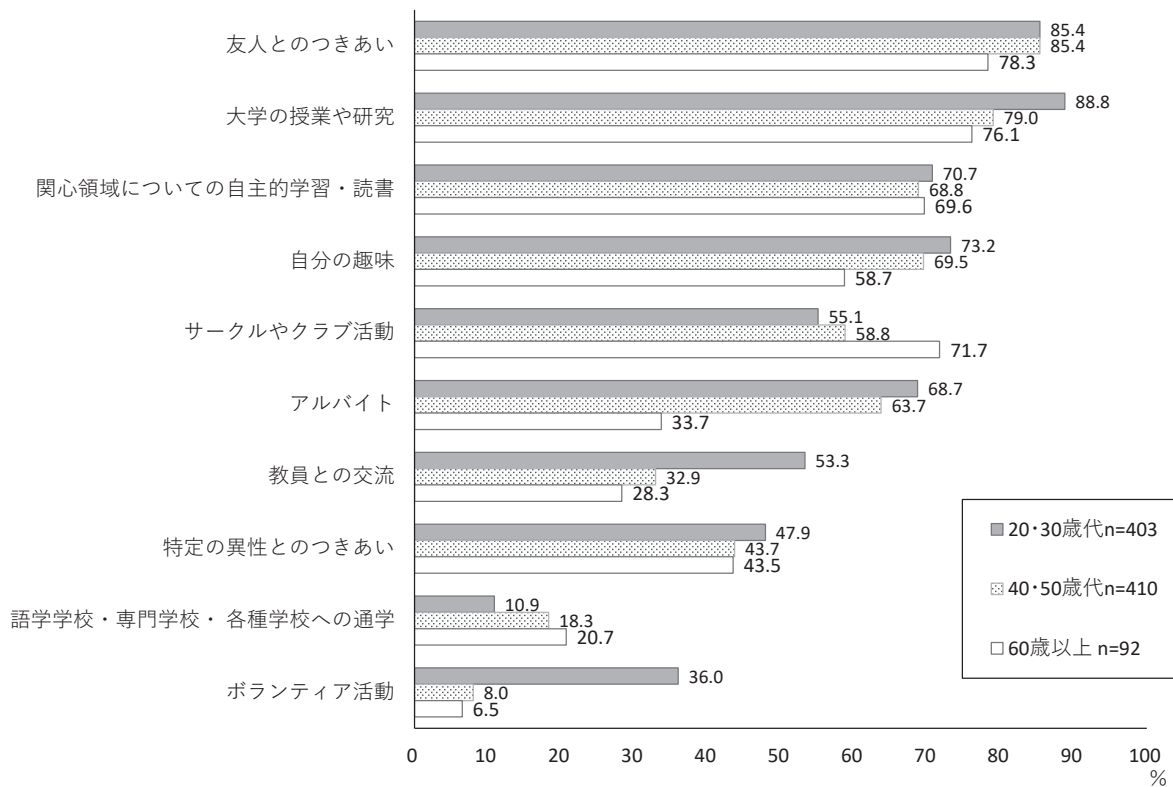


図 3-A 年代別学在学中に「力を入れた」項目

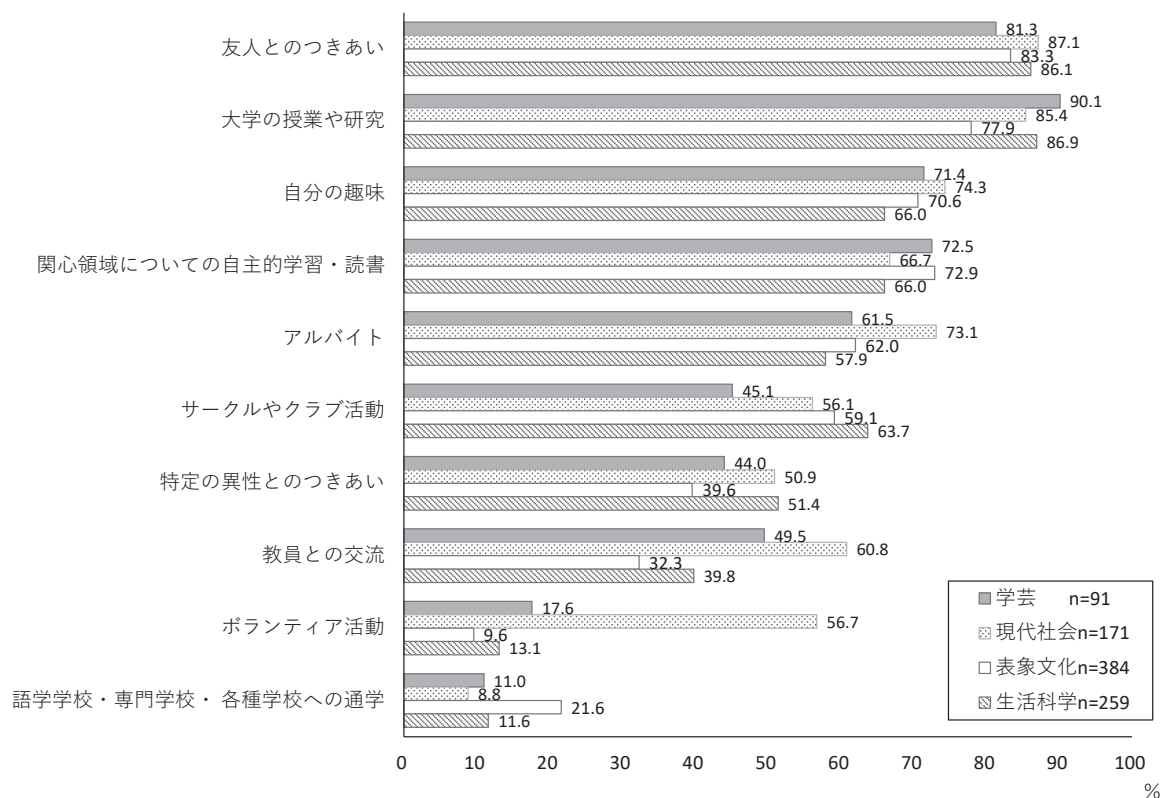


図 3-B 学部別大学在学中に「力を入れた」項目

(2) 大学在学中に力を入れたことで生活に役立っている内容：Q8

大学在学中に力を入れたことの 10 項目が【社会生活】【職業生活】【家庭生活】において何が最も役立ったかを 1 つだけ回答するように聞いた。年代 3 区分別上位 5 項目の結果を図 4-A に、学部 4 区分別の結果を図 4-B に示した。

年代別では、【社会生活】においてどの年代区分も「友人とのつきあい」や「サークルやクラブ活動」が役に立っていると回答していた。これは社会生活で必要な人間関係の構築の仕方や他者との協調性の獲得につながっていたと思われる。一方、【職業生活】ではどの年代区分でも「大学の授業や研究」が役に立っており、大学での一般教養や専門科目が仕事をする上で重要であるという認識であったと思われる。【家庭生活】では、「特定の異性とのつきあい」が上位項目に入っていた。大学時代の特定の異性とのつきあいが、その後の配偶者につながる事が推察される。

学部別では、【家庭生活】において「大学の授業や研究」において生活科学部が他の学部よりも高い割合であった。生活科学部は開学当初より食物・家政として多くの学生を輩出している。大学での学びが家庭生活に直接つながる内容であったと思われる。

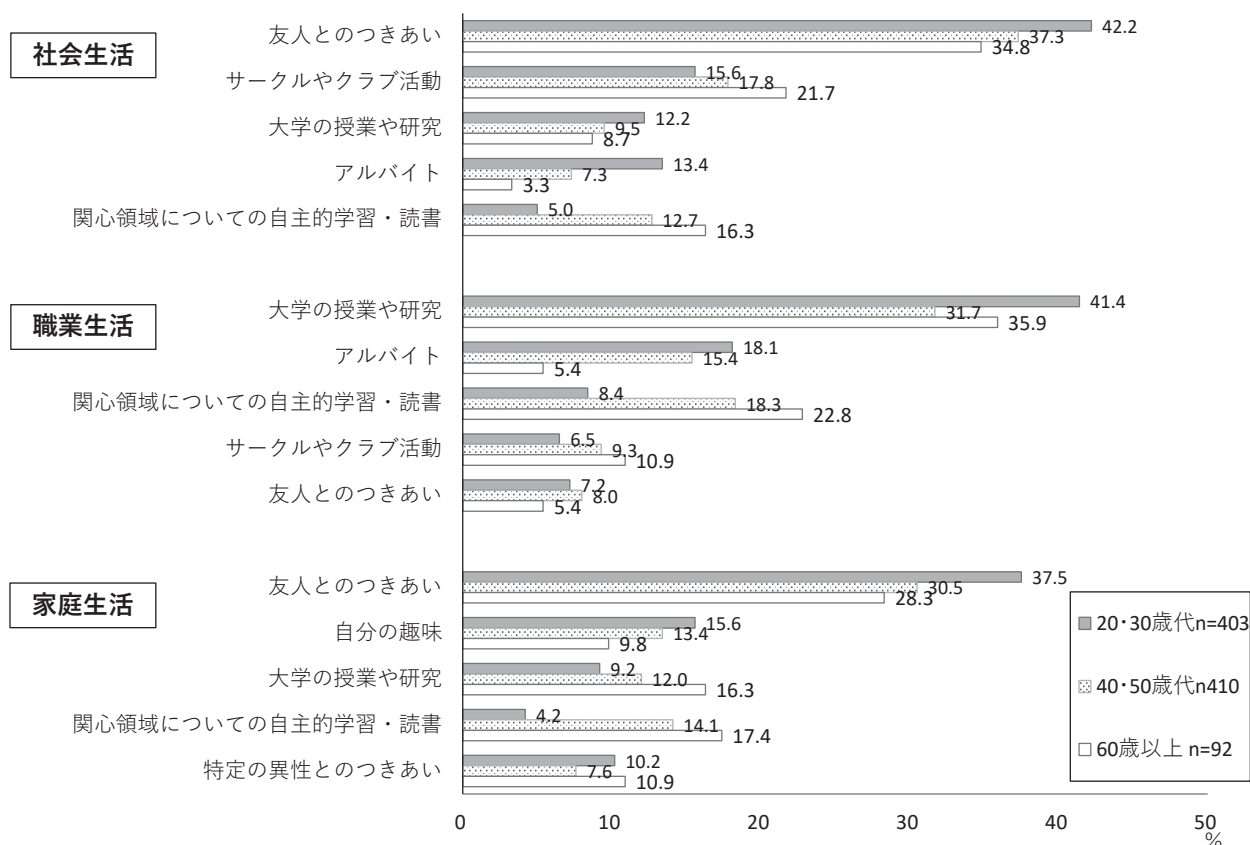


図 4-A 年代別生活の中で在学中に「力を入れたことで役立った」上位 5 項目

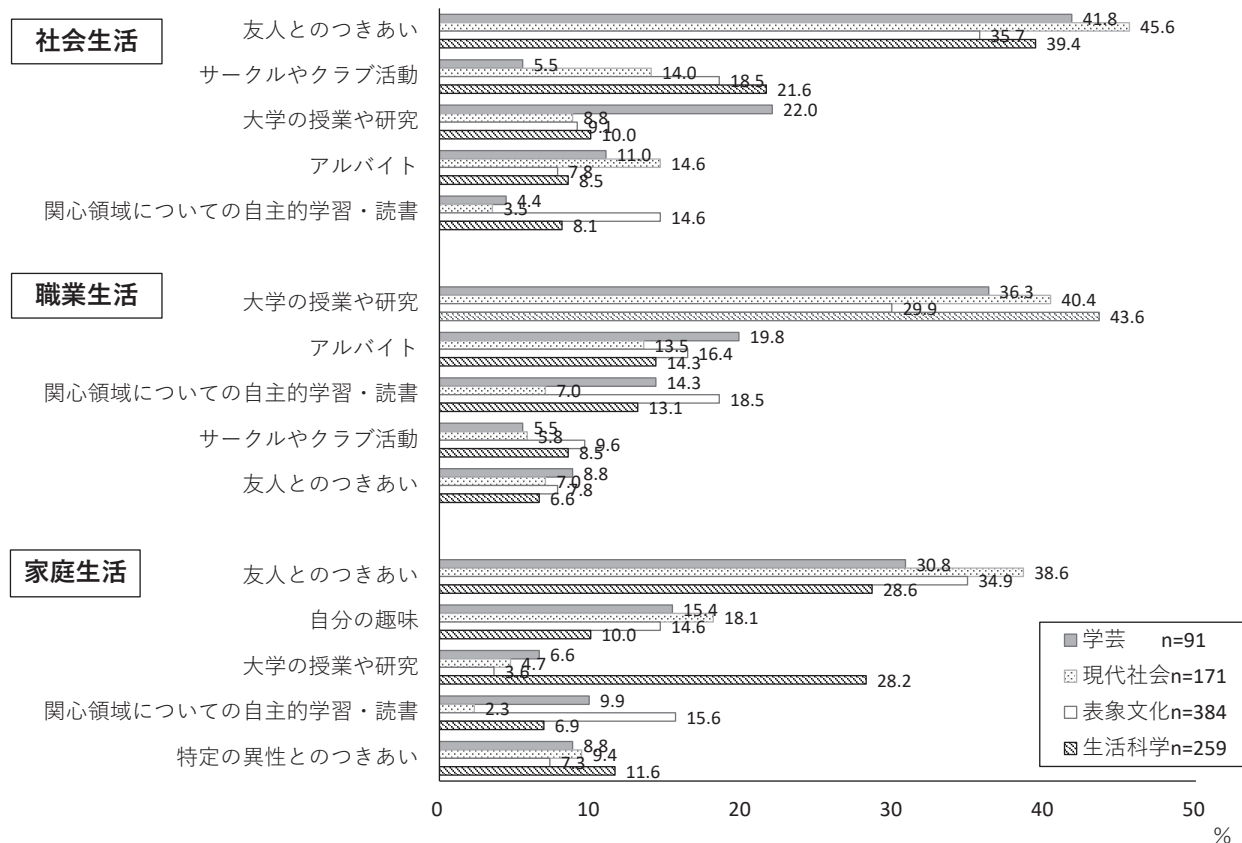


図 4-B 学部別生活の中で在学中に「力を入れたことで役立った」上位 5 項目

(3) 大学在学中に「満足した」こと：Q9

学生が在学中にどのようなことに満足したかを知るために 13 項目の内容を設定した。質問選択肢は、「満足」「やや満足」を「満足」、「やや不満足」「不満足」を「不満足」に再区分し、分析した。「満足」と回答した年代区分別の結果を図 5-A に、学部 4 区分別の結果を図 5-B に示した。

年代別では、「大学の雰囲気」は各年代区分とも 8～9 割が大学の雰囲気に満足していた。また、人的交流では「在学中の友人との交流」も 8～9 割と高く、20・30 歳代では「本学の教員との交流」が 80% を超えていた。「卒業生との交流」は各年代区分とも低かった。大学では毎年ホームカミングデーが開催されているが、それ以外の交流の場を設ける必要性が示唆されている。学習面では、「専門科目」「一般教養科目」「ゼミ担当者の指導」が 20・30 歳代、40・50 歳代で 7～9 割と高かった。大学の支援体制では、「留学・国際交流支援体制」「経済的支援体制」「就職の指導・支援体制」「学生支援全般」は 40・50 歳代・60 歳以上で低かった。一方、20・30 歳代では「学生支援全般」が高くなっていた。本学では 1984 年 10 月に学生部の事務組織が改正され、厚生課を廃止し、就職課が設置された。また、2003 年には就職課をキャリアサポートセンターに改編し、2016 年 4 月よりキャリア支援部となった。就職を含めた進路全般をサポート、インターンシップや資格取得支援講座の実施、キャリア教育科目の開設等、学生のキャリア形成に関してより幅広く、きめ細かに支援を行ってきた。そのため 40・50 歳代以降の「就職の指導・支援体制」への満足度が上昇、特に 20・30 歳代の満足度が高い結果につながっていると思われる。

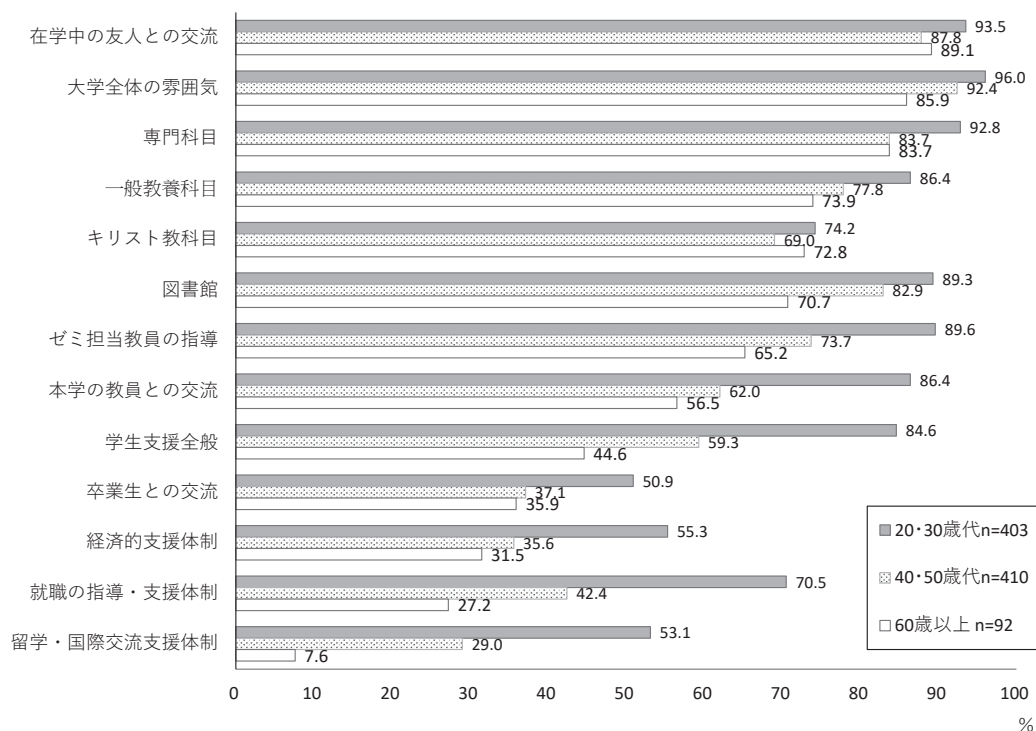


図 5-A 年代別大学在学中に「満足した」項目

学部別では、「ゼミ担当教員の指導」「本学教員との交流」「学生支援全般」「就職の指導・支援体制」で現代社会学部が他の学部よりも高い割合を示していた。

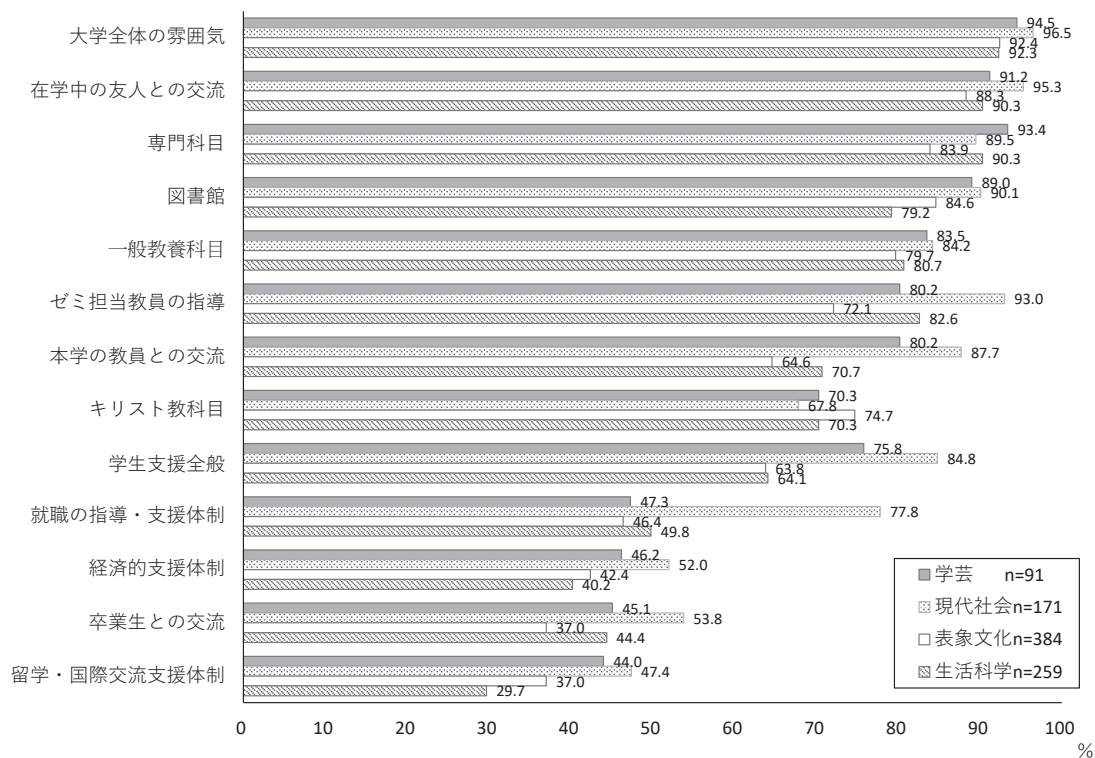


図 5-B 学部別大学在学中に「満足した」項目

2) 卒業時の状況

(1) 卒業後すぐの進路について：Q10

卒業後すぐの進路について、「正規社員・正規職員」「派遣社員、契約社員、嘱託社員」を「正規・派遣・契約・嘱託」に、「他大学・大学院進学、海外留学」を「進学・留学」、「一時的雇用」「家業を継いだ」「家事手伝い」「仕事につかなかった」を「一時雇用・家業・その他」に再分類し、分析した。年代3区分別の結果を図6-Aに、学部4区分別の結果を図6-Bに示した。

年代別では「正規・派遣・契約・嘱託」の割合が高く、20・30歳代87.0%および40・50歳代84.5%、60歳以上で71.9%が卒業後すぐに社員として従事していた。進学・留学は各年代区分とも5%程度であった。「一時的雇用・家業・その他」では60歳以上が2割を占めていた。

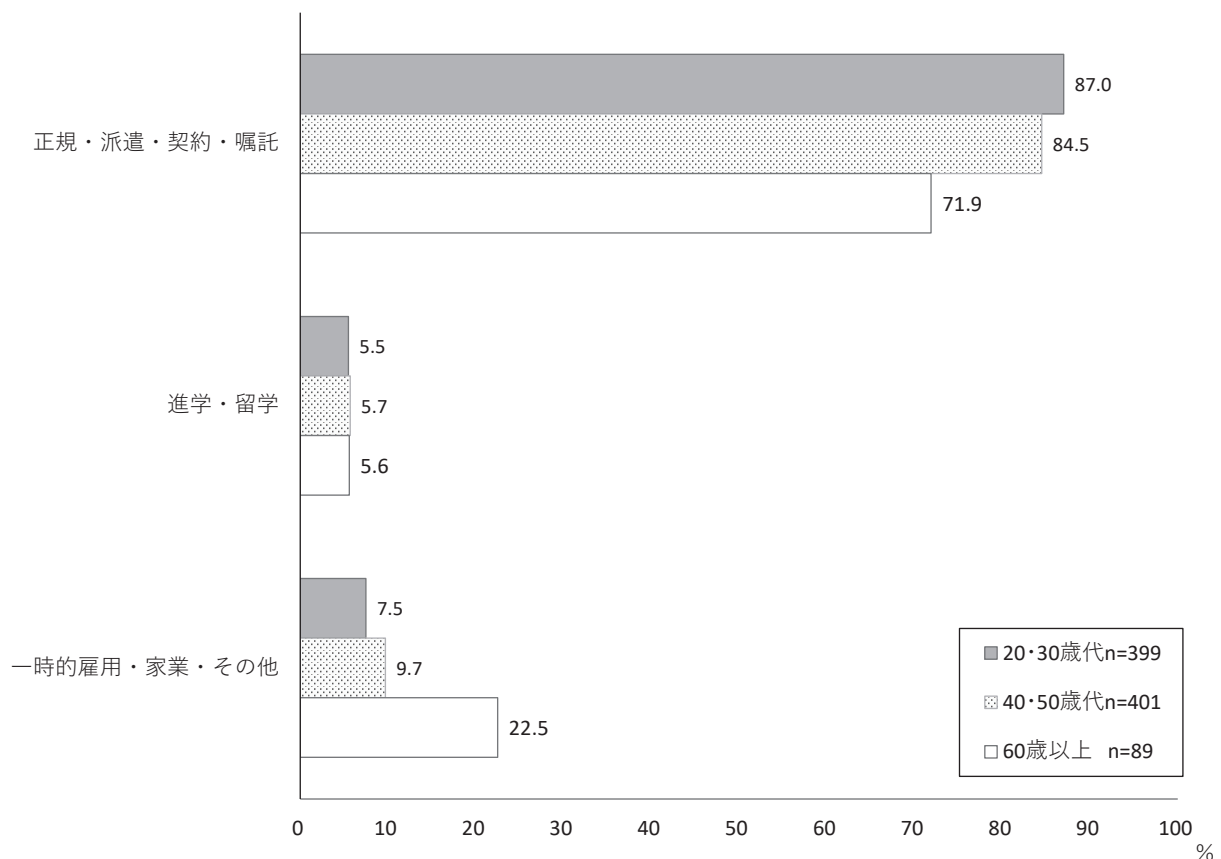


図 6-A 年代別卒業後すぐの進路

学部別では、現代社会学部・表象文化学部・生活科学部では8～9割が「正規・派遣など」に従事しており、学芸学部では「進学・留学」、13.3%、「一時雇用・家業など」24.4%が特徴的であった。学芸学部音楽学科演奏専攻では、例年就職希望者が他の学科と比べて低かった。理由としては音楽専攻科(2012年度までは頒啓会)や国内外への大学(院)への進学が多かったためであると思われる。

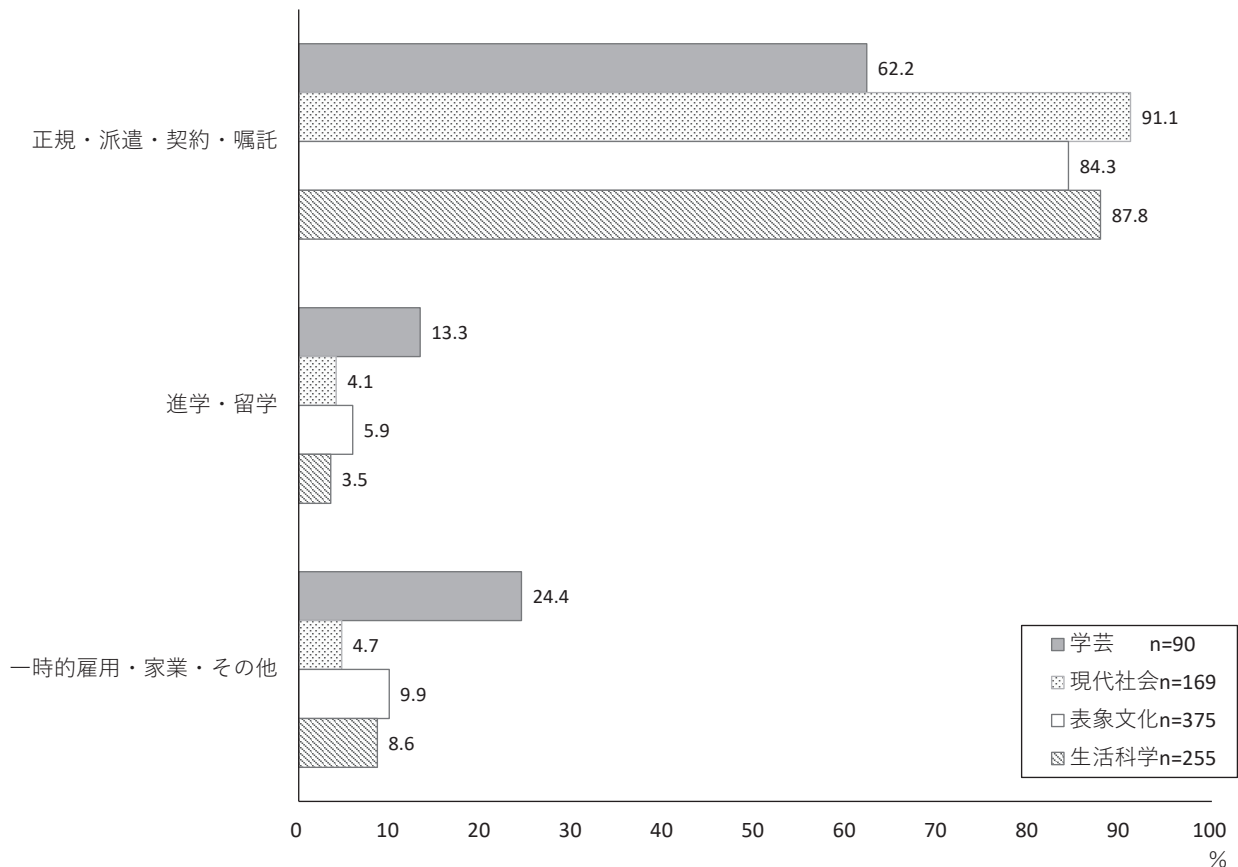


図 6-B 学部別卒業後すぐの進路

(2) 卒業後すぐの進路での就職先の事業内容：Q11-(1)

卒業後すぐに仕事に従事した人を対象に、就職先の事業内容の項目について上位 6 項目と上位 6 項目以外の事業を「その他」に再分類した。年代 3 区分別の結果を図 7-A、学部 4 区分別の結果を図 7-B に示した。

各年代区分とも「教育研究」「金融保険」「製造」「卸売・小売・飲食」「医療福祉」「公務」の割合が上位を占めていた。「教育研究」では 20・30 歳代、60 歳以上が約 35%を占めているが、40・50 歳代は 20.3%であった。一方、「金融保険」「製造」「卸売・小売・飲食」では 40・50 歳代が 17.2%/13.3%/12.8%と 20・30 歳代、60 歳以上よりも高い割合であった。「医療福祉」はいずれの年代区分も 10%未満であった。直近 15 年間で「教育研究」に就職した割合は約 10%であった。20・30 歳代の割合が高いのは、20 歳代の回答者の中で、現代こども学科の卒業生の割合 (40.7%) が高いことが大きく影響しているものと思われる。

学部別では、「教育研究」では現代社会学部、「医療福祉」では生活科学部の割合が高かった。本調査で回答が多かった現代こども学科の就職先が教育・学習支援事業が多いためである。また、生活科学部で医療福祉が高かったのは、管理栄養士として病院や施設などで従事していることがうかがえる。

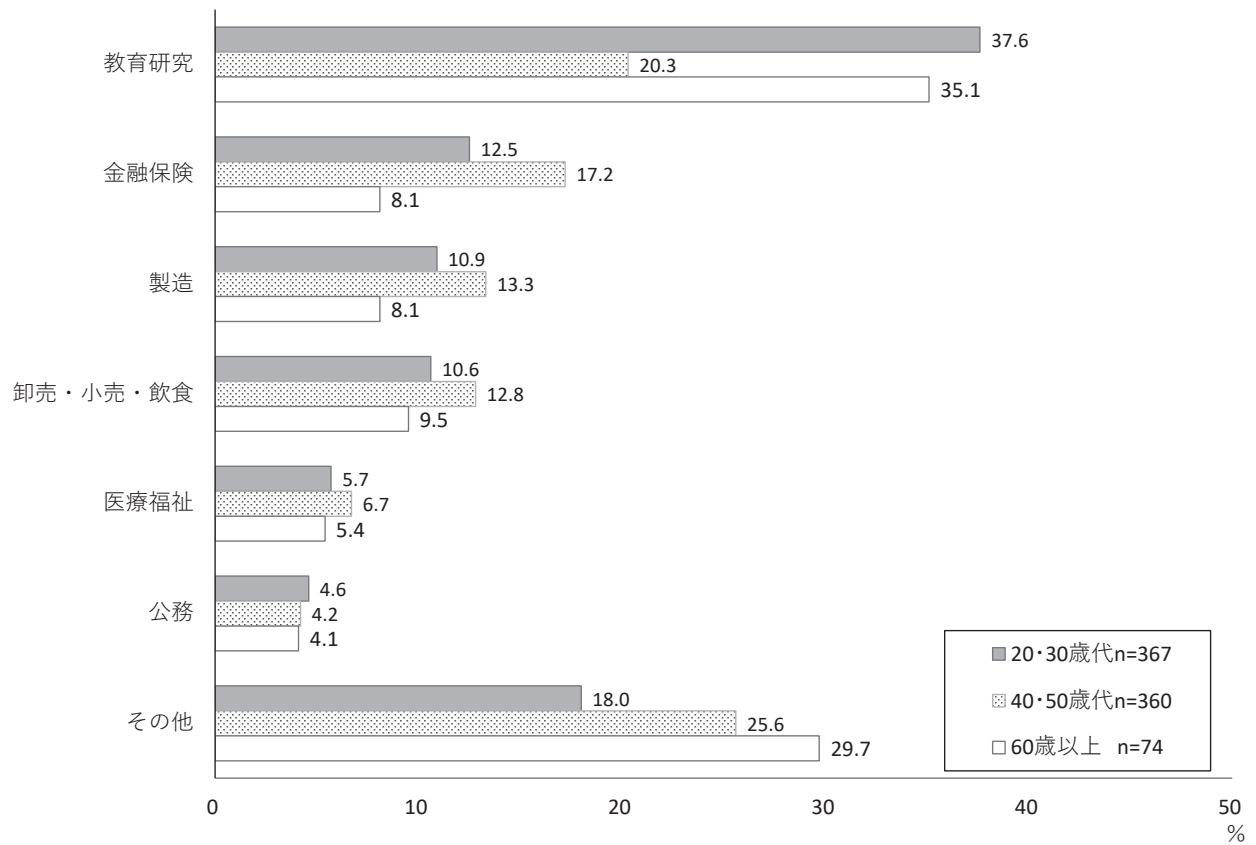


図 7-A 年代別卒業後すぐの就職先の事業内容

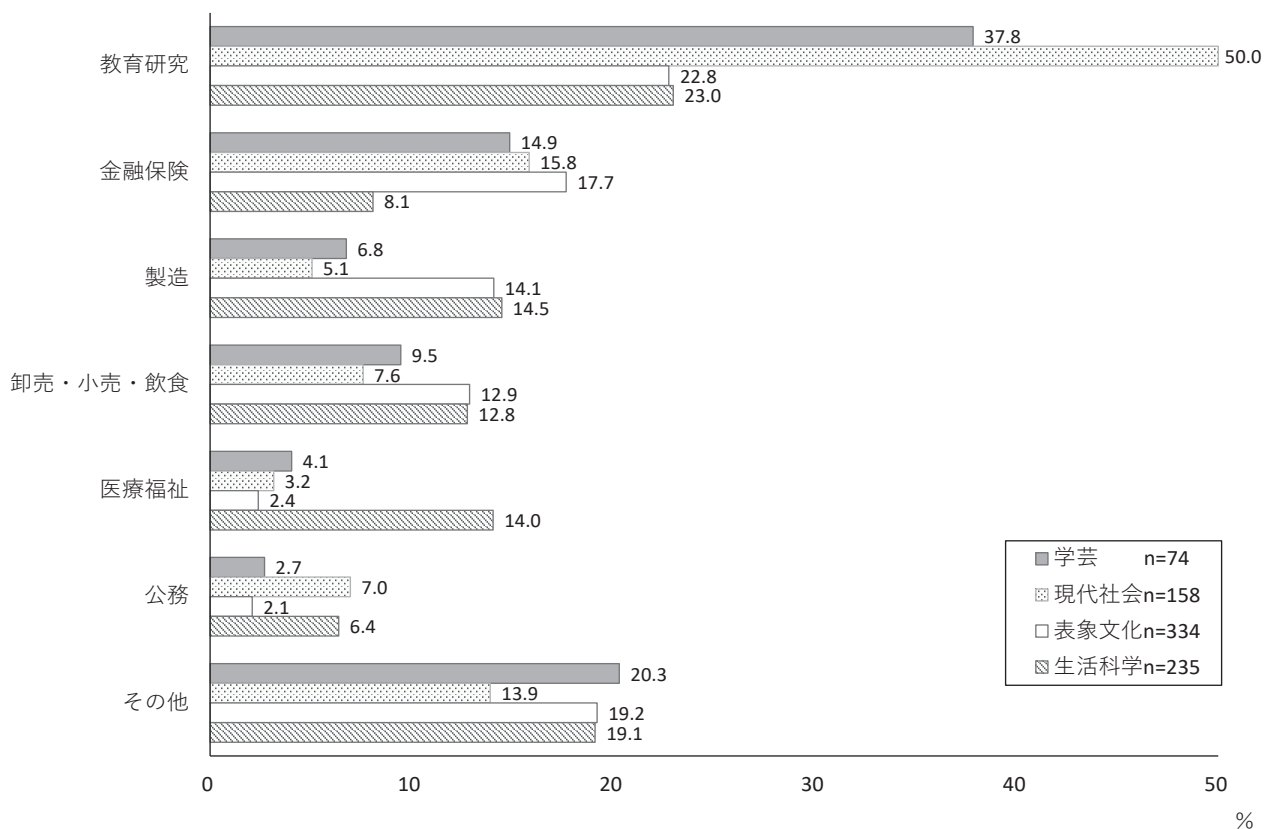


図 7-B 学部別卒業後すぐの就職先の事業内容

(3) 卒業後すぐの進路での就職先での仕事の種類：Q11-(2)

卒業後すぐの就職先での仕事の種類の上位 5 項目と上位 5 項目以外の項目を「その他」に再区分し、分析した。年代 3 区分別の結果を図 8-A に、学部 4 区分別の結果を図 8-B に示した。

年代別では、各年代区分とも「事務的職業」「専門・技術的職業」「販売的職業」「総合職」「保安・サービスの職業」の順に割合が高かった。年代区分の特徴をみると、「事務的職業」は 40・50 歳代・60 歳以上で約 5 割を占めていた。「総合職」では 20・30 歳代が他の年代区分よりも高い割合であった。以前は学生の一般職人気が高く、企業側も一般職を多く採用していたことが、40 歳代以降に事務的職業が多い理由であると思われる。2014 年度までは本学においても総合職よりも一般事務職で就職を決定する学生が多かったが（2014 年度：総合職 28.1%、一般事務 28.4%）、2015 年度に初めて総合職が一般事務職を上回り（2015 年度：総合職 29.9%、一般事務 25.8%）、その差は年々拡大しており、2019 年度は総合職 38.6%、一般事務職 13.8%まで差が拡大した。理由として、近年、企業側が経営の効率化等を進める中で、定型事務（これまで一般事務職が担当していた業務）は非正規社員（アルバイト・派遣社員等）に業務を移行し、一般職の採用枠を縮小し、総合職（エリア総合職を含む）の採用枠が拡大していることが影響していると思われる。

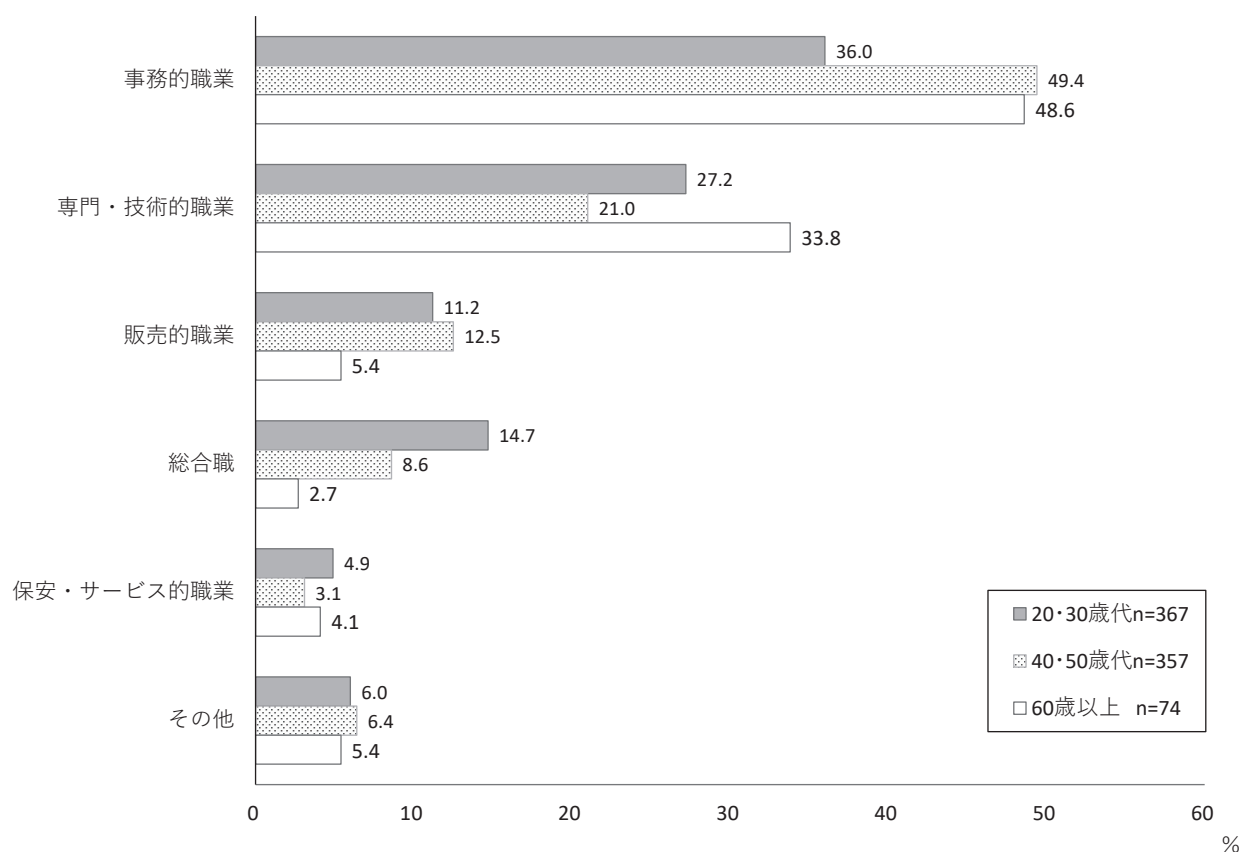


図 8-A 年代別卒業後すぐの就職先の仕事の種類

学部別では、「事務的職業」では表象文化学部、「専門・技術的職業」では現代社会学部、生活科学部の割合が高かった。現代社会学部や生活科学部は免許・資格が取得できる学科を有していることが関係していると思われる。

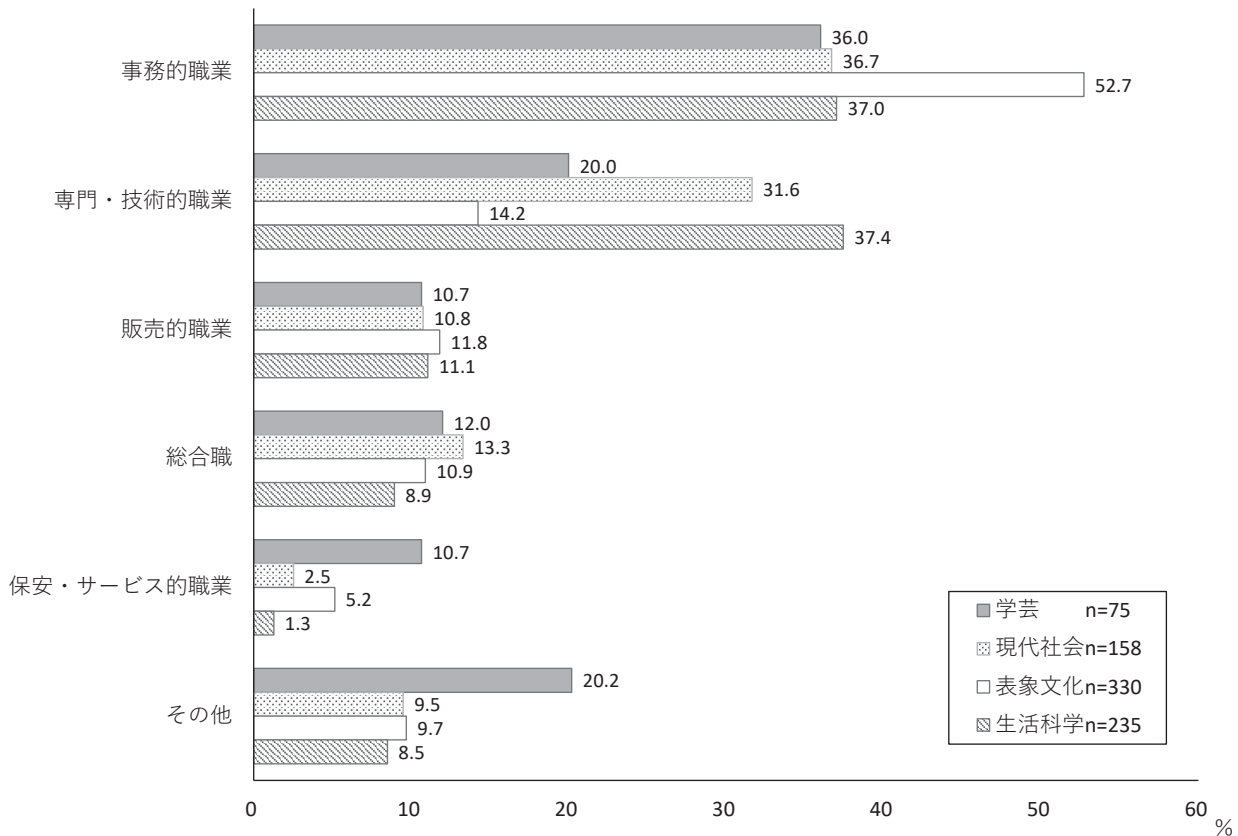


図 8-B 学部別卒業後すぐの就職先の仕事の種類

(4) 卒業後すぐの就職先の企業規模：Q11-(3)

卒業後すぐの就職先の企業規模を従業員数で聞いた。年代 3 区分別の結果を図 9-A に、学部 4 区分別の結果を図 9-B に示した。

年代別では、40・50 歳代で「5000 人以上」、20・30 歳代で「公務員」の割合が高かった。学部別では、表象文化学部で「5000 人以上」、現代社会学部で「公務員」の割合が高かった。中小企業の規模は中小企業基本法で定義づけられる。業種によって異なり、製造業は資本金 3 億円以下または従業員 300 人以下、サービス業は資本金 5 千万円以下または従業員 100 人以下などで、日本全体に占める割合は 99%以上である。そのため、999 人以下の企業に就業している割合が高くなることは妥当な結果である。

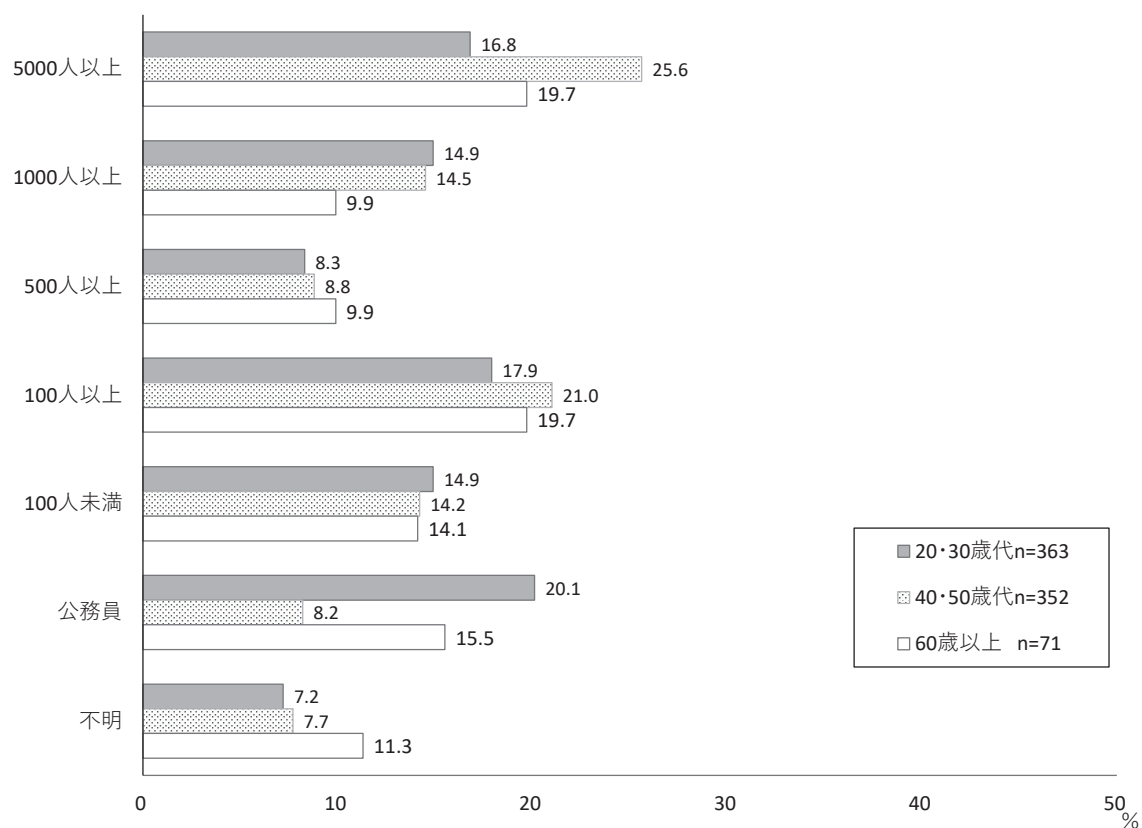


図 9-A 年代別卒業後すぐの企業規模

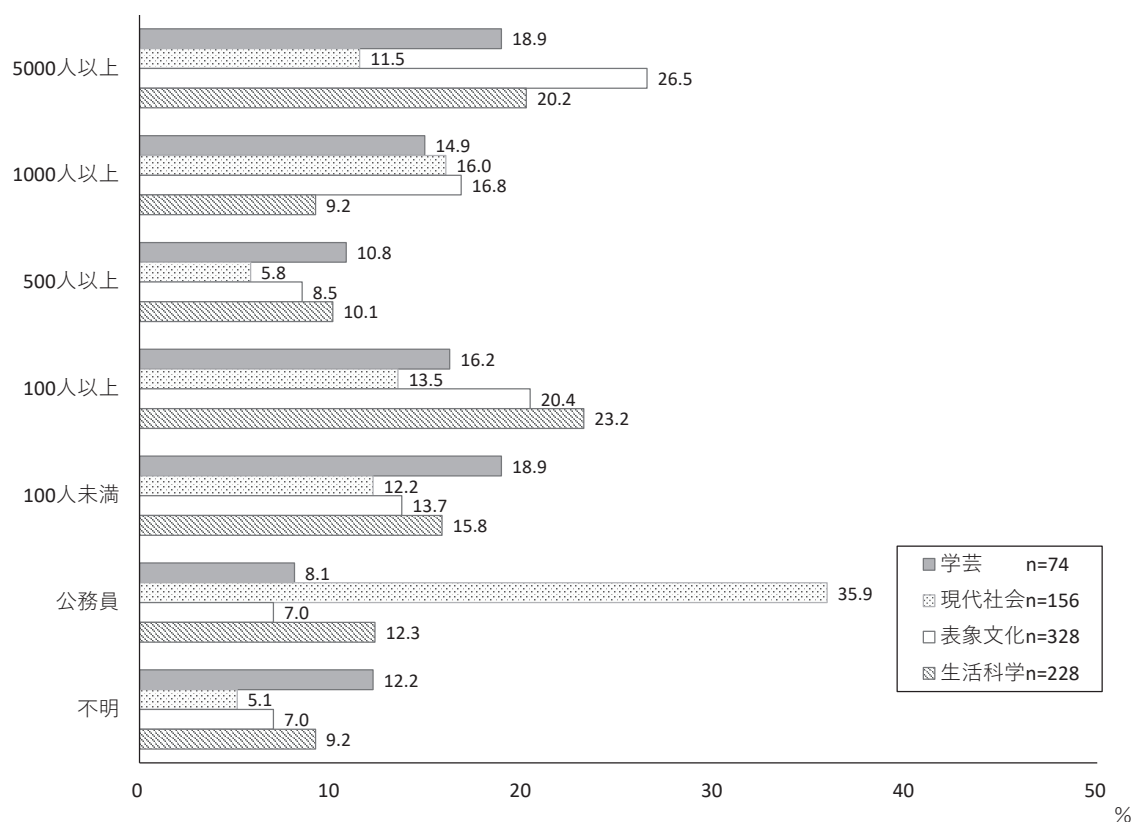


図 9-B 学部別卒業後すぐの企業規模

(5) 卒業後すぐの進路での就職するうえで重視した内容：Q11-(4)

卒業後すぐの就職を決める際に重視した内容について最も当てはまることを1つだけ聞いた。割合の高い順に年代3区分別の結果を図10-Aに、学部4区分別の結果を図10-Bに示した。

各年代区分とも、最も重視した内容は「自分のやりたい仕事ができる」であり、次に「志望業種・職種である」であった。「女性が活躍できる」は各年代区分とも1割未満であるが、40・50歳代が他の年代区分より高かった。この年代区分は1999年に制定された男女共同参画社会基本法の影響を受け始めた年代であると思われる。

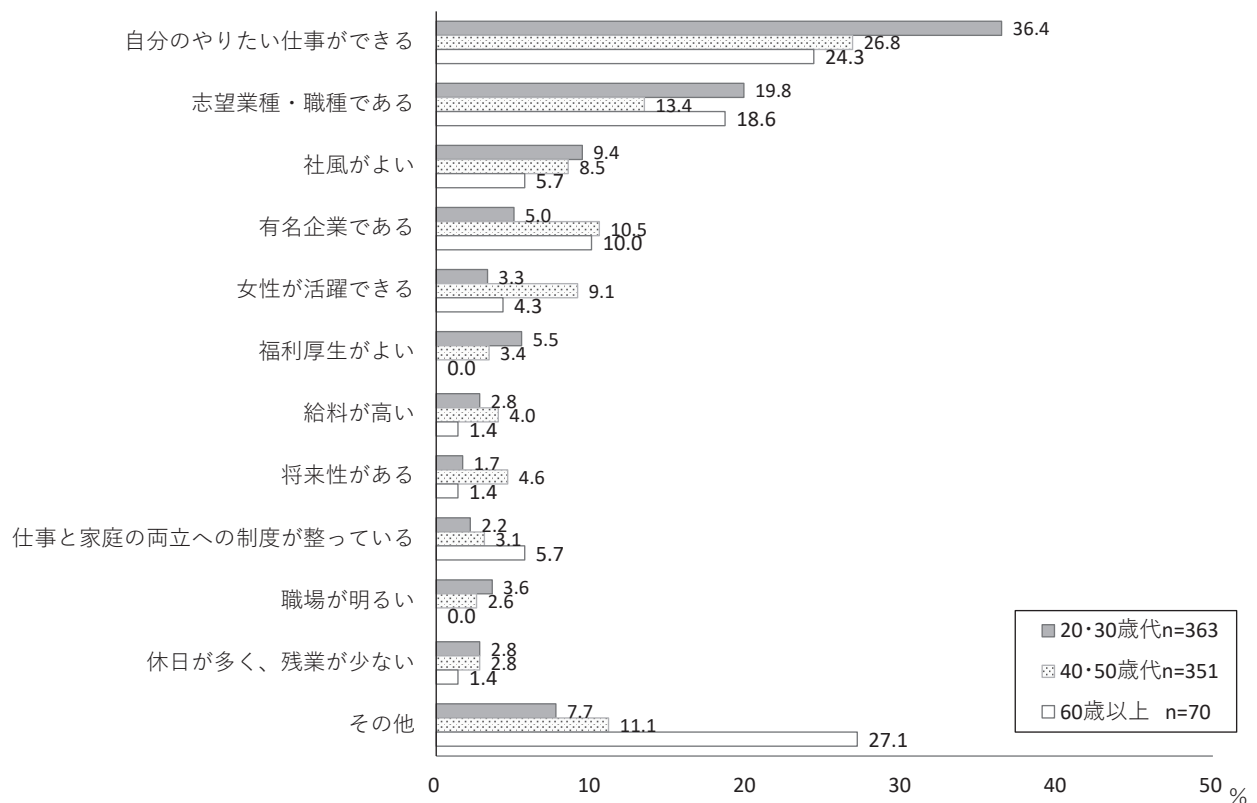


図 10-A 年代別卒業後すぐの就職で最も重視した内容

学部別では、「志望業種・職種である」が現代社会学部で高い割合が特徴的であった。これは現代こども学科の主要な就職先が教育関係であることと関係していると思われる。

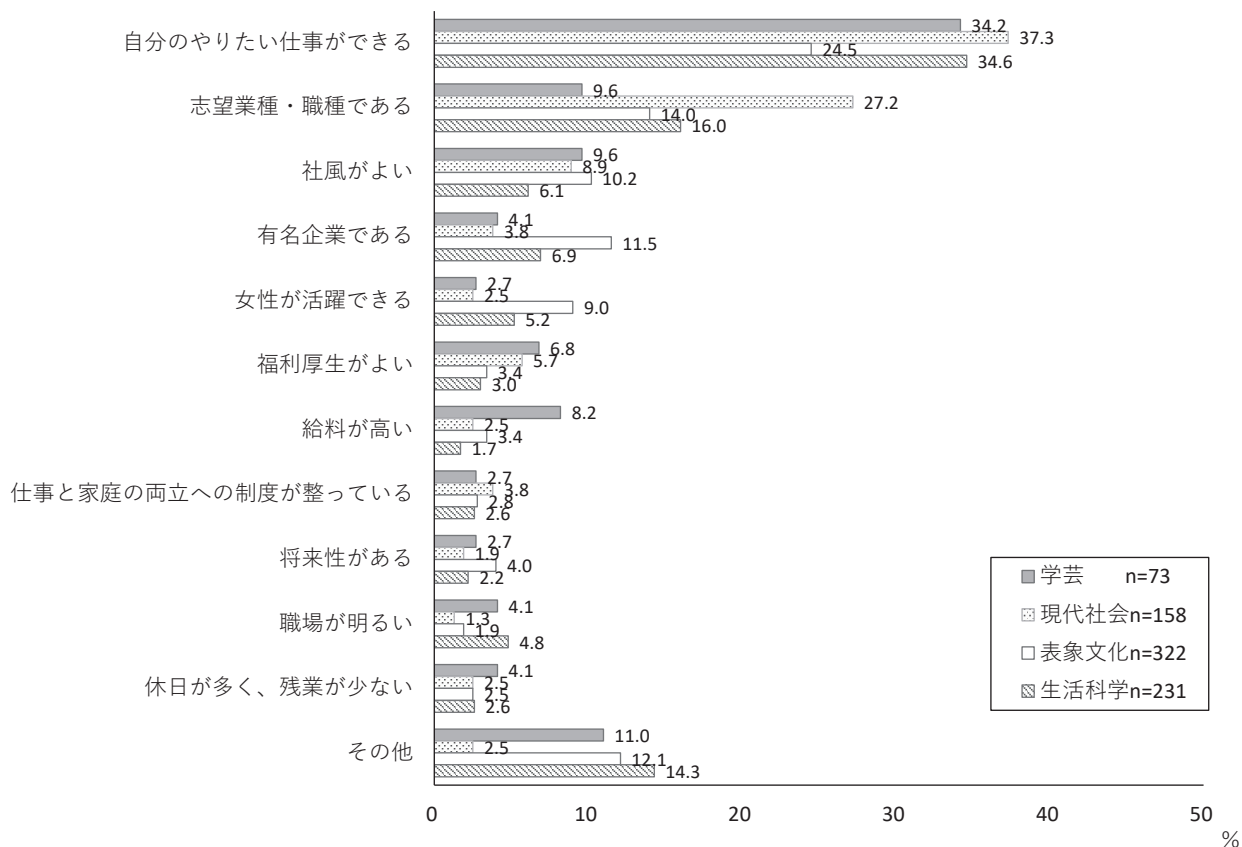


図 10-B 学部別卒業後すぐの就職で最も重視した内容

(6) 卒業後の進路で就職した企業の特徴：Q11-(5)

卒業後すぐに就職した企業の特徴について、【平日休暇の取りやすさ】【土日休暇のとりやすさ】は「取りやすい」「やや取りやすい」を「取りやすい」、「やや取りにくい」「取りにくい」を「取りにくい」に、【残業の多さ】は「多い」「やや多い」を「多い」、「あまりない」「ない」を「ない」に、【仕事内容の規則性】は「規則的」「やや規則的」を「規則的」、「あまり規則的でない」「規則的でない」を「規則的でない」に再区分し、分析した。年代 3 区分別の結果を図 11-A に、学部 4 区分別の結果を図 11-B に示した。

年代別では【平日に休暇を取りやすい】は各年代区分とも約 5 割が、【土日に休暇を取りやすい】では 7 割が取りやすいと回答していた。1990 年代に導入された国家公務員の週休 2 日制、学校の週 5 日制により土日の休暇が取りやすくなったと思われる。一方、20・30 歳代、40・50 歳代で 6 割が【残業が多い】と回答していた。60 歳以上では、【仕事内容の規則性】があると 8 割が回答していた。60 歳以上の就職先が「事務的職業」「専門・技術的職業」の割合が高く、それらの仕事内容に規則性があったことがうかがえる。

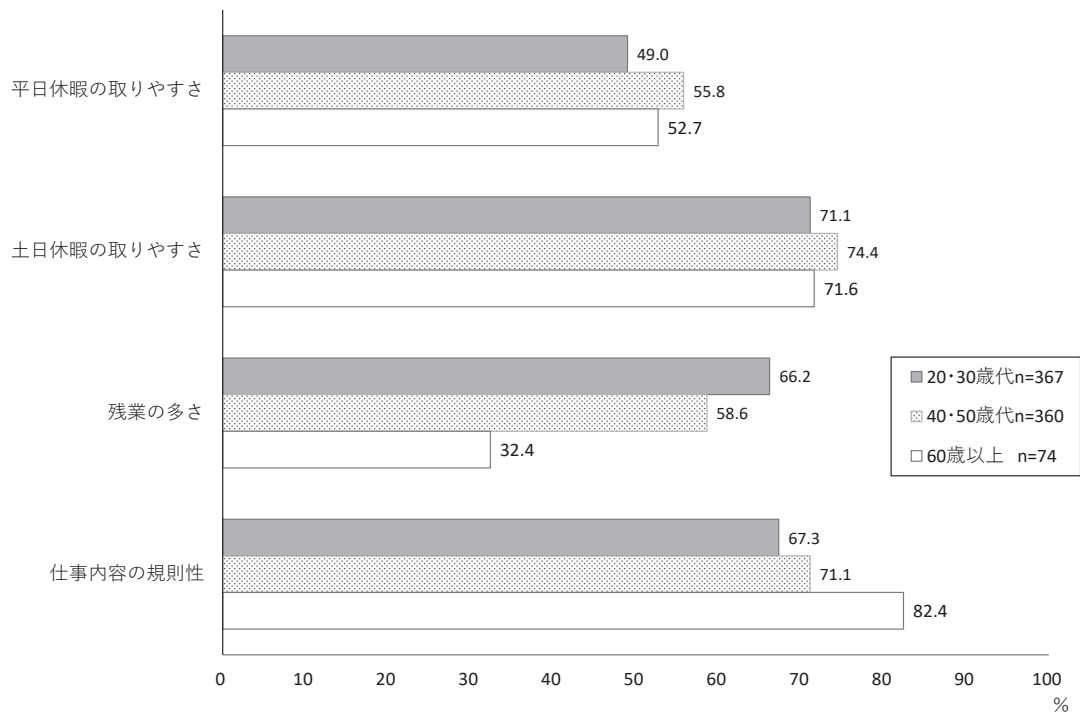


図 11-A 年代別卒業後すぐに就職した企業の特徴

学部別では、現代社会学部において「平日休暇が取りやすい」の割合が低く、「残業が多い」が高くなっていた。主な就職の事業内容で「教育研究」が多かったことに関連していると思われる。

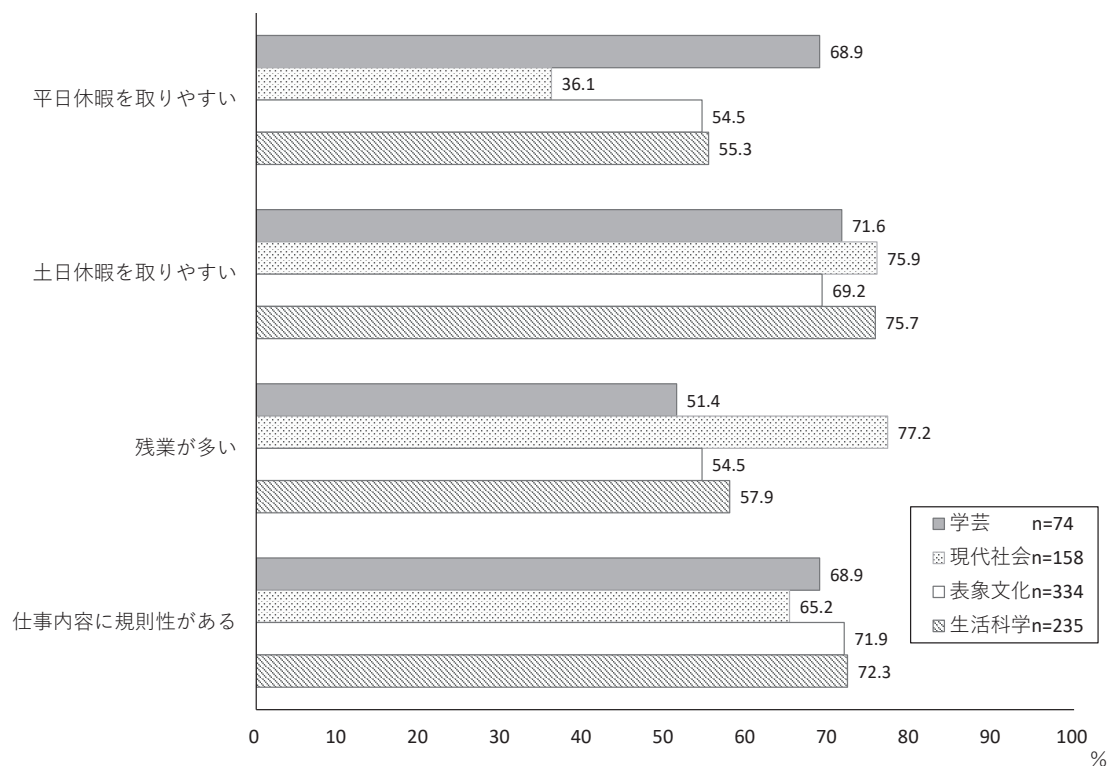


図 11-B 学部別卒業後すぐに就職した企業の特徴

3) 卒業後の就職状況

(1) 卒業後の転職回数：Q12-(1)

卒業後すぐに仕事に従事した人を対象に、何回転職したかを聞いた。年代 3 区分別の結果を図 12-A に、学部 4 区分別の結果を図 12-B に示した。

年代別では、卒業後の転職回数は、20・30 歳代は「0 回」が約 6 割、40・50 歳代は「1・2 回」が約 4 割、60 歳以上は「0 回」が約 4 割と最も多かった。20・30 歳代では、6 割が卒業後すぐに就職した企業に継続して勤務していることがわかる。しかし、40・50 歳代になると、転職を 7 割が経験することが示された。

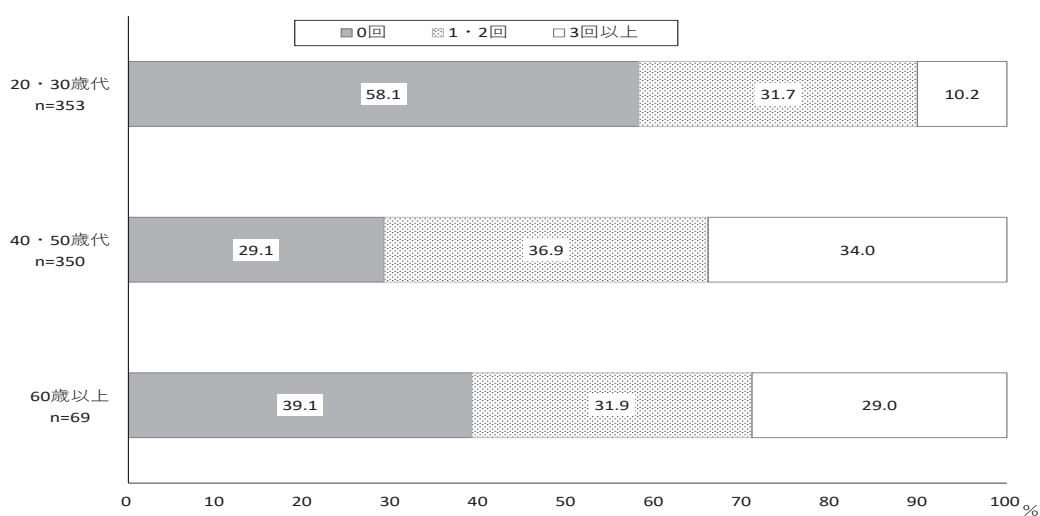


図 12-A 年代別卒業後に就職したあとの転職回数

学部別では、転職回数「0 回」は現代社会学部が高い割合であった。これは 2000 年以降に開設された学部であり回答者が 20・30 歳代のためである。表象文化学部・生活科学部は歴史のある学科が含まれているため、高年齢層が多く転職回数も多いことがわかる。

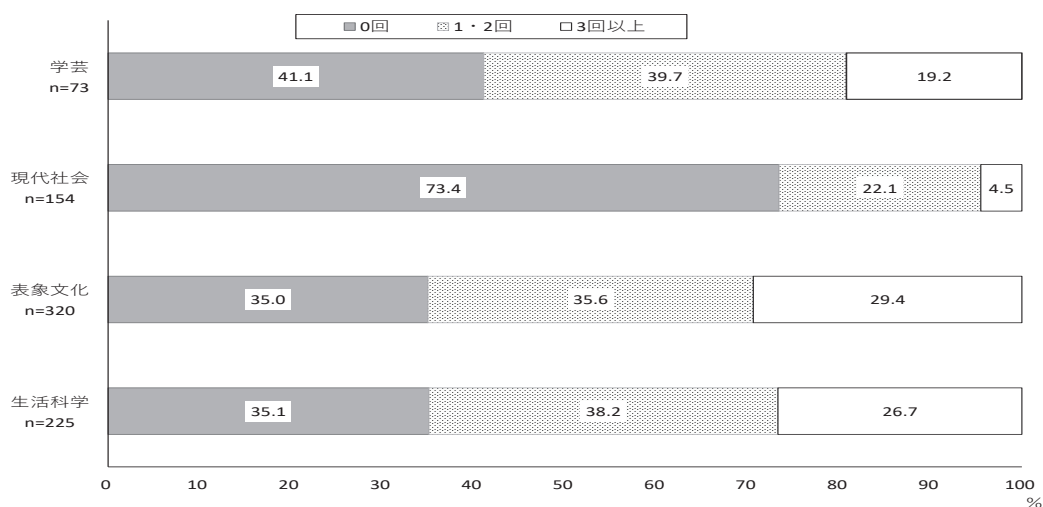


図 12-B 学部別卒業後に就職したあとの転職回数

(2) 卒業後すぐの就職先を退職した年齢：Q12-(2)-1

卒業後すぐの就職先を辞めた人を対象に、退職した年齢を聞いた。年代 3 区分別の結果を図 13-A、学部 4 区分別の結果を図 13-B に示した。いずれも 20-24 歳と 25-29 歳での退職を合わせたものが約 7～9 割を占めていた。

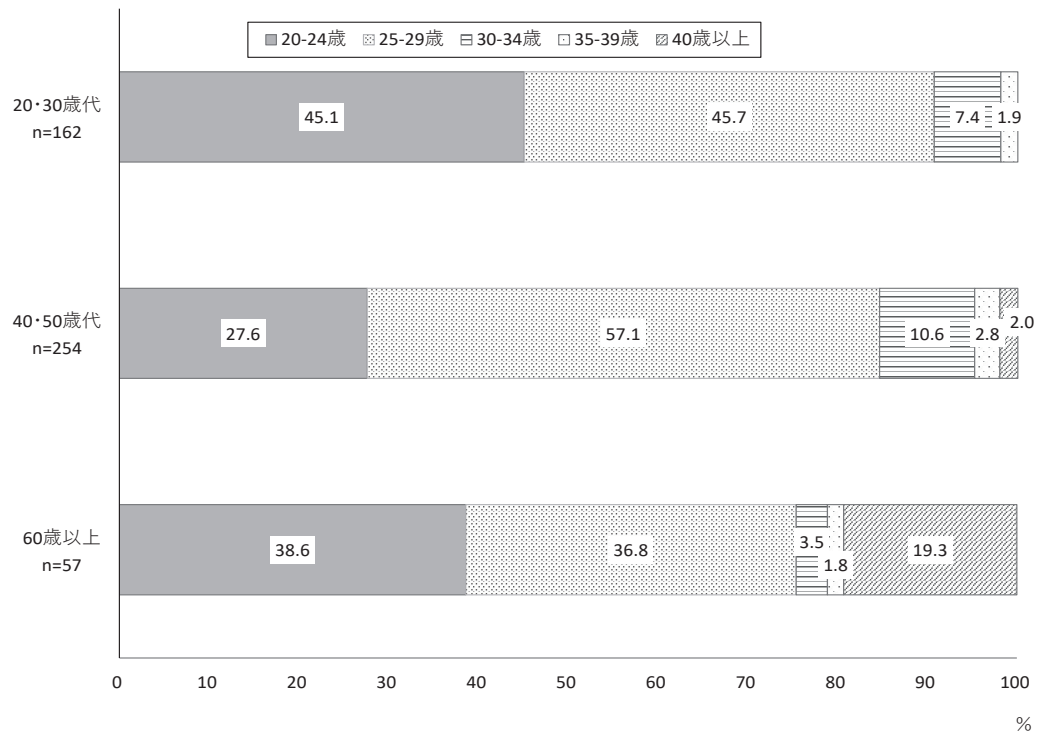


図 13-A 年代別卒業後すぐの就職先を退職した年齢

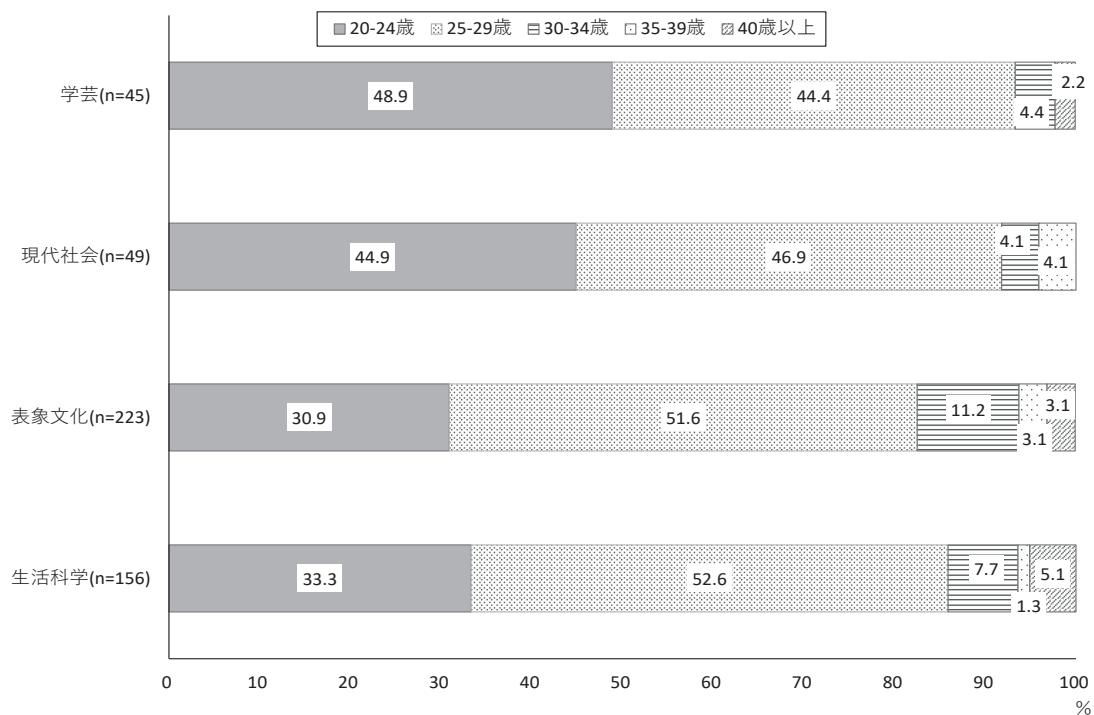


図 13-B 学部別卒業後すぐの就職先を退職した年齢

（３）卒業後すぐの就職先を退職した大きな理由：Q13

卒業後すぐの就職先を退職した大きな理由の上位 10 項目の年代 3 区分別の結果を図 14-A に、学部 4 区分別の結果を図 14-B に示した。

年代別の退職の理由は 20・30 歳代では「転職」18.7%に次いで、「労働条件過酷」14.9%、「結婚」14.9%、「キャリアの限界」8.2%であった。60 歳以上では「結婚」が 41.3%と大きな要因となっており、卒業後すぐの就職先を退職したあとは、再就職せずに専業主婦になっていると思われる。

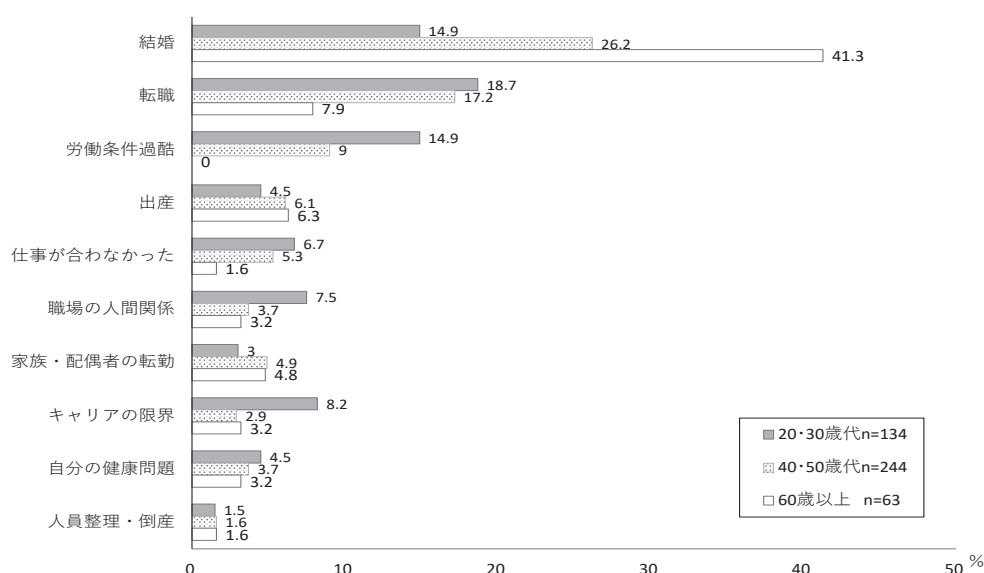


図 14-A 年代別卒業後すぐの就職先を退職した大きな理由の上位 10 項目

学部別の退職の理由は生活科学部で「結婚」30.9%、表象文化学部 24.1%と高かった。生活科学部で「キャリアの限界」が 11.1%と他学部に比べ高い割合であった。

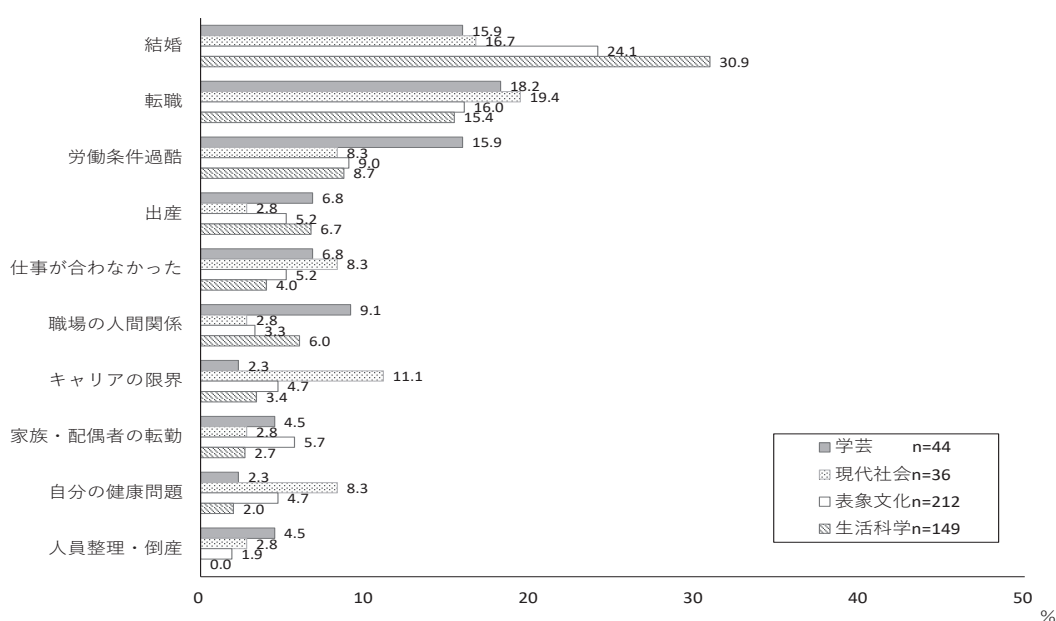


図 14-B 学部別卒業後すぐの就職先を退職した大きな理由の上位 10 項目

(4) 卒業後すぐの就職先を退職後に再就職した雇用形態：Q14

卒業後すぐの就職先を退職後に再就職した雇用形態の年代 3 区分別の結果を図 15-A に、学部 4 区分別の結果を図 15-B に示した。

年代別では、20・30 歳代において「フルタイムで働いた」、40・50 歳代では「パート・アルバイトなど」、60 歳以上では「収入を伴う仕事をしなかった」「自営業」で高い割合が特徴であった。図 13-A で示したように 40・50 歳代が卒業後すぐの仕事の退職時期が「25～29 歳」で 6 割と最も多かったことから、結婚や出産が要因となり、再就職は「パート・アルバイト」が高い割合になっていると思われる。60 歳以上では、結婚後は収入を伴う仕事につかなかったと思われる。

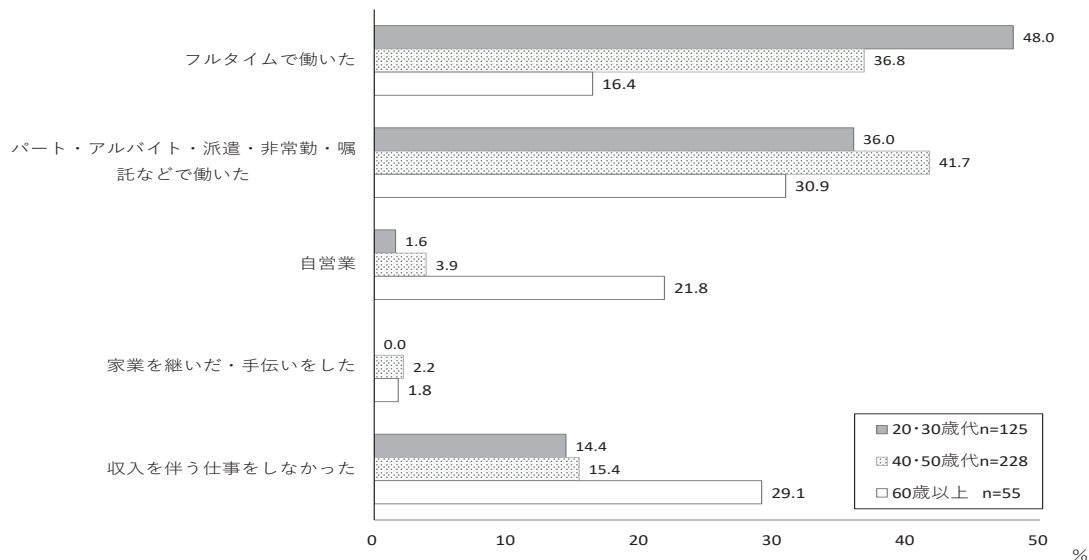


図 15-A 年代別卒業後に就職した勤務先の退職後に再就職した雇用形態

学部別では、学芸学部において、「パート・アルバイトなど」の割合が他の学部より低く、自営業の割合が高くなっていた。

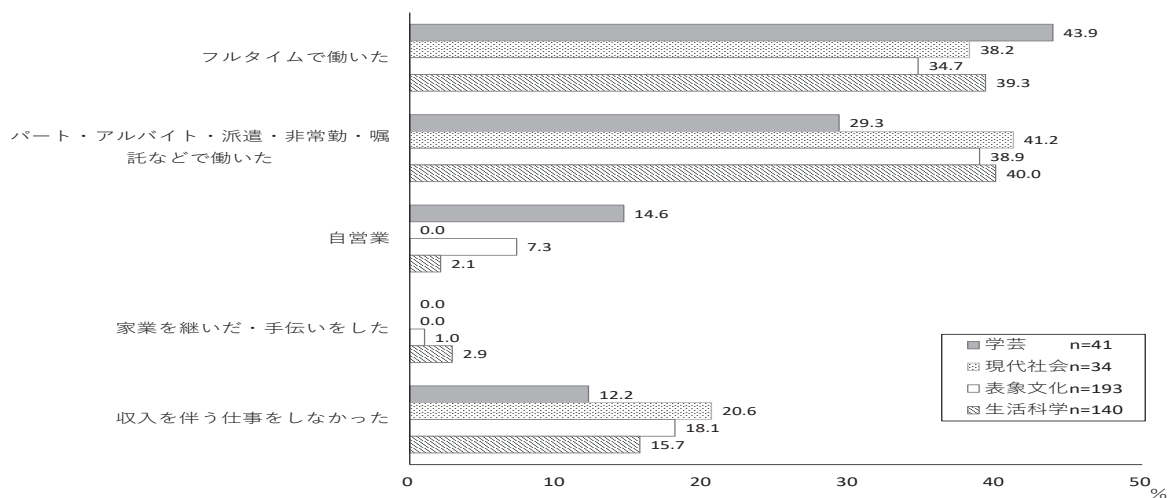


図 15-B 学部別卒業後に就職した勤務先の退職後に再就職した雇用形態

(5) 卒業後すぐの就職先の現在の継続状況：Q12-(2)-2

卒業後すぐに就職した就職先で現在も仕事を継続しているかについて年代 3 区分別の結果を図 16-A に、学部 4 区分別の結果を図 16-B に示した。

年代別では、20・30 歳代は約 5 割が仕事を継続しており、40・50 歳代では 16%、60 歳以上では約 4 %の継続率であった。

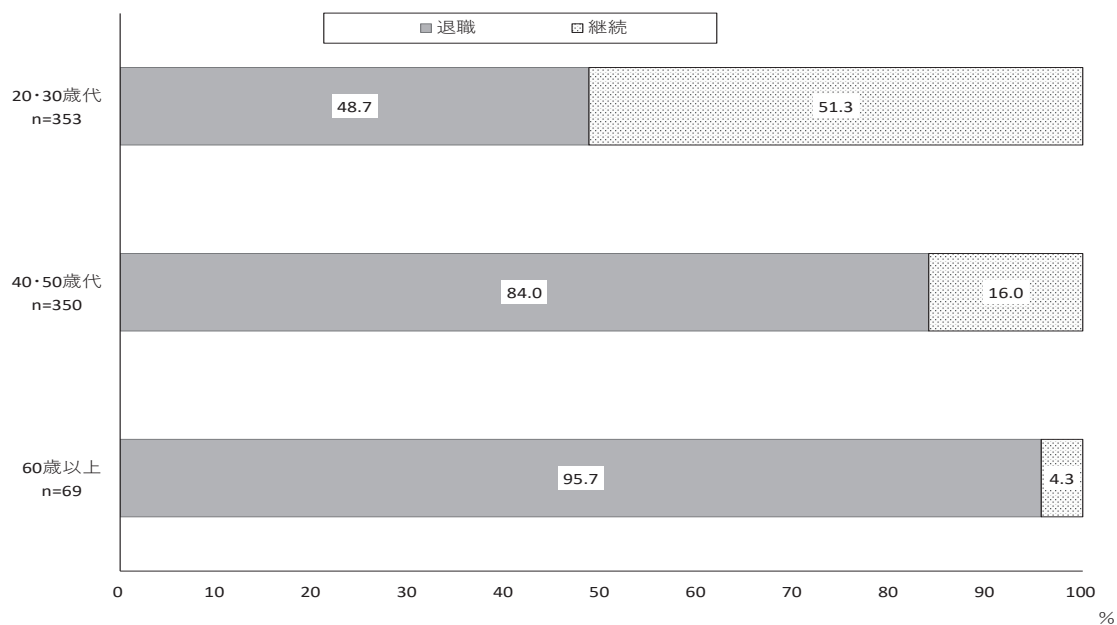


図 16-A 年代別卒業後すぐの就職先の現在の継続状況

学部別では、現代社会学部で約 7 割が卒業後すぐに就職した就職先で仕事を継続していた。

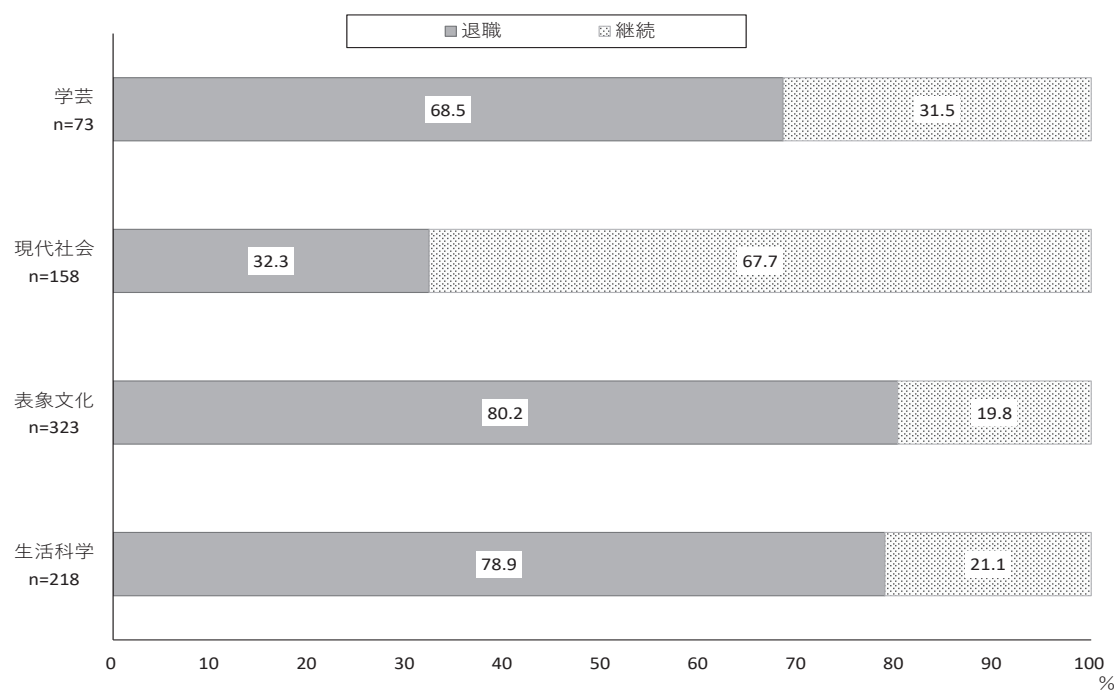


図 16-B 学部別卒業後すぐの就職先の現在の継続状況

(6) 卒業後すぐの就職先を退職後に再就職した仕事の継続状況：Q16

卒業後すぐの勤務先を退職後に再就職した仕事の継続状況について年代3区分別の結果を図17-Aに、学部4区分別の結果を図17-Bに示した。

年代別では、再就職先での仕事の継続は、20・30歳代は4割であるが、40・50歳代、60歳以上の7割が退職していた。学部別では、再就職先の仕事の継続は学芸学部で約5割、現代社会学部で約4割であった。

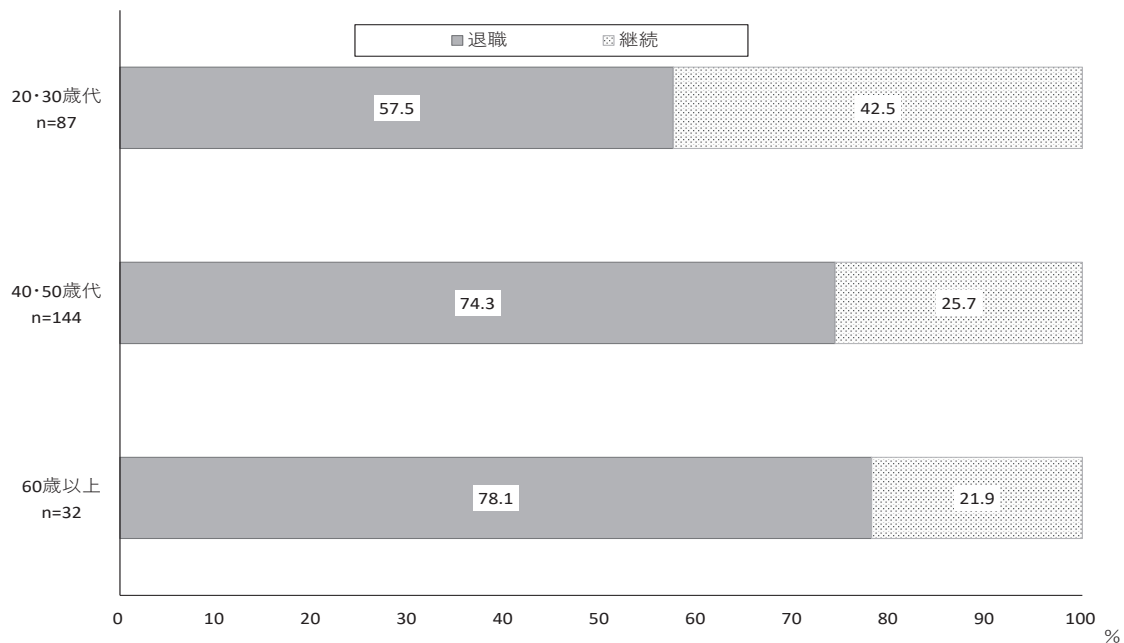


図 17-A 年代別卒業後すぐの就職先を退職後に再就職した仕事の継続状況

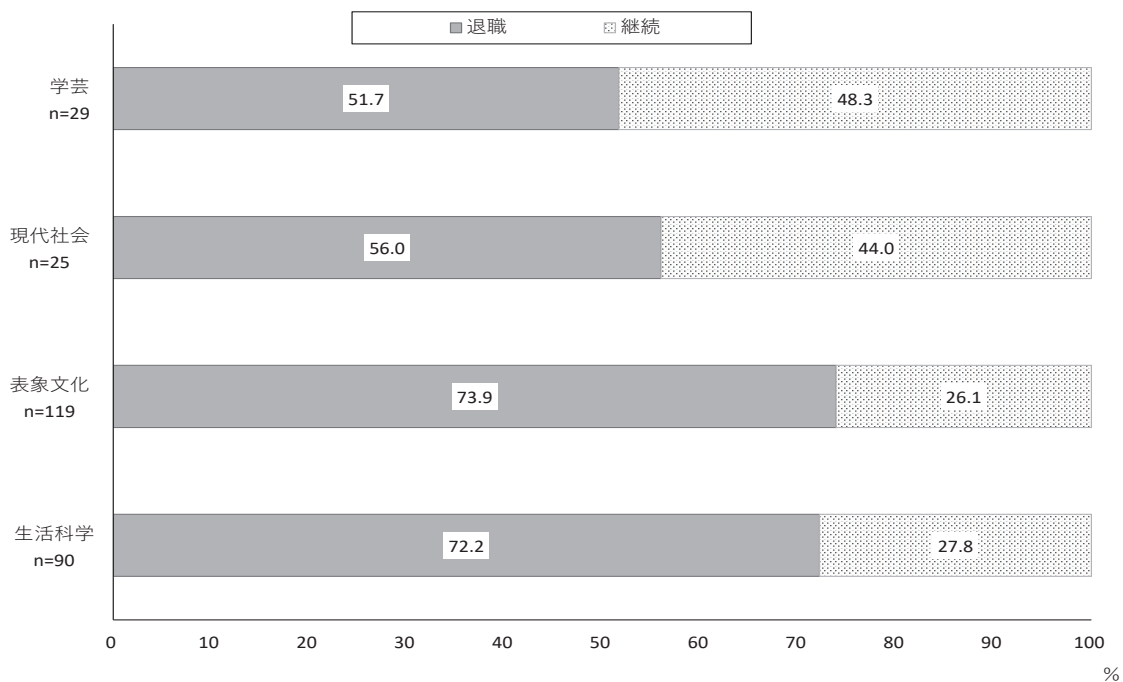


図 17-B 学部別卒業後すぐの就職先を退職後に再就職した仕事の継続状況

(7) 卒業後すぐの就職先および再就職先での現在の仕事の継続理由：Q18

卒業後すぐの就職先および再就職先で継続して勤務している理由について年代 3 区分別の結果を図 18-A、学部 4 区分別の結果を図 18-B に示した。

年代別では「社会や他者とのつながり」が各年代区分とも 8 割以上であった。60 歳以上で同じ仕事で継続して勤務している人は少数であるが、その理由として、「自分自身の収入」「仕事のおもしろさ」「生きがい」が 9 割以上であった。

学部別では、「社会や他者とのつながり」が学芸学部で 9 割と高い割合であった。

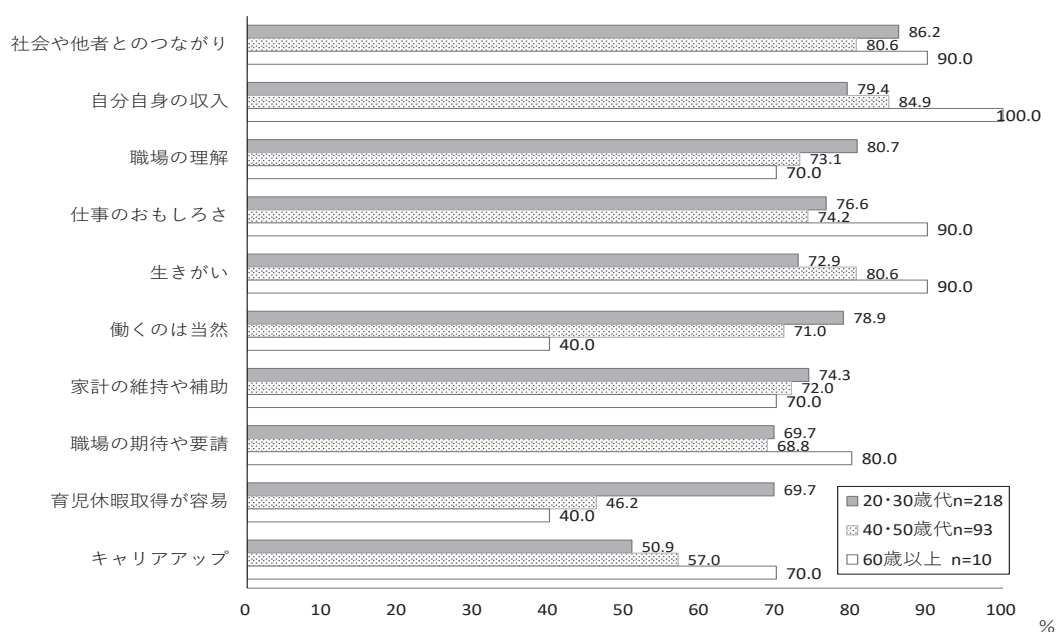


図 18-A 年代別卒業後すぐの就職先および再就職先の仕事の継続理由

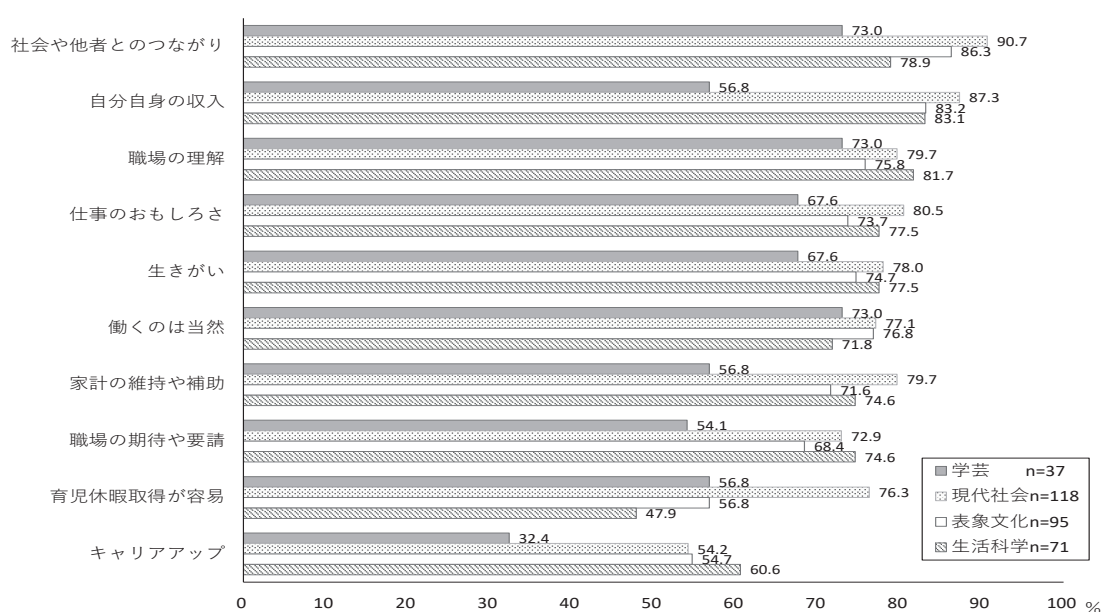


図 18-B 学部別卒業後すぐの就職先および再就職先の仕事の継続理由

(8) 結婚・出産を経て卒業後すぐの就職先および再就職先での仕事を継続できたサポート体制：Q19
結婚・出産を経て卒業後すぐの就職先および再就職先での仕事を継続できたサポート体制について、質問選択肢の「あてはまる」「ややあてはまる」を「あてはまる」、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を「あてはまらない」に再区分し、分析した。年代3区分別の結果を図 19-A に、学部4区分別の結果を図 19-B に示した。

年代別では、60 歳以上の回答が少ないが、「配偶者のサポート」「保育所への入所やサポート」「労働条件、給与等の改善」が6～7 割であり、なんらかのサポートが仕事を継続できた要因と思われる。

学部別では、学芸学部で「会社・職場等のサポート」が他学部よりも低い割合で、「地域の子育て支援」が他学部よりも高い割合が特徴的であった。

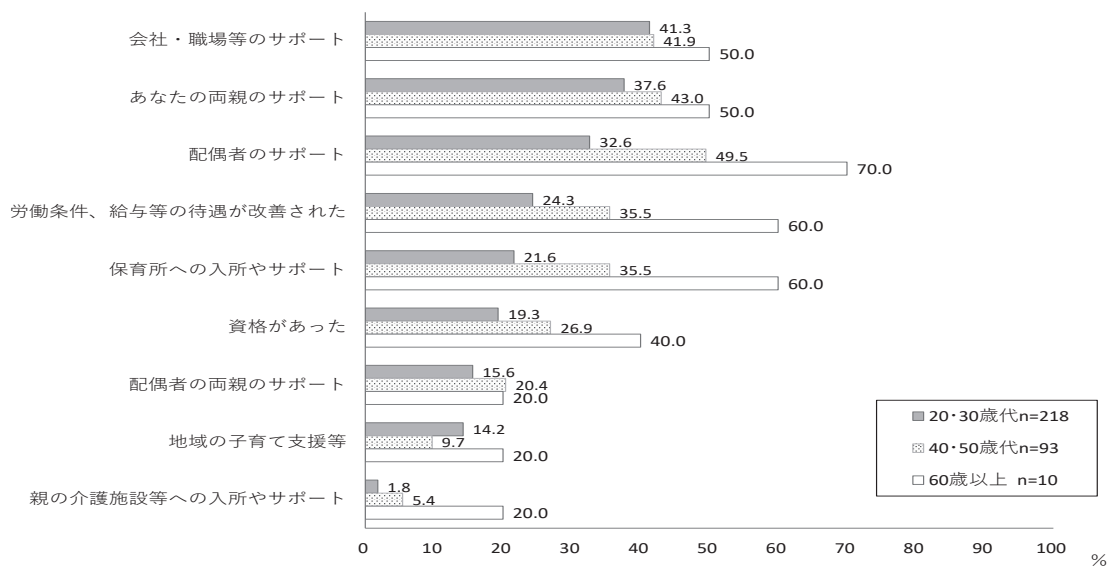


図 19-A 年代別結婚・出産を経ての仕事継続のためのサポート体制

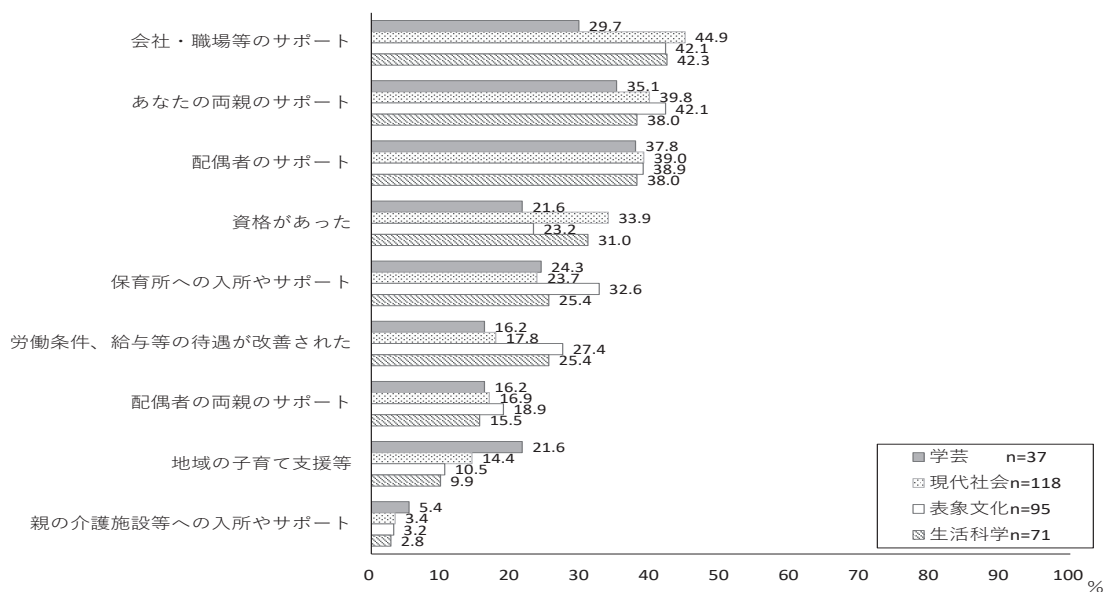


図 19-B 学部別結婚・出産を経ての仕事継続のためのサポート体制

4) 現在の就職状況

(1) 現在の就職状況：Q20

現在の就職状況について全員に質問した。年代3区分別の結果を図20-Aに、学部4区分別の結果を図20-Bに示した。

年代別では、「正規・派遣・契約・嘱託」で20・30歳代が約7割、40・50歳代が約5割を占めていた。「一時的雇用・家業・その他」は40・50歳代が32.9%、60歳以上が39.2%であった。60歳以上では「収入なし」が44.3%であった。年齢層が上がるにつれ、「正規・派遣・契約・嘱託」の割合が減少していた。一方、「収入なし」は年齢層が上がるほど増加していた。現在、60歳未満では、多くの卒業生はなんらかの形で仕事に従事していることがうかがえる。

学部別では、現代社会学部で「正規・派遣・契約・嘱託」が8割と高く、「一時的雇用・家業など」、「収入なし」が1割と低いのが特徴的であった。

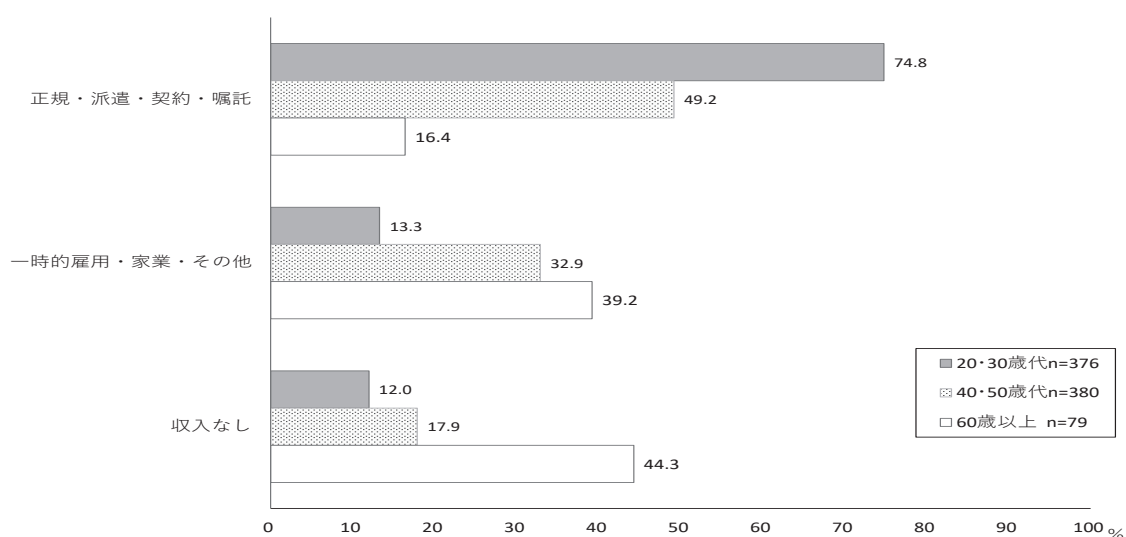


図 20-A 年代別現在の就職状況図

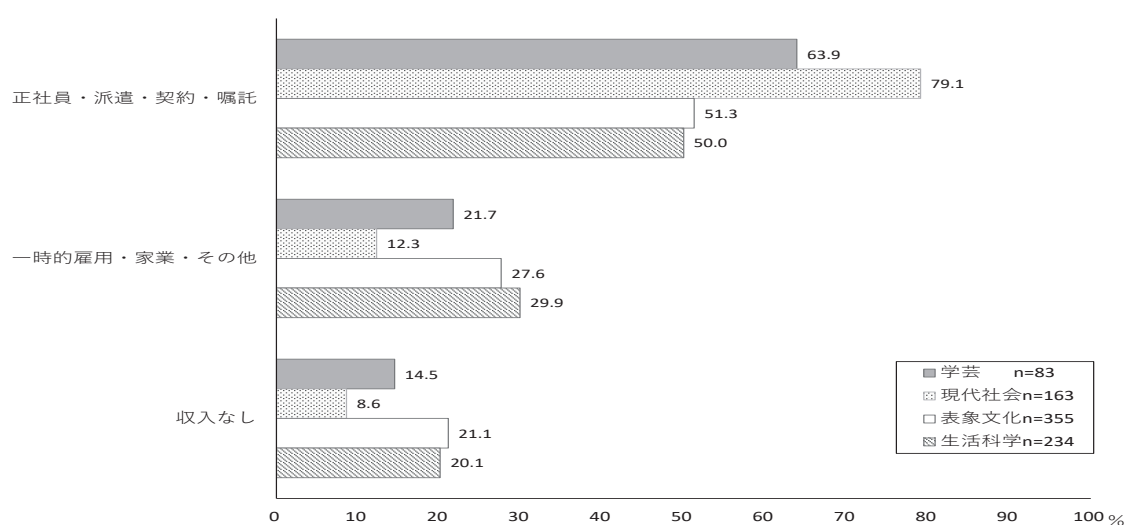


図 20-B 学部別現在の就職状況

(2) 現在の就職先の事業内容：Q21-(1)

現在就業している人を対象に、就職先の事業内容の項目について上位項目と上位項目以外の事業を「その他」に再区分し、分析した。年代3区分別の結果を図 21-A に、学部4区分別の結果を図 21-B に示した。

年代別では、各年代区分とも「教育研究」「医療福祉」「製造」「卸売・小売・飲食」「金融保険」「公務」が多かった。卒業後すぐの就職先の事業内容との違いは、「医療福祉」の割合が高くなっており、特に60歳代で約3割を占めていた。医療福祉、とくに介護業界では恒常的に人手不足の状態にあり、求人数も多いことから(大学に届く求人票のうち医療福祉分野の求人は、2019年度：43.8%、2018年度：41.9%、2017年度：37.5%)、比較的、再就職しやすい分野であることが推測される。国家資格(教員、管理栄養士等)を取得し就職した者は比較的長期間勤務している人が多い。また再就職する際にも、資格を活かし、同じ業界で働いている人が多いことが理由と思われる。

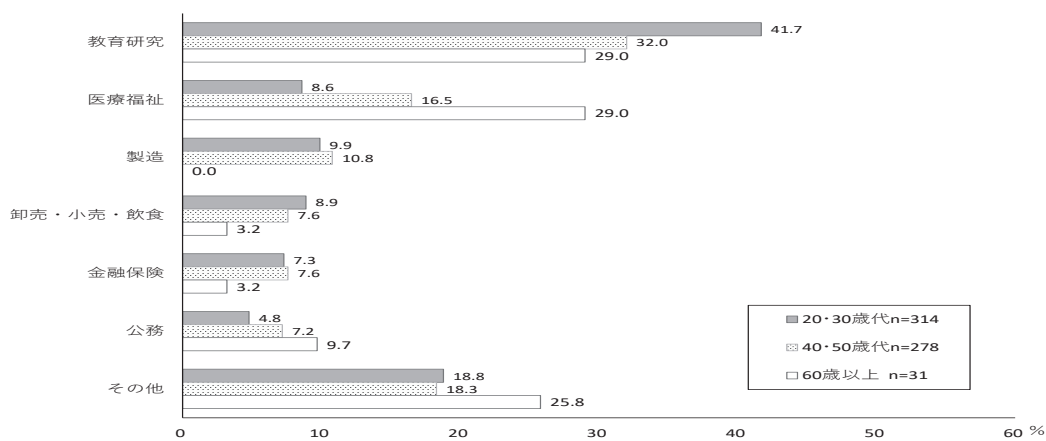


図 21-A 年代別現在の就職先の事業内容

学部別では、現代社会学部で「教育研究」、生活科学部で「医療福祉」が高い割合であった。卒業後から現在まで同じ事業内容に継続して従事していることがうかがえる。

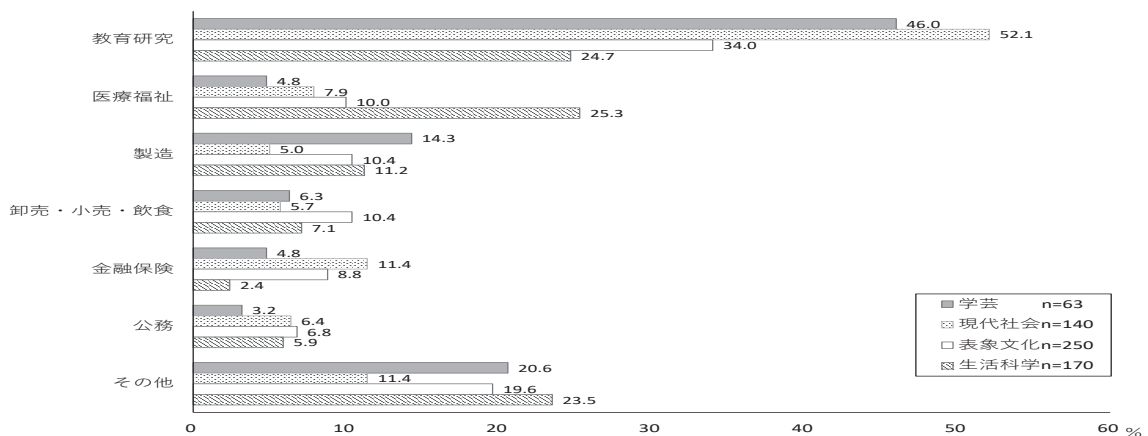


図 21-B 学部別現在の就職先の事業内容

(3) 現在の就職先の仕事の種類：Q21-(2)

現在仕事に従事している人の仕事内容について、上位 5 項目と上位 5 項目以外の項目は「その他」に再区分し、分析した。年代 3 区分別の結果を図 22-A に、学部 4 区分別の結果を図 22-B に示した。年代別では、「専門・技術的職業」が各年代区分とも 3 割以上で、60 歳以上では 4 割を占めていた。「総合職」では 20・30 歳代が 13.7% で他の年代区分よりも高い割合であった。

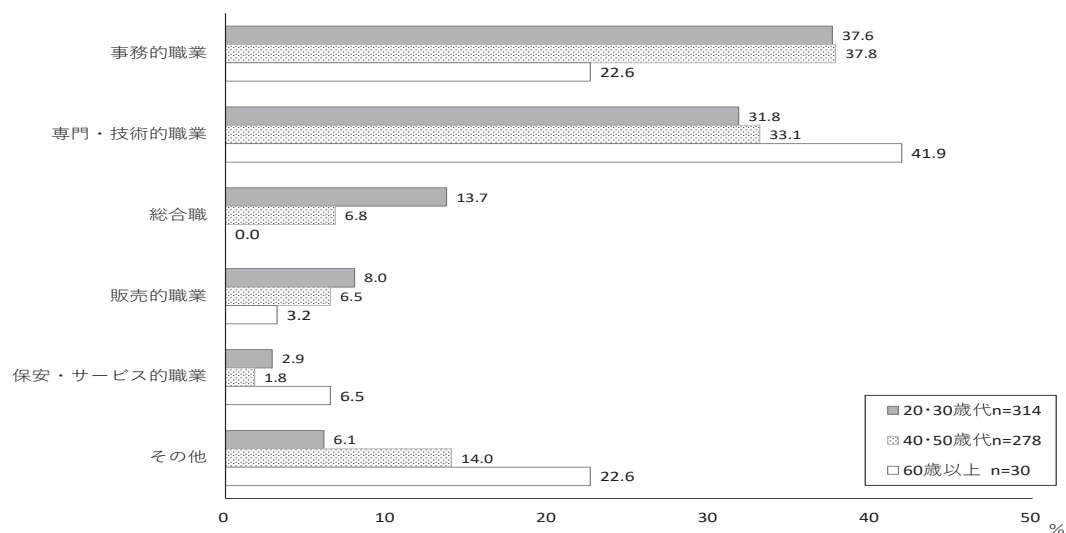


図 22-A 年代別現在の就職先の仕事の種類

学部別では、「事務的職業」は学芸学部・表象文化学部で、「専門・技術的職業」は現代社会学部・生活科学部で割合が高かった。専門・技術的職業には「教員、薬剤師、看護師、管理栄養士、SE 等」が含まれる。今回、回答者のうち現代こども学科（12.2%）と食物（18.4%）の割合が高く、現代こども学科では「教員」、食物では「管理栄養士」の資格所有者が多いと思われる。一方、事務的職業に学芸学部と表象文化学部が多い明確な理由は不明である。卒業した学部学科が理由ではなく年代や正社員以外（アルバイト等）での就職が影響していると思われる。

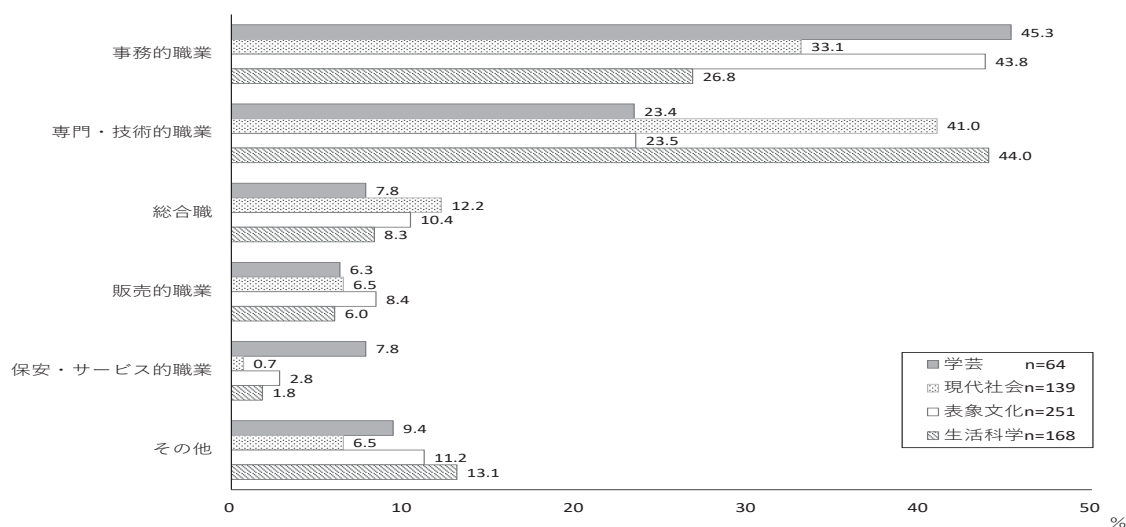


図 22-B 学部別現在の就職先の仕事の種類

(4) 現在の就職先の企業の従業員数：Q21-(3)

現在仕事に従事している人の就職先の企業規模を従業員数で聞いた。年代 3 区分別の結果を図 23-A に、学部 4 区分別の結果を図 23-B に示した。

年代別では、「100 人以上」が 60 歳以上、「100 人未満」は 40・50 歳代、60 歳以上で割合が高かったが、20・30 歳代では「公務員」の割合が高かった。5000 人以上の大企業も 1～2 割程度であった。これは、卒業後すぐに就職した企業規模と同様の結果であった。

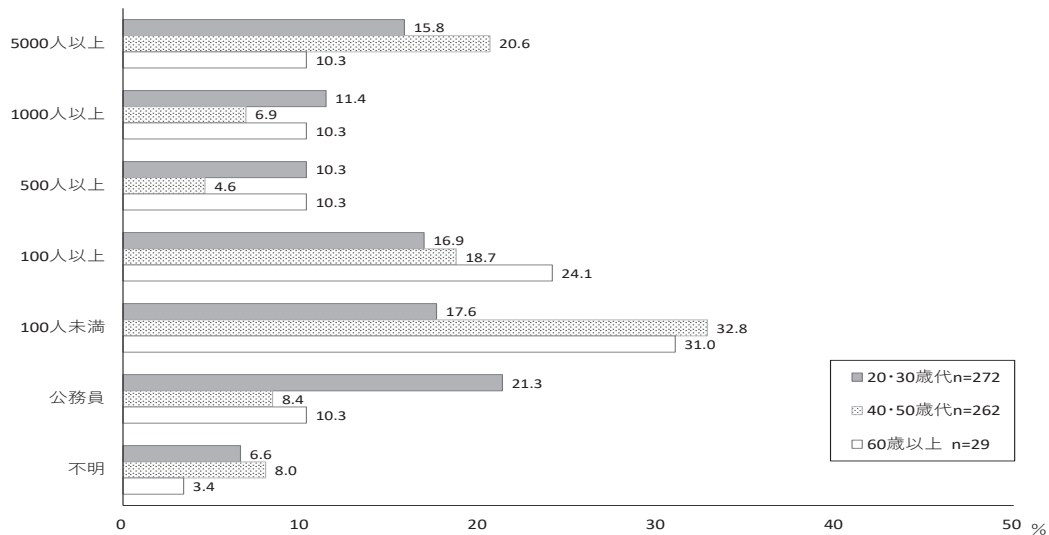


図 23-A 年代別現在の就職先の企業の従業員数

学部別では、「100～999 人」が学芸学部で約 4 割、「公務員」が現代社会学部で 34.5%、「5000 人以上」が表象文化学部で 22.3%、「100 人未満」が生活科学学部で 33.1%と特徴的であった。

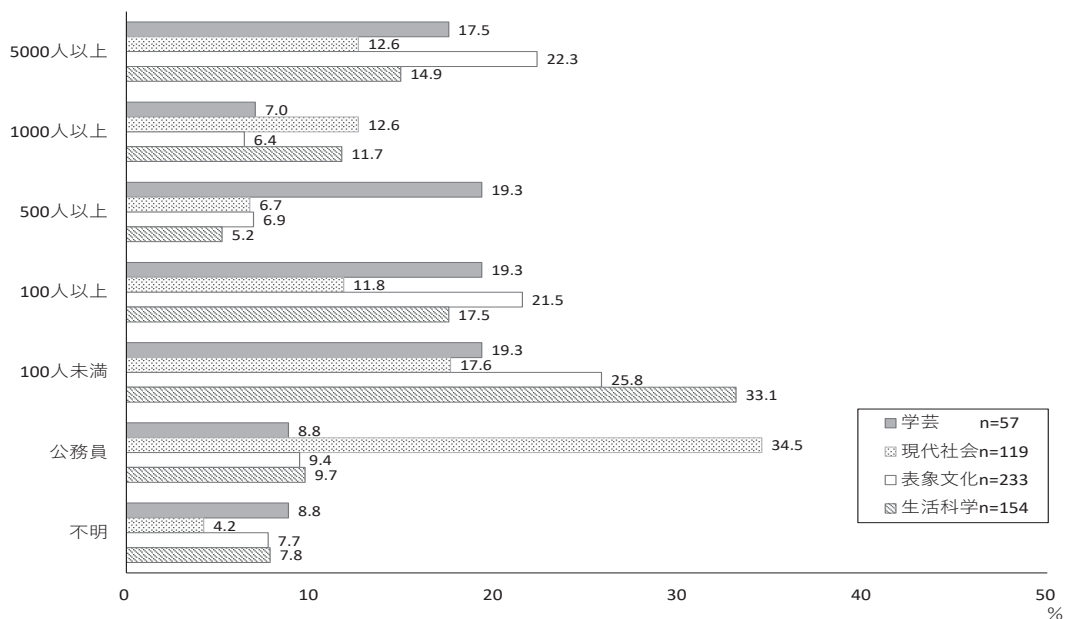


図 23-B 学部別現在の就職先の企業の従業員数

(5) 現在の就職先での仕事上の役職：Q21-(4)

現在仕事に従事している人の仕事上の役職について、年代3区分別の結果を図24-Aに、学部4区分別の結果を図24-Bに示した。

年代別では、40・50歳代で約3割が「役職あり」であった。20・30歳代で1割が「役職あり」で、6割が「役職なし」であった。60歳以上の対象者は28名であるが、定年退職後に「有期・アルバイト・非常勤」として仕事に従事していることがうかがえる。日本では現在においても年功序列制度が多く残っており、長く勤務し続ければ管理職になる可能性が高い。そのため、40・50歳で役職についている割合が高く、20・30歳代で役職についている割合が低くなったことは妥当な結果であると思われる。

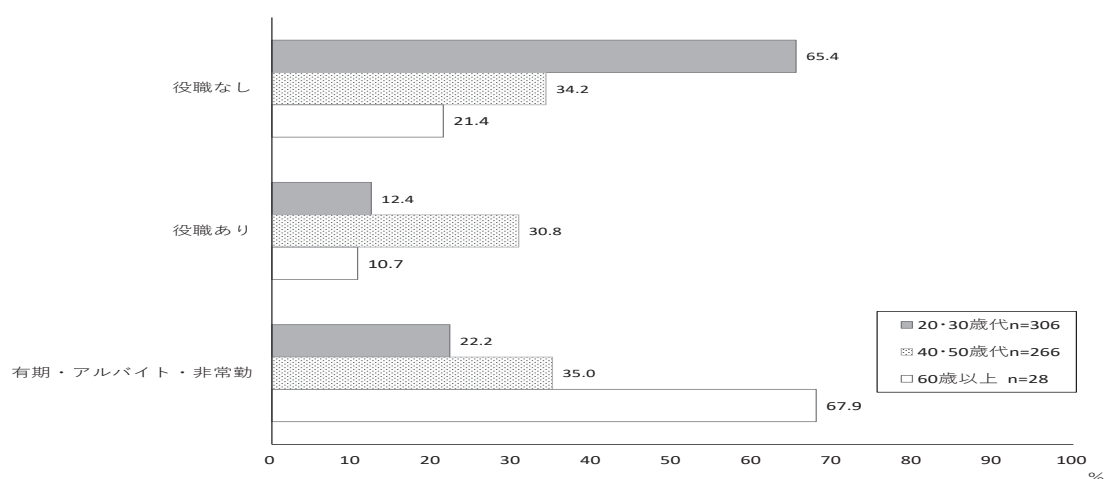


図24-A 年代別現在の仕事上の役職

学部別では、現代社会学部で「役職なし」の割合が高かった。現代社会学部の卒業生に「役職なし」の割合が多いのは、今回の回答者のうち現代こども学科卒業生の割合が高く、教職についているものが多いためだと思われる。また現代こども学科は2008年度に第一期生が卒業したばかりで、一期生でもまだ30代半ばであり、一般的に教員の管理職試験は40歳以降でなければ受験できないことが多いことから、現代社会学部に「役職なし」の割合が多いものと推測される。

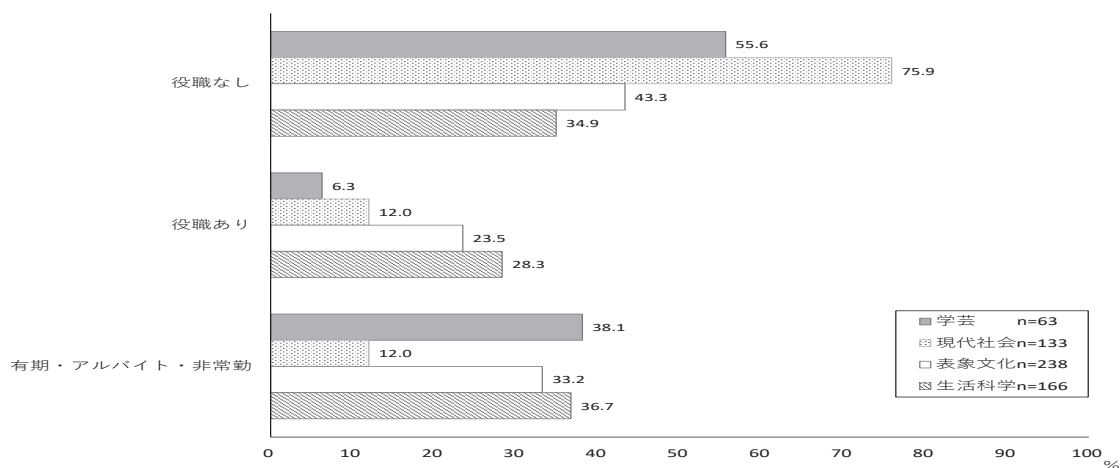


図24-B 学部別現在の仕事上の役職

(6) 現在の収入について：Q21-(5)

現在仕事に従事している人の収入について年代 3 区分別の結果を図 25-A、学部 4 区分別の結果を図 25-B に示した。

年代別では、60 歳以上では「200 万円未満」が 6 割を占め、20・30 歳代では「400 万円未満」が 5 割を占めていた。40・50 歳代では「700 万円以上」が 17.0%であった。40・50 歳代は役職者が約 2 割であり、収入と役職とが関係していると思われる。

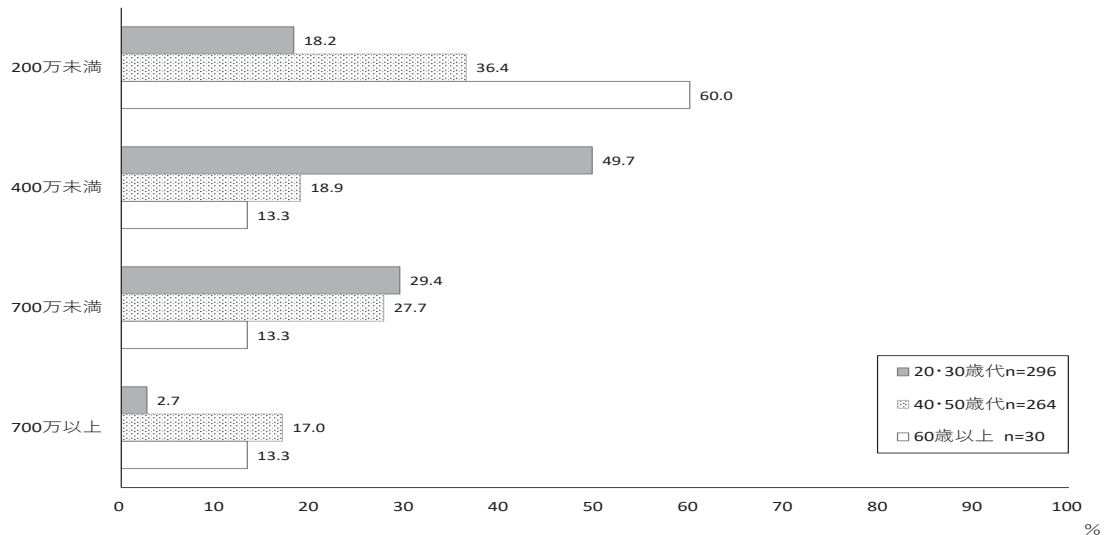


図 25-A 年代別現在の収入

学部別では、「400 万円未満」で学芸学部・現代社会学部の割合が高いのは回答者の年齢層が低いこと、「700 万円以上」では表象文化学部・生活科学学部で割合が高いのは、回答者の年齢層が高いことと関係していると思われる。

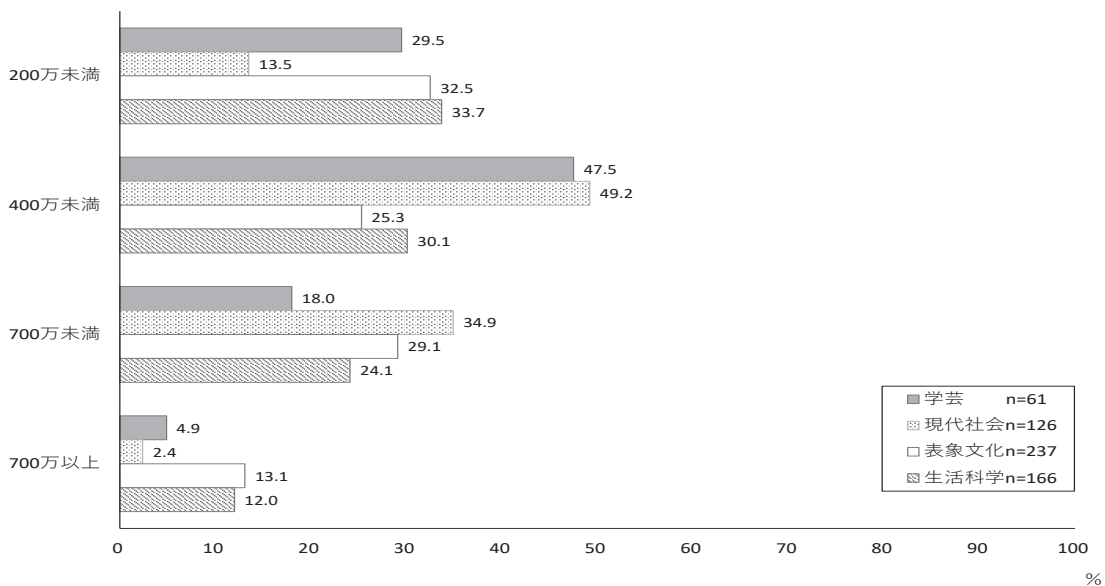


図 25-B 学部別現在の収入

5) 免許・資格の取得状況：Q22

卒業生の取得した免許・資格について複数回答で聞いた。年代 3 区分別の結果を図 26-A に、学部 4 区分別の結果を図 26-B に示した。

年代別では、20・30 歳代で「小学校教員免許」「幼稚園教諭免許」「保育士」、40・50 歳代、60 歳以上で「中・高教員免許」の免許・資格の取得が高かった。

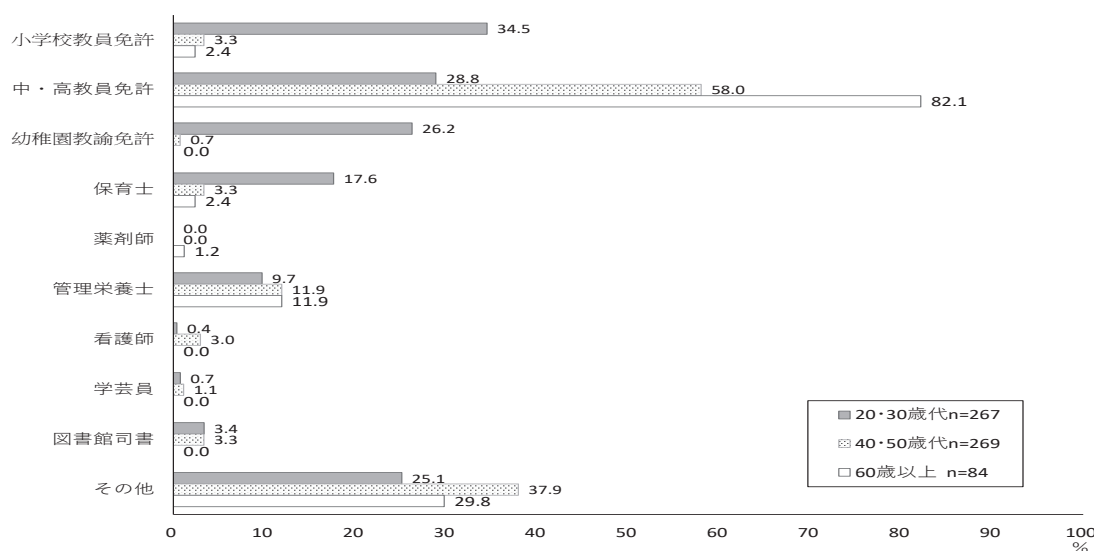


図 26-A 年代別現在の免許・資格の取得状況

学部別では、学科の特徴が出ていることがわかった。中・高教員免許は学芸学部・表象文化学部・生活科学学部で割合が高かった。小学校教員免許・幼稚園教諭免許・保育士は現代社会学部で割合が高かった。また、管理栄養士は生活科学学部で割合が高かった。今回、薬学部 8 名、看護学部 2 名の対象者を除外した分析であった。しかし、4 学部の卒業生の中に、卒業後薬剤師や看護師の免許を取得した卒業生がいると思われる。

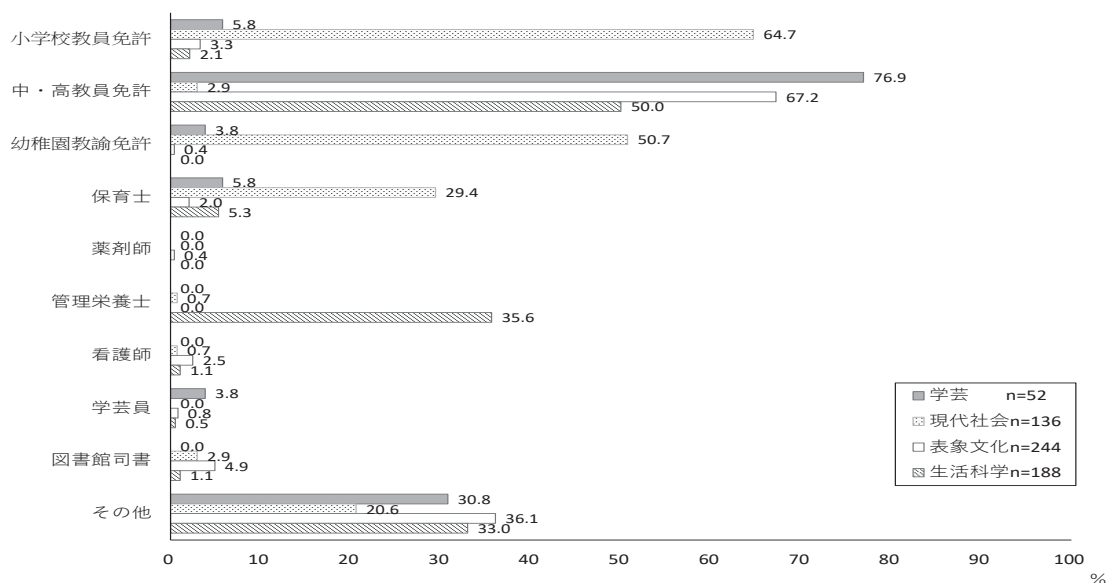


図 26-B 学部別現在の免許・資格の取得状況

6) 大学在学中のキャリア教育・支援

(1) 大学在学中で就職する上で役に立った内容：Q23

大学在学中に、就職時に役立ったり、心の支えとなった内容について7項目を設定した。質問選択肢の「とても」「比較的」を「役に立った」、「あまり」「まったく」を「役に立たなかった」に再区分し、分析した。年代3区分別の結果を図27-A、学部4区分別の結果を図27-Bに示した。

年代別では、「友人との交流」「教員からの教え」「キャリアに関する科目」は20・30歳代が40・50歳代、60歳以上より高い割合を示していた。「学部・学科での専門的な学び」は20・30歳代、60歳以上が40・50歳代よりも高い割合を示し、「キリスト教科目」は60歳以上が若い年齢層よりも高い割合を示していた。

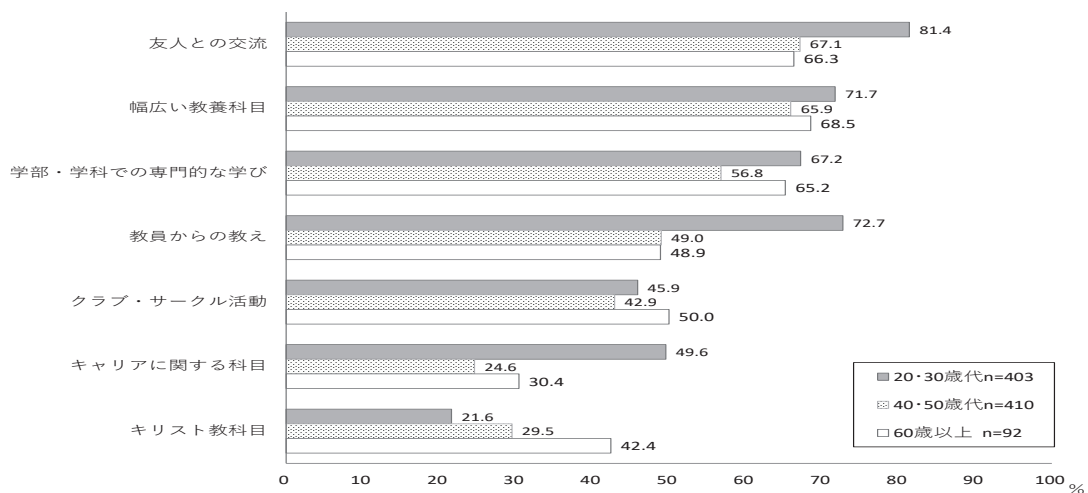


図 27-A 年代別大学在学中の就職する上で役立った内容

学部別で特徴的なのは、現代社会学部で他の学部よりも「友人との交流」「教員からの教え」「キャリアに関する科目」が高く、「キリスト教科目」が低い割合であった。「キャリアに関する科目」は近年設定された科目であるため、回答者が比較的若い層の現代社会学部で高い割合を示したと思われる。

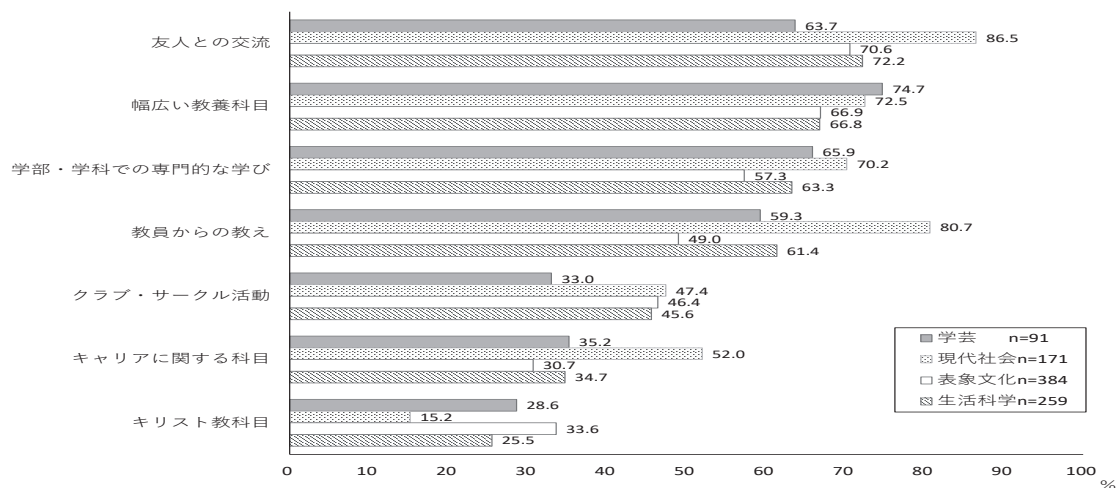


図 27-B 学部4区分大学在学中の就職する上で役立った内容

（２）大学在学中のキャリア支援：Q24

在学中のキャリア支援で、就職する際に最も役に立った内容を一つだけ聞いた。上位５項目の結果の年代３区分別の結果を図 28-A に、学部４区分別の結果を図 28-B に示した。

各年代区分とも「学科の専門科目やゼミ」が最も高い割合で、次いで「教養に関する科目」「就職ガイダンス・セミナー」であった。「学科の専門科目やゼミ」が就職につながるということがわかった。

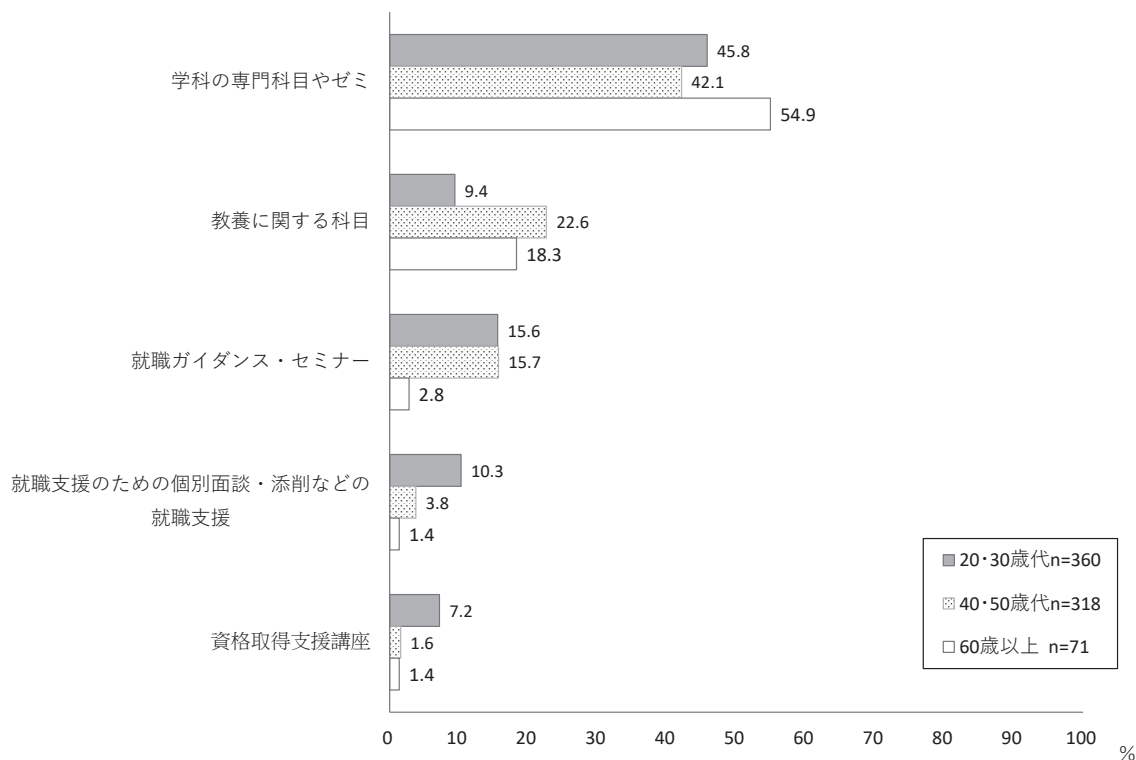


図 28-A 年代別在学中のキャリア支援で最も役に立った内容

学部別では、「学科の専門科目やゼミ」では表象文化学部、「教養に関する科目」では現代社会学部が他の学部よりも割合が低かった。「就職ガイダンス・セミナー」「就職支援」などは各学部とも１割程度であった。現代社会学部のうち現代こども学科の学生は就職先として教員を希望する割合が高い。一方、キャリア支援部での支援は企業を対象としたものが多くなること、また、現代こども学科の学生は学科教員との結びつきが強く、学科教員が教職に就くための指導を行ったり、教職課程センターがあるなど、キャリア支援部以外での支援体制が整っていることなどから、例年、キャリア支援部が主催するガイダンス等への参加率が低い状況である。一方、「就職支援のための個別面談、添削などの就職支援」の割合が他学部に比べて現代社会学部（現代こども学科）が高いのは、教員採用試験に向けた書類添削や模擬授業の練習などで利用するためである。

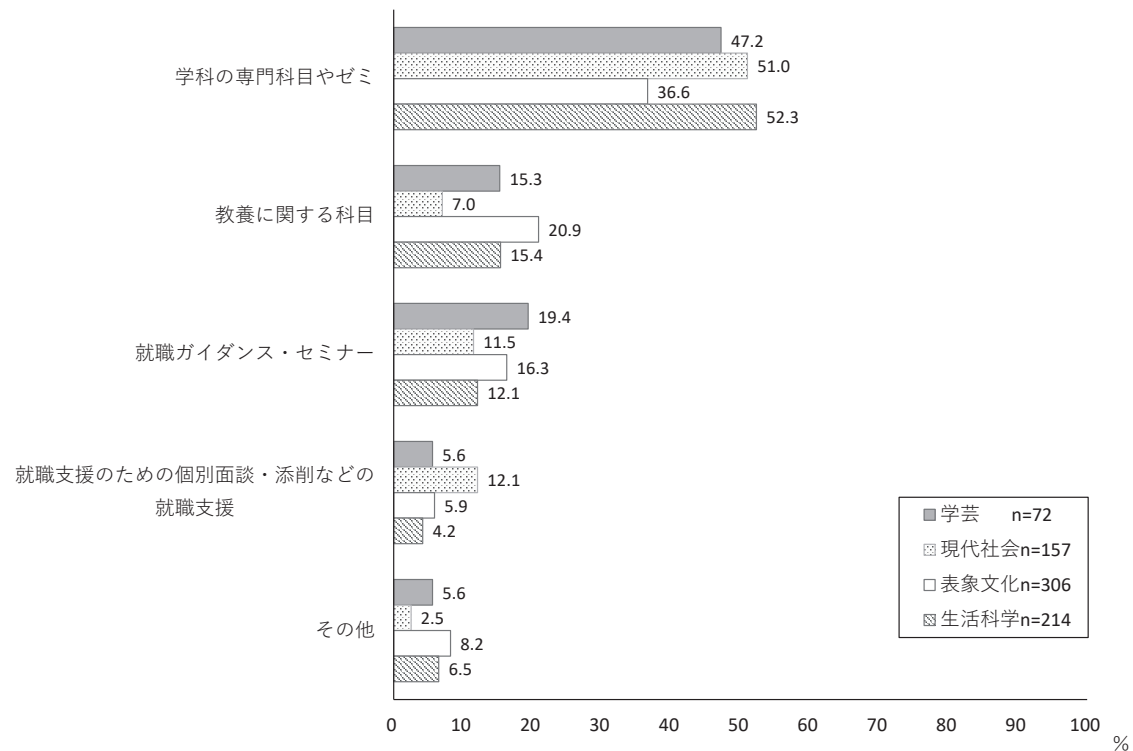


図 28-B 学部別在学中キャリア支援で最も役に立った内容

7) 女子大学の意義：Q33・Q34

女子大学に在籍してよかったことがあったかを聞いた。「ある」「ややある」を「ある」、「あまりない」「ない」を「ない」に再区分し、分析した。年代3区分別の結果を図 29-A に、学部4区分別の結果を図 29-B に示した。どの年代も、どの学部も 8～9 割が「よかったことがある」と回答していた。

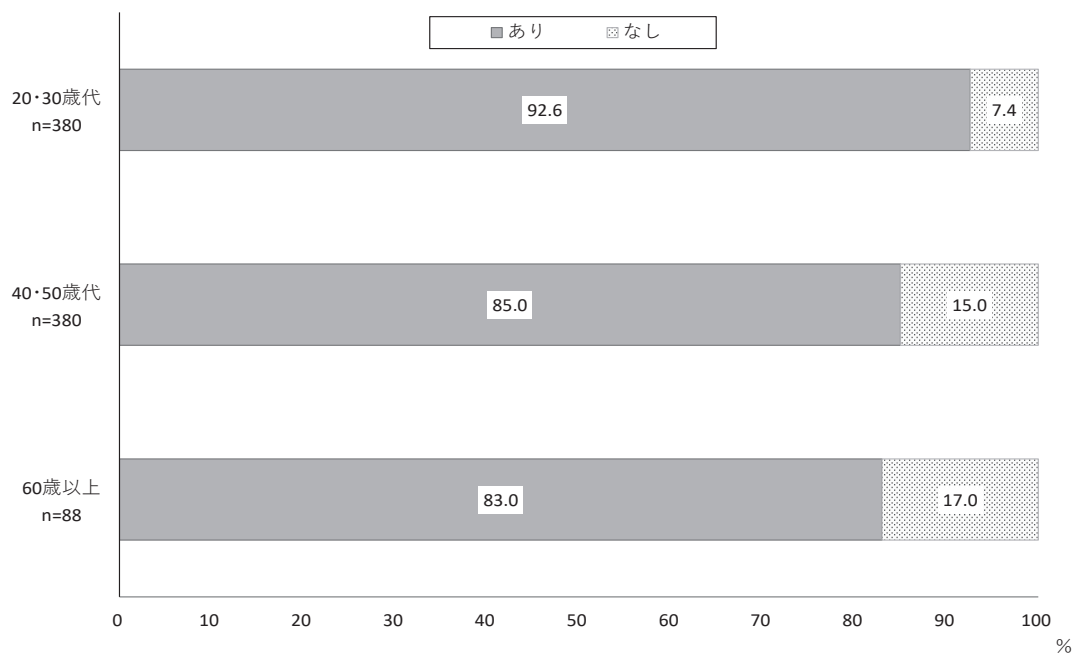


図 29-A 年代別女子大学に在籍してよかったことの有無

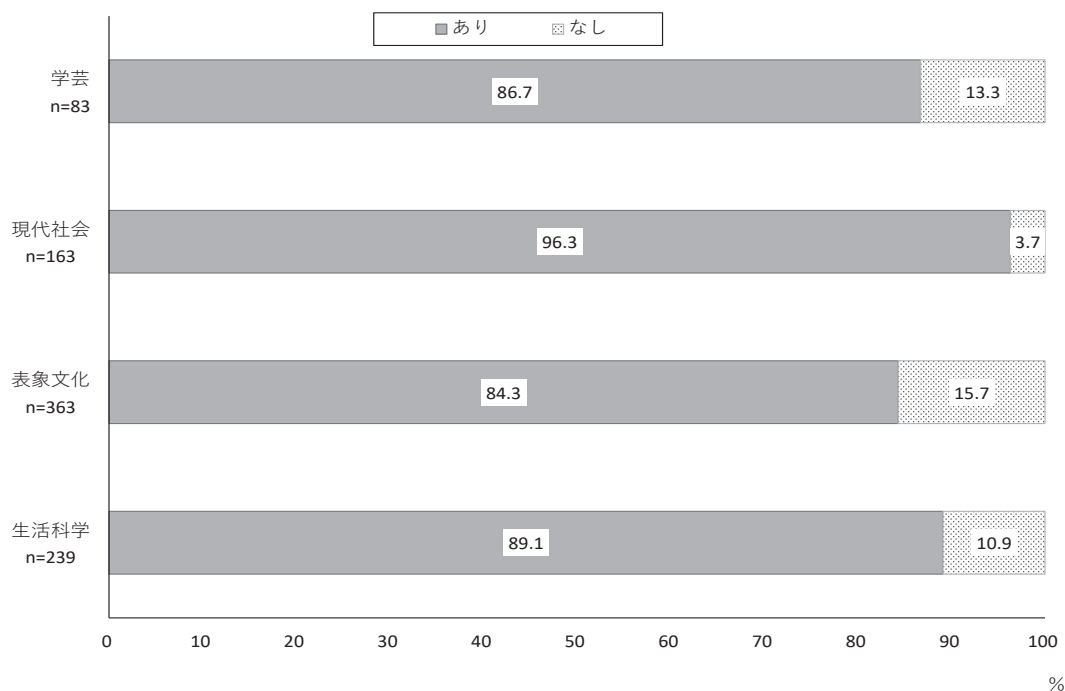


図 29-B 学部別女子大学に在籍してよかったことの有無

女子大学に在籍してよかったことが「ある」と回答した人を対象に、最もよかったことを1つだけ聞いた。年代3区分別の結果を図 30-A に、学部4区分別の結果を図 30-B に示した。

どの年代区分も「男性の目を気にせず自由にのびのび活動できた」が高い割合であった。20・30 歳代では「広い視野で見ることができた」、60 歳以上では「積極的に行動することができた」が他の年代区分より若干高い割合を示していた。

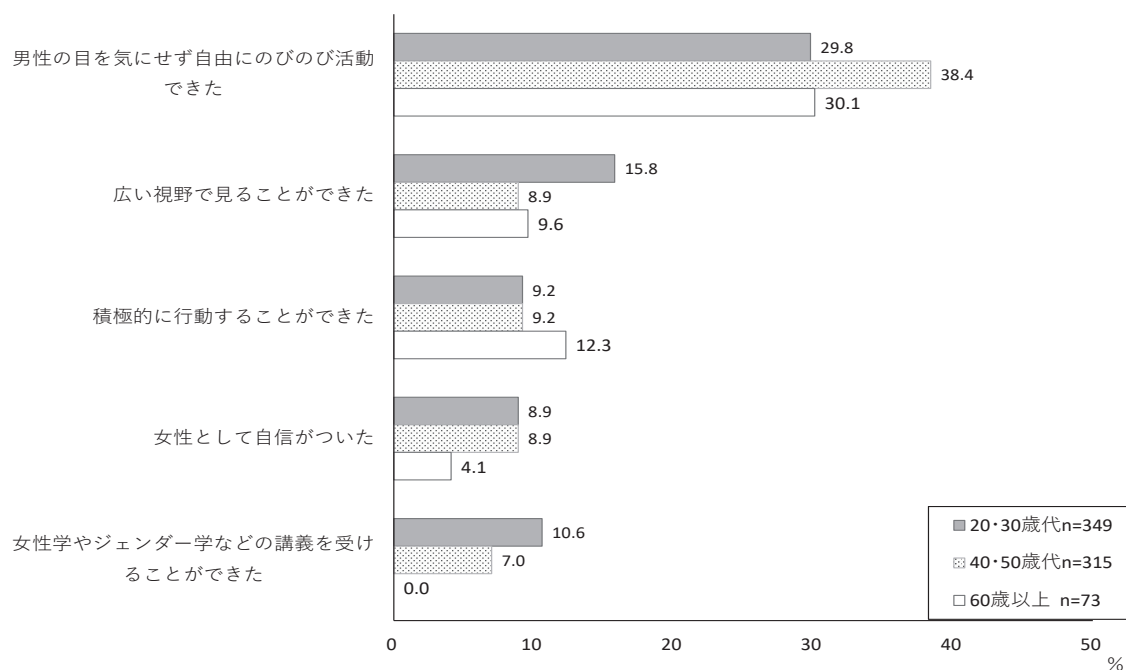


図 30-A 年代別女子大学に在籍して最もよかった内容

学部別では、「男性の目を気にせずのびのび活動できた」は表象文化学部と生活科学部の割合が高かった。これは、回答者の年齢層が高いことと関係していると思われる。一方、「広い視野で見る事ができた」は学芸学部・現代社会学部が他の学部よりも高い割合であった。「女性学やジェンダー学などの講義を受けることができた」が現代社会学部で高い割合だったのは、学部でこれらに関する独自科目が設定されていたためだと思われる。

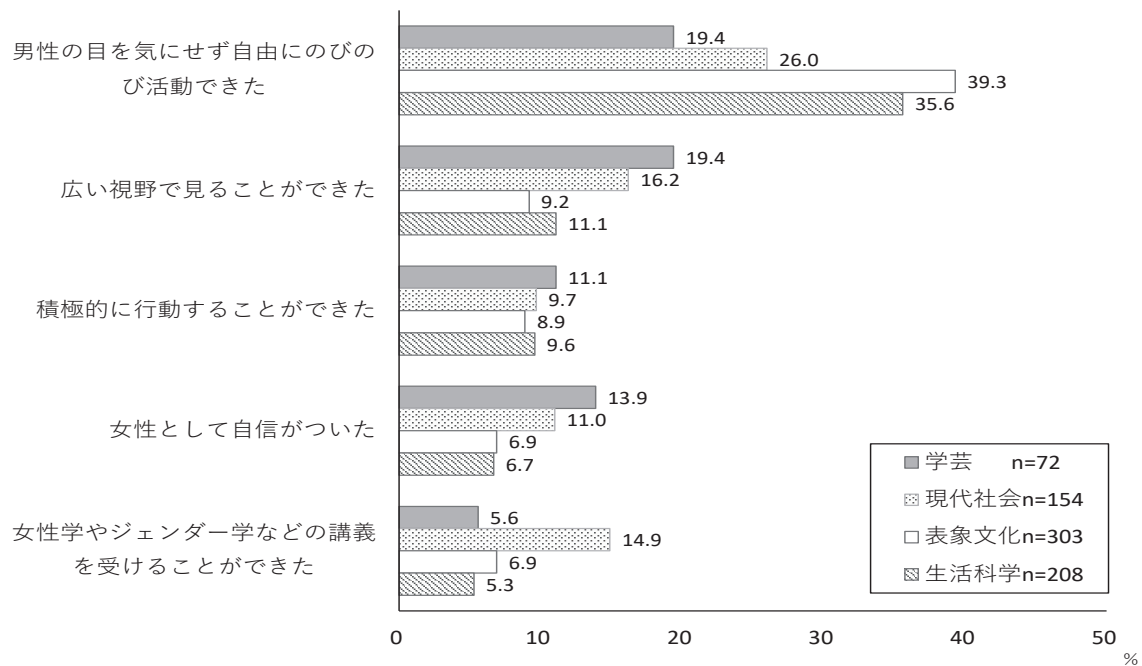


図 30-B 学部別女子大学に在籍して最もよかった内容

Q34. その他（女子大学に在籍したことで良かった理由）自由記述

- ・生涯の友人ができた
- ・礼拝等のキリスト教教育(キリスト教主義含む)
- ・キリスト教精神に基づき、学生を大事にする事に卒業してから気づいた
- ・キリスト教教育、環境、自分たちの大きな財産になりました
- ・良い先輩、同僚と知り合えた
- ・見本にしたい友達が何人もいた
- ・卒業後同窓会で友人に恵まれた
- ・前向きに学ぶ生徒が多く、女子大に対するイメージはマイナスからのスタートだったが、結果友人関係ではかなり恵まれた
- ・キレイなキャンパスで心地よく大学生活を過ごせた
- ・大学が綺麗で設備が整っていた
- ・四年間の寮生活で学んだ団体生活、人との関わり方、いろんな仲間の生き方、全てが宝物。何年経っても、感謝の気持ちでいっぱいです
- ・福祉や看護医療の仕事に就いた友人が多く、特に子供と関わる分野の仕事に就いた友人が、私が子育てについて困っている事があれば相談に乗ってアドバイスをくれる

- ・高田峯尾先生に出会えて卒論指導をして頂いたこと。個人的にも色々、相談に乗って頂いたこと、今でも感謝しております
- ・卒業後、上野瞭先生の晩年学フォーラムに学び、児童文学の世界を知ったこと
- ・学科やゼミの先生方に細かな指導をしていただいて、人生に役立つ深い学びがあった
- ・男性にしかできないと思いこんでいたことも、知恵と工夫次第では女性でもできると実感できたから
- ・女性としての教養を身につけることができました
- ・女性の多い環境で仕事をするイメージが沸いた
- ・女性にはいろんな生き方があってどんな道だろうと逞しく生きていけるよう教授や先輩方を見て学ぶことができた
- ・男性がいれば自然と仕切るのは男性となる社会だが、強い女性リーダーでなくても普通に意見を言う環境だったと思う
- ・女性だけの雰囲気を知ることができた
- ・総合大学より人数が少なく、いい意味で小ぢんまりしているので、勉強に集中できた
- ・自由な時間を過ごすことができた
- ・同志社女子にいったおかげで、京都の老舗の企業にいったと思う
- ・京都という歴史のある町で大学生活を送れたこと
- ・学内設備やカリキュラムが女性向けで学生生活が快適でした
- ・大卒ということで、引け目が少ない
- ・直感
- ・失礼ながら女子大学なんか行きたくないと思っていたが、必ずしも悪いことばかりではない(ex. 思ってたほど陰湿でない、学びは減るが男性の目は気にしないでよい)と偏見が軽減された
- ・当時は短大が一番就職率が良かった
- ・無謀な事を強要しない雰囲気は良かった
- ・自分で考え、行動するという社会人としての基礎を学ぶことができた
- ・ネームバリュー
- ・卒業後に素敵な先輩卒業生との出会いがあった。
- ・女子大卒は現在の職・業界ではマイナーだが、同志社ブランド力が少しあると感じる

3. 大学への要望：Q35

記入者は、回答者全体の約 25%であり、主なものを抜粋した（下記参照）。

記述内容から 16 のカテゴリに分類した。継続教育の関連として【生涯学習のための講演会・セミナー・講座の開催】【通信教育・Web システムを活用した支援】【キャリア教育】【京都以外での講演会等の開催】、大学からの支援希望関連として【資格取得支援】【就職・転職支援】【学部授業の受講等の希望】【大学施設の卒業生の利用】、卒業生の交流関連として【ホームカミングデーの継続】【卒業生と在学生および卒業生同士の交流促進】【同窓会の企画・卒寮生の集い】、在学生へのメッセージ関連として【在

学生への進路アドバイス】【卒業生からのメッセージ】であった。その他の分類として【感想】【大学への要望】【アンケートへの要望】であった。

全体的に、卒業生同士および卒業生・在学生間の交流を望む声が多く、京都府以外での講座やイベント開催を希望されている。卒業後も勉強を継続したいという学習意欲旺盛な声が多かった。また、再就職（転職）支援の要望も多かった。女子大学である母校の将来へ期待する声も大きい。現在、すでに行われている行事等も多く、卒業生へ本学の最新情報が十分に伝わっていないと思われる。

自由記述

1. 継続教育関連

『生涯学習のための講演会・セミナー・講座の開催』

- ・卒業生も参加できる講座やイベント開催。
- ・現在の仕事内容や資格を活かした講座などを、同志社女子大の在学生向けに開催できるようなシステムがあると良い。
- ・卒業生に対しての希望は特にはないですが、卒業生の中に在学生のお手本になるような方がいたら、在学生対象に講演会や何か話を聞ける機会を作ればよいかもしれません。進路に悩む在学生達が、卒業生の話を聞く事で将来のビジョンを描く何かしらの助けになるかもしれませんので、また何かのご参考にされて下さい。
- ・卒業生も自由に参加できる講演会や研修会の実施、もう一度勉強できる機会が欲しい。
- ・興味深い講演会。
- ・有名人の講演、教授の講演。
- ・高齢化社会、介護問題などの情報発信と講演会の企画。また、講演会など平日が多いですが、土日などにあると参加できて嬉しいです。
- ・栄養、調理、子育てなどの議題で、公演・体験などがあればいいなと思います。
- ・日本語教授法や日本語教育についての講義。夏休みの時期にあると海外在住組にはとてもありがたい。海外在住組で日本語教育に従事している人は学部問わずかなり多いはずなので、需要は大学外にもあるはず。
- ・現在行っている教養講座等はぜひ続けていただきたいと思います。今は忙しくて行けないことが多いのですが、興味深い内容が多々あり、案内はいつも読ませて頂いています。時間が出来れば行きたいと思いますので、よろしくお願いします。
- ・女性のための、マネー講座があると嬉しいです。この春までは、在学生だったので、勉強したいと思います。
- ・難しいですが…子女の優先的な入学があればいいなと思います。セカンドキャリアの支援があればうれしいです。
- ・色々なセミナーなどを開催してほしいです。
- ・卒業生が気軽に参加できる教育講座（硬・軟問わず）をもっと増やしてほしい。
- ・卒業生に対してのセミナー、現在同窓会で行われている様なものはいいと思います。

- ・卒業生や一般の方に対する学術的なセミナー。
- ・今後も講演会等を通して卒業生が学校に足を運ぶ機会があることを希望します。高齢化社会となりましたが年齢を重ねても若い人たちと学ぶ場としての企画があることを希望します（講演会など）。
- ・夜間に学び直しの講座やイベントが開講されると嬉しいです。
- ・学部を超えたカルチャースクールのような講座が受講できると嬉しい。お料理教室、歌唱レッスンなど。
- ・講習会や勉強会などの機会をたくさん増やしてほしい。学ぶことに終わりはありません。
- ・時間がある時にいつでも学べるような生涯教育の機会を設けてほしい。
- ・社会人の学びなおしの場合（実践に役立つような）や生涯教育の場をもっと提供して欲しい。
- ・女性としての生涯教育、講演の機会を増やす。ジェンダーフリーなど、最新の教育に関する最新の情報を発信して欲しい。
- ・キラキラ起業女子だけでなく、フツウの働き女子に対してもセミナーを行って欲しい。
- ・卒業生も参加出来るセミナーなど。
- ・リカレント教育。
- ・関学のハッピーキャリアプログラムのようなリカレント教育を梅田あたりで行って欲しい。
- ・私は SK 卒業生なのですが、大変興味があったテーブルマナー講座やお茶の淹れ方講座等、学生時代には実習の関係で全く行くことが出来ませんでした。人一倍、食に興味関心が強い SK 生ゆえに、その機会が得られなかったのは大変悲しかったことを覚えています。願わくば、卒業生に対しても VINE の会などを通して、今後開催いただければ是非参加させていただきたいです。ご検討のほどどうぞよろしくお願いいたします。
- ・育児に関するセミナー。
- ・女性として、母として、妻として…学生の頃から立場が変わった私たちになにか為になる講義や交流会があればいいなと思いました。
- ・ビジネス交流会。
- ・ワーキングマザー交流会やセミナーや勉強会してほしいです。
- ・他大学の通信教育課程に同志社女子大学在学時とは全く違う分野に 3 年次編入し、現在その大学の大学院に在籍しております。女性の働き方などを研究のテーマにしており、調べ物をした流れでこちらのアンケートフォームを見つけました。自分の経験から大学は社会人もどんどん受け入れる場であると考えています。
- ・女子大学として日本女子大学や京都女子大学のようなリカレント教育の場を設けるご予定はないのでしょうか？一度働くことを辞めた高学歴女性が社会復帰する為の後押しをするような取り組みをされることをこのアンケートを機に考えていただけると嬉しいです。
- ・セミナーや講演会、いくつになっても進学への道を教えてほしい。そうそう、年金についてなども。生活に根ざしたことと知的意欲をかきたててくれること・・・。いろいろな分野の人のお話をききたい。

『通信教育・Web システムを活用した支援』

- ・資格取得の Web 講座を受講できますが、実際の講義を受けられる講座があればいいなと思います。

- ・インターネットでの講義を取ることで、大学院を卒業できるシステム。
- ・京都府以外でも講義などを行ってほしい。また、インターネットで視聴できるようにしてほしい。
- ・引きこもりや病気になった卒業生への支援。再出発の支援。母校から遠隔地の田舎に住んでいると、セミナーに参加したり、科目等履修生や聴講生になったりが難しいので、インターネット中継等があるとありがたい。
- ・通信教育を卒業生も受講できるのは良いと思います。自分でも通信教育を受けたことがありますが、もっと若い時にそうならなっていたらと残念です。これからのことは思いつかず申し訳ございません。
- ・卒業生に向けての web 資格支援講座には興味があり、とても良い制度だと思います。通学の講座は子持ちからするとやや通いにくいので。
- ・医学・科学は日進月歩で、栄養士の知識は日々アップデートしていかないとはいけません。オンラインで定期的に、新しくなった法律や疾患のガイドライン、食事摂取基準など学べる講座があれば受講したいです。

『キャリア教育』

- ・キャリアアップの講演会に行きたい。
- ・就職するのにすごく苦労した。キャリア教育を充実してほしい。
- ・私が卒業する頃は就職ガイダンスはありましたがキャリア教育はなかったように思います。結婚しても子どもを持っても仕事を続けていくことは自分自身を、家族を支えていくことを強く思います。私自身のキャリアは宙ぶらりんですが。
- ・卒業生にではないですが、自分自身が就職に苦労したほうなので、1 回生から就活の話に限らず、長い目で社会に出ること(華やかな人は一握りで、地味に必死になって働いている方が多いことを知ったうえでどのようなキャリアを築いていきたいか)を考えられるような講義などがあれば良かったなと思います。
- ・卒業生を活用することで、在学生のキャリア展望やネットワークが広がり、卒業生として何かお役に立てれば幸いです。また、卒業生間の創発的なネットワーク形成としても期待しています。
- ・社会的で活躍している OB などと身近で話せる機会がもっとあるといいかなと思う。そういう意味では、リユニオンは素敵だと思う。
- ・卒業生に対してではなく、卒業生を巻き込んでというニュアンスになりますが比較的年齢が浅く自立している卒業生の話を聞く機会が大学内でたくさんあれば楽しいと思います。CA の人の話であったり、先生になった人の話、大手の OL の話など、毎回スポットを当てて展開する授業があれば楽しいし勉強になるのではないのでしょうか。私の時も卒業生のお話を伺う機会がありましたが子育てを終えた世代の方が多かったように思います。卒業生にとっても、今の在学生が将来を描けるといことは喜ばしいことだと思いますし、その授業の内容を卒業生にも何かしらの形で配れたら、在学生だけでなく卒業生も視野が広がるのではないのでしょうか。

『京都以外での講演会等の開催』

- ・色々な講演会やイベントを、京都以外の地でも開催して欲しいです。
- ・地方での講演会等を行ってほしい。

- ・同志社大学の東京オフィスのように東京でも学べる機会が欲しいです。
- ・今年、初めて親友とホームカミングデーに行きました。卒業して以来でした。懐かしい！！あの頃の事が、いろいろ甦ってきました。ところで要望ですが、講演会など、是非伺いたいのですが、やはり京都が多く、東京方面でもいろいろ催していただければ、と思っています。よろしくお願い致します。
- ・いま東京に在住しているため同女とは疎遠になっていますが、年齢のせいかわしょうに学生時代や京都がなつかしくもあります。東京で同女主催の講義（語学、京都にまつわる講座など同女ならではの講座）があれば、時間のできた今だからこそぜひ受講したいと思います。
- ・自分が在学中になかった学科も多いので同志社女子大として東京で学べる講座などを開講してほしい。直接関係ない話で申し訳ありません。
- ・東京で働いている女性の交流会。
- ・地方での文化的行事、講演等。
- ・地方（僻地等）でのインターンシップを盛んに行っていただきたい。
- ・京都以外の遠隔地に住む卒業生への支援（就職相談　キャリアアップ相談　教養や学びのサポート）。
- ・京都以外の場所でサテライトオフィスを設け、社会人用に資格を取れる講座をしてほしい。もしくはそれに近い形で在学時取れなかった資格を取れるサポートをしてほしい。図書館司書や博物館学芸員など。

2. 大学からの支援希望関連

『資格取得支援』

- ・大学の授業の聴講や、講座などをもっと充実し、受講しやすくしてほしい。また、今に至るまで、生活科学部の管理栄養士専攻科以外の食物、生活科学科でせめて栄養士の資格を取れるようにしてほしい。関西の他の女子大では、取れるのに4年出てもその資格を満たさないのは疑問である。卒業しても、再就職にも需要があり使える資格である。
- ・資格講座の種類を増やしてほしい。
- ・資格支援講座、社会人向け講義など。
- ・資格支援。子ども(卒業生の子ども)の習い事→英会話、ピアノや声楽などの音楽系、料理教室、など、現存する学部学科に沿ったもの。
- ・社会に対して自信をもって生きていけるようなバックアップ。資格支援の内容の充実（学部に関係ない資格も、人生の中では必要になったりすることもあるので、できるだけいろいろあるといいと思う。）
- ・昔の卒業生でも、フードコーディネータ等の資格取得できるように、不足単位があるならば受講可能にしてほしい。また、色々な資格取得が出来る様になったみたいですが、地方の場合その地域でも関連企業での受講可能になるとうれしいです。
- ・資格取得の通信教育の数が増えると有難い。ファイナンシャルプランナー1級、アナリスト、宅建、インテリア関係など。
- ・資格が取れる講義を増やしてほしい。
- ・何らかの資格取得するための講習会やセミナーなど、興味のあるものがあれば受けたいです。

- ・卒業後の資格講座の受講の機会などがあり、とても感謝しております！是非、これからも続けて頂けると嬉しいです。よろしくお願い致します！今は、フリーランスで司会や研修講師をしているのですが、パートナーが住宅会社を経営しており、今年からそちらの仕事にもジョインする事にしました。大学からのパンフレットを見ていたところ、宅建士の資格講座も受講できると知り、こちらをウェブで受講させて頂き、来年、宅建士の資格取得を目指そうと考えております。
- ・卒業生対象の資格取得の講習（週末に開催されるようなもの）やセミナーを年2回くらいのペースで実施していただければと思います。
- ・卒業生向けの資格講座の通学がとてもよかったので、春にも通えるようにしてくださると嬉しいです。
- ・卒業生向けの資格取得支援はとても助かります。他に受講科目が増えると嬉しいです。
- ・世間一般的には、気持ちはまだまだ働けるのに出産や子育て等、家庭の事情で仕事を辞めざるを得ないのは圧倒的に女性が多いです。資格取得支援等を行われているのは承知していますが、一度辞めてしまった女性が社会に復帰できるようなキャリア支援があれば女子大ならではのかな、と思います。
- ・海外在住の卒業生でも関われるようなイベント、海外からでも受けられる資格講座など

『就職・転職支援』

- ・私、娘2人が同志社女子大学の卒業生ですが、就職を決めるときに大学で支援があったとかお世話になった経験がなく、独自で就活をしていたと思います。末の娘が今、同志社女子大学目指して頑張っていますが、彼女の就活の時には何かしらの支援があることを期待します。（看護学科を志望しているので就職に関しても本人もシビアに考えているようです）
- ・自分が就職したい企業等に積極的に指導をして欲しい。
- ・今となっては仕方が無いのですが、かなりの不況で就職先がない状態で、就職できないまま放り出されてしまった感があります。もう少しUターン就職や既卒者でも就職できない人に、大学の推薦などが受けられる就業先の斡旋が欲しかったです。
- ・随分前に卒業した学生に対しても、就職支援と資格取得支援の更なる強化を継続していただきたいです。
- ・就職志望以外の人が相談しやすいところがあったらよかったとも思います。
- ・就職支援。転職活動をしている卒業生にも何かしらの情報提供や支援が欲しい。（娘も卒業生だが、就職活動時に支援はほとんどなかった記憶です）
- ・第二新卒世代を対象にした転職支援。
- ・互換留学後の人への就活サポート。海外を見た後だと、日本の就活に違和感があり、まったく就活へのモチベーションが上がらなかった。
- ・ロスジェネ世代に対して、助けの手を差し伸べて頂きたいです。
- ・女性として社会に出て何が大切か、子育てママの再就職の現実など。
- ・栄養士も細分化しているので、特に再就職する時に情報があると良い。
- ・再就職講座(中高年に向けての)定期的なカルチャー講座。
- ・再就職先の支援。

- ・結婚、出産を経てブランク後の再就職をサポートしていただける取り組みがあると助かります。
- ・再就職情報などの支援。(パート・アルバイト可)。
- ・出産後の再就職支援などあれば嬉しいです。
- ・就職やパート、アルバイト、要は仕事の紹介をしてほしい。
- ・卒業生であることの強みをいかした仕事の紹介。
- ・現在他大学で非常勤講師として働いていますが、卒業生に非常勤講師の公募などがあれば優先的に教えてほしい。

『学部授業の受講等の希望』

- ・講座などもう一度深めたいものがあるので、公開授業を希望します
- ・定年になったから、公開講座とか、卒業生も受講できる授業があったら…と思います。
- ・ブラッシュアップの為に、また、新知識習得の為に専門科目を受講させて欲しい。
- ・音楽のレッスンをしてほしい。(自分の場合はピアノと声楽が必要)
- ・小学校の教員免許更新などで、教わった先生方の講義を受けたいです。
- ・音楽科授業の聴講。
- ・卒業生に年に数回、講義受講費を支払いますので、学科専門の講義を開講して欲しい。
- ・私は貴学の短期大学部を卒業後、他の大学に編入して卒業しました。その後、教職をとりたいたったのですが、貴学では、貴学の四大卒業生でなければ、科目履修生になれないと書いてあったので、断念しました。在学中はあまり勉強しなかったことが悔やまれたので、その分を取り戻したいと思っていたのですが、残念です。
- ・卒業生の中で、社会人大学生、大学院生として勉強を再開したいと思う人達を優先的に受け入れて欲しいです。私は、今後進学していく2人の子供の学費を払っていかねばならず、自分が、私学の大学生、大学院生として勉強していく為の予算がありません。社会人大学生、大学院生への助成金や奨学金制度が充実していれば、同志社女子大、大学院で、勉強するチャンスにも恵まれるかもとは、思います。英語関係の更なる研究が、したいと考えております。

『大学施設の卒業生の利用』

- ・ラーニングコモンズ内の設備(Wi-FiやAV機器等)を有料でもよいので利用できるようにしてほしい。
- ・施設の利用(無料)。
- ・施設の解放
- ・転職活動において、キャリアセンターでの相談等、学部生と同様に使えるようになればいいなと思います。

3. 卒業生の交流関連

『ホームカミングデーの継続』

- ・EVEの時にも、ホームカミングデーのような事ができたら良いです。
- ・今の大学にすごく行ってみたいです。ホームカミングデー以外にも行ける機会があるといいです

- ・卒業後も大学のことを思い出したり、遊びに行けると嬉しい。具体的には思い浮かばないが、家族も参加可能な現在のホームカミングデーなど継続していただきたいと思う。まだ参加したことはないが、知らせを見ると思い出すし、いつか行きたいとは思っている
- ・ホームカミングデーなど、十分にしてもらっていると感じている。
- ・ホームカミングデーをこれからも続けてほしい。毎年、参加しています。
- ・ホームカミングデーのように気軽に母校に帰れる機会が増えるといいと思います。年に一度だとタイミングが合わずなかなか参加できていないので。
- ・現在既に行っている、ホームカミングデーやネットでの学び放題や地方都市での同志社交流会など、自分は参加できていませんが良いと思います。
- ・遠方であることと子どももいるので、なかなかホームカミングデーや地方での総会などの行事に参加できませんが、年月が経過して、自由の身になったら、もっと楽しみたいと思っています。
- ・ホームカミングデーや冊子などが送られてくると母校を身近に感じます。これからも続けて欲しいです。
- ・ホームカミングデーに一度は行きたいと思っていますが、日曜日は自分の教会に出席、役割もあるため、かないません。一度は土曜日にしていただけませんか？

『卒業生と在学生および卒業生同士の交流促進』

- ・年齢や生き方を越えた交流ができる機会があるといいな、とおもいます。また、在学生とのつながりができるといいな、と思います。例えば、私は自分で組織を立ち上げて研究と仕事を両立しているのですが、街づくりに関心のある学生にとっては、インターンとしてよいフィールドだろうな、とおもいます。そういう学生とつながれる仕組みがあるといいな、とおもいます。
- ・卒業生との連携（モデリングのために）。
- ・ともに同女の理念を大切にしながら、社会課題を考え社会を創造していく仲間として、卒業生と学生、教職員が互いに学び合える機会を設けていただきたいです。講義・講演形式ではなく、ワークショップなどアクティブ・ラーニングで。
- ・キリスト教の大学なので、各地域での教会で、同志社卒業生による音楽ミサの企画ができれば素敵かなあと思います。
- ・私は2010年にオーストリアの職場を退職して完全帰国しました。音楽学生が卒業後、どのような場で演奏家として活動しているかに興味があります。
- ・卒業後キャリアを積まれた方との交流の場が増えるといいと思います。
- ・いくつになっても刺激あえるような集まり。ただ公演をするのではなく、和気あいあいと質疑応答ができる場。
- ・卒業生同士の交流。特に他学部生、同世代、少し上の先輩との交流をしたい。卒業後ももっと大学とのつながりを持ちたい。京都とのつながりを持ちたい。
- ・たまたま、仕事で卒業生の方とお会いして、話も弾み、新しい繋がりができました。卒業生同士の交流の場を設けていただけると嬉しいです。
- ・卒業生と在学生の交流。「先輩（卒業生）との対談、先輩から学ぶ」といった、フレンドリーかつ実践的な機会提供。

- ・先輩の経験を聴く機会。
- ・講演会やホームカミングデー等の卒業生交流の場を今後も継続して欲しいです。在學生と卒業生が気軽に交流できる機会があればなお良いです。
- ・卒業生交流が、新たな友人や、社会人講師として職場に招く人との出会いの場になると嬉しい。
- ・各界で活躍している卒業生の紹介。また、そうでなくても卒業生の「私の生き方」的な紹介。
- ・卒業生のライフスタイルの紹介・多方面で活躍されている方々の詳細。
- ・学生会主催のクリスマスパーティーやパフェコンテストなどにまた参加したい。そうでなくても、卒業生を対象とした学生会主催の企画があれば良いと思う。
- ・卒業生同士のコネクションが広がるような異業種交流の場を設けては？
- ・卒業生同士を繋ぐ機会があれば有難いと思っています。就職するとその職種の人との付き合いが多いですが、他職種と話をできるような機会があると、自身のキャリア感が変わったり、仕事の幅が広がることもあるのかなと思います。
- ・働く女性イコール企業で一線で働いている人として、受け取られるが、もっと様々な分野で働いている方々と交流できる機会があると良いと思う。
- ・卒業生の異業種交流会の場の設定。
- ・現在もされていますが、異業種交流会や、先輩方の仕事に対してや子育てについて何か講演があれば、拝聴したいです。
- ・何らかの形でつながっていたいと思います。卒業生も気軽に来たり、学生と交流できる機会がもっと欲しいです。
- ・卒業生も参加できるイベントがもっと増えると良いなと思います。在校生とも交流を図りたいです。
- ・年代を越えて、学科ごとの交流会がありましたら、同じ業界の人との繋がりが増え、役立つこともあると思います。
- ・SNSなどで卒業生が交流できる場があると良い。

『同窓会の企画・卒寮生の集い』

- ・卒寮生の集いなど、企画してもらえたら嬉しいです。
- ・寮ごとの集まり。
- ・当時の寮生活の場面には同志社の精神がちりばめられていました。素晴らしい先輩たちの姿も見ることが出来ました。寮生活当時の思い出語る写真や文章を集めてみては如何でしょうか？文章というと大げさなので一言でも。寮母さんの言葉も思い出されます。ドラマの中の新島八重から繋がっていたんだと卒業後 40 年経って納得したことも多々ありました。その他には、もっと勉強しておいたらよかった、と後悔も。現在の方が学習意欲はあるのですが、機会を探しています。
- ・寮のホームカミングデーのようなものを実施してほしい。
- ・全体の同窓会ではなく、同じ学年、ゼミ単位の同窓会の支援をしてもらえるといい。卒業後連絡先のわからない人がたくさんいるが、久しぶりに会ってみたいので。
- ・男女、年齢関係なく、人はいつになっても自分の目標をもっていることが大切かと思います。学科ごとの同窓会的な会があればその道や進路、仕事で、悩んだり迷ったりしている方々に、経験の交流や、話ができるのではと思います。キャリアを積んできた方々はたくさんいると思うので、卒業

生のお役に立ちたいと思っている方は私一人ではないかと思います。例えば、私は栄養教諭でしたが、今栄養教諭を目指している人、仕事に迷っている人たちに何らかのお役に立ちたいと思っています。大学の講義では語れない本音が、出せる場所というのにも必要かなと思っています。いつまでも同女のことは、大好きです！

- ・ゼミのリユニオンは卒業生同士の情報交換の場にもなるので、教授がいらっしゃる限り継続してほしい。
- ・本学卒業生として、演奏専攻・音楽文化専攻を問わず自由に出演でき、かつ同窓会も兼ねたコンサートを学外でも開催して欲しい。特に、他所に引っ越した卒業生（私もそうですが）が移動・交通費の負担をかけずに現住所近くで出演できるよう、地域毎に開催してほしい。（地方入試のようなイメージで）
- ・同年代での同窓会などがあれば嬉しいです。
- ・ただ、どうしても関西在住の卒業生との交流がメインになると思います。必要があれば、Uターン就職を希望する地方出身の在学生の相談にのりたいです。卒業生は多方面に顔の広い方が多く、地元企業のリアルな情報もお伝え出来ると思います。岡山では、校友会と連携してのサポートも可能です。（私は、現在同窓会岡山支部の事務局をしています。）同窓生の減少と高齢化が支部の課題なので、在学中から地元の同窓会及び校友会と親しくして、卒業後も継続して支部活動に参加して下さるのが理想です。
- ・年に一度の支部総会に大学や同窓会からお越しくださり、近況をお伺いするのを楽しみにしています。また時々、ホームページを見たりメールマガジンを読んだりして、懐かしんでいます。京都へ出かける機会はあまりないので、同窓生の集まることのできるイベントを近くで開催してほしいです。
- ・これまで以上に定期的な卒業生の集まりを開いてほしい。年に1度だとそれを逃すと全く集まりに参加できないのは悲しいので。大学4年間はとても充実して楽しいものでした、自分のやりたいこと、自分の時間を大切にして卒業までの時間を過ごしてほしいです。
- ・同窓会はある程度の年代のかたの集まりのようで、参加しづらい。気軽に参加できるものがあればなあと思う。

4. 在学生へのメッセージ関連

『在学生への進路アドバイス』

- ・女性だから、諦めたり、遠慮がちになる必要はなくて、どんどん、持っている良いものは出して、いかして欲しいと思います。ただ、女性としての、奥ゆかしさや、優しさ、気配りは、持ち続けて、人に寄り添った生き方が出来る人になって欲しいと思います。
- ・また教員を志望する学生さんに対して、私自身教員をしておりますので、フォローアップできる機会に参加したいと思っています。
- ・現在私は卒業後3社目ですが、卒業後2社は世に言うブラックな会社でした。それでもスキルだけはどうも身に付けてきたのでどうにか職には困っていませんが、転職する度に契約内容は悪い意味で狭められていくことを痛感しています。（例、契約社員で正社員への移行なし、給料減、育休は条件付き有等）なので、最初に就職する勤務先は本当に重要だと感じています。同じ会社に長く務める

方と比べて、時間と労力がかかり仕事にかかります。←これは在学生にお伝えして欲しい内容です。どれだけあがいてもどうにもならないこともあると感じています。卒業生に対しては、年代が上がっても結婚や子育て後を機にお仕事を探す支援をお願いしたいです。

- ・必要であれば卒業生が彼女たちのメンターになることもできますので、今後の彼女たちの人生のために、卒業生を活用してほしいです。時間さえ合えばメールなどでも助けられますので。
- ・現在、女性のキャリア形成に関する業務も行っています。少しでも後輩の力になれる機会があれば、ぜひ協力させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

『卒業生からのメッセージ』

- ・学生の最大の武器は時間です。自由に時間を使える学生時代にやりたいことはたくさんやって、色々な世界を見てください。社会人になるとお金はあっても、時間がありません。やりたいことをやる中で、きっと将来やりたいことも見えてくると思います。たくさん遊んで、たくさん学んで、若さを最大に生かしてフットワーク軽く、色々な経験をしてください。
- ・現場を見に行き、体験すること。
- ・企業に就職すると、女性にとって不利な制度や社風、セクハラなどがまだまだあることを痛感しました。セクハラがない会社を就職段階から見抜くことは難しい。しかし、本校の校風で、女性ならではの権利・意見を尊重してくださったからこそ、いざ自分に不利益が出た時に NO と言えました。同志社女子大学の卒業生として誇りを持って、社会に羽ばたいてください！
- ・仕事を一生続ける。
- ・自分の時代は女性が結婚するときは会社を退職する選択しかなかった。周りも結婚して退職が当たり前で上司も結婚の報告をした時いつまで仕事を続けますか？と聞かれそういうものだと思ってた。娘は大学卒後 正社員で勤め 子供2人を産休 育休を取りながら勤め続けている 今の時代女性も仕事をして 自分主体で生きて行ってほしいと思う。
- ・品格を失わないで欲しい。
- ・女性だからとあきらめず、自分の目標に向かって頑張してほしい。
- ・今を大事にして、たくさん色々な経験を積む大学生活であってほしいと思います。留学制度もどんどん活用し、世界もしっかり見てきてください。
- ・就職するとお金があっても時間が無くなります。色々な年代、バックグラウンドを持つ方と接し、読書や芸術鑑賞、旅行をして、これからの人生の生き方や心の在り方のヒントを見つけてください。私が就職するころは、女性が海外で活躍できる仕事がCAかホテルスタッフ、ツアーコンダクターなどでした。皆様の多方面でのご活躍をお祈りしております。
- ・学校での学びが全てにつながるわけではないが、何か興味があることに取り組む事でそれが将来思わぬところで活かされることがあります。好きな事、興味がある事には目先の結果を求めず前向きに取り組んで欲しいです。
- ・目先のことで将来を決めず、ずっと先の人生を予想しつつ行動を起こすと後悔が少なく充実すると思います。
- ・この詩が好きです。

<https://themindsjournal.com/new-york-is-3-hours-ahead-of-california/>

- ・学部を問わず、京都の町を今のうちに沢山歩き、歴史、文化、食、伝統産業、地形、景色などの素晴らしさに存分に触れて下さい。そうすることで、自身が生まれ育った町の文化にも誇りを持ち、行く先々で出会う人たちの育った背景や国籍問わず、相手へ尊敬を持って接することが出来るようになったと感じています。
- ・同女で経験したことは今の生活、会社において役立つことばかりです。信頼できる友人と教員に出会うことができ、本当に感謝しています。大学生活がなければ今の私はありません。
- ・どんな仕事に就いても創造力が必要だと思います。
- ・私の頃は就職氷河期でキャリア支援もあまり受けることができず苦勞しました。後輩たちは自由にのびのびと、しかし意味をはき違えず、規律は持って巣立って行って欲しいです。
- ・どんな場面でも自分を見失わずに、イキイキと自分らしく輝けるように、碇となるような「自分作り」の場であってほしいと思います。
- ・向上心の強い闊達な人が多かった印象なのでそのままのびのびいて欲しい。
- ・結婚するまでの20代でキャリアアップできる職場で働くと、結婚して子供が産まれてもその後管理職を目指す女性が増えるので、ぜひ目指してほしい。
- ・同志社人として、誇りを持って、恥じない生き方をして欲しい。
- ・興味関心のあることには、躊躇わずどんどんチャレンジして、我が道を切り開いて行ってください。
- ・140年という長い歴史ある学府には多くの著名人や素晴らしい活躍をされて来られた方がおられます。お一人お一人それぞれのお力ではありますが、同志社女子大の建学の精神を営々と繋いで来られたからこそと思います。今後も在学生・卒業生一同が母校の素晴らしい伝統を次代に繋げていくことが大切だと思います。ありがとうございました。
- ・ぜひ自分自身を内面から磨いてください。
- ・どんな分野でも良いが、スキルアップを心がけていただきたい
- ・自分の可能性を信じ歩んでほしい。決して1人ではなくどんな状況の時も同志社設立者 新島襄師の願いにもあるようにいつもイエス様に守られ全てが 神様の御手の中で起こり脱出の道も備えてくださっている事を心の底に安心感として持っていてほしい。この時代に生きていることを感謝し色々な人との出会いに祝福あれ！
- ・昔の適度な規模感、自由な感じが好きでした。当時の学歴社会で同女が経歴として得したことというのは正直あまりありませんが、マイナスにはならない感じでした。女子大ということで注目を浴びたり、できることできないことあるかと思いますが昔からあるいわゆる『女子大』のイメージを打ち破ってほしいと思います。縁あって京都に戻ってきました。懐かしく母校の前を通ることもあります。心から応援しています。
- ・仕事と家庭の両立において自分の努力だけでなく家族を含む周りの人間関係と環境にとっても影響を受けました。目標とするライフスタイルがあるのならば勤め先や住む場所(例えば実家の近くか遠方か)、パートナー(価値観を理解し合えるか)もよく考えて選ぶと良いと思います。
- ・長い夏期休暇を利用して、ボランティア活動などに参加する機会を。就職してからではなかなか行けないので。
- ・女性だから…という周りの期待には応えなくて良い。自分の人生を自分で選択して生きて行って欲しいです！

- ・娘は、京都大学に進学し、卒業しました。同女の子が、京大の男子学生を求める積極性に呆れていました。女性としての、プライドを持っていただきたいです。
- ・同女の卒業生として誇りをもっています。今後も益々の発展を期待しております。
- ・卒業生に対して何かしてもらいたいという希望はないが、現代社会で活躍できる品格ある強い女性を育てて下さるよう卒業生の1人として望みます。卒業後20年経ちますが、同女時代の友人と会うと職場での悩みなどが共通していることにいつも驚かされます。学生時代はあまりキャリア教育が盛んな時代ではなかったのも、今の職場環境にどう順応するか、順応性がおそらく高い人が多い同女生は結構適応して褒められることも多いのでしょうか、同時に矛盾ややりきれない気持ちも持って働いているのではないかと感じています。
- ・他人へ気配りすると同時に、自分も潤っているかを意識して、行動する。これは卒業後、ヨガの哲学で学んだことです。

5. その他

『感想』

- ・卒業後もこうして関わりが持てるのが嬉しいです。続けて行って欲しいです。
- ・VINEの送付、ホームカミングデーの開催、卒業生向けのメールマガジンの配信などを通して、大学の近況を知ることができるので、ありがたく思います。それ以上は、特にありません。
- ・当時の感覚的には、就職支援が手薄と言わざるを得なかった。現在はどのようにされているかわかりませんが、もう少し情報やサポートがあれば良かったなあと今にして思います。しかしながら4年間の大学生活は環境もよく満足のいくものでありその後も誇りとして生きています。ありがとうございました。
- ・とても真面目とは言い難い学生でしたが、先生方や友人に助けていただき、同志社女子大学を卒業できました。特に希望はありませんが、これからも大学のいろいろなことを発信し続けて下さると嬉しいです。
- ・現在は不妊治療で悩んでいますが、自分が結婚してこの様な状態になるまで不妊に悩む人がたくさんいることを知りませんでした。また三年前は結婚後の転職活動で選択肢が多すぎて自分のライフプランについて悩みました。女子大だからこそ、性のことであったり、女性特有のライフイベントについてオープンに語りやすい環境があると思います。そういったイベントが今後待ち受けているかもしれないことを在学学生に学ぶ機会を与えてほしいです。
- ・あまり積極的に学校と関わることはしていませんが(大半の卒業生がそうかと思います)、vineや会報を送っていただけるのは嬉しいので、続けていただきたいです。うちに届いた日にはお隣にも届いてます(*^^*)。
- ・今後も輝かしい母校である様に頑張ってもらいたい。
- ・リベラルアーツの学芸学部、英文学科の学部名が無くなったのは寂しかったです。
- ・学生のうちに礼儀作法を一通り学ぶと良い、社会人になる第一歩として、その差は出てくる。
- ・学部が増えたことは、嬉しかった。必要であればこれからも学ぶ場を広げて行ってほしい。
- ・66歳になっても、働いていますし、なかなか老後・・・にはなりません。女性は長生きですし、健康であればまだまだ働けます。パソコン操作も大丈夫。卒業すぐの若い人も、高齢の卒業生も共に働

ける、人の役にたてる場所・施設があれば幸いです。

- ・あとは、大学がなくならず存続してくれればそれでいい。
- ・就職してから就職課の先生から卒業生宛に届いた手紙にあった「3年は続けなさい」の言葉に勇気付けられました。辛いときも会社のデスクにその手紙をいれて頑張って気付けば早 20 年。同女がいつも応援してくれてると思っています。
- ・いつも卒業生を大切に頂き、感謝致しております。母校の益々のご発展をお祈り致します。
- ・私は、おかげ様でクラブ活動での付き合いが続いてたまに、大学に行く機会もあり有り難いです。そういうのがない友達もいて、気軽に母校に行ける機会などあれば、いいなと思います。
- ・世間から、お嬢様大学とみなされている所もあるので、その期待を裏切らないような雰囲気、風格の学校であり続けて欲しいと私は思います。
- ・社会に還元出来る活動、ホームレス支援、ボランティア活動など規模の大きい大学だからこそ出来る事があると思うので、リーダーシップを持ってやって欲しいです。
- ・私の在学時は団塊の世代と言われるベビーブームの時代であったので、卒業後の就職の指導はほとんどなかったと記憶しています。大学の体制も良妻賢母を推奨しているような気風を感じられた、新島襄の建学の精神には女性の自立や活躍を基盤とするものと理解していましたが現実には、前述の如くでした。卒業後就職を余儀なくされる立場にあり、資格を生かした仕事に就きたかったが大変苦労し、まずは大手電機メーカーに一旦就職し、その後中堅の病院に栄養士として勤務しこの仕事が基盤となり、現在も地域活動の管理栄養士として活動しています。大学としては、専門職教育か人間教育か、今後の卒業生には明確に示して欲しいと思って居ます。
- ・女子大時代に思っていた英文学への感覚は、子育てを終え義両親を見送り海外にもよく行っている今の感覚はずいぶん違います。そして再び英文学を勉強をすることで人生への輝きが在ります。卒業生プログラムがとても楽しく有難いです。女子大で女性としての教養をつけていただけた日々に感謝です。
- ・卒業しても自分の誇りの母校でありこれからも大切な学校です
- ・自由で設備も整っていて 本当に楽しい学生生活でした。今後は校風の範囲内でかまわないのでもっと学生に投資し人を大切にする教育をしていただきたいです。
- ・世の中の動静をいち早く把握して、時代に合った教育や改革をし、その様子が卒業生、特に地方に住んでいる同窓生にも届くといいです。ご尽力されているとおもいますが今後も頑張って下さい。
- ・音楽学科の学生には特にどのような道があるかを専門教育のみでなくしっかりと見せて欲しい。

『大学への要望』

- ・卒業生の娘が入学する場合、学費をいくらか免除していただければ幸いです。
- ・その時代に合った、未来に役立つ目標に向かってカリキュラム等を充実してあげて下さい。
- ・ゼミで集う場や教員との交流会。
- ・教員免許更新を安くしてほしい。
- ・良い後輩の紹介システム。法律上有期雇用契約の問題ができ、後任を探すのにひと苦労する。同女のカリキュラムが優秀なので、後輩からだと、大体間違いのない人材が見つかるから。

- ・ジェンダー教育とはどういうものかはっきりとはわかりませんが、それによってよい人生が送れるのならしてほしいと感じます。女子大学でなくとも総合大学でも。女子大学ならなおさらだと思います。卒業生にもしてほしいと感じます。
- ・同志社大学卒としてほしい。
- ・同女オリジナル手帳を、卒業生の希望者にも配布してほしい。
- ・同女用メールマガジンの発行。ちなみに今の仕事では毎週木曜日に発信されています。そこまでなくても年に一回でも発行して、様々なコーナーがあれば良いと思います。例えば仕事関係の紹介で今こんな仕事をしているや、卒業生を一人ピックアップ、学園祭の案内、先生の今など。
- ・結婚相談所<内容>相手の紹介、結婚生活の悩み相談。健康相談所<内容>病気や障害を抱えている人の生活相談。
- ・卒業生も参加できる行事もあれば参加したいです。時々、懐かしくなって母校を訪れたくなることが何度もあります。小さい子連れでも参加できればなおありがたいです。
- ・平日や、土日祝日に、子どもと大学へ行きやすい環境づくり。
- ・卒業生のその後を追跡。
- ・国際交流や留学などのプログラムを、卒業生でも参加できるようにしてほしいです。
- ・再雇用の人材派遣の会社を作って欲しい。
- ・在学時に、メンタルケアやサポートをもっとわかりやすく気軽にうけやすくやってほしかったと思っています。どこも敷居が高く感じられて、相談することができませんでした。
- ・私は卒業後1年間留学し、翌年新卒とともに就活、卒業から2年後に民間企業に就職しました。本当は在学中に留学し、年次遅れで大学に戻ってきたかったのですが、キャリアセンターの方より『教職課程専攻の学生では、在学中の留学は例がない』と言われました。結果、卒業時の資格取得を考慮し、卒業後留学しました。決してこの選択が不満だったというわけではなく、(留学帰国後もゼミの先生にはかなり相談にのっていただき、本当に感謝しています)多様な学生を預かるに当たって、教職課程の学生にも留学が可能であっても良いのでは？またそういった学生のバックアップが大学としてであっても良いのでは？と思います。
- ・井筒装束店のインターンシップや春日大社のインターンシップ(袴の修繕)をやって頂きたいです。その時の学生アンケートが見てみたいです！さらに、外国人観光客に参拝所はお尻向けの場所ではないことを学生のアイデアでマナーを伝えて欲しいです！若手の意見が取り入れにくい現状なので(マニュアルなどのレジメがどの仕事にもない)、この空気を打破するには大学提携という正式な形で伝統文化活動の一環として学生アイデア交流の場にして頂きたいです。巫女は働く期間が短いのでその分、後輩に一気に即戦力として育てる必要があります。人手不足にご協力お願いいたします。
- ・娘が高校生で、東京は定員厳格化で受験事情が厳しく、進学先として同女を勧めたいが女子大に対して怖いイメージを持っている。
- ・もっと関東でも同女に接する機会があればありがたいです。関東に住むOGも多いと思うので。

『アンケートへの要望』

- ・このアンケートの設問設定が極めて不愉快。配慮に欠けるものであると途中で回答放棄します。結

婚や出産、それを体験する前後でも心象は変化しますし、結婚出産を強く望んでいて、頑張っている人も結果が伴わない人も大勢います。就職も同じです。学んだ時代が就職への大学としての支援が全くなかった頃なので、本当に答えづらい設問も多い。管理栄養士の養成専攻を古くからもつ大学であるのに、Q6、Q11-2の選択肢に管理栄養士がないのも、お粗末です。

- ・ いまでも充分手厚くしていただいていると思う。ただ、今回のアンケートのように、卒業生の皆さんがその後どのようにされているかは気になっていた。匿名性を保てるなら、就職先とか分布図的なものでも知れたらいいなと思う。
- ・ アンケート結果は本学HPに載せてほしい。
- ・ 「女性でも」という文言は色々不要かと思います。

第二部 過去から学び、未来につなぐ

—同志社女子大学卒業生の生き方とジェンダー—

1. 家庭・結婚観

(1) 家庭・結婚観に関する質問項目別単純集計結果

家庭・結婚観に関する各質問項目の世代別の単純集計結果は表1の通りである。なお世代については、20代と30代、40代と50代、60代と70代の3つの世代に分けて集計した。表の順番については、後述の「(2)家庭・結婚観に関する項目の因子分析」において分析した因子（グループに分けたもの。正確には実際の回答から相関行列に基づいてより本質的ないくつかの潜在因子を抽出し、より効率的に全体を説明できる因子分析の解析法にもとづいて出されたもの）ごとに記載した。因子分析を踏まえたその後の分析においては、世代間のみならず、現在の就業状況、現在の職位、学生時代に所属していた学科と、家庭・結婚観との関係について分析を行っている。表1ではその基礎資料として、各質問項目の単純集計のみ記述しておく。したがって分析・考察の説明については、「(3)家庭・結婚観の世代間比較」以降の項を見てほしい。

表1 世代別の家庭・結婚観に関する質問項目単純集計

① 子ども重視

			(5)子どもがいと生活が楽しく豊かになる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	180	153	37	16	386
	30代	%	46.63	39.64	9.59	4.15	100.00
	40代	人数	178	121	30	40	369
	50代	%	48.24	32.79	8.13	10.84	100.00
	60代	人数	47	33	4	2	86
	70代	%	54.65	38.37	4.65	2.33	100.00
合計		人数	405	307	71	58	841
		%	48.16	36.50	8.44	6.90	100.00

			(9)子どもは夫婦の絆となる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	143	166	49	24	382
	30代	%	37.43	43.46	12.83	6.28	100.00
	40代	人数	121	146	58	46	371
	50代	%	32.61	39.35	15.63	12.40	100.00
	60代	人数	31	35	14	4	84
	70代	%	36.90	41.67	16.67	4.76	100.00
合計		人数	295	347	121	74	837
		%	35.24	41.46	14.46	8.84	100.00

			(2)子どもは少なくとも1人は持つ				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	167	84	81	56	388
	30代	%	43.04	21.65	20.88	14.43	100.00
	40代	人数	136	94	65	80	375
	50代	%	36.27	25.07	17.33	21.33	100.00
	60代	人数	49	18	10	8	85
	70代	%	57.65	21.18	11.76	9.41	100.00
合計		人数	352	196	156	144	848
		%	41.51	23.11	18.40	16.98	100.00

			(12)子どもは老後の支えになる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	85	151	98	53	387
	30代	%	21.96	39.02	25.32	13.70	100.00
	40代	人数	49	122	128	72	371
	50代	%	13.21	32.88	34.50	19.41	100.00
	60代	人数	12	32	26	14	84
	70代	%	14.29	38.10	30.95	16.67	100.00
合計		人数	146	305	252	139	842
		%	17.34	36.22	29.93	16.51	100.00

② 性別役割分業

			(4)家庭のこまごまとした管理は女性がする				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	25	153	132	78	388
	30代	%	6.44	39.43	34.02	20.10	100.00
	40代	人数	46	148	135	46	375
	50代	%	12.27	39.47	36.00	12.27	100.00
	60代	人数	18	37	21	11	87
	70代	%	20.69	42.53	24.14	12.64	100.00
合計		人数	89	338	288	135	850
		%	10.47	39.76	33.88	15.88	100.00

			(11)一度は結婚する				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	174	121	57	37	389
	30代	%	44.73	31.11	14.65	9.51	100.00
	40代	人数	152	118	53	51	374
	50代	%	40.64	31.55	14.17	13.64	100.00
	60代	人数	38	29	10	8	85
	70代	%	44.71	34.12	11.76	9.41	100.00
合計		人数	364	268	120	96	848
		%	42.92	31.60	14.15	11.32	100.00

			(3)自分より家族の都合を優先する				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	63	229	85	12	389
	30代	%	16.20	58.87	21.85	3.08	100.00
	40代	人数	61	208	91	18	378
	50代	%	16.14	55.03	24.07	4.76	100.00
	60代	人数	21	44	16	4	85
	70代	%	24.71	51.76	18.82	4.71	100.00
合計		人数	145	481	192	34	852
		%	17.02	56.46	22.54	3.99	100.00

			(8)人前では妻は夫を立てたほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	58	191	89	46	384
	30代	%	15.10	49.74	23.18	11.98	100.00
	40代	人数	48	177	94	51	370
	50代	%	12.97	47.84	25.41	13.78	100.00
	60代	人数	10	48	22	5	85
	70代	%	11.76	56.47	25.88	5.88	100.00
合計		人数	116	416	205	102	839
		%	13.83	49.58	24.43	12.16	100.00

③ 夫婦共働

			(6)結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守る				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	8	49	164	168	389
	30代	%	2.06	12.60	42.16	43.19	100.00
	40代	人数	11	74	132	158	375
	50代	%	2.93	19.73	35.20	42.13	100.00
	60代	人数	4	21	33	28	86
	70代	%	4.65	24.42	38.37	32.56	100.00
合計		人数	23	144	329	354	850
		%	2.71	16.94	38.71	41.65	100.00

			(7)妻も収入を得て家計を支える				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	144	203	38	5	390
	30代	%	36.92	52.05	9.74	1.28	100.00
	40代	人数	129	174	55	16	374
	50代	%	34.49	46.52	14.71	4.28	100.00
	60代	人数	30	44	9	3	86
	70代	%	34.88	51.16	10.47	3.49	100.00
合計		人数	303	421	102	24	850
		%	35.65	49.53	12.00	2.82	100.00

			(1)男性も女性と同等に家事・育児にかかわる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	231	136	19	2	388
	30代	%	59.54	35.05	4.90	0.52	100.00
	40代	人数	156	161	54	7	378
	50代	%	41.27	42.59	14.29	1.85	100.00
	60代	人数	22	43	21	1	87
	70代	%	25.29	49.43	24.14	1.15	100.00
合計		人数	409	340	94	10	853
		%	47.95	39.86	11.02	1.17	100.00

④ 脱伝統

			(13)結婚は適当な相手がいなければしない				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	173	152	48	12	385
	30代	%	44.94	39.48	12.47	3.12	100.00
	40代	人数	155	171	31	8	365
	50代	%	42.47	46.85	8.49	2.19	100.00
	60代	人数	24	41	11	4	80
	70代	%	30.00	51.25	13.75	5.00	100.00
合計		人数	352	364	90	24	830
		%	42.41	43.86	10.84	2.89	100.00

			(15)縁がなければ子どもは持たない				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	97	132	111	44	384
	30代	%	25.26	34.38	28.91	11.46	100.00
	40代	人数	122	128	80	28	358
	50代	%	34.08	35.75	22.35	7.82	100.00
	60代	人数	19	34	17	12	82
	70代	%	23.17	41.46	20.73	14.63	100.00
合計		人数	238	294	208	84	824
		%	28.88	35.68	25.24	10.19	100.00

⑤ 個の生き方重視

			(14)まずは家族より自分自身を大事にする				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	51	154	160	20	385
	30代	%	13.25	40.00	41.56	5.19	100.00
	40代	人数	45	137	165	21	368
	50代	%	12.23	37.23	44.84	5.71	100.00
	60代	人数	5	30	38	10	83
	70代	%	6.02	36.14	45.78	12.05	100.00
合計		人数	101	321	363	51	836
		%	12.08	38.40	43.42	6.10	100.00

			(16)子どもより夫婦関係のほうが大事である				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	33	87	199	62	381
	30代	%	8.66	22.83	52.23	16.27	100.00
	40代	人数	46	92	159	63	360
	50代	%	12.78	25.56	44.17	17.50	100.00
	60代	人数	8	25	35	15	83
	70代	%	9.64	30.12	42.17	18.07	100.00
合計		人数	87	204	393	140	824
		%	10.56	24.76	47.69	16.99	100.00

⑥ その他

			(10)結婚しても、夫や家族とは別の自分だけの目標を持つ				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	131	184	64	7	386
	30代	%	33.94	47.67	16.58	1.81	100.00
	40代	人数	173	156	39	6	374
	50代	%	46.26	41.71	10.43	1.60	100.00
	60代	人数	35	43	3	3	84
	70代	%	41.67	51.19	3.57	3.57	100.00
合計		人数	339	383	106	16	844
		%	40.17	45.38	12.56	1.90	100.00

			(17)子どもには家を継いでほしい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	6	25	127	224	382
	30代	%	1.57	6.54	33.25	58.64	100.00
	40代	人数	5	45	101	210	361
	50代	%	1.39	12.47	27.98	58.17	100.00
	60代	人数	2	13	18	48	81
	70代	%	2.47	16.05	22.22	59.26	100.00
合計		人数	13	83	246	482	824
		%	1.58	10.07	29.85	58.50	100.00

(2) 家庭・結婚観に関する項目の因子分析

家庭や結婚観に関する 17 項目の質問項目において、類似した項目を合わせてより深い分析を行うために、因子分析の分析手法を用いたうえで、世代、現在の就業状況、現在の職位、学生時代に所属していた学科との関係について分析・考察をした。

まず、各質問項目の回答選択肢において「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の 4 件法で選択回答を求めたが、因子分析を行い、回答傾向が類似している項目をグループ化した。因子分析は主因子法バリマックス回転で行い、どの因子に対しても負荷量の低い 2 つの項目(「(10)結婚しても、夫や家族とは別の自分だけの目標を持つ」「(17)子どもには家を継いでほしい」)を削除して再度因子分析を行ったところ、表 2 の通りになった。なお、第 4 因子と第 5 因子は 2 項目ずつではあるが、他の因子への負荷量も小さく、かつ因子として重要であると考えたため採用した。

第 1 因子は、子どもがいると生活が豊かになったり、子どもを夫婦の絆や老後の頼りにしたりするなど、家庭や夫婦の中で子どもを重要だと認識していることから、「子ども重視」の家庭・結婚観と命名し

た。第2因子は、自分が主役になるというよりは、家事労働は女性が行い、自分のことより家族の都合を優先したり、人前では夫を立てたりしたほうがよいと考えていることから、「性別役割分業」の家庭・結婚観と命名した。この中に「一度は結婚する」という項目も入っていることから、この結婚は伝統的な性別役割分業観に基づく夫婦形態を想定していると推測される。第3因子は、「夫は外で働き妻は家庭を守る」という考え方には否定的で、夫も妻も同様に働き家事・育児にも関わるといった生き方から、「夫婦共働」の家庭・結婚観と命名した。第4因子は、結婚することや子どもを持つことが従来女性としての伝統的な生き方だったのに対して、縁がなければ無理して結婚や出産をすることはないと考えていることから、「脱伝統」の家庭・結婚観と命名した。第5因子は、「まずは家族よりは自分自身を大事に」したり、「子どもより夫婦関係の方を大事に」したりするなど、家族全体や子どもよりも、自分もしくは夫婦の生き方を重視することから「個の生き方重視」の家庭・結婚観と命名した。

表2 家庭・結婚観についての因子分析

質問項目	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子
	子ども重視	性別役割分業	夫婦共働	脱伝統	個の生き方重視
(5)子どもがいると生活が楽しく豊かになる	.719	.234	-.022	-.064	-.309
(9)子どもは夫婦の絆となる	.706	.182	-.023	-.018	-.173
(2)子どもは少なくとも1人は持つ	.565	.525	.032	-.233	-.066
(12)子どもは老後の支えになる	.561	.175	-.016	-.127	-.008
(4)家庭のこまごまとした管理は女性がする	.179	.582	-.334	-.102	-.192
(11)一度は結婚する	.406	.563	.079	-.245	.062
(3)自分より家族の都合を優先する	.201	.535	-.044	.047	-.445
(8)人前では妻は夫を立てたほうがよい	.148	.476	-.137	-.006	-.022
(6)結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守る	.211	.333	-.670	-.042	.033
(7)妻も収入を得て家計を支える	.025	.089	.604	.035	.007
(1)男性も女性と同等に家事・育児にかかわる	.088	-.162	.582	.107	.070
(13)結婚は適当な相手がいなければしない	-.024	-.083	.142	.664	.054
(15)縁がなければ子どもは持たない	-.261	-.063	.037	.658	.246
(14)まずは家族より自分自身を大事にする	-.057	-.192	.039	.130	.629
(16)子どもより夫婦関係の方が大事である	-.319	.155	.016	.204	.501
Cronbach の α 係数	.79	.68	.65	.63	.64

累積寄与率 66.33%

(3) 家庭・結婚観の世代間比較

① 家庭・結婚観「子ども重視」

表3は、家庭・結婚観の中でも、「子どもがいると生活が楽しくなる」と考えたり、「子どもは夫婦の絆になったり老後の支えになる」といったように、子どもの存在を大事だと考える「子ども重視」の因子において、世代間比較を行った結果である。なお、平均値の表示に関しては値が高くなるほど「あてはまらない」ことを示している。以下平均値の表記については同様である。どの世代もどちらかという子ども存在を大事だと考えているようだが、平均値に有意差があるかを検証する分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,847)=3.72, p<.01$)。Tukey による多重比較検定の結果、20代・30代と60代以降は、40代・50代に比べて子どもの存在を重視する傾向がみられた。20代・30代では、未婚者にとっては子どもを持つことに夢を描く時期であり、既婚者にとっては乳幼児期から児童期の子どもを育てている段階で、子ども中心の生活を送っている時期であることが影響していると推

察される。一方、60代以降は家族や夫婦の次世代継承の重要性を重んじるような伝統的な価値観から子どもの存在を重視していたと考えられる。そして40代と50代はちょうど子どもが中学生か高校生になり、子育てへのこまごまとした手間がひと段落した頃の人が多いと推測される。そこで、女性も自分自身の人生設計を考え始める時期だと思われ、他の世代より子どもの存在を重視する傾向が低くなっていたのではないだろうか。このように世代によってどの程度子どもの存在を重視するかは異なっていた。

表3 家庭・結婚観「子ども重視」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20代	185	1.95	0.74
30代	204	2.04	0.72
40代	209	2.16	0.83
50代	168	2.23	0.81
60代	63	1.90	0.71
70代	24	1.97	0.72
合計	853	2.08	0.78

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

② 家庭・結婚観「性別役割分業」

表4は、家庭・結婚観の中で、結婚したら女性は家庭のこまごまとした管理を担い、自分のことよりも家族の都合を優先させるという「性別役割分業」の因子において、世代間比較を行った結果である。分散分析の結果、世代間による有意差はみられなかった ($F(5,849)=1.40, n.s.$)。したがって、どの世代も「ややあてはまる」と考える傾向があり、結婚したら家庭のこまごまとしたことに目を配り家族の都合をどちらかというと優先させる家庭・結婚観が、本学の卒業生においての全体的な傾向だと推察される。

表4 家庭・結婚観「性別役割分業」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20代	185	2.28	0.64
30代	205	2.23	0.60
40代	209	2.24	0.66
50代	169	2.29	0.60
60代	63	2.06	0.63
70代	24	2.88	0.70
合計	855	2.24	0.63

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

③ 家庭・結婚観「夫婦共働」

表5は、家庭・結婚観の中で、夫も妻も協力して家計を支え、家事・育児も共に行うという「夫婦共働」の因子において、世代間比較を行った結果である。どの世代も夫婦共働の考え方を重視しているようであったが、分散分析の結果、世代間による有意差がみられた ($F(5,849)=7.90, p<.01$)。世代が若くなるにつれて「夫婦共働」の考え方はより支持されるようになっており、Tukeyによる多重比較検定の結果、20代はその他の世代に比べて「夫婦共働」を有意に重視する傾向がみられた。子どもがいる人に限って分析を行った結果、同様に世代要因での有意な主効果が認められ ($F(5,465)=3.99, p<.01$)、特に30代と40代との間で有意差がみられた。40代を境にしてその上の世代では夫婦共働の考え方が弱まる傾向があった。一方、20代、30代では夫婦で共働して家計、家事、育児を行うことに対する考え方を

その上の世代に比べてより重視する傾向がみられた。

表5 家庭・結婚観「夫婦共働」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20代	185	1.54	0.55
30代	205	1.67	0.49
40代	209	1.83	0.64
50代	169	1.83	0.66
60代	63	1.90	0.64
70代	24	1.96	0.57
合計	855	1.74	0.60

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

④ 家庭・結婚観「脱伝統」

表6は、家庭・結婚観の中でも、今までの結婚や出産といった通過儀礼を経験せず、結婚したり子どもを持ったりすることは縁がなければ別に経験しなくてもよいといった「脱伝統」の因子において、世代間比較を行った結果である。どの世代も比較的このような生き方を支持しているが、分散分析の結果、世代間による有意差がみられた ($F(5,830)=2.49, p<.05$)。Tukeyによる多重比較検定の結果、40代と60代との間に有意差がみられたが、このような傾向は、特に子どものいない人を対象に行った分析結果に顕著にみられ ($F(5,362)=3.94, p<.01$)、40代では他の世代に比べて「脱伝統」の考え方をより支持していた。40代の特に子どものいない人にとっては、身体的な年齢を考えると出産に対して再考するターニングポイントになっているからだと思われる。

表6 家庭・結婚観「脱伝統」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20代	184	1.99	0.77
30代	203	2.01	0.76
40代	207	1.84	0.72
50代	160	1.92	0.74
60代	61	2.17	0.77
70代	21	1.93	0.80
合計	836	1.96	0.75

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

⑤ 家庭・結婚観「個の生き方重視」

表7は、家庭・結婚観の中で、まずは家族よりも自分、子どもよりも夫婦関係の方を重視するという

表7 家庭・結婚観「個の生き方重視」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20代	184	2.52	0.64
30代	204	2.62	0.65
40代	208	2.56	0.74
50代	163	2.54	0.68
60代	63	2.67	0.64
70代	22	2.61	0.79
合計	844	2.57	0.68

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

「個の生き方重視」の因子において、世代間比較を行った結果である。分散分析の結果、世代間による有意差はみられず ($F(5,838)=0.86, n.s.$)、どの世代も「どちらでもない」という中間的な傾向があると推測される。

(4) 家庭・結婚観と現在の就業状況との関係

家庭・結婚観と現在の就業状況との関係では、家庭・結婚観の5つの因子のうち、2つ（「性別役割分業」「夫婦共働」）において有意差がみられた（表8と表9）。まず、「性別役割分業」については、分散分析の結果、就業状況において有意差がみられた ($F(6,854)=2.70, p<.05$)。Tukeyによる多重比較検定の結果、正規職に就いている人は、その他の就業状況の人よりも「性別役割分業」の考え方をより支持しておらず、特に家業を継いだり家業の手伝いをしたりしている人との間に有意差がみられた。

本調査以外のより大規模な調査の結果においても、正規雇用の方は、非正規雇用、自営業や無職の人に比べて、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」といった性別役割分業をより否定している割合が高い（細川,2018）。本調査の卒業生においても同様の傾向がみられたと言えるだろう。

表8 家庭・結婚観「性別役割分業」の就業状況間比較

就業状況	人数	平均値	標準偏差
正規社員・正規職員	412	2.28	0.61
派遣社員・契約社員	92	2.15	0.51
一時的雇用（アルバイト・パート）	114	2.24	0.65
自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	26	2.20	0.69
家業を継いだ・手伝い	14	2.04	0.69
収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	150	2.12	0.64
その他	53	2.43	0.67
合計	861	2.24	0.62

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

次に、「夫婦共働」については、分散分析の結果、就業状況において有意差がみられた ($F(6,854)=17.33, p<.01$)。Tukeyによる多重比較検定の結果、正規職に就いている人は、「その他」を除く他の就業状況の人よりも「夫婦共働」の考え方をより支持しており、特にアルバイト・パートなどの一時的雇用の人や、専業主婦など収入を伴う仕事に就いていない人との間に有意差がみられた。

表9 家庭・結婚観「夫婦共働」の就業状況間比較

就業状況	人数	平均値	標準偏差
正規社員・正規職員	412	1.54	0.50
派遣社員・契約社員	92	1.72	0.56
一時的雇用（アルバイト・パート）	114	1.94	0.60
自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	26	1.83	0.62
家業を継いだ・手伝い	14	1.82	0.58
収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	150	2.04	0.67
その他	53	1.81	0.73
合計	861	1.73	0.60

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

以上の結果から、正規社員・正規職員に就いている人は、自分の都合も重視したうえで、さらに家計

を担い家事育児も夫と共働するような家庭・結婚観を、それ以外の就業状況の人と比べるとより持っている」と推測される。

(5) 家庭・結婚観と現在の職位との関係

家庭・結婚観と現在の職位との関係について、主任・課長相当職や部長職以上に就くことが若い世代よりも多い40代以降の人に限定して分散分析を行ったところ、表10の通りになった。家庭・結婚観の5因子のうち4因子(「子ども重視」「性別役割分業」「夫婦共働」「個の生き方重視」)において職位間で有意差がみられた。

表10 家庭・結婚観と現在の職位

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
子ども重視	役職なし	96	2.10	0.84	F(4,289)=3.85, p<.01 主任・課長>有期雇用>役職なし>部長職以上>アルバイト・非常勤
	主任・課長・教頭	64	2.43	0.90	
	部長職以上	17	2.00	0.61	
	有期雇用	22	2.18	0.53	
	アルバイト・非常勤	90	1.95	0.66	
	合計	289	2.13	0.79	
性別役割分業	役職なし	96	2.25	0.62	F(4,290)=2.66, p<.05 主任・課長>有期雇用>役職なし>アルバイト・非常勤>部長職以上
	主任・課長・教頭	65	2.46	0.55	
	部長職以上	17	2.10	0.62	
	有期雇用	22	2.28	0.63	
	アルバイト・非常勤	90	2.16	0.63	
	合計	290	2.26	0.62	
夫婦共働	役職なし	96	1.61	0.57	F(4,290)=8.33, p<.01 アルバイト・非常勤>有期雇用>部長職以上>役職なし>主任・課長
	主任・課長・教頭	65	1.54	0.55	
	部長職以上	17	1.74	0.56	
	有期雇用	22	1.93	0.64	
	アルバイト・非常勤	90	2.00	0.59	
	合計	290	1.75	0.61	
脱伝統	役職なし	93	1.92	0.80	F(4,283)=0.53 (有意差なし)
	主任・課長・教頭	64	1.82	0.74	
	部長職以上	17	1.91	0.85	
	有期雇用	22	1.86	0.64	
	アルバイト・非常勤	87	2.00	0.79	
	合計	283	1.92	0.77	
個の生き方重視	役職なし	94	2.64	0.78	F(4,287)=2.79, p<.05 部長職以上>役職なし=アルバイト・非常勤>主任・課長>有期雇用
	主任・課長・教頭	64	2.38	0.70	
	部長職以上	17	2.82	0.93	
	有期雇用	22	2.34	0.64	
	アルバイト・非常勤	90	2.64	0.61	
	合計	287	2.57	0.72	

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

「子ども重視」については、アルバイト・非常勤職の人は、子どもがいると生活が豊かになったり、子どもが夫婦の絆になったりすると最も考えていた(F(4,289)=3.85,p<.01)。Tukeyによる多重比較検定の

結果、アルバイト・非常勤職の人に比べると主任・課長相当職に就いている人は、「子ども重視」の考え方をより支持しない傾向がみられた。但し、この結果は、主任・課長相当職に就いている人は「子どもを大事だと考えてはいない」ことを示しているのではない。主任・課長相当職に就いている人は育児以外にも仕事に割く時間も多く、子どもが夫婦の絆や老後の支えといった考え方を他の職位に就いている人よりもどちらかという支持しないという意味である。

「性別役割分業」については職位間で有意差がみられ ($F(4,290)=2.66, p<.05$)、部長職以上の人が最もこの考え方を支持していた。家庭のこまごまとした管理は女性がして、家族の都合を優先するなど、伝統的な性別役割分業観を持ちながら、仕事の上でも要職を担っている姿がうかがわれる。女性の社会進出により、「夫は仕事」、「妻は家庭」という従来の性別役割分業ではなく、「夫は仕事」、「妻は家庭と仕事」といった、妻が二重の役割を負う「新・性別役割分業」が、1990年代から指摘されるようになってきた(厚生省監修,1998:72; 総理府編,2000:77; 松田,2001:40)。本学卒業生の中にも、仕事と家庭の両方の役割分業を背負っている人がいることが本調査の結果からうかがわれた。特にこれは40代以降の人を対象にした分析であり、部長職以上に就いている人は40代以上のなかでも、50代以上が75%を占めている。したがってこの世代で管理職に就いている人は、育児休業制度もあまり整っていない中で、従来の社会に存在してきた「妻は家庭」という性別役割分業観にも縛られながら、なんとか家庭と仕事を両立させようと奮闘してきたのではないかと推察される。

「夫婦共働」については職位間で有意差がみられ ($F(4,290)=8.33, p<.01$)、主任・課長相当職に就いている人が最もこの考え方を支持していた。家計だけではなく家事や育児も夫と分担しながらやっという考えが、他の職位の人より強いと推測される。

「個の生き方重視」については職位間で有意差がみられ ($F(4,287)=2.79, p<.05$)、有期雇用の人が最もこの考え方を支持していた。彼女らは正規社員や正規職員として企業等の中で重い責任を担っていくよりは、自分自身の興味関心や生活を重視したいという考えを持っていると推察される。

(6) 家庭・結婚観と若い世代における所属学科との関係

比較的回答者数の多かった20代と30代の卒業生に焦点をあてて、分析に必要な一定数以上の回答者が得られた学科の卒業生の家庭・結婚観を分析した。分散分析を行った結果は表11の通りである。

「子ども重視」においては学科間に有意差がみられ、日本語日本文学科がこの考え方を最も支持しておらず、現代こども学科が最も支持していた。「夫婦共働」においては、若い世代ではどの学科も夫婦が共に働いたり家事・育児をしたりという考え方は比較的 support されていたが、学科間に有意差がみられ、音楽学科が最も支持しておらず、現代こども学科が最も支持していた。「脱伝統」においては、現代こども学科の卒業生がその考え方を最も支持しておらず、結婚や子どもを持つことに積極的な様子が見られる。人間生活学科が「脱伝統」の考え方を最も支持しており、「個の生き方重視」の考え方も他学科に比べて支持していることから、人間生活学科の卒業生は個としての生き方を比較的求める傾向があると考えられる。さらに「個の生き方重視」の考え方については社会システム学科と現代こども学科の卒業生は最も支持しておらず、子どもを持ち子ども中心の生活をしながら夫婦で共働することを求める様子が浮かび上がってくる。「個の生き方重視」の考え方については英語英文学科の卒業生が最も支持していた。以上のように学科によってもどのような家庭・結婚観を持っているかが異なり、在学時代の興味関心の違いが卒業後の家庭・結婚観の方向性を生み出していると推察される。

表 11 家庭・結婚観における若い世代の所属学科間比較

* 学科名はいずれも現在の名称による

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
子ども重視	音楽学科	26	2.19	0.78	F(6, 343)=5.52, p<.01 日学>音楽>英文>人間>社シス>食物>こども
	社会システム学科	55	2.01	0.80	
	現代こども学科	106	1.72	0.56	
	英語英文学科	50	2.15	0.73	
	日本語日本文学科	39	2.33	0.76	
	人間生活学科	24	2.09	0.68	
	食物栄養科学科	50	1.88	0.65	
	合計	350	1.98	0.71	
性別役割分業	音楽学科	26	2.38	0.65	F(6, 344)=1.21 (有意差なし)
	社会システム学科	55	2.28	0.66	
	現代こども学科	106	2.25	0.56	
	英語英文学科	50	2.33	0.64	
	日本語日本文学科	39	2.34	0.62	
	人間生活学科	24	2.13	0.67	
	食物栄養科学科	51	2.10	0.55	
	合計	351	2.26	0.61	
夫婦共働	音楽学科	26	1.90	0.69	F(6, 344)=3.83, p<.01 音楽>食物>人間>社シス=英文>日学>こども
	社会システム学科	55	1.66	0.59	
	現代こども学科	106	1.46	0.39	
	英語英文学科	50	1.66	0.54	
	日本語日本文学科	39	1.56	0.45	
	人間生活学科	24	1.67	0.38	
	食物栄養科学科	51	1.75	0.57	
	合計	351	1.62	0.52	
脱伝統	音楽学科	26	1.94	0.90	F(6, 341)=2.79, p<.05 こども>社シス>英文>音楽>日学>食物>人間
	社会システム学科	54	2.09	0.78	
	現代こども学科	105	2.23	0.70	
	英語英文学科	50	1.97	0.79	
	日本語日本文学科	39	1.83	0.67	
	人間生活学科	24	1.81	0.55	
	食物栄養科学科	50	1.82	0.86	
	合計	348	2.02	0.77	
個の生き方重視	音楽学科	26	2.52	0.79	F(6, 342)=2.42, p<.05 社シス=こども>音楽>日学=食物>人間>英文
	社会システム学科	54	2.73	0.56	
	現代こども学科	106	2.73	0.58	
	英語英文学科	49	2.43	0.65	
	日本語日本文学科	39	2.50	0.70	
	人間生活学科	24	2.48	0.62	
	食物栄養科学科	51	2.50	0.60	
	合計	349	2.60	0.63	

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

2. 職業観

(1) 職業観に関する質問項目別単純集計結果

職業観に関する各質問項目の世代別の単純集計結果は表 12 の通りである。なお世代については、表 12 では 20 代と 30 代、40 代と 50 代、60 代と 70 代の 3 つの世代に分けて集計した。表の順番については、後述の「(2)職業観に関する項目の因子分析」において分析した因子ごとに記載した。因子分析を踏まえたその後の分析においては、世代間のみならず、配偶者（夫）の有無、子どもの有無、現在の就業状況、現在の職位、学生時代に所属していた学科と、職業観との関係について分析を行っている。表 12

ではその基礎資料として、各質問項目の単純集計のみ記述しておく。したがって分析・考察の説明については、「(3)職業観の世代間比較」以降の項を見てほしい。

表 12 世代別の職業観に関する質問項目単純集計

① 仕事への積極的な姿勢

			(1)女性であっても社会の中で働いたほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	209	163	14	4	390
	30代	%	53.59	41.79	3.59	1.03	100.00
	40代	人数	231	136	11	1	379
	50代	%	60.95	35.88	2.90	0.26	100.00
	60代	人数	54	29	4	0	87
	70代	%	62.07	33.33	4.60	0.00	100.00
合計		人数	494	328	29	5	856
		%	57.71	38.32	3.39	0.58	100.00

			(3)女性でもキャリアアップを目指したほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	147	190	45	4	386
	30代	%	38.08	49.22	11.66	1.04	100.00
	40代	人数	181	164	27	2	374
	50代	%	48.40	43.85	7.22	0.53	100.00
	60代	人数	41	40	4	0	85
	70代	%	48.24	47.06	4.71	0.00	100.00
合計		人数	369	394	76	6	845
		%	43.67	46.63	8.99	0.71	100.00

			(5)女性でも経済力をつけたほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	211	167	9	1	388
	30代	%	54.38	43.04	2.32	0.26	100.00
	40代	人数	248	127	4	0	379
	50代	%	65.44	33.51	1.06	0.00	100.00
	60代	人数	52	32	2	0	86
	70代	%	60.47	37.21	2.33	0.00	100.00
合計		人数	511	326	15	1	853
		%	59.91	38.22	1.76	0.12	100.00

			(6)できるだけ資格を取ったほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	124	195	58	10	387
	30代	%	32.04	50.39	14.99	2.58	100.00
	40代	人数	149	171	46	10	376
	50代	%	39.63	45.48	12.23	2.66	100.00
	60代	人数	46	36	4	0	86
	70代	%	53.49	41.86	4.65	0.00	100.00
合計		人数	319	402	108	20	849
		%	37.57	47.35	12.72	2.36	100.00

② 転職への保守的な姿勢

			(4)転職はできるだけしないほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	16	87	168	115	386
	30代	%	4.15	22.54	43.52	29.79	100.00
	40代	人数	22	72	180	97	371
	50代	%	5.93	19.41	48.52	26.15	100.00
	60代	人数	4	31	34	14	83
	70代	%	4.82	37.35	40.96	16.87	100.00
合計		人数	42	190	382	226	840
		%	5.00	22.62	45.48	26.90	100.00

			(10)同じ職場でずっと働き続けたほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	18	107	172	89	386
	30代	%	4.66	27.72	44.56	23.06	100.00
	40代	人数	13	77	187	93	370
	50代	%	3.51	20.81	50.54	25.14	100.00
	60代	人数	4	24	39	16	83
	70代	%	4.82	28.92	46.99	19.28	100.00
合計		人数	35	208	398	198	839
		%	4.17	24.79	47.44	23.60	100.00

			(11)自分のキャリアアップのために転職をする				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	98	184	84	18	384
	30代	%	25.52	47.92	21.88	4.69	100.00
	40代	人数	76	205	77	10	368
	50代	%	20.65	55.71	20.92	2.72	100.00
	60代	人数	10	41	24	7	82
	70代	%	12.20	50.00	29.27	8.54	100.00
合計		人数	184	430	185	35	834
		%	22.06	51.56	22.19	4.20	100.00

			(2)自分のライフスタイルに応じて転職をしたほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	197	164	26	3	390
	30代	%	50.51	42.05	6.67	0.77	100.00
	40代	人数	178	176	20	3	377
	50代	%	47.21	46.68	5.31	0.80	100.00
	60代	人数	30	42	11	0	83
	70代	%	36.14	50.60	13.25	0.00	100.00
合計		人数	405	382	57	6	850
		%	47.65	44.94	6.71	0.71	100.00

③ 女性の補助的役割

			(8)少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい。				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	35	134	143	75	387
	30代	%	9.04	34.65	36.95	19.38	100.00
	40代	人数	41	126	137	70	374
	50代	%	10.96	33.69	36.63	18.72	100.00
	60代	人数	13	33	24	17	87
	70代	%	14.94	37.93	27.59	19.54	100.00
合計		人数	89	293	304	162	848
		%	10.50	34.55	35.85	19.10	100.00

			(9)女性は補助するような仕事のほうがよい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	8	37	184	160	389
	30代	%	2.06	9.51	47.30	41.13	100.00
	40代	人数	6	27	168	173	374
	50代	%	1.60	7.22	44.92	46.26	100.00
	60代	人数	1	5	40	40	86
	70代	%	1.16	5.81	46.51	46.51	100.00
合計		人数	15	69	392	373	849
		%	1.77	8.13	46.17	43.93	100.00

			(7)女性は結婚する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	24	122	153	86	385
	30代	%	6.23	31.69	39.74	22.34	100.00
	40代	人数	27	119	130	98	374
	50代	%	7.22	31.82	34.76	26.20	100.00
	60代	人数	4	29	32	21	86
	70代	%	4.65	33.72	37.21	24.42	100.00
合計		人数	55	270	315	205	845
		%	6.51	31.95	37.28	24.26	100.00

(2) 職業観に関する項目の因子分析

職業観に関する 11 項目の質問項目において、類似した項目を合わせてより深い分析を行うために、因子分析の分析手法を用いたうえで、世代、配偶者（夫）の有無、子どもの有無、現在の就業状況、現在の職位、学生時代に所属していた学科との関係について分析・考察をした。

まず、各質問項目の回答選択肢において「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の 4 件法で選択回答を求めたが、因子分析を行い、回答傾向が類似している項目をグループ化した。因子分析は主因子法バリマックス回転で行い、分析結果は表 13 の通りである。分析の結果、3 因子が抽出され、第 1 因子は、女性であっても社会で働きキャリアアップを目指しながら資格もって経済力をつけた方がよいという職業観であり、「仕事への積極的な姿勢」と命名した。第 2 因子は、転職せずにずっと同じ職場で働き続けた方がよいという職業観であり、「転職への保守的な姿勢」と命名した。第 3 因子は、女性は家庭を第一にして補助的な仕事をした方がよいという職業観であり、

「女性の補助的役割」と命名した。

表 13 職業観に関する因子分析

	第1因子 仕事への積極的な姿勢	第2因子 転職への保守的な姿勢	第3因子 女性の補助的役割
(1)女性であっても社会の中で働いたほうがよい	.711	-.130	-.193
(3)女性でもキャリアアップを目指したほうがよい	.691	-.217	-.138
(5)女性でも経済力をつけたほうがよい	.646	-.035	-.232
(6)できるだけ資格を取ったほうがよい	.409	.036	.085
(4)転職はできるだけしないほうがよい	.084	.727	.212
(10)同じ職場でずっと働き続けたほうがよい	.057	.712	.318
(11)自分のキャリアアップのために転職をする	.266	-.612	-.023
(2)自分のライフスタイルに応じて転職をしたほうがよい	.386	-.531	-.008
(8)少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	-.120	.060	.663
(9)女性は補助するような仕事のほうがよい	-.211	.162	.642
(7)女性は結婚する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である	.022	.155	.586
Cronbachの α 係数	.70	.75	.68

累積寄与率 60.79%

(3) 職業観の世代間比較

① 職業観「仕事への積極的な姿勢」

表 14 は、「仕事への積極的な姿勢」の因子において、世代間比較を行った結果である。どの世代も比較的この職業観を支持しているようであるが、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,850)=4.56, p<.01$)。Tukey の多重比較検定の結果、20 代と 30 代ではその後の世代よりも「仕事への積極的な姿勢」の職業観をより支持しない傾向がみられた。むしろ 50 代以降の方が、女性であっても社会の中で働きキャリアアップを目指した方がよいと、より強く考えていることが明らかになった。社会に出て様々な働き方を経験したり、結婚や出産による退職も経験したりしたからこそ、ふりかえって女性が社会で活躍することの意義や重要性を、若い世代よりも強く感じとっているといえよう。

表 14 職業観「仕事への積極的な姿勢」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	1.64	0.47
30 代	205	1.68	0.47
40 代	210	1.58	0.47
50 代	169	1.50	0.43
60 代	62	1.49	0.42
70 代	25	1.47	0.44
合計	856	1.59	0.46

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

② 職業観「転職への保守的な姿勢」

表 15 は、「転職への保守的な姿勢」の因子において、世代間比較を行った結果である。分散分析の結果、どの世代も比較的この職業観を支持していないようであるが、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,849)=2.77, p<.05$)。Tukey の多重比較検定の結果、60 代以降になると、同じ職場で働き続け

あまり転職はしない方がよいという考え方をより支持していた。転職に対する考え方が 50 代やそれより若い人と、60 代以降の人とでは異なっていると思われる。

表 15 職業観「転職への保守的な姿勢」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	3.08	0.59
30 代	205	3.02	0.61
40 代	210	3.06	0.56
50 代	169	3.09	0.54
60 代	62	2.80	0.60
70 代	24	2.95	0.58
合計	855	3.04	0.58

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

③ 職業観「女性の補助的役割」

表 16 は、「女性の補助的役割」の因子において、世代間比較を行った結果である。分散分析の結果、世代間に有意差は認められなかった ($F(5,848)=0.27, n.s.$)。どの世代もこの考え方にそれほど強くは反対しない傾向がみられた。

表 16 職業観「女性の補助的役割」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	2.88	0.67
30 代	205	2.94	0.61
40 代	209	2.92	0.67
50 代	168	2.94	0.65
60 代	62	2.92	0.67
70 代	25	2.84	0.69
合計	854	2.92	0.65

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

(4) 配偶者（夫）の有無や子どもの有無による職業観の比較

配偶者（夫）の有無と子どもの有無に関しては世代との 2 要因の多元配置分散分析を行ったが、配偶者の有無と子どもの有無の主効果、及び世代との交互作用についてはいずれも認められなかった。したがって職業観に関しては、配偶者の有無や子どもの有無とは関係があるとは言えないであろう。

(5) 職業観と現在の就業状況との関係

職業観と現在の就業状況との関係では、職業観の 3 つの因子のうち、2 つ（「仕事への積極的な姿勢」「女性の補助的役割」）において有意差がみられた（表 17）。

まず、「仕事への積極的な姿勢」については、どの就業状況の人でも比較的女性の活躍を良いと考えているが、分散分析の結果、就業状況において有意差がみられた ($F(6,854)=2.59, p<.05$)。Tukey による多重比較検定の結果、正規職や派遣職に就いている人、そして自宅で塾・ピアノ講師などの仕事をしている人は、他の就業状況の人よりも「仕事への積極的な姿勢」の考え方をより支持しており、社会の中での女性の活躍をより肯定的に受け止めていた。アルバイト・パートなどの一時的雇用の人や、収入を伴う仕事をしていない専業主婦等では、他の就業状況の人に比べて「仕事への積極的な姿勢」をより支持

表 17 職業観と現在の就業状況

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
仕事への積極的な姿勢	正規社員・正規職員	413	1.55	0.47	F(6,854)=2.59, p<.05 一時的雇用>収入なし>家業>その他>正規職>派遣>自宅
	派遣社員・契約社員	92	1.54	0.45	
	一時的雇用（アルバイト・パート）	115	1.69	0.46	
	自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	25	1.44	0.41	
	家業を継いだ・手伝い	14	1.64	0.45	
	収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	149	1.65	0.49	
	その他	53	1.56	0.41	
	合計	861	1.58	0.46	
転職への保守的な姿勢	正規社員・正規職員	413	3.06	0.61	F(6,853)=0.91 (有意差なし)
	派遣社員・契約社員	92	3.11	0.49	
	一時的雇用（アルバイト・パート）	115	3.07	0.56	
	自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	25	3.13	0.65	
	家業を継いだ・手伝い	14	2.88	0.34	
	収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	148	3.02	0.54	
	その他	53	2.94	0.69	
	合計	860	3.05	0.58	
女性の補助的役割	正規社員・正規職員	412	3.04	0.65	F(6,852)=5.26, p<.01 正規職>一時的雇用=その他>自宅>派遣>家業>収入なし
	派遣社員・契約社員	92	2.78	0.60	
	一時的雇用（アルバイト・パート）	114	2.87	0.64	
	自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	25	2.84	0.58	
	家業を継いだ・手伝い	14	2.76	0.46	
	収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	149	2.75	0.63	
	その他	53	2.87	0.71	
	合計	859	2.92	0.65	

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

しない傾向がみられた。

また「転職への保守的な姿勢」については、就業状況間での有意差はみられなかった（F(6,853)=0.91, n.s.）。さらに「女性の補助的役割」については、特に正規職に就いている人は、他の就業状況の人よりも「女性の補助的役割」の考え方をより支持していなかった（F(6,852)=5.26, p<.01）。

以上の結果から、全世代において本学卒業生は、女性が仕事や社会で活躍したり積極的にキャリアアップしたりする方がよいといった、女性の仕事に対する積極的な姿勢を支持していた。しかし20代や30代の若い世代よりも、50代以降の方が、この考え方をより支持していた。また、全世代で「女性の補助的役割」という考え方に強く反対しているわけではなかった。但し、正規職に就いている人は、どの世代であっても、配偶者の有無や子どもの有無に関わらず、女性が仕事をすることにに対して積極的に支持する傾向が強かった。同時に、これらの人々は、女性が補助的な役割をとることにに対してはやや否定的な考えを持っていることが推察された。

（6）職業観と現在の職位との関係

職業観と現在の職位との関係について、主任・課長相当職や部長職以上に就くことが若い世代よりも多い40代以降の人に限定して分散分析を行ったところ、表18の通りになった。「仕事への積極的な姿勢」に関しては、職位間に有意差がみられた（F(4,291)=4.96, p<.01）。Tukeyによる多重比較検定の結果、アルバイト・非常勤職の人は、他の職位の人に比べてこの考え方を支持しない傾向がみられた。

「転職への保守的な姿勢」に関しては、職位間に有意差がみられ（F(4,290)=2.61, p<.05）、部長職以上の

人はこの考え方を最も支持していた。「女性の補助的役割」に関しても、職位間に有意差がみられ ($F(4,289)=8.47, p<.01$)、主任・課長相当職の人がこの考え方を最も支持しない傾向があった。

表 18 職業観と現在の職位

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
仕事への積極的な姿勢	役職なし	96	1.38	0.45	$F(4,291)=4.96, p<.01$ アルバイト・非常勤>有期雇用>部長職以上>主任・課長>役職なし
	主任・課長・教頭	67	1.43	0.39	
	部長職以上	17	1.47	0.43	
	有期雇用	22	1.50	0.36	
	アルバイト・非常勤	89	1.65	0.47	
	合計	291	1.49	0.45	
転職への保守的な姿勢	役職なし	96	3.16	0.56	$F(4,290)=2.61, p<.05$ 有期雇用>役職なし>主任・課長>アルバイト・非常勤>部長職以上
	主任・課長・教頭	67	3.05	0.61	
	部長職以上	17	2.87	0.72	
	有期雇用	22	3.25	0.48	
	アルバイト・非常勤	89	2.96	0.49	
	合計	291	3.06	0.56	
女性の補助的役割	役職なし	96	3.09	0.61	$F(4,289)=8.47, p<.01$ 主任・課長>役職なし>有期雇用>部長職以上>アルバイト・非常勤
	主任・課長・教頭	66	3.25	0.59	
	部長職以上	17	2.94	0.70	
	有期雇用	22	2.95	0.63	
	アルバイト・非常勤	88	2.70	0.62	
	合計	289	2.99	0.65	

(7) 職業観と若い世代における所属学科との関係

表 19 は 20 代と 30 代の卒業生に焦点をあてて、分析に必要な一定数以上の回答者が得られた学科の

表 19 職業観における若い世代の所属学科間比較 * 学科名はいずれも現在の名称による

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
積極的	音楽学科	26	1.85	0.48	$F(6, 351)=0.95$ (有意差なし)
	社会システム学科	55	1.63	0.42	
	現代こども学科	106	1.69	0.46	
	英語英文学科	50	1.70	0.50	
	日本語日本文学科	39	1.62	0.48	
	人間生活学科	24	1.58	0.43	
	食物栄養科学科	51	1.65	0.51	
	合計	351	1.67	0.47	
保守的	音楽学科	26	2.98	0.64	$F(6, 351)=0.61$ (有意差なし)
	社会システム学科	55	2.95	0.70	
	現代こども学科	106	3.02	0.52	
	英語英文学科	50	3.02	0.59	
	日本語日本文学科	39	3.16	0.53	
	人間生活学科	24	2.97	0.57	
	食物栄養科学科	51	3.08	0.72	
	合計	351	3.02	0.60	
女性の補助的役割	音楽学科	26	2.92	0.54	$F(6, 351)=1.68$ (有意差なし)
	社会システム学科	55	2.85	0.63	
	現代こども学科	106	3.01	0.61	
	英語英文学科	50	3.01	0.63	
	日本語日本文学科	39	2.96	0.71	
	人間生活学科	24	2.78	0.78	
	食物栄養科学科	51	2.73	0.60	
	合計	351	2.92	0.64	

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

卒業生の職業観を分析した結果である。分散分析を行った結果、「仕事への積極的な姿勢」「転職への保守的な姿勢」「女性の補助的役割」の職業観について、いずれも学科間による有意な違いは認められなかった。

3. 能力・気質特性

(1) 能力・気質特性に関する質問項目別単純集計結果

仕事をする上で関係するであろうと思われる能力・気質特性に関する各質問項目の世代別の単純集計結果は表 20 の通りである。なお世代については、表 20 では 20 代と 30 代、40 代と 50 代、60 代と 70 代の 3 つの世代に分けて集計した。表の順番については、後述の「(2)能力・気質特性に関する項目の因子分析」において分析した因子ごとに記載した。因子分析を踏まえたその後の分析においては、世代間のみならず、子どもの有無、現在の就業状況、現在の職位との関係について分析を行っている。表 20 ではその基礎資料として、各質問項目の単純集計のみ記述しておく。したがって分析・考察の説明については、「(3)職業観の世代間比較」以降の項を見てほしい。

表 20 世代別の能力・気質特性に関する質問項目単純集計

① 独力解決志向

			(8)他の人に頼らず、すべて自分でやりたい				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20 代	人数	29	135	166	56	386
	30 代	%	7.51	34.97	43.01	14.51	100.00
	40 代	人数	37	169	136	34	376
	50 代	%	9.84	44.95	36.17	9.04	100.00
	60 代	人数	10	31	40	7	88
	70 代	%	11.36	35.23	45.45	7.95	100.00
合計		人数	76	335	342	97	850
		%	8.94	39.41	40.24	11.41	100.00

			(7)他の人に気兼ねなく助けてもらうことができる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20 代	人数	77	152	133	27	389
	30 代	%	19.79	39.07	34.19	6.94	100.00
	40 代	人数	51	131	166	29	377
	50 代	%	13.53	34.75	44.03	7.69	100.00
	60 代	人数	14	30	37	6	87
	70 代	%	16.09	34.48	42.53	6.90	100.00
合計		人数	142	313	336	62	853
		%	16.65	36.69	39.39	7.27	100.00

			(9)一人でいるのが好き				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	84	167	102	35	388
	30代	%	21.65	43.04	26.29	9.02	100.00
	40代	人数	77	183	99	16	375
	50代	%	20.53	48.80	26.40	4.27	100.00
	60代	人数	16	41	24	6	87
	70代	%	18.39	47.13	27.59	6.90	100.00
合計		人数	177	391	225	57	850
		%	20.82	46.00	26.47	6.71	100.00

② 他者関係調整志向

			(4)人に気配りできる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	105	202	74	6	387
	30代	%	27.13	52.20	19.12	1.55	100.00
	40代	人数	97	207	69	6	379
	50代	%	25.59	54.62	18.21	1.58	100.00
	60代	人数	32	42	13	0	87
	70代	%	36.78	48.28	14.94	0.00	100.00
合計		人数	234	451	156	12	853
		%	27.43	52.87	18.29	1.41	100.00

			(3)社交的である				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	121	135	107	26	389
	30代	%	31.11	34.70	27.51	6.68	100.00
	40代	人数	80	162	115	20	377
	50代	%	21.22	42.97	30.50	5.31	100.00
	60代	人数	17	39	28	4	88
	70代	%	19.32	44.32	31.82	4.55	100.00
合計		人数	218	336	250	50	854
		%	25.53	39.34	29.27	5.85	100.00

			(1)粘り強い				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	131	169	78	11	389
	30代	%	33.68	43.44	20.05	2.83	100.00
	40代	人数	107	193	68	11	379
	50代	%	28.23	50.92	17.94	2.90	100.00
	60代	人数	35	42	10	1	88
	70代	%	39.77	47.73	11.36	1.14	100.00
合計		人数	273	404	156	23	856
		%	31.89	47.20	18.22	2.69	100.00

			(2)人に負けたくない				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	97	174	96	20	387
	30代	%	25.06	44.96	24.81	5.17	100.00
	40代	人数	71	167	117	23	378
	50代	%	18.78	44.18	30.95	6.08	100.00
	60代	人数	8	44	28	7	87
	70代	%	9.20	50.57	32.18	8.05	100.00
合計		人数	176	385	241	50	852
		%	20.66	45.19	28.29	5.87	100.00

③ ポジティブ志向

			(5)失敗から立ち直るのが早い				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	58	137	144	50	389
	30代	%	14.91	35.22	37.02	12.85	100.00
	40代	人数	64	147	130	37	378
	50代	%	16.93	38.89	34.39	9.79	100.00
	60代	人数	11	45	27	4	87
	70代	%	12.64	51.72	31.03	4.60	100.00
合計		人数	133	329	301	91	854
		%	15.57	38.52	35.25	10.66	100.00

			(6)細かいことにこだわる				合計
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
世代	20代	人数	63	168	121	36	388
	30代	%	16.24	43.30	31.19	9.28	100.00
	40代	人数	59	162	129	24	374
	50代	%	15.78	43.32	34.49	6.42	100.00
	60代	人数	8	42	32	6	88
	70代	%	9.09	47.73	36.36	6.82	100.00
合計		人数	130	372	282	66	850
		%	15.29	43.76	33.18	7.76	100.00

(2) 能力・気質特性の項目に関する因子分析

能力・気質特性に関する9項目の質問において、類似した項目を合わせてより深い分析を行うために、因子分析の分析手法を用いたうえで、世代、子どもの有無、現在の就業状況、現在の職位との関係について分析・考察をした。

まず、各質問項目の回答選択肢において「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で選択回答を求めたが、因子分析を行い、回答傾向が類似している項目をグループ化した。因子分析は主因子法バリマックス回転で行い、分析結果は表21の通りである。分析の結果、3因子が抽出され、第1因子は、他者に頼らず解決したり一人でいることが好きであるといった志向性をもつ能力・気質特性で、「独力解決志向」と命名した。第2因子は、他者と関わりながら粘り強く解決するといった志向性をもつ能力・気質特性で、「他者関係調整志向」と命名した。第3因子は、失敗しても立ち直るのが早かったり、あまり細かいことにこだわってくよくよしなかったりといった志向性をもつ能力・気質特性で、「ポジティブ志向」と命名した。

表 21 能力・気質特性における因子分析

	第 1 因子	第 2 因子	第 3 因子
	独力解決志向	他者関係調整志向	ポジティブ志向
(8)他の人に頼らず、すべて自分でやりたい	.728	.421	-.096
(7)他の人に気兼ねなく助けてもらうことができる	-.532	.021	.275
(9)一人でいるのが好き	.413	-.047	-.038
(4)人に気配りできる	-.291	.557	.016
(3)社交的である	-.475	.526	.275
(1)粘り強い	.047	.414	.018
(2)人に負けたくない	.167	.385	-.069
(5)失敗から立ち直るのが早い	-.111	.212	.695
(6)細かいことにこだわる	.161	.241	-.603
Cronbach の α 係数	.57	.52	.55

累積寄与率 57.83%

(3) 能力・気質特性の世代間比較

表 22 は、能力・気質特性の第 1 因子「独力解決志向」において、世代間比較を行った結果である。どの世代でも「どちらでもない」という中間的な回答が多かったが、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,849)=4.29, p<.01$)。Tukey の多重比較検定の結果、20 代が独力で解決できないと最も思っており、30 代以降になると少しずつ自分の力で仕事ができるようになるからなのか、独力でやりたいと思う傾向が徐々に増えてきていた。

表 22 能力・気質特性「独力解決志向」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	2.61	0.64
30 代	204	2.46	0.62
40 代	211	2.34	0.56
50 代	167	2.43	0.61
60 代	63	2.47	0.58
70 代	25	2.36	0.62
合計	855	2.45	0.61

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

なお、第 2 因子と第 3 因子に関しては表 23 と表 24 の通りであるが、世代間で有意差はみられなかった。

表 23 能力・気質特性「他者関係調整志向」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	1.99	0.51
30 代	204	2.04	0.51
40 代	211	2.08	0.55
50 代	169	2.09	0.49
60 代	63	2.03	0.45
70 代	25	2.05	0.48
合計	857	2.05	0.51

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

表 24 能力・気質特性「ポジティブ志向」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	2.52	0.70
30 代	204	2.61	0.74
40 代	211	2.52	0.72
50 代	168	2.53	0.70
60 代	63	2.48	0.66
70 代	25	2.30	0.63
合計	856	2.54	0.71

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

（４）子どもの有無による能力・気質特性の比較

能力・気質特性の 3 つの因子において、子どもの有無と世代の 2 要因の多元配置分散分析を行った結果、「独力解決志向」において世代のみの主効果が認められ、子どもの有無の主効果及び、世代と子どもの有無の交互作用は認められなかった。すなわち前述したように年齢が高くなるにつれて一人で解決したいという志向性は高くなっていくが、子どもの有無による有意な違いはみられないと言えるだろう。その他「他者関係調整志向」と「ポジティブ志向」については世代と子どもの有無の主効果及び交互作用は認められなかった。

（５）能力・気質特性と現在の就業状況との関係

能力・気質特性と現在の就業状況との関係では、能力・気質特性の 3 つの因子のうち、1 つ（「他者関

表 25 能力・気質特性と現在の就業状況

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
独力解決志向	正規社員・正規職員	413	2.50	0.64	F(6,853)=1.55 (有意差なし)
	派遣社員・契約社員	92	2.38	0.57	
	一時的雇用（アルバイト・パート）	114	2.45	0.57	
	自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	26	2.27	0.53	
	家業を継いだ・手伝い	13	2.49	0.57	
	収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	150	2.37	0.61	
	その他	52	2.36	0.55	
	合計	860	2.44	0.61	
他者関係調整志向	正規社員・正規職員	413	1.99	0.51	F(6,855)=3.26, p<.01 収入なし>一時的雇用>家業>その他>自宅>正規職=派遣
	派遣社員・契約社員	92	1.99	0.46	
	一時的雇用（アルバイト・パート）	115	2.12	0.50	
	自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	26	2.01	0.38	
	家業を継いだ・手伝い	14	2.09	0.66	
	収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	150	2.19	0.53	
	その他	52	2.06	0.57	
	合計	862	2.05	0.51	
ポジティブ志向	正規社員・正規職員	413	2.49	0.73	F(6,854)=2.01 (有意差なし)
	派遣社員・契約社員	92	2.50	0.70	
	一時的雇用（アルバイト・パート）	115	2.69	0.72	
	自宅で仕事（塾・ピアノ教室等）	26	2.48	0.77	
	家業を継いだ・手伝い	13	2.31	0.75	
	収入を伴う仕事なし（専業主婦等）	150	2.61	0.67	
	その他	52	2.65	0.68	
	合計	861	2.55	0.71	

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

係調整志向」において有意差がみられた（表 25）。「他者関係調整志向」について、どの就業状態の人
も比較的他者と助け合いながら仕事をしている人が多いが、分散分析の結果、就業状況において有意差
がみられた（ $F(6,855)=3.26, p<.01$ ）。Tukey による多重比較検定の結果、正規職や派遣職に就いている
人は、他の就業状況の人よりも「他者関係調整志向」の考え方をより支持していた。これらの人々は毎
日比較的同じ仕事をしている状況であると思われ、このような状況の中で他者と協力しながら仕事を進
める能力がより求められているからだと考えられる。

（6）能力・気質特性と現在の職位との関係

能力・気質特性と現在の職位との関係では、40 代以降の人に限定して分散分析を行ったところ、能
力・気質特性の 3 つの因子のうち、「他者関係調整志向」と「ポジティブ志向」の 2 つにおいて有意差
がみられた（表 26）。

表 26 能力・気質特性と現在の職位

		人数	平均値	標準偏差	分析結果
独力解 決志向	役職なし	95	2.46	0.60	$F(4,290)=0.25$ (有意差なし)
	主任・課長・教頭	67	2.42	0.64	
	部長職以上	17	2.43	0.74	
	有期雇用	22	2.38	0.42	
	アルバイト・非常勤	89	2.38	0.54	
	合計	290	2.42	0.59	
他者関 係調整 志向	役職なし	96	1.92	0.51	$F(4,292)=2.87, p<.05$ アルバイト>有期>主任・課長>役職なし> 部長職
	主任・課長・教頭	67	2.00	0.47	
	部長職以上	17	1.88	0.54	
	有期雇用	22	2.01	0.46	
	アルバイト・非常勤	90	2.16	0.54	
	合計	292	2.02	0.51	
ポジテ ィブ志 向	役職なし	95	2.51	0.79	$F(4,291)=3.33, p<.05$ 有期>アルバイト>役職なし>主任・課長> 部長職以上
	主任・課長・教頭	67	2.33	0.58	
	部長職以上	17	2.09	0.75	
	有期雇用	22	2.80	0.70	
	アルバイト・非常勤	90	2.54	0.71	
	合計	291	2.47	0.72	

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

「他者関係調整志向」においては職位間で有意差がみられ($F(4,292)=2.87, p<.05$)、Tukey による多重
比較検定の結果、部長職以上の人は、他者への気配りや社交的であるといった他者との関係調整の能力・
気質特性を最も有している傾向があった。

「ポジティブ志向」に関しては、職位間で有意差がみられ($F(4,291)=3.33, p<.05$)、部長職以上の人が
ポジティブ志向の能力・気質特性を最も有していた。Tukey による多重比較検定の結果、有期雇用やア
ルバイト・非常勤職の人は、主任・課長相当職の人や部長職以上の人に比べてポジティブ志向が低くな
る傾向がみられた。これらの結果は、管理職に就くうえで、ポジティブ志向の要素が重要であること示
唆していると思われる。

4. 父親の価値観

(1) 父親の価値観に関する因子分析

女性としての生き方についての父親の考えは、娘の現在の就業状況や高い職位に就くことに影響を及ぼしているのだろうか。父親の価値観に関する4項目の質問において「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で選択回答を求めた。

主因子法バリマックス回転を行った結果は表27の通りである。分析の結果、2因子が抽出され、第1因子は、自分のことよりも家族を優先し女性は控えめにするようにと期待されたことから「伝統的価値観」と命名した。第2因子は、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと期待されたことから、「自立的価値観」と命名した。

表27 父親の価値観に関する因子分析

	第1因子 伝統的	第2因子 自立的
(3) 自分のことよりも家族を優先するように言われた	.834	.252
(4) 男性をたてて女性は控えめにするように言われた	.832	.062
(2) 結婚しても仕事を続けるようにと言われた	.152	.776
(1) 経済的自立をするように言われた	.115	.773
Cronbachの α 係数	.83	.76
累積寄与率	83.68%	

(2) 父親の価値観の世代間比較

① 父親の「伝統的価値観」

表28は、父親の価値観の第1因子「伝統的価値観」において、世代間比較を行った結果である。どの世代も家族を優先し女性は控えめにするようにと父親からあまり期待されてはいなかったが、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた($F(5,839)=11.48, p<.01$)。Tukeyの多重比較検定の結果、20代や30代では他の世代に比べて、父親から伝統的価値観をあまり求められてはいなかった。但し、ここで注目すべきは、60代や70代の卒業生であっても自分のことより家族を優先し女性は控えめにと、父親からはあまり求められてはこなかったことである。現在60代以上の本学卒業生であっても、良妻賢母を主眼においた高等教育進学を家庭でもあまり期待されてこなかった可能性があり、注目したい。

表28 父親の「伝統的価値観」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20代	178	3.57	0.69
30代	204	3.61	0.64
40代	211	3.30	0.85
50代	166	3.17	0.82
60代	61	3.04	0.89
70代	25	3.38	0.71
合計	845	3.39	0.79

註：平均値の数値は1に近いほど「あてはまる」、4に近いほど「あてはまらない」を意味する。

② 父親の「自立的価値観」

表 29 は、父親の価値観の第二因子「自立的価値観」において、世代間比較を行った結果である。どの世代においても、結婚しても仕事を続け、経済的に自立するようにと父親から期待されてはこなかった傾向がみられ、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果は認められなかった ($F(5,840)=2.01, n.s.$)。

表 29 父親の「自立的価値観」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	178	3.18	0.86
30 代	204	3.41	0.76
40 代	211	3.30	0.81
50 代	167	3.27	0.77
60 代	61	3.43	0.68
70 代	25	3.40	0.65
合計	846	3.31	0.79

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

(3) 父親の価値観と配偶者（夫）の有無との関係

父親の価値観の 2 つの因子について、どの世代も父親からどちらの価値観もあまり期待されてはこなかった傾向がみられた。そこでそれぞれの因子を構成している 2 項目の質問両方において、同じ回答傾向をした人のみに焦点をあててグループ分けをした。第一に、「伝統的価値観」の因子において、「(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた」の項目と、「(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた」の両項目で「あてはまる」「ややあてはまる」のどちらかを回答した人のみを取り出して、「伝統的価値期待」群とした。そして上記 2 項目(3)と(4)の両項目で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」のどちらかを回答した人のみを取り出して「伝統的価値非期待」群とした。

第二に、「自立的価値観」の因子において、「(1)経済的自立をするように言われた」の項目と、「(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた」の両項目で「あてはまる」「ややあてはまる」のどちらかを回答した人のみを取り出して、「自立的価値期待」群とした。そして上記 2 項目(1)と(2)の両項目で「あま

表 30 父親の「伝統的価値観」と配偶者（夫）の有無

	配偶者（夫）なし	配偶者（夫）あり	離別・死別	その他	合計
伝統的価値期待	13 (15.66)	64 (77.11)	6 (7.23)	0 (0.00)	83 (100.00)
伝統的価値非期待	235 (33.96)	427 (61.71)	26 (3.76)	4 (0.58)	692 (100.00)
合計	248 (32.00)	491 (63.35)	32 (4.13)	4 (0.52)	775 (100.00)

()内は%

表 31 父親の「自立的価値観」と配偶者（夫）の有無

	配偶者（夫）なし	配偶者（夫）あり	離別・死別	その他	合計
自立的価値期待	21 (32.31)	42 (64.62)	2 (3.08)	0 (0.00)	65 (100.00)
自立的価値非期待	190 (29.01)	435 (66.41)	26 (3.97)	4 (0.61)	655 (100.00)
合計	211 (29.31)	477 (66.25)	28 (3.89)	4 (0.56)	720 (100.00)

()内は%

りあてはまらない」「あてはまらない」のどちらかを回答した人のみを取り出して「自立的価値非期待」群とした。

全世代を対象にして分析した結果は表 30 と表 31 の通りである。その中でも特に 20 代と 30 代に焦点をあてて、「伝統的価値期待」群と、「伝統的価値非期待」群の 2 群に分け、配偶者の有無を「配偶者なし」と「配偶者あり（配偶者ありと離別・死別）」の 2 群間で χ^2 検定を行ったところ、有意差はみられなかった。また「自立的価値期待」群と、「自立的価値非期待」群の 2 群に分け、配偶者の有無について「配偶者なし」と「配偶者あり（配偶者ありと離別・死別）」の 2 群間で χ^2 検定を行ったところ、有意差はみられなかった。以上の結果から 20 代と 30 代の若い世代では、父親の「伝統的価値観」「自立的価値観」のどちらも配偶者の有無との関係はみられないと思われる。

（４）父親の価値観と現在の就業状況との関係

父親の「伝統的価値観」と現在の就業状況との関係は表 32 の通りである。「正規社員・正規職員」と、それ以外の人に分けて分析した結果、家族を優先し女性は控えめにするようにと父親から期待されなかった「伝統的価値非期待」群は、「正規社員・正規職員」に就いている人が有意に多かった（ $\chi^2(1, N=760) = 13.50, p < .01$ ）。

表 32 父親の「伝統的価値観」と現在の就業状況

()内は%

	正規社員・ 正規職員	派遣社員・ 契約社員	一時的雇 用（アル バイト・ パート）	自宅で仕事 （塾・ピア ノ教室等）	家業を継 いだ・手 伝い	収入を伴う仕 事なし（専業 主婦等）	その他	合計
伝統的価値期待	24 (29.27)	8 (9.76)	10 (12.20)	7 (8.54)	3 (3.66)	17 (20.73)	13 (15.85)	82 (100.00)
伝統的価値非期待	344 (50.74)	77 (11.36)	90 (13.27)	14 (2.06)	8 (1.18)	111 (16.37)	34 (5.01)	678 (100.00)
合計	368 (48.42)	85 (11.18)	100 (13.16)	21 (2.76)	11 (1.45)	128 (16.84)	47 (6.18)	760 (100.00)

父親の「自立的価値観」と現在の就業状況との関係は表 33 の通りである。「正規社員・正規職員」と、それ以外の人に分けて分析した結果、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと父親から期待された「自立的価値期待」群は、「正規社員・正規職員」に就いている人が有意に多かった（ $\chi^2(1, N=700) = 13.39, p < .01$ ）。

表 33 父親の「自立的価値観」と現在の就業状況

()内は%

	正規社員・ 正規職員	派遣社員・ 契約社員	一時的雇 用（アル バイト・ パート）	自宅で仕事 （塾・ピア ノ教室等）	家業を継 いだ・手 伝い	収入を伴う仕 事なし（専業 主婦等）	その他	合計
自立的価値期待	44 (67.69)	4 (6.15)	4 (6.15)	3 (4.62)	1 (1.54)	7 (10.77)	2 (3.08)	65 (100.00)
自立的価値非期待	279 (43.94)	68 (10.71)	95 (14.96)	18 (2.83)	9 (1.42)	123 (19.37)	43 (6.77)	635 (100.00)
合計	323 (46.14)	72 (10.29)	99 (14.14)	21 (3.00)	10 (1.43)	130 (18.57)	45 (6.43)	700 (100.00)

以上の結果から父親が娘に対して女性は控えめにするようにと期待してこなかったり、自立をするようにと期待してきたりしたことが、女性が正規職に就くことを後押しする上で何らかの影響を与えていたと推察できる。

(5) 父親の価値観と現在の職位との関係

父親の「伝統的価値観」と現在の職位について、40代以降の人に限定して分析した結果は表34の通りである。「部長職以上（部長・社長・校長職等）」と、それ以外の人に分けて分析した結果、家族を優先し女性は控えめにするようにと父親から期待されてきたか否かによって、職位間に有意差が認められた（ $\chi^2(1, N=250)=4.55, p<.05$ ）。家族を優先し女性は控えめにするようにと言われた「伝統的価値期待」群では「部長職以上（部長・社長・校長職等）」に就いている人が多かった。しかし主任・課長相当職については、父親の「伝統的価値観」との有意な関係はみられなかった（ $\chi^2(1, N=250)=0.89, n.s.$ ）。

表34 父親の「伝統的価値観」と現在の職位

	役職なし	主任・課長・教頭職・ 課長相当職	部長職以上（部長・社 長・校長等）	有期雇用	アルバイト・ 非常勤	()内は%
伝統的価値期待	9 (29.03)	5 (16.13)	5 (16.13)	3 (9.68)	9 (29.03)	31 (100.00)
伝統的価値非期待	72 (32.88)	52 (23.74)	10 (4.57)	18 (8.22)	67 (30.59)	219 (100.00)
合計	81 (32.40)	57 (22.80)	15 (6.00)	21 (8.40)	76 (30.40)	250 (100.00)

父親の「自立的価値観」と現在の職位との関係について、40代以降の人に限定して分析した結果は表35の通りである。「部長職以上（部長・社長・校長職等）」と、それ以外の人に分けて2群間で χ^2 検定を行った結果、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと父親から期待されてきたか否かで、有意差は認められなかった（ $\chi^2(1, N=237)=1.42, n.s.$ ）。また「主任・課長・教頭職・課長相当職」と、それ以外の人に分けて2群間で χ^2 検定を行った結果、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと父親から期待されてきたか否かで、有意差が認められ（ $\chi^2(1, N=237)=5.26, p<.05$ ）、自立するように言われた「自立的価値期待」群は「主任・課長・教頭職・課長相当職」に就いている人が多かった。

表35 父親の「自立的価値観」と現在の職位

	役職なし	主任・課長・教頭職・ 課長相当職	部長職以上（部長・社 長・校長等）	有期雇用	アルバイト・ 非常勤	()内は%
自立的価値期待	5 (21.74)	10 (43.48)	3 (13.04)	1 (4.35)	4 (17.39)	23 (100.00)
自立的価値非期待	69 (32.24)	47 (21.96)	10 (4.67)	17 (7.94)	71 (33.18)	214 (100.00)
合計	74 (31.22)	57 (24.05)	13 (5.49)	18 (7.59)	75 (31.65)	237 (100.00)

以上の結果から、父親の「伝統」「自立」に関する価値観は、娘の正規職に就くか否かの就業状況に影響を与えていたことが明らかになった。結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと期待されてきたことが、また自分のことよりも家族を優先し女性は控えめにするようにと期待されてはこなかったこ

とが、娘が正規職に就く上でプラスに働いている可能性があると言えるだろう。

職位の状況についても、「自立」に関しては娘が主任・課長相当職に就く上でプラスの影響を与えた可能性があるが、部長職以上の職においては有意な影響はみられなかった。さらに、父親が「伝統」的な価値観をもって娘を育てたことが、娘が「部長職以上（部長・社長・校長職等）」に就く上で、マイナスの影響を与えられたと思われたが、結果はむしろ逆であった。家族を優先し女性は控えめにするようにと父親から期待されてきた娘の方が「部長職以上」の要職に就いていた。後述するように母親とは異なる影響を父親から受けており、異性の親から受けた「伝統」的な考え方を、娘がどのように転換させてより上位の職を得ていったかについては、今後とも詳細な分析が必要であろう。家庭外で「伝統」的な価値観を転換させる教育や様々な人との出会いの中で、どのようなことが契機となって、女性が価値観を変えていくかについては、現在日本政府によって進められている女性の管理職増加政策の分析をする上でも、興味深いテーマになるであろう。

5. 母親の価値観

（1）母親の価値観に関する因子分析

女性としての生き方についての母親の考えは、娘の現在の就業状況や高い職位に就くことに影響を及ぼしているのだろうか。母親の価値観に関する4項目の質問において「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で選択回答を求めた。

主因子法バリマックス回転を行った結果は表36の通りである。分析の結果、2因子が抽出され、第1因子は、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと期待されたことから、「自立的価値観」と命名した。第2因子は、自分よりも家族を優先し女性は控えめにするようにと期待されたことから「伝統的価値観」と命名した。

表36 母親の価値観に関する因子分析

	第1因子 自立的	第2因子 伝統的
(2) 結婚しても仕事を続けるようにと言われた	.824	.103
(1) 経済的自立をするように言われた	.823	.080
(3) 自分のことよりも家族を優先するように言われた	.161	.807
(4) 男性をたてて女性は控えめにするように言われた	.027	.803
Cronbachの α 係数	.81	.79

累積寄与率 83.74%

（2）母親の価値観の世代間比較

① 母親の「自立的価値観」

表37は、母親の価値観の第1因子「自立的価値観」において、世代間比較を行った結果である。どの世代でも結婚しても仕事を続け、経済的に自立するようには期待されなかった傾向がややみられたが、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,856)=3.57, p<.01$)。Tukeyの多重比較検定の結果、60代では、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようには、他の世代に比べて母親からあまり期待されてはいなかった。

表 37 母親の「自立的価値観」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	2.74	1.00
30 代	205	2.88	1.05
40 代	211	2.71	1.06
50 代	168	2.83	1.02
60 代	62	3.28	0.84
70 代	25	2.98	0.95
合計	856	2.83	1.03

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

② 母親の「伝統的価値観」

表 38 は、母親の価値観の第 2 因子「伝統的価値観」において、世代間比較を行った結果である。どの世代でも、自分のことより家族を優先し女性は控えめにと母親から期待されてはこなかった傾向がみられたが、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,854)=7.21, p<.01$)。Tukey の多重比較検定の結果、20 代では母親から伝統的価値観を最も期待されてはいなかった。そして 60 代までは年代が上がるにつれて徐々に自分のことよりも家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から期待されるようになっていった。但し父親と同様に、本学の卒業生は 70 代であってもどちらかという、家族を優先し女性は控えめにするようにとあまり期待されてはこなかった傾向がみられた。

表 38 母親の「伝統的価値観」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	185	3.35	0.81
30 代	204	3.28	0.84
40 代	211	3.05	0.92
50 代	167	2.93	0.91
60 代	62	2.82	1.08
70 代	25	3.24	0.72
合計	854	3.14	0.90

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

(3) 母親の価値観と配偶者（夫）の有無との関係

母親の価値観の 2 つの因子（「自立的価値観」「伝統的価値観」）について、どの世代においてもどちらかという母親からあまり期待されてはこなかった傾向があった。そこでそれぞれの因子を構成している 2 項目の質問両方において、同じ回答傾向をした人のみに焦点をあててグループ分けをした。第一に、「自立的価値観」の因子において、「(1)経済的自立をするように言われた」の項目と、「(2)結婚しても仕事を続けるように言われた」の両項目で「あてはまる」「ややあてはまる」のどちらかを回答した人のみを取り出して、「自立的価値期待」群とした。そして上記 2 項目(1)と(2)の両項目で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」のどちらかを回答した人のみを取り出して「自立的価値非期待」群とした。

第二に、「伝統的価値観」の因子において、「(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた」の項目と、「(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた」の両項目で「あてはまる」「ややあてはまる」のどちらかを回答した人のみを取り出して、「伝統的価値期待」群とした。そして上記 2 項目(3)と(4)の両項目で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」のどちらかを回答した人のみを取り出して「伝統的価値非期待」群とした。

全世代を対象にして分析した結果は表 39 と表 40 の通りである。その中でも特に 20 代と 30 代に焦点をあてて、「伝統的価値期待」群と、「伝統的価値非期待」群の 2 群に分け、配偶者の有無について「配偶者なし」と「配偶者あり（配偶者ありと離別・死別）」の 2 群間で χ^2 検定を行ったところ、母親の「伝統的価値観」では 2 群間において有意差がみられた（ $\chi^2(1, N=310)=10.40, p<.01$ ）。家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から期待された「伝統的価値期待」群には、配偶者がある人が有意に多かった。自分のことよりも家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から期待されてきたことが、娘の結婚を早めていると推測される。

一方、母親の「自立的価値観」では配偶者の有無による有意差は認められなかった（ $\chi^2(1, N=291)=0.44, n.s.$ ）。

表 39 母親の「伝統的価値観」と配偶者の有無

()内は%

	配偶者（夫）なし	配偶者（夫）あり	離別・死別	その他	合計
伝統的価値期待	21 (14.69)	113 (79.02)	5 (3.50)	1 (0.70)	143 (100.00)
伝統的価値非期待	215 (37.13)	338 (58.38)	21 (3.63)	3 (0.52)	579 (100.00)
合計	236 (32.69)	451 (62.47)	26 (3.60)	4 (0.55)	722 (100.00)

表 40 母親の「自立的価値観」と配偶者の有無

()内は%

	配偶者（夫）なし	配偶者（夫）あり	離別・死別	その他	合計
自立的価値期待	73 (30.42)	155 (64.58)	10 (4.17)	1 (0.42)	240 (100.00)
自立的価値非期待	126 (27.81)	303 (66.89)	18 (3.97)	3 (0.66)	453 (100.00)
合計	199 (28.72)	458 (66.09)	28 (4.04)	4 (0.003)	693 (100.00)

（４）母親の価値観と現在の就業状況との関係

母親の「伝統的価値観」と現在の就業状況との関係は表 41 の通りである。「正規社員・正規職員」と、それ以外に分けて分析した結果、家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から期待されなかった「伝統的価値非期待」群は、「正規社員・正規職員」に就いている人が有意に多かった（ $\chi^2(1, N=775)=41.45, p<.01$ ）。

表 41 母親の「伝統的価値観」と現在の就業状況

()内は%

	正規社員・ 正規職員	派遣社員・ 契約社員	一時的雇 用（アル バイト・ パート）	自宅で仕事 （塾・ピア ノ教室等）	家業を継 いだ・手 伝い	収入を伴う仕 事なし（専業 主婦等）	その他	合計
伝統的価値期待	44 (31.65)	17 (12.23)	19 (13.67)	9 (6.47)	4 (2.88)	31 (22.30)	15 (10.79)	139 (100.00)
伝統的価値非期待	293 (52.51)	60 (10.75)	72 (12.90)	11 (1.97)	6 (1.08)	89 (15.95)	27 (4.84)	558 (100.00)
合計	337 (48.35)	77 (11.05)	91 (13.06)	20 (2.87)	10 (1.43)	120 (17.22)	42 (6.03)	697 (100.00)

母親の「自立的価値観」と現在の就業状況との関係は表 42 の通りである。「正規社員・正規職員」と、それ以外の人に分けて分析した結果、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと母親から期待された「自立的価値期待」群は、「正規社員・正規職員」に就いている人が有意に多かった ($\chi^2(1, N=671) = 20.44, p < .01$)。

表 42 母親の「自立的価値観」と現在の就業状況

()内は%

	正規社員・ 正規職員	派遣社員・ 契約社員	一時的雇 用 (アル バイト・ パート)	自宅で仕事 (塾・ピア ノ教室等)	家業を継 いだ・手 伝い	収入を伴う仕 事なし (専業 主婦等)	その他	合計
自立的価値期待	137 (58.55)	24 (10.26)	23 (9.83)	8 (3.42)	2 (0.85)	27 (11.54)	13 (5.56)	234 (100.00)
自立的価値非期待	176 (40.27)	41 (9.38)	72 (16.48)	15 (3.43)	5 (1.14)	102 (23.34)	26 (5.95)	437 (100.00)
合計	313 (46.65)	65 (9.69)	95 (14.16)	23 (3.43)	7 (1.04)	129 (19.23)	39 (5.81)	671 (100.00)

以上の結果から、家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から期待されなかったり、経済的に自立するようにと期待されてきたりしたことが、娘にとって正規職に就く上でプラスに働いた可能性があると言える。

(5) 母親の価値観と現在の職位との関係

母親の「伝統的価値観」と現在の職位について、40 代以降の人に限って分析した結果は表 43 の通りである。主任・課長相当職について、母親から家族優先・女性は控えめにするように期待されたか否かによって有意差がみられた ($\chi^2(1, N=236) = 5.76, p < .05$)。家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から期待されなかった「伝統的価値非期待」群は、主任・課長相当職に就いている人が有意に多かった。したがって、40 代以上の人が主任・課長相当職に女性が就くことと、母親から家族を優先し女性は控えめにするようにと期待されなかったこととは関係していると推察され、母親から伝統的価値観を求められなかったことが、主任・課長相当職に就く上でプラスに働いていると考えられる。

表 43 母親の「伝統的価値観」と現在の職位

()内は%

	役職なし	主任・課長・教頭職・ 課長相当職	部長職以上 (部長・ 社長・校長等)	有期雇用	アルバイト・ 非常勤	合計
伝統的価値期待	18 (30.51)	7 (11.86)	6 (10.17)	5 (8.47)	23 (38.98)	59 (100.00)
伝統的価値非期待	58 (32.77)	48 (27.12)	9 (5.08)	14 (7.91)	48 (27.12)	177 (100.00)
合計	76 (32.20)	55 (23.31)	15 (6.36)	19 (8.05)	71 (30.08)	236 (100.00)

母親の「自立的価値観」と現在の職位との関係は表 44 の通りである。「部長職以上 (部長・社長・校長職等)」と、それ以外の人に分けて 2 群間で χ^2 検定を行った結果、母親から自立するように期待されたか否かによって、2 群間に有意差はみられなかった ($\chi^2(1, N=228) = 0.22, n.s.$)。同様に「主任・課長・教頭職・課長相当職」に就いている人と、それ以外の人に分けて 2 群間で χ^2 検定を行った結果、母

親から自立するようにと期待されたか否かによって、2群間に有意差はみられなかった ($\chi^2(1, N=228) = 3.50, n.s.$)。これらの結果から、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと母親から期待されてきたことが、娘が役職に就くことに影響を与えているとは言えなかった。

表 44 母親の「自立的価値観」と現在の職位

	役職なし	主任・課長・教頭職・ 課長相当職	部長職以上(部長・ 社長・校長等)	有期雇用	アルバイト・ 非常勤	合計
自立的価値期待	31 (34.07)	27 (29.67)	6 (6.59)	8 (8.79)	19 (20.88)	91 (100.00)
自立的価値非期待	45 (32.85)	26 (18.98)	7 (5.11)	7 (5.11)	52 (37.96)	137 (100.00)
合計	76 (33.33)	53 (23.25)	13 (5.70)	15 (6.58)	71 (31.14)	228 (100.00)

以上の結果から、母親の「伝統」「自立」に関する価値観は、娘の正規職に就くか否かの就業状況に影響を与えていることが明らかになった。結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと期待されてきたことが、また自分のことよりも家族を優先し女性は控えめにするようにと期待されてはこなかったことが、娘が正規職に就く上でプラスに働いている可能性があると言えるだろう。この点では父親の価値観の影響と同様だと言える。

職位の状況について、「伝統」に関しては、家族を優先し女性は控えめにと母親が期待しなかったことは、娘が主任・課長相当職に就く上でプラスの影響を与えた可能性がある。しかし「自立」に関しては、主任・課長相当職であっても部長職以上であっても、母親から自立するようにと期待されてきたこととは関係がみられなかった。したがってこの点は父親とは異なる影響を娘に与えていると言えるだろう。

6. 配偶者(夫)の価値観

(1) 配偶者(夫)の価値観に関する因子分析

女性としての生き方についての配偶者(夫)の考えは、妻の現在の就業状況や高い職位に就くことに影響を与えているのだろうか。配偶者の価値観に関する4項目の質問において「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で選択回答を求めた。主因子法バリマックス回転を行った結果は表45の通りである。分析の結果、2因子が抽出され、第1因子は、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようと言われたことから、「自立的価値観」と命名した。第2因子は、

表 45 配偶者の価値観に関する因子分析

	第1因子 自立的	第2因子 伝統的
(2)結婚しても仕事を続けるようと言われた	.855	.080
(1)経済的自立をするよう言われた	.854	.134
(4)男性をたてて女性は控えめにするよう言われた	.085	.828
(3)自分のことよりも家族を優先するよう言われた	.121	.827
Cronbachの α 係数	.85	.82
累積寄与率	85.99%	

自分のことよりも家族を優先し女性は控えめにするようにと言われたことから「伝統的価値観」と命名した。

(2) 配偶者（夫）の価値観の世代間比較

① 配偶者の「自立的価値観」

表 46 は、配偶者の価値観の第 1 因子「自立的価値観」において、世代間比較を行った結果である。分散分析の結果、世代要因での有意な主効果は認められなかった ($F(5,611)=0.56, n.s.$)。したがってどの世代においても、結婚しても仕事を続け経済的にも自立することを配偶者からあまり期待されてはこなかった傾向がみられた。

表 46 配偶者の「自立的価値観」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	63	3.18	0.92
30 代	149	3.17	0.91
40 代	172	3.27	0.90
50 代	147	3.31	0.87
60 代	57	3.32	0.82
70 代	23	3.24	0.89
合計	611	3.25	0.89

註：平均値の数値は 1 に近いほど「あてはまる」、4 に近いほど「あてはまらない」を意味する。

② 配偶者の「伝統的価値観」

表 47 は、配偶者（夫）の価値観の第 2 因子「伝統的価値観」において、世代間比較を行った結果である。どの世代でも家族を優先し女性は控えめにするようにと配偶者からあまり期待されてはこなかった傾向がみられたが、分散分析の結果、世代要因での有意な主効果が認められた ($F(5,611)=5.41, p<.01$)。Tukey の多重比較検定の結果、特に 20 代と 30 代はその上の世代に比べて、配偶者から伝統的価値観をあまり求められてはこなかったと考えられる。

表 47 配偶者の「伝統的価値観」の世代間比較

世代	人数	平均値	標準偏差
20 代	63	3.57	0.61
30 代	149	3.55	0.69
40 代	172	3.30	0.83
50 代	147	3.18	0.87
60 代	57	3.20	0.80
70 代	23	3.09	0.78
合計	611	3.34	0.80

(3) 配偶者（夫）の価値観と現在の就業状況との関係

配偶者（夫）の価値観の 2 つの因子（「自立的価値観」「伝統的価値観」）について、どの世代においてもどちらかという配偶者からあまり期待されてはこなかった傾向があった。そこでそれぞれの因子を構成している 2 項目の質問両方において、同じ回答傾向をした人のみに焦点をあててグループ分けをした。第一に、「自立的価値観」の因子において、「(1)経済的自立をするように言われた」の項目と、「(2)結婚しても仕事を続けるように言われた」の両項目で「あてはまる」「ややあてはまる」のどちらかを

回答した人のみを取り出して、「自立的価値期待」群とした。そして上記2項目(1)と(2)の両項目で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」のどちらかを回答した人のみを取り出して「自立的価値非期待」群とした。

第二に、「伝統的価値観」の因子において、「(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた」の項目と、「(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた」の両項目で「あてはまる」「ややあてはまる」のどちらかを回答した人のみを取り出して、「伝統的価値期待」群とした。そして上記2項目(3)と(4)の両項目で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」のどちらかを回答した人のみを取り出して「伝統的価値非期待」群とした。

配偶者の「伝統的価値観」と現在の就業状況との関係は表48の通りである。「正規社員・正規職員」と、それ以外の就業状況の人を「その他」として分析した結果、家族を優先し女性は控えめにするようにと配偶者から期待されたか否かで有意差は認められなかった ($\chi^2(1, N=537)=2.65, n.s.$)。

表48 配偶者(夫)の「伝統的価値観」と現在の就業状況

()内は%

	正規社員・ 正規職員	派遣社員・ 契約社員	一時的雇 用(アル バイト・ パート)	自宅で仕事 (塾・ピア ノ教室等)	家業を継 いだ・手 伝い	収入を伴う仕 事なし(専業 主婦等)	その他	合計
伝統的価値期待	20 (29.85)	10 (14.93)	12 (17.91)	3 (4.48)	0 (0.00)	14 (20.90)	8 (11.94)	67 (100.00)
伝統的価値非期待	189 (40.21)	40 (8.51)	79 (16.81)	18 (3.83)	9 (1.91)	108 (22.98)	27 (5.74)	470 (100.00)
合計	209 (38.92)	50 (9.31)	91 (16.95)	21 (3.91)	9 (1.68)	122 (22.72)	35 (6.52)	537 (100.00)

配偶者の「自立的価値観」と現在の就業状況との関係は表49の通りである。「正規社員・正規職員」と、それ以外の就業状況の人を「その他」として分析した結果、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと配偶者から期待された「自立的価値期待」群は、「正規社員・正規職員」に就いている人が有意に多かった ($\chi^2(1, N=523)=27.09, p<.01$)。一方で、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと配偶者から期待されなかった「自立的価値非期待」群は、「収入を伴う仕事なし(専業主婦等)」の人が有意に多かった ($\chi^2(1, N=523)=15.34, p<.01$)。すなわち自立することを良しとする配偶者の価値観が、女性が正規職として就業することを後押ししている可能性があると言えるだろう。

表49 配偶者(夫)の「自立的価値観」と現在の就業状況

()内は%

	正規社員・ 正規職員	派遣社員・ 契約社員	一時的雇 用(アル バイト・ パート)	自宅で仕事 (塾・ピア ノ教室等)	家業を継 いだ・手 伝い	収入を伴う仕 事なし(専業 主婦等)	その他	合計
自立的価値期待	53 (60.23)	15 (17.05)	8 (9.09)	2 (2.27)	0 (0.00)	7 (7.95)	3 (3.41)	88 (100.00)
自立的価値非期待	135 (31.03)	36 (8.28)	84 (19.31)	17 (3.91)	11 (2.53)	120 (27.59)	32 (7.36)	435 (100.00)
合計	188 (35.95)	51 (9.75)	92 (17.59)	19 (3.63)	11 (2.10)	127 (24.28)	35 (6.69)	523 (100.00)

(4) 配偶者（夫）の価値観と現在の職位との関係

配偶者（夫）の「伝統的価値観」と現在の職位との関係は表 50 の通りである。分析の結果、配偶者（夫）の「伝統的価値観」と現在の職位との間には有意差は認められなかった。

表 50 配偶者（夫）の「伝統的価値観」と現在の職位

()内は%

	役職なし	主任・課長・教頭職・ 課長相当職	部長職以上（部長・ 社長・校長等）	有期雇用	アルバイト・ 非常勤	合計
伝統的価値期待	12 (33.33)	6 (16.67)	2 (5.56)	0 (0.00)	16 (44.44)	36 (100.00)
伝統的価値非期待	59 (32.96)	35 (19.55)	10 (5.59)	15 (8.38)	60 (33.52)	179 (100.00)
合計	71 (33.02)	41 (19.07)	12 (5.58)	15 (6.98)	76 (35.35)	215 (100.00)

配偶者の「自立的価値観」と現在の職位との関係は表 51 の通りである。分析の結果、配偶者の自立的価値観と現在の職位との間には有意差は認められなかった。

表 51 配偶者（夫）の「自立的価値観」と現在の職位

()内は%

	役職なし	主任・課長・教頭職・ 課長相当職	部長職以上（部長・ 社長・校長等）	有期雇用	アルバイト・ 非常勤	合計
自立的価値期待	22 (53.66)	5 (12.20)	2 (4.88)	4 (9.76)	8 (19.51)	41 (100.00)
自立的価値非期待	42 (25.30)	34 (20.48)	9 (5.42)	12 (7.23)	69 (41.57)	166 (100.00)
合計	64 (30.92)	39 (18.84)	11 (5.31)	16 (7.73)	77 (37.20)	207 (100.00)

以上の結果から、配偶者の「伝統」に関する価値観は、妻の正規職に就くか否かの就業状況に有意差をもたらさないが、「自立」に関する価値観は、妻が正規職に就くことにプラスの影響をもたらしていることが明らかになった。結婚しても妻が仕事を続け、経済的に自立するようにとの価値観を夫が持っていることが、妻が正規職に就く上でプラスに働いている可能性がある。したがって「自立」に関しては父親や母親の価値観の影響と同様だと言える。職位の状況については、「自立」「伝統」ともに、妻の職位とは関係がなかった。以上のことから配偶者の価値観は妻の就業状況には影響を与えるが、職位に関しては両親の価値観の方が、女性の働き方に影響を与えていると考えられる。

このように女性が家族からどのような性別役割分業の考え方を受けてきたかは、就業状況にも影響を与えられられる。父親、母親そして配偶者から結婚しても仕事を続けるように期待されたり、経済的に自立するよう期待されたりしてきたことが、正規職に就くことにプラスの影響を与えていた可能性がある。また職位に関しては、父親、母親や配偶者は異なる影響をもたらしていたと考えられる。

7. 卒業（修了）時に描いた生き方

卒業（修了）時に描いた生き方と世代との関係は表 52 の通りである。20 代～70 代を 3 つに分け、20 代と 30 代、40 代と 50 代、60 代と 70 代の 3 段階で分析したところ、特に「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という生き方に対して世代間で有意差が認められた（ $\chi^2(2, N=810)=26.75, p<.01$ ）。世代が上がるにしたがって、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という生き方は減少しており、20 代と 30 代ではほぼ半数がこのような生き方を卒業（修了）時に選択していたことが明らかになった。

また 40 代と 50 代では、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」と「結婚し子どもを持つが、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」の生き方の選択がほぼ同じ割合になり、60 代と 70 代ではむしろ「結婚し子どもを持つが、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」の生き方を選択した人が多かった。

表 52 卒業時に描いた生き方と世代

世代	卒業（修了）時に描いた生き方							合計
		結婚せず 仕事一生 続ける	結婚するが子 どもは持た ず、仕事を一 生続ける	結婚し子ども を持つが、仕 事も一生続け る	結婚し子どもを持つ が、結婚や出産でいっ たん退職し、子育て後 に再び仕事を持つ	結婚し子どもを持 ち、結婚や出産で 退職し、その後、 仕事を持たない	その他	
20 代	人数	7	6	84	67	12	6	182
	%	3.85	3.30	46.15	36.81	6.59	3.30	100.00
30 代	人数	10	3	98	66	21	6	204
	%	4.90	1.47	48.04	32.35	10.29	2.94	100.00
40 代	人数	15	4	67	77	36	11	210
	%	7.14	1.90	31.90	36.67	17.14	5.24	100.00
50 代	人数	4	5	56	60	33	10	168
	%	2.38	2.98	33.33	35.71	19.64	5.95	100.00
60 代	人数	1	1	14	26	15	5	62
	%	1.61	1.61	22.58	41.94	24.19	8.06	100.00
70 代	人数	1	0	6	8	7	3	25
	%	4.00	0.00	24.00	32.00	28.00	12.00	100.00
合計	人数	38	19	325	304	124	41	851
	%	4.47	2.23	38.19	35.72	14.57	4.82	100.00

日本では、1985 年に「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」が制定され、1991 年には「育児休業に関する法律（育児休業法）」が制定された。アンケート回収時の 2019 年現在 20 代の人には生まれたときにすでに育児休業法が制定されており、彼女らの母親が取得した可能性もある。したがって「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という生き方の事例を身近でみてきた可能性もある。また現在 30 代の人でも児童期から青年期にかけて育児休業の取得率が徐々に増加しているのを見てきており、自分の将来の働き方を考える際に参考にしてきた可能性もある。図 1 に示したように、1999 年度には 56.4%だった女性の育児休業取得率が、2004 年度には 70.6%と増加している（厚生労働省編,2019b）のを見て、大学生の頃には育児休業を取得することを前提としたキャリアを考えていた女子大学生も多いと思われる。

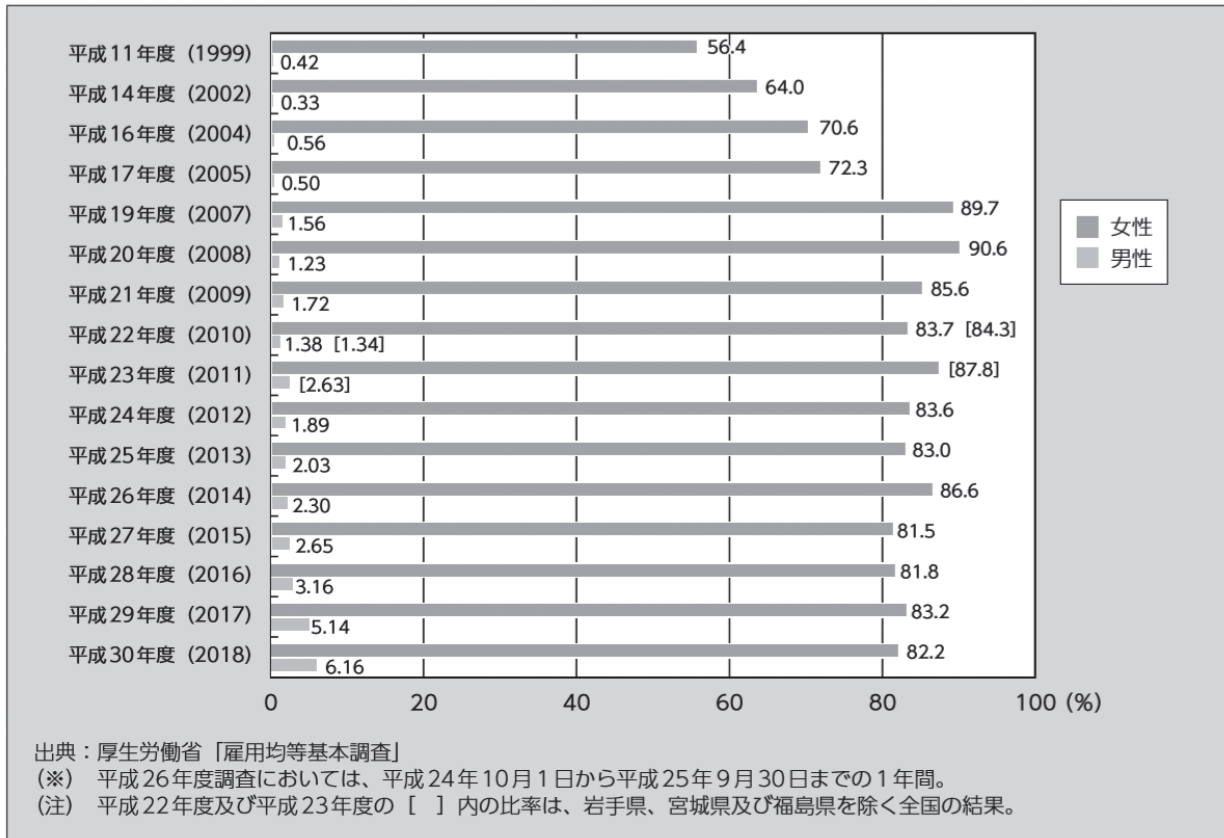


図1 育児休業取得率の推移

出典：厚生労働省編.(2019b). 令和2年版厚生労働白書：令和時代の社会保障と働き方を考える 日経印刷,p.197

一方、現在 40 代の人にはちょうど高校生から大学生の頃に育児休業法が制定され、大学在学中に就職した頃の 1996 年で女性の育児休業取得者が 49.1%（厚生労働省,2019a）という時代であった。したがって育児休業を取得できた人は、大手の会社勤務者や公務員のみに限られていたと考えられ、育児休業を取得できたとしても、育児休業明けに子育てをしながら仕事を続けることに苦労していた人も現在以上に多かったであろう。そのような女性の働き方と子育てを見ることによって、自分が子育てをしながら仕事を一生続ける生き方に躊躇する人もいたと考えられる。

さらに現在 50 代の人では、大学生もしくは就職後に男女雇用機会均等法が制定されており、女性が男性と同等に働くことを求められていながら、総合職の大変さも同時にみてきた世代である。また育児休業後も保育所に預けることが現在以上に困難である状況をみてきたと考えられる。その結果、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」を卒業（修了）時に選択する人が、若い世代よりも少なかったと推測される。

現在 60 代や 70 代の人では、「結婚し子どもを持つが、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」ことを卒業時に想定する者の方が、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」よりも多くなっていた。また 60 代と 70 代で「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」と卒業時に想定した人の 20 人中 10 人が、卒業時の職業として「専門・技術的職業」を選び、「結婚せず仕事を一生続ける」と想定した 2 人はどちらも「専門・技術的職業」を選択していた。すなわちこの世代では専門的なスキルを身に付けて就職することが、就業継続を想定する重要な要因になっていたと考えられる。

8. 現在の生き方

現在の生き方に最も当てはまるものと、世代との関係は表 53 の通りである。20 代と 30 代が「結婚し子どもを持つ（った）が、仕事も一生続ける」生き方を他の世代よりも多くの人が選択していた。40 代では「結婚し子どもを持つ（った）が、仕事も一生続ける」と「結婚し子どもを持つ（った）が、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」の生き方を同じ割合で選択していた。50 代と 60 代では「結婚し子どもを持つ（った）が、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」を選択する人の割合が多くなり、70 代では「その他」が多かった。

また 20 代～50 代では、「結婚し子どもを持つ（った）が、仕事も一生続ける」を現在の生き方として選択している人の割合は、卒業（修了）時よりも少しずつ減っていた。20 代や 30 代では未婚者も多く、20 代で 47.75%、30 代で 23.53% いる。したがって今後彼女らが結婚や出産を経てどのような選択をしていくかは不明であるが、他の世代よりも卒業（修了）時の「結婚や出産と仕事の両立」の希望者が多いだけに、今後彼女らの就業継続をどのように大学が支援できるかが、重要になってくるであろう。

表 53 現在の生き方と世代

世代	現在の生き方							合計
		結婚せず仕事一生続ける	結婚する（した）が子どもは持たず、仕事を一生続ける	結婚し子どもを持つ（った）が、仕事も一生続ける	結婚し子どもを持つ（った）が、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	結婚し子どもを持ち、結婚や出産で退職し、その後は仕事を持たない	その他	
20 代	人数	18	8	73	55	8	14	176
	%	10.23	4.55	41.48	31.25	4.55	7.95	100.00
30 代	人数	17	12	91	53	15	15	203
	%	8.37	5.91	44.83	26.11	7.39	7.39	100.00
40 代	人数	27	23	58	58	21	21	208
	%	12.98	11.06	27.88	27.88	10.10	10.10	100.00
50 代	人数	12	13	42	59	19	21	166
	%	7.23	7.83	25.30	35.54	11.45	12.65	100.00
60 代	人数	3	3	14	27	9	6	62
	%	4.83	4.83	22.58	43.55	14.52	9.68	100.00
70 代	人数	1	0	5	6	4	8	24
	%	4.16	0.00	20.83	25.00	16.67	33.33	100.00
合計	人数	78	59	283	258	76	85	839
	%	9.30	7.03	33.73	30.75	9.06	10.13	100.00

9. 卒業（修了）時に描いた生き方と現在の生き方との関係

卒業時に描いた生き方と現在の生き方との関係は表 54 の通りである。「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」「結婚し子どもを持つが、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」とそれぞれ卒業時に描いた人の約半数は、現在も同じ生き方をしていることが明らかになった。したがって卒業までの考え方が、その後の人生の生き方を左右すると考えられる。大学卒業までの教育のなかで、

社会状況をどう捉え、どう情報を収集し、その後の自分のキャリアをどう構築していくかについて考える機会を多くもつことが必要であろう。

表 54 卒業時に描いた生き方と現在の生き方

			現在の生き方						合計
			結婚せず 仕事一生 続ける	結婚する (した) が子ども は持た ず、仕事 を一生続 ける	結婚し子 どもを持 つ(っ た)が、 仕事も一 生続ける	結婚し子どもを 持つ(った) が、結婚や出産 でいったん退職 し、子育て後に 再び仕事を持つ	結婚し子どもを 持ち、結婚や出 産で退職し、そ の後は仕事を持 たない	その他	
卒業時に描いた生き方	結婚せず仕事一生続ける	人数	15	5	9	5	1	6	41
		%	36.59	12.20	21.95	12.20	2.44	14.63	100.00
	結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	人数	1	5	4	3	3	2	18
		%	5.56	27.78	22.22	16.67	16.67	11.11	100.00
	結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	人数	28	29	185	60	11	19	332
		%	8.43	8.73	55.72	18.07	3.31	5.72	100.00
	結婚し子どもを持つが、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	人数	21	11	69	158	24	28	311
		%	6.75	3.54	22.19	50.80	7.72	9.00	100.00
	結婚し子どもを持ち、結婚や出産で退職し、その後、仕事を持たない	人数	8	8	24	39	36	12	127
		%	6.30	6.30	18.90	30.71	28.35	9.45	100.00
	その他	人数	4	3	5	4	2	22	40
		%	10.00	7.50	12.50	10.00	5.00	55.00	100.00
合計		人数	77	61	296	269	77	89	869
		%	8.86	7.02	34.06	30.96	8.86	10.24	100.00

一方で、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」と卒業時に考えたとしても、結婚や出産で退職する人はそのうち 21.39%いた。前述したように厚生労働省の調査では女性の育児休業取得率は、2004 年度には 70.6%となっていたが（厚生労働省,2019b）、この中には就業継続をしても育児休業を利用しようと思わなかった人や、出産によって退職した人は含まれてはいない。図 2 のように、2000～2004 年段階でも第一子出産によって退職する人は 40.3%もいる（国立社会保障・人口問題研究所,2017）。出産前に退職した女性を除外した数値を厚生労働省は提示しているが、この点を見落とさずに解釈する必要があるとの指摘がされている（中山,2019）。すなわち育児休業を取得しながら就業を継続することは、2000 年代に入っても実際にはかなり困難だったことを意味している。もしくは女性自身が就業継続の困難な状況をみて、子育てをしながら働き続けることを望まなかった可能性もある。

卒業前の就職活動において、社会や企業から提示された育児休業に関する情報により、育児休業を取得して働きやすい社会や企業だと期待して、卒業時には理想を抱いていた卒業生が、結婚や出産によって就業を継続できなかった、あるいは就業を継続しようと思わなかった可能性も本調査の結果からうかがわれる。したがって現実と理想のギャップにどう対処するかについても、社会に出る前のキャリア教

育において学んでおく必要があるだろう。そして、卒業時に想定していた生き方とは異なる方向に行った際に、自分たちの考えや思いと、日本社会に存在する労働環境の現実を考えた上で、人生の方向転換や修正をしていく力を身に付けることも必要とされるであろう。

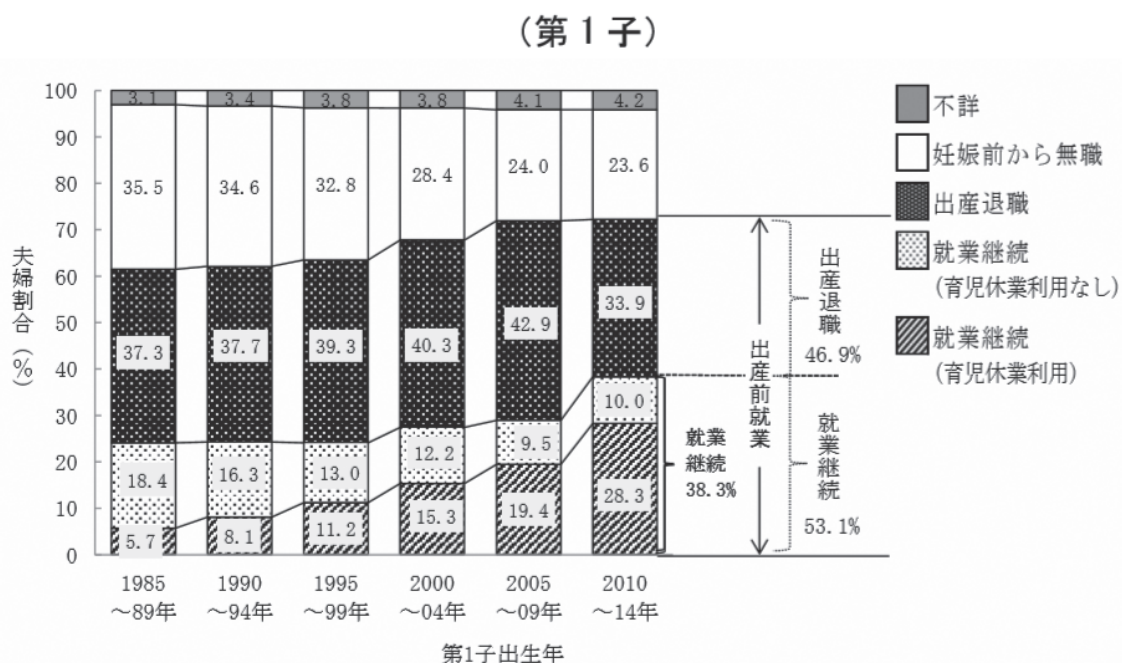


図2 子どもの出生年別にみた、出産前後の妻の就業変化

出典: 国立社会保障・人口問題研究所 (2017)「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」第II部,p.52.
www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_reportALL.pdf 2021.1.20

10. まとめ

(1) 家庭・結婚観

第一に、世代間の比較においては、「子ども重視」と「夫婦共働」の家庭・結婚観で20代・30代と40代以降では異なる傾向がみられ、20代・30代の若い世代では上の世代よりも、子どもがいると生活が楽しく豊かになったり夫婦の絆になったりするととらえている。同時に、家事・育児も夫と共に行い、家計を女性自身も担っていくといった考え方も持っていた。そして子どもを少なくとも1人は持ちたいという希望を40代以降の世代に比べてより持っていた。その背景には、仕事と子育てが両立できる社会環境が徐々に整ってきたことがあると推察される。

その一方で、女性自身に過重な負担がかかっている可能性も見逃せない。前述したように、従来の「夫は仕事」「妻は家庭」という性別役割分業観から、既婚女性の就業率の増加により、1990年代から徐々に「夫は仕事」「妻は家庭と仕事」という二重の役割を負う「新・性別役割分業観」(厚生省監修,1998:72; 総理府編,2000:77; 松田,2001:40)が登場し始めた。夫の家事参加率はいまだ非常に低いままであり、2018年段階であっても夫と妻が遂行する家事の総量を100としたとき、それぞれが分担する割合について、妻の分担する割合が圧倒的に高く80%を超えている(国立社会保障・人口問題研究所,2020)。そのような状況のなかで、本学卒業生においても世代が若くなるにしたがって、従来の性別役割分業観か

ら少しずつ脱してはいるものの、「新・性別役割分業観」へと移行している可能性も考えられる。本調査の結果から、家計だけではなく、家事や育児も平等に分担したいと思う若い世代が増加してはきたが、家事や育児の分担について夫婦が共に平等に行うという理念や希望だけではなく、それを実行に結び付ける教育が大学においても必要になるだろう。

第二に、現在の就業状況間の比較においては、「性別役割分業」と「夫婦共働」の家庭・結婚観に有意差がみられ、正規職に就いている人は、他の就業状況の人よりも、家庭のこまごまとした管理は女性がしたり自分のことよりも家族の都合を優先したりといった考え方を支持しない傾向がみられた。同時に結婚後も妻は外で働き家計を支え、家事・育児にも夫婦が共に行うといった考え方をより支持する傾向がみられた。

第三に、現在の職位間の比較においては、アルバイト・非常勤職の人が「子ども重視」の考え方を最も支持しており、子どもがいると生活が豊かになると考えていたり、子どもは夫婦の絆になったりすると考えていた。また主任・課長相当職に就いている人は「夫婦共働」の考え方を他の職位の人に比べて最も支持しており、家計だけではなく家事や育児も夫と分担しながらやっていこうという考えが、他の職位の人より強いと推測される。その一方で、「夫婦共働」の思いを抱きながら、「仕事も家庭も」という「新・性別役割分業観」が既婚女性には重くのしかかっていることも推測される。

さらに有期雇用の方は「個の生き方重視」の考え方を他の職位の人に比べてより強く支持しており、自分の趣味や生活をより重視する傾向があった。但し、有期雇用の方が「個の生き方重視」の考え方を最も支持しているからといって、もともと彼女らがそのような考え方を持っていたと結論づけるのは早計であろう。本調査の第1部の「卒業後すぐの進路」において「正規職」についたのは全世代で72.27%であり、60代・70代の卒業生であっても60.67%と比較的高い数値となっている。しかしその後、結婚・出産・育児を理由に退職した人は、既婚者の中で39.94%にもなる。そして退職後に再就職した人の中で、フルタイムで働くことになった人は31.67%しかおらず、パート・アルバイト・非常勤嘱託として勤めた人は40.33%にものぼる。20代・30代の既婚者に限っても、一度退職した後に、35.90%がパートや非常勤嘱託として勤務している。すなわち結婚、出産や育児によって一度退職した女性は、正規職に就くことが困難な状況であったことが本調査の結果からもうかがわれる。もちろん自らの意思で自分の趣味や生活を重視するために正規職には就かないという信念をもった人もいるとは思われるが、仕事をしたいという意志はあっても有期雇用としてしか採用されない中で、自分の趣味や生活に重点を置いた生き方を選択せざるをえない人もいると推察される。今後は再就職の就業状況と価値観の形成との関係についても分析する必要があるだろう。

第四に、20代・30代の若い世代に焦点をあてて在学中の所属学科との関係について分析した結果、学科によってそれぞれ特色がみられた。現代こども学科の卒業生は子どもを持ちながら夫婦が共に働くような家庭・結婚観を最も支持しており、人間生活学科の卒業生は結婚や出産といった従来からの伝統にとらわれない家庭・結婚観を最も支持していた。英語英文学科の卒業生は家族よりも自分を、子どもよりも夫婦関係を重視する生き方を最も支持していた。在学時代の興味関心の違いが卒業後の生き方に一定の方向性を持たせていると考えられる。

(2) 職業観

第一に、世代間の比較においては、20代と30代よりも50代以降の世代の方が、女性であっても社

会の中で働きキャリアアップを目指し経済力をつけ資格を取った方がよいといった「仕事への積極的な姿勢」の職業観をより支持していた。また、「転職への保守的な姿勢」の職業観にみられるように、60代以降では他の世代に比べて、転職せずに同じ職場で働き続ける方がよいと考えていた。このように転職に対する考え方が50代やそれより若い世代と、60代以降の世代とでは異なっていた。子どもが小さいうちは母親は家にいる方がよい、女性は補助、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理という「女性の補助的役割」の職業観については、どの世代も「どちらでもない」といった中間的な考え方を持っていた。

第二に、現在の就業状況間の比較においては、「仕事への積極的な姿勢」と「女性の補助的役割」の職業観に有意差がみられ、正規職に就いている人は、女性であっても社会の中で働き、キャリアアップを目指し経済力をつけ資格を取った方がよいといった職業観をより支持していた。また正規職に就いている人は、「女性の補助的役割」という考え方に、他の就業状況の人よりも賛同していなかった。このことから正規職に就きキャリアを継続していくことと、伝統的な性別役割分業観は両立しにくいと推測される。

第三に、現在の職位間の比較においては、特にアルバイト・非常勤職の人は、「仕事への積極的な姿勢」の職業観を最も支持していなかった。そして主任・課長・教頭職の人は、「女性の補助的役割」の職業観を最も支持しない傾向がみられた。また「転職への保守的な姿勢」に関しては、部長職以上の人がこの職業観を最も支持していた。すなわち主任・課長相当職の人は、女性であっても社会の中で働き、キャリアアップを目指し経済力をつけ資格を取った方がよいと考える傾向がよりみられ、仕事の上でも男性と対等に働くことを望んでいると推察される。また部長職以上の人については、転職せずに同じ職場で仕事を継続する方がよいという考えを持っていたことが、部長職以上の要職に就くことができた理由の一つではないかと推測される。

（3）能力・気質特性

第一に、世代間の比較においては、「独力解決志向」のみに世代間で有意差がみられた。この能力・気質特性とは仕事をする上で関係があると思われる特性の項目であり、本学の卒業生は全世代において他者と協力しながら仕事を進めていく能力・気質特性をもっていると思われる。しかし年齢が上がるにつれて徐々に自分のやり方で行いたいと思う様子もうかがわれた。

第二に、現在の就業状況間の比較においては、「他者関係調整志向」をみると、どの就業状態の人も比較的他者と助け合いながら仕事をしているようであるが、正規職の人や派遣社員・契約社員職に就いている人は、他の就業状況の人よりも、他者に対して気配りをしたり社交的であったり粘り強い能力・気質特性を持っている傾向がみられた。これらの人々は比較的同じ人と毎日仕事をしている環境になるため、他者と協力しながら仕事を進める能力がより求められていると考えられる。

第三に、現在の職位間の比較においては、部長職以上の人において「他者関係調整志向」が最も高かった。人への気配りや社交的であるといった能力・気質特性が部長職以上の職を得るのに必要な特性であると推察される。「独力解決志向」においてはその傾向がみられないことから、女性が部長職以上に就く上で、他者との関係性が強調される傾向があることを示している。また失敗から立ち直るのが早く、細かいことにこだわらない「ポジティブ志向」の能力・気質特性は、主任・課長相当職や部長職以上の人に特徴的にみられ、要職に就くに当たって必要とされる能力・気質特性の一つだと考えられる。

(4) 父親の価値観

第一に、世代間の比較においては、どの世代も父親から伝統的価値観を期待されてはこなかった。しかしその中でも、20代・30代では他の世代に比べて、家族を優先し女性は控えめにするようにと父親から特に期待されてはこなかった傾向がみられた。また本学の卒業生は、60代・70代であっても、家族を優先し女性は控えめにと、父親からあまり求められてはこなかったようである。アンケート回収時の2019年現在60代以上の卒業生であっても、良妻賢母を想定した高等教育進学を家庭であまり期待されてはこなかった可能性がある。

第二に、現在の就業状況間の比較においては、父親の「伝統的価値観」と「自立的価値観」の両方が、娘の正規職に就くか否かの就業状況に影響を与えていることが明らかになった。正規職に就いている人は、他の就業状況の人に比べて、父親から結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと期待されてきた傾向がみられた。また自分よりも家族を優先し女性は控えめにするようにという期待はかけられてこなかった。このような父親の育て方や考え方が、娘が正規職に就き働き続けることに対してプラスに働いている可能性が示唆される。

第三に、現在の職位間の比較においては、「自立的価値観」に関して、娘が主任・課長相当職に就く上でプラスの影響を与えた可能性はあるが、部長職以上の職においては有意な影響はみられなかった。また父親の「伝統的価値観」については、娘が部長職以上に就く上で、マイナスの影響を与えられたが、結果はむしろ逆であった。家族を優先し女性は控えめにするようにと父親から期待されてきた娘の方が「部長職以上」の職に就いていた。このような結果になった理由については今後詳細な分析が必要かと思われる。しかし家族を優先し女性は控えめにするようにと父親から期待されて育てられても、むしろそうした考え方を反面教師とし、男性と並んで働くようなポジションを得るための考え方の転換をもたらす機会に、家庭外で出会った可能性はある。したがって家庭での教育のみならず、教育機関でのキャリア教育も女性の管理職就任に大きな影響を与えると思われる。女性のキャリアアップを後押しするような機会の設定が大学内でも重要となるであろう。

(5) 母親の価値観

第一に、世代間の比較においては、60代以上の人が他の世代に比べて、結婚しても仕事を続け経済的に自立するという「自立的価値観」の考え方を、母親からあまり期待されてこなかったことが指摘される。また家族優先で女性は控えめにと「伝統的価値観」においては、2019年現在20代の方が母親から最も期待されてはこなかった。そして60代までは年代が上がるにつれて徐々に、自分よりも家族を優先し女性は控えめにするようにと母親から求められる傾向がみられた。但し父親と同様に、本学の卒業生は70代であってもどちらかというと、家族を優先し女性は控えめにするようにという価値観の中で育てられてはこなかった傾向がみられた。

第二に、現在の就業状況間の比較においては、父親と同様に、母親の「伝統的価値観」と「自立的価値観」の両方が、娘の正規職に就くか否かの就業状況に影響を与えていることが明らかになった。正規職に就いている人は、他の就業状況の人に比べて、結婚しても仕事を続け経済的に自立するようにと期待されてきた傾向がみられた。また自分よりも家族を優先し女性は控えめにするようにとは求められてはこなかった。このような母親の育て方が、娘の正規職就業においてプラスに働いている可能性が示唆された。

第三に、現在の職位間の比較においては、父親と異なる傾向がみられ、「伝統的価値観」に関しては、家族を優先し女性は控えめにと母親が期待しなかったことが、娘が主任・課長相当職に就く上でプラスに影響した可能性があることが明らかになった。しかし「自立的価値観」に関しては、主任・課長相当職であっても部長職以上であっても、母親から自立するようにと期待されてきたこととは関係がみられなかった。

（６）配偶者（夫）の価値観

第一に、世代間の比較においては、結婚しても仕事を続け経済的に自立するといった「自立的価値観」に関して、配偶者からはあまり求められてはこなかった傾向が全世代でみられた。一方で、「伝統的価値観」に関しては、20代・30代と他の世代との間に有意差がみられ、特に20代・30代では、女性は控えめにして家族を優先するようとは、配偶者から求められてはこなかった。20代・30代と40代以降では配偶者との関係性も変わってきていると思われる。

第二に、現在の就業状況間の比較においては、配偶者の「自立的価値観」が、妻の正規職に就くか否かの就業状況に影響を与えていることが明らかになった。正規職に就いている人は、他の就業状況の人に比べて、結婚しても仕事を続け経済的に自立することを配偶者からより期待されていた。したがって妻の自立に対して配偶者が好意的な姿勢を見せることが、女性が正規職の就業を継続することに対してプラスになっている可能性があると考えられる。

第三に、現在の職位間の比較においては、「伝統的価値観」と「自立的価値観」のどちらも職位間に有意差をもたらしてはいなかった。

以上のように、父親、母親、配偶者といった家族から期待されてきた「自立的価値観」においては、女性の正規職就職にプラスの影響を与えていた。したがって結婚しても仕事を続け、経済的に自立することを家族から期待されることによって、正規職を続けやすい環境が生み出されると考えられる。一方で、職位については、父親から伝統的な価値観を期待されたことは、娘が要職に就くうえでむしろプラスに働いていた。母親からは逆に伝統的な価値観を期待されなかったことが、娘が主任・課長相当職に就くうえでプラスに働いていた。配偶者の価値観と現在の職位との間には有意な関係性をみいだせなかった。このように就業状況については家族が自立を女性に働きかけることによって正規職に就くことを後押ししているようである。但し、職位についての働きかけは家族成員によって異なっており、今後詳細な質的分析が必要になるであろう。

（７）卒業（修了）時に描いた生き方と現在の生き方

第一に、卒業（修了）時に描いた生き方として、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という生き方は20代・30代では半数程度の人が支持していた。しかし40代・50代では約3割となり、60代・70代では約2割だった。この背景には彼女らの大学卒業時における女性の就労を取り巻く社会的状況の違いが影響しているであろう。20代・30代の人が大学を卒業する頃は、実際には出産前に退職する人が多かったとしても（国立社会保障・人口問題研究所,2017）、女性の育児休業が70～80%以上取得できているというデータも同時に政府機関から提示されていた（厚生労働省,2019a）。したがって仕事と子育てを両立できる可能性がある、卒業（修了）時には明るい未来を描いていた20代・30代の人も多く

かったであろう。一方で、60代・70代の人にとっては、大学卒業時にはまだ男女雇用機会均等法も成立されておらず、女性が子どもを持ちながら働き続けるという選択肢はなかなか持ちにくい社会状況だったことが影響している。

第二に、現在の生き方として、「結婚し子どもを持つ(った)が、仕事も一生続ける」という生き方は、20代・30代では41.48%の人が支持しており、卒業(修了)時に描いた生き方よりは下がっているものの、4割の人が支持していた。この理由として女性の就労を取り巻く社会的な状況が改善しつつあることもあげられるが、未婚者もこの段階では多く、卒業時と現時点での生き方に大きな変更がない人もいることがあげられる。彼女らが今後どのような選択肢を取っていくかについて見守っていく必要があるだろう。40代・50代では「結婚し子どもを持つ(った)が、仕事も一生続ける」の生き方を選択した人は25%程度に落ち込み、これも卒業時に描いた生き方よりは下がっていた。一方で、60代・70代ではこのような生き方を選んでいる人は約2割しかいなかった。しかし特に60代では卒業時に描いた生き方と現在の生き方の割合はほぼ同じであった。60代・70代では卒業時において「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」と考えること自体、ある程度の覚悟を要することであったと推察され、その覚悟のもとでキャリアを形成してきたのではないかと考えられる。このようなことから、60代・70代では卒業時と現在の生き方の割合はほぼ同じになったのではないと思われる。

第三に、現在の生き方を卒業(修了)時に描いた生き方と重ね合わせて分析すると、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」「結婚し子どもを持つが、結婚や出産でいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」生き方について、半数以上の人が卒業時と現在とで同じ生き方を選択していた。したがって大学卒業時までのキャリアに対する考え方が、卒業後の生き方をも左右すると思われる。このような意味で、大学におけるキャリア教育が重要となってくるであろう。

(8) 女子大学における今後のキャリア教育の方向性とジェンダー

本調査の結果から、20代・30代の若い世代では、「結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける」という生き方を他の世代より選びやすくなっていた。しかしその若い世代であっても、この生き方を選択した人は、卒業(修了)時に比べて現在の方が少なくなっていた。このことから、若い世代であっても自分が卒業(修了)時に描いた生き方を必ずしも貫くことができてはいない状況になっていると考えられる。したがって今後とも若い卒業生のキャリアについて、卒業後も支援をしていく仕組みを大学において作ることが必要になるだろう。同時に、在学生に対しても、子育てと仕事の両立を具体的に想定できるような大学でのキャリア教育が必要となる。単に「子育てと仕事の両立をしていこう」といった理念を伝えるだけでは不十分である。社会の中で男性と平等・対等に働くことができる専門的なスキルはもちろんのこと、出産や子育てのためにどう自分の仕事環境を整え、自分のキャリアをどう形成していくかといった具体的な計画をたてるキャリア教育が必要であろう。

また自分の子育てや仕事をする上での困難性や両立を可能にするスキルや情報を示すことも重要であろう。例えば育児休業取得率の高い企業やその働き方、さらに男性育児休業取得率に関する情報などを示していくことがあげられるであろう。そしてそれらの情報を具体的に示す講座や、当事者たちを招いての具体的な事例の紹介などを大学内で行うことも重要である。すなわち卒業時に描いた「結婚し子どもを持つが、仕事も続ける」生き方やその意義、そして自分の人生設計に関するキャリア教育が大学内で必要だと思われる。

同時に「女性に特有」だとされる職種、男性のサポートをする職種や、働いている女性が多い職種だけではなく、多様な職種を知ることができるような情報提供の仕組みが重要である。女性だから「女性に特有」の職種を選択することが当たり前だと考えるジェンダーの呪縛から解き放され、今まで受けてきた無意識のジェンダー・バイアスを認識したうえで、再考するような機会が大学教育の中で与えられるべきである。あらゆる職業において自分らしさを発揮できるような自己探求型のキャリア教育を行うことが、女子大学において特に必要であろう。高橋（2019）は女性の高等教育機関としての日本の女子大学の教育特徴の変遷を分析したうえで、性別役割分業を前提にした「女性」の職業から脱したキャリア支援や学びが、現在でも多くの女子大学において提供できていないことを指摘している。したがって今後は本学においても、新たな視点をもって女性のキャリア教育を行っていくことが、女子大学ならではの学びにつながっていくであろう。

「女子大学に学んでよかった」か否かの質問項目において、「女子大学に学んでよかった」と回答する人は、「よかった」と「ややよかった」合計で 80.40%となっている。その中でも「よかった」と答える人は全世代で半数以上となっている。また「女子大学に学んでよかった」理由については、70代を除く全世代で「男性の目を気にせず、自由にのびのび活動ができた」ことを 30%以上の人があげており、「よかった」理由を尋ねた中で最も多い選択回答となっている。この結果は、社会に出るとそれだけ女性が男性の目を気にしてのびのびと仕事や生活ができない環境であることを示していると言えよう。男女共

表 55 グローバル・ジェンダー・ギャップ指数の上位国及び主な国の順位

GGI(2020) 上位国及び主な国の順位		
順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.798
8	スペイン	0.795
9	ルワンダ	0.791
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
19	カナダ	0.772
21	英国	0.767
53	米国	0.724
76	イタリア	0.707
81	ロシア	0.706
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
121	日本	0.652

出典：内閣府.(2020).「月刊総合情報誌 「共同参画」 3・4月号」.
<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/202003/pdf/202003.pdf> 2020.1.22.

学校が大学教育の多くを占めるなかで、女子大学はますますその存在意義を問われている。卒業生の回答を踏まえて、女子大学在学中に性別役割分業観にとらわれない生き方や仕事のあり方を示し、自由な発想で自分らしくキャリアを積み重ねていけるような素地を作ることが、女子大学の役割の一つであると考えられる。

国際社会の中で日本の女性の地位は依然として低い。2020 年現在のグローバル・ジェンダー・ギャップ指数 (The Global Gender Gap Index : GGGI) では 153 ヶ国中、日本は 121 位である (World Economic Forum, 2020) (表 55; 内閣府, 2020)。統計の指標に用いられる 4 領域の内容の中で、教育や健康の領域は上位に位置づくが、経済活動や政治活動領域の順位が極端に低い (表 56; 内閣府, 2020)。女性の管理職の割合が OECD 諸国に比べて著しく低く、政治活動への参加率が低いことがその理由としてあがっている。女子大学の「男性の目を気にしないのびのびとした学び」環境のなかで、女性が職業を継続し社会の中核者として参画するための基盤づくりを、同志社女子大学でも積極的に進めていくことが今後の課題になるだろう。

表 56 グローバル・ジェンダー・ギャップ指数の日本における領域別スコアと順位

分 野	スコア(順位)	昨年の スコア(順位)
経 済	0.598(115位)	0.595(117位)
政 治	0.049(144位)	0.081(125位)
教 育	0.983 (91位)	0.994(65位)
健 康	0.979 (40位)	0.979(41位)

出典：内閣府.(2020).「月刊総合情報誌 「共同参画」 3・4月号」.
<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/202003/pdf/202003.pdf> 2020.1.22.

参考文献

- 細川千紘. (2018). 女性の性別役割分業意識の変遷とライフコース 保田時男編 2015 年 SSM 調査報告書 8 意識 I (2015 年 SSM 調査研究会), 111-141.
- 国立社会保障・人口問題研究所(編). (2017). 2015 年 社会保障・人口問題基本調査 (結婚と出産に関する全国調査) 現代日本の結婚と出産 ー第 15 回出生動向基本調査 (独身者調査ならびに夫婦調査) 報告書ー.
www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_reportALL.pdf 2021 年 1 月 20 日.
- 国立社会保障・人口問題研究所(編). (2020). 2018 年社会保障・人口問題基本調査第 6 回全国家庭動向調査報告書. 厚生労働統計協会.
- 厚生労働省.(2019a).「平成 30 年度雇用均等基本調査」の結果概要
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-30r/07.pdf> 2020 年 12 月 12 日.
- 厚生労働省編.(2019b). 令和 2 年版厚生労働白書:令和時代の社会保障と働き方を考える 日経印刷,p.197.
- 厚生省監修. (1998). 厚生白書(平成 10 年版) ギョウセイ.
- 松田茂樹.(2001). 性別役割分業と新・性別役割分業:仕事と家事の二重負担. 岩井紀子編 現代日本の夫婦関係 日本家族社会学会全国家庭調査(MFR)研究会 (家庭生活についての全国調査報告書) No.2-3 (文部

省科学研究費基盤研究(A)) .

中山まき子.(2019).日本の子産み・子育て政策の現状と課題：当事者主体の政策へ. 総合文化研究所紀要 36, 112-137.

内閣府.(2020). 月刊総合情報誌 「共同参画」 3・4月号.

<https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2019/202003/pdf/202003.pdf> 2020年1月22日.

総理府編.(2000). 男女共同参画白書(平成12年度版) 大蔵省印刷局.

高橋真央.(2019). 女性の高等教育機関としての女子大学の変遷 ～過去から現在、そして未来へ～ 甲南女子大学研究紀要 I ,55, 29-42.

World Economic Forum. (2020). Global Gender Gap Report 2020. [WEF_GGGR_2020.pdf \(weforum.org\)](https://www.weforum.org/publications/global-gender-gap-report-2020/) 2020年12月12日.

(塘 利枝子：現代社会学部長・前女性アクションセンター長)

資料 1

調査票：アンケート依頼文・アンケート内容

同志社女子大学卒業生・修了生へのアンケートについて（お願い）

本学は、140余年の歴史を持ち多数の卒業生を輩出してきましたが、卒業後の情報が不十分でした。そこで、このたび、本学の卒業生及び修了生の皆さまを対象に、卒業・修了後の就職状況や社会生活、在学中のことなどをお伺いし、統計データを作成することにより、今後の本学の教育やキャリア支援、事業運営に役立てるための基礎的資料にしたいと考えております。

つきましては、お忙しいとは存じますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、下記に掲載しているQRコードまたは本学ホームページからパソコン・スマートフォンでお答えくださいますようお願い申し上げます。

なお、得られたアンケートの結果は統計的に処理し、特定の個人が識別できる情報として、公表されることは一切ありません。

本アンケート調査の結果は、報告書、本学紀要及び今後の女子大学や女子大学生の教育に活かすために、関連学会発表等に使用させていただくことをご了解いただければ幸いです。

アンケートの所要時間は15～20分程度です。該当する答がない設問、答えられない設問には無回答で結構です。

アンケート回答期間は9月15日(日)～11月30日(土)までとさせていただきます。

なにとぞご協力の程、よろしくお願いいたします。

同志社女子大学卒業生・修了生アンケート実施責任者

女性アクティベーションセンター長 當目 雅代

◆下記QRコードからアンケートにご協力ください。



◆URL

<https://dwc.ks-enq.com/doshisha/Enq?q=1>

【問合せ先】同志社女子大学女性アクティベーションセンター

TEL(075)251-4153/E-mail:kenkyu-i@dwc.doshisha.ac.jp

同志社女子大学卒業生アンケート 質問項目

I あなたのことについて

1. あなたの生年をお答えください。(必須)
西暦()年
2. 現在配偶者はいらっしゃいますか
☐なし ☐あり()歳時に結婚 ☐離別・死別 ☐その他
3. お子さんの有無と年齢についてお答えください。
☐なし ☐あり
→第1子()歳～第10子(歳)まで設定
4. 現在の居住地はどこですか。都道府県か海外在住の場合には国を記入してください。()
5. あなたが大学(大学院・専攻科・短期大学部)を卒業(修了)した時の年齢をお答えください。(必須)
()歳
6. あなたが卒業(修了)した学科・専攻として、一番近いものをお答えください。(必須)
☐音楽 ☐情報メディア(情報文化含む) ☐国際教養 ☐社会システム(国際社会システム含む)
☐現代こども ☐医療薬学 ☐看護 ☐英米語・英文学(英語英文学含む) ☐日本語日本文学(日本文化含む)
☐人間生活・家政(生活デザイン含む) ☐食物(食物学・食物栄養科学含む)

II 大学(大学院・専攻科・短期大学部)在学中のことについて

7. 在学中、以下の項目にどの程度力を入れて行いましたか。あてはまるものをお答えください。
- (1) 友人とのつきあい ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (2) 大学の授業や研究 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (3) 関心領域についての自主的学習・読書
 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (4) 自分の趣味 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (5) サークルやクラブ活動 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (6) アルバイト ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (7) 教員との交流 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (8) 特定の異性とのつきあい ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (9) 語学学校・専門学校・各種学校への通学
 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった
 - (10) ボランティア活動 ☐力を入れた ☐ある程度力を入れた ☐あまり力を入れなかった ☐力を入れなかった

8. 卒業（修了）後の人生や生活の以下の領域において、「7. の在学中力を入れたこと」の中で何が最も役に立ちましたか。1 つずつ選んでください。

- (1)社会生活（ ）
- (2)職業生活（ ）
- (3)家庭生活（ ）

9. 在学中、以下の項目においてどの程度満足をしていましたか。あてはまるものをお答えください。

- | | | | | |
|------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| (1) 本学の教員との交流 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (2) 在学中の友人との交流 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (3) 卒業生との交流 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (4) 就職の指導・支援体制 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (5) 留学・国際交流支援体制 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (6) 経済的（奨学金）支援体制 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (7) ゼミ担当教員の指導 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (8) 一般教養科目 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (9) 専門科目 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (10) キリスト教科目 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (11) 図書館 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (12) 学生支援全般 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |
| (13) 大学全体の雰囲気 | ☐ 満足 | ☐ やや満足 | ☐ やや不満足 | ☐ 不満足 |

Ⅲ 卒業時の状況について

10. 卒業（修了）後すぐの進路について、あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐正規社員・正規職員として働いた →項目 11・12 へ
- ☐派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いた →項目 11・12 へ
- ☐一時的雇用（パート・アルバイト）として働いた →項目 11・12 へ
- ☐家業を継いだ→項目 11・12 へ
- ☐他大学・大学院、専門学校に進学、海外への留学 →項目 20 へ
- ☐家事手伝い →項目 20 へ
- ☐収入をとまなう仕事にはつかなかった →項目 20 へ

11. 卒業（修了）後すぐの進路について「正規社員・正規職員として働いた」「派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いた」「一時的雇用（パート・アルバイト）として働いた」「家業を継いだ」と回答された方に伺います。

11-(1) 就業先はどのような事業を営んでいました（す）か。あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐建設業 ☐製造業 ☐電気・ガス・熱供給・水道業 ☐運輸業 ☐卸売・小売業、飲食業

- 11-(2) その際のあなたの仕事は何でしたか。あてはまるものを1つ教えてください。また、専門職についてはいくつかの職業名を挙げています。該当するものがある場合は○専門・技術的職業を選んだ上で、該当する職業の記号を選んでください。

- 11-(3) 就職された企業等の規模について、あてはまるものを1つ答えてください。

- 11-(4) 就職する上で重視したことは何ですか。最もあてはまるものを1つ教えてください。

- 3

11-(5) 就職された企業の特徴について、あてはまるものを1つ答えてください。

① 平日休暇の取りやすさ

☐取りやすい ☐やや取りやすい ☐やや取りにくい ☐取りにくい

② 土日休暇の取りやすさ

☐取りやすい ☐やや取りやすい ☐やや取りにくい ☐取りにくい

③ 残業の多さ ☐多い ☐やや多い ☐あまりない ☐ない

④ 仕事内容の規則性 ☐規則的 ☐やや規則的 ☐あまり規則的ではない ☐規則的ではない

IV 卒業後の就職状況等について

12. 卒業（修了）後すぐの進路について「正規社員・正規職員として働いた」「派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いた」「一時的雇用（パート・アルバイト）として働いた」「家業を継いだ」と回答された方に伺います。

12-(1) 卒業（修了）後、何回転職をしましたか。卒業（修了）後に就いた就職先から1度も変わっていない場合を0回として転職回数をお答えください。（ ）回

12-(2) あなたは現在も卒業直後の同じ勤務先で仕事を続けていますか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐やめた（ ）歳の時に退職 →項目13・14・20へ

☐現在まで卒業直後の勤務先で仕事を続けている。→項目18へ

13. 12-(2)で卒業（修了）直後に勤めた職場を「やめた」と回答した方に伺います。その仕事を辞めた理由は何ですか。1番大きな理由と、2番目に大きな理由の番号を選んでください。

1番大きな理由（ ） 2番目に大きな理由（ ）

① 転職 ② 結婚 ③ 出産 ④ 育児（子ども（ ）歳時で退職）

⑤ 家族や配偶者の転勤 ⑥ 家族の介護 ⑦ 自分自身の健康問題 ⑧ 仕事が合っていなかった

⑨ 家族の反対 ⑩ 労働条件が過酷 ⑪ 収入が少ない ⑫ 人員整理・倒産

⑬ キャリアを積む限界が見えた ⑭ 職場の人間関係

⑮ その他（ ）

14 12-(2)で「やめた」と回答した方に伺います。あなたはその仕事を辞めた後、何か収入を伴う仕事をしましたか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐再就職してフルタイムで働いた（ ）歳の時 →項目15へ

☐再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた →項目15へ

☐自営業（自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした） →項目15へ

☐家業を継いだ・手伝いをした

☐収入をとまなう仕事はしなかった

15. 14. で「再就職してフルタイムで働いた」「再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」「自営業（自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした）」「家業を継いだ・手伝いをした」と回答した方に伺います。

15-(1) 再就職先はどのような事業を営んでいます（した）か。あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐建設業 ☐製造業 ☐電気・ガス・熱供給・水道業 ☐運輸業 ☐卸売・小売業、飲食業
☐金融・保険業 ☐不動産業、物品賃貸業 ☐新聞・放送・出版業 ☐広告業 ☐情報・通信
☐医療・福祉 ☐教育・研究 ☐法律・会計 ☐公務
☐その他（ ）

15-(2) 再就職先の仕事上の職位は何です（した）か。あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐役職なし（一般教諭）
☐主任・課長・教頭職・課長相当職
☐部長職以上（部長・社長・校長等）
☐有期雇用
☐アルバイト・非常勤
☐その他（ ）

15-(3) 再就職された企業等の規模について、あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐従業員 5000 人以上 ☐4999～1000 人 ☐999～500 人 ☐499～100 人
☐100 人未満 ☐国家・地方公務員 ☐不明

15-(4) 再就職された企業の特徴について、あてはまるものを1つ答えてください。

- ① 平日休暇の取りやすさ
☐取りやすい ☐やや取りやすい ☐やや取りにくい ☐取りにくい
② 土日休暇の取りやすさ
☐取りやすい ☐やや取りやすい ☐やや取りにくい ☐取りにくい
③ 残業の多さ ☐多い ☐やや多い ☐あまりない ☐ない
④ 仕事内容の規則性 ☐規則的 ☐やや規則的 ☐あまり規則的ではない ☐規則的ではない

15-(5) あなたはその仕事をどのような経緯で見つけましたか。最もあてはまるものを1つ答えてください。

- ☐新聞などの求人欄をみて応募 ☐WEB 上の求人欄をみて応募 ☐職業紹介所の紹介
☐友人の紹介 ☐親類の紹介 ☐前の職場の人の紹介 ☐同志社女子大学に届いた求人
☐その他（ ）

15-(6) 再就職によって働き方は変わりましたか。 ☐はい ☐いいえ

15-(7) 15-(6)で「はい」と答えた方は、以下の項目について、最もあてはまるものを1つ答えてください。

- | | | | |
|--------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ① 働く時間 | ☐ 少なくなった | ☐ 多くなった | ☐ 同じである |
| ② 通勤時間 | ☐ 少なくなった | ☐ 多くなった | ☐ 同じである |
| ③ 仕事に対するやりがい | ☐ 少なくなった | ☐ 多くなった | ☐ 同じである |
| ④ 仕事に対する責任 | ☐ 軽くなった | ☐ 重くなった | ☐ 同じである |
| ⑤ 人間関係 | ☐ 悪くなった | ☐ 良くなった | ☐ 同じである |

16. あなたはその仕事を現在も続けていますか。あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐ やめた () 歳の時に退職 →項目 17・20 へ
☐ 現在まで仕事を続けている。→項目 18 へ

17. 16で「やめた」と回答した方に伺います。その仕事を辞めた理由は何ですか。

1 番大きな理由 () 2 番目に大きな理由 ()

- ① 転職 ② 結婚 ③ 出産 ④ 育児 (子ども () 歳時で退職)
 ⑤ 家族や配偶者の転勤 ⑥ 家族の介護 ⑦ 自分自身の健康問題 ⑧ 仕事が合っていなかった
 ⑨ 家族の反対 ⑩ 労働条件が過酷 ⑪ 収入が少ない ⑫ 人員整理・倒産
 ⑬ キャリアを積む限界が見えた ⑭ 職場の人間関係
 ⑮ その他 ()

18. 12-(2)または 16で「現在まで仕事を続けている」と回答した方に伺います。仕事を続けた理由は何ですか。

以下の項目について、最もあてはまるものを1つ答えてください。

- | | | | | |
|---------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| ① 自分自身の収入 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ② 家計の維持や補助 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ③ 生きがい | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ④ 職場の理解 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑤ 育児休暇取得が容易 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑥ 職場の期待や要請 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑦ 仕事のおもしろさ | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑧ 自分の代わりがいらない | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑨ 簡単な仕事 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑩ 社会や他者とのつながり | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑪ キャリアアップ | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑫ なんとなく | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑬ 働くのは当然 | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑭ 家業だから | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑮ 技術・資格を生かす | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |
| ⑯ 趣味を生かす | ☐ あてはまる | ☐ ややあてはまる | ☐ あまりあてはまらない | ☐ あてはまらない |

① 配偶者のサポート ☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

② あなたの両親のサポート ☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

③ 配偶者の両親のサポート

☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

④ 会社・職場等のサポート

☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

⑤ 地域の子育て支援等 ☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

⑥ 保育所への入所やサポート ☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

⑦ 親の介護施設等への入所やサポート

☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

⑧ 労働条件、給与等の待遇が改善

☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

⑨ 資格があった ☐あてはまる ☐ややあてはまる ☐あまりあてはまらない ☐あてはまらない

⑩ その他 ()

○その他（ ）

21-(2) あなたの仕事は何ですか。あてはまるものを1つ答えてください。また、専門職についてはいくつかの職業名を挙げています。該当するものがある場合は○専門・技術的職業を選んだ上で、該当する職業の記号を選んでください。

○専門・技術的職業

(a) 研究者 (b) 栄養士 (c) 小学校教員 (d) 中・高等学校教員 (e) 幼稚園・保育所等保育者
(f) 技術者 (g) 薬剤師 (h) 看護師 (i) SE・プログラマー (j) 学芸員 (k) その他

○事務的職業（民間企業、公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）

○販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）

○総合職

○保安・サービスの職業（警察官、客室乗務員、グランドスタッフなど）

○運輸業（鉄道・自動車・航空機運転手など）

○農林漁業

○技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）

○その他（ ）

21-(3) 就職された企業等の規模について、あてはまるものを1つ答えてください。

○従業員 5000 人以上 ○4999～1000 人 ○999～500 人 ○499～100 人
○100 人未満 ○国家・地方公務員 ○不明

21-(4) 現在の仕事上の職位は何ですか。あてはまるものを1つ答えてください。

○役職なし（一般教諭）
○主任・課長・教頭職・課長相当職
○部長職以上（部長・社長・校長等）
○有期雇用
○アルバイト・非常勤

21-(5) 差し支えなければ現在の年収はどれくらいですか。あてはまるものを1つ答えてください。

○100 万円未満 ○100～200 万円未満 ○200～300 万円未満 ○300～400 万円未満
○400～500 万円未満 ○500～700 万円未満 ○700～1000 万円未満 ○1000 万円以上

VI 免許・資格の取得状況について

22.全員の方に伺います。現在、お持ちの免許や資格等についてお書きください

- (12)子どもは老後の支えになる ()
- (13)結婚は適当な相手がいなければしない ()
- (14)まずは家族より自分自身を大事にする ()
- (15)縁がなければ子どもは持たない ()
- (16)子どもより夫婦関係の方が大事である ()
- (17)子どもには家を継いでほしい ()

26.仕事についてあなたの考えに最も近いものを、それぞれ以下の a～d までの中で 1 つ選んでください。

a あてはまる b ややあてはまる c あまりあてはまらない d あてはまらない

- (1)女性であっても社会の中で働いた方がよい ()
- (2)自分のライフスタイルに応じて転職をした方がよい ()
- (3)女性でもキャリアアップを目指した方がよい ()
- (4)転職はできるだけしない方がよい ()
- (5)女性でも経済力をつけた方がよい ()
- (6)できるだけ資格を取った方がよい ()
- (7)女性は結婚する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である ()
- (8)少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい ()
- (9)女性は補助するような仕事の方がよい ()
- (10)同じ職場でずっと働き続けた方がよい ()
- (11)自分のキャリアアップのために転職をする ()

27.あなたの性格に最も合うものを、それぞれ以下の a～d の中から 1 つ選んでください。

a あてはまる b ややあてはまる c あまりあてはまらない d あてはまらない

- (1)粘り強い ()
- (2)人に負けたくない ()
- (3)社交的である ()
- (4)人に気配りできる ()
- (5)失敗から立ち直るのが早い ()
- (6)細かいことにこだわる ()
- (7)他の人に気兼ねなく助けてもらうことができる ()
- (8)他の人に頼らず、すべて自分でやりたい ()
- (9)一人でいるのが好き ()

28.あなたの父親から以下のことをどの程度言われましたか。最もあてはまるものをそれぞれ選んでください。

(1)経済的自立をするように言われた

○言われた ○やや言われた ○あまり言われなかった ○言われなかった

(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた

○言われた ○やや言われた ○あまり言われなかった ○言われなかった

(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた

○言われた ○やや言われた ○あまり言われなかった ○言われなかった

(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

29. あなたの母親から以下のことをどの程度言われましたか。最もあてはまるものをそれぞれ選んでください。

(1)経済的自立をするように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

30. 結婚をしている（していた）人は、あなたの配偶者から以下のことをどの程度言われましたか。

(1)経済的自立をするように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた

☐言われた ☐やや言われた ☐あまり言われなかった ☐言われなかった

31.あなたが卒業（修了）時に描いた生き方に最もあてはまるものを1つ選んでください。

☐結婚せず、仕事を一生続ける

☐結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける

☐結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける

☐結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

☐結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

☐その他（ ）

32.あなたの現在の生き方に最もあてはまるものを1つ選んでください。

☐結婚せず、仕事を一生続ける

☐結婚する（した）が子どもは持たず、仕事を一生続ける

☐結婚し子どもを持つ（った）が、仕事も一生続ける

☐結婚し子どもを持つ（った）が、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

☐結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

☐その他（ ）

Ⅸ 女子大学の意義について

33.女子大学に在籍したことで、よかったことはありますか。

☐ある ☐ややある ☐あまりない ☐ない

34. 33. で「ある」、「ややある」と答えた人は、以下の中で最もよかったことを1つ選んでください。

- ☐仕事を継続する大切さを学んだ
- ☐リーダーシップを発揮できた
- ☐男性の目を気にせず、自由にのびのび活動できた
- ☐古い枠組みに縛られずに活動できた
- ☐女性学やジェンダー学などの講義を受けることができた
- ☐広い視野でみることができた
- ☐挑戦する大切さを学ぶことができた
- ☐積極的に行動することができた
- ☐見本になる女性教員がいた
- ☐女性として自信がついた
- ☐その他 ()

35.今後、同志社女子大学で卒業生に対しておこなってほしいことがあれば、自由にお書きください。

()

同志社女子大学卒業生アンケート（PC版）

I あなたのことについて

Q1.あなたの生年をお答えください。（必須）

西暦 年

Q2.現在配偶者はいらっしゃいますか

☐ なし

☐ あり () 歳時に結婚

☐ 離別・死別

☐ その他

Q3.お子さんの有無と年齢についてお答えください。

☐ なし

☐ あり

第一子 歳

第二子 歳

第三子 歳

第四子 歳

第五子 歳

第六子 歳

第七子 歳

第八子 歳

第九子 歳

第十子 歳

Q4.現在の居住地はどこですか。都道府県か海外在住の場合は国を記入してください。

-選択してください-

Q5.あなたが大学（大学院・専攻科・短期大学部）を卒業（修了）した時の年齢をお答えください。（必須）

歳

Q6.あなたが卒業（修了）した学科・専攻として、一番近いものをお答えください。（必須）

☐ 音楽

☐ 情報メディア（情報文化含む）

☐ 国際教養

☐ 社会システム（国際社会システム含む）

☐ 現代こども

☐ 医療薬学

☐ 看護

☐ 英米語・英文学（英語英文学含む）

☐ 日本語日本文学（日本文化含む）

☐ 人間生活・家政（生活デザイン含む）

☐ 食物（食物学・食物栄養科学含む）

II 大学（大学院・専攻科・短期大学部）在学中のことについて

Q7.在学中、以下の項目にどの程度力を入れて行いましたか。あてはまるものをお答えください。

	力を入れた	ある程度力を入れた	あまり力を入れなかった	力を入れなかった
(1)友人とのつきあい	☐	☐	☐	☐
(2)大学の授業や研究	☐	☐	☐	☐
(3)関心領域についての自主的学習・読書	☐	☐	☐	☐
(4)自分の趣味	☐	☐	☐	☐
(5)サークルやクラブ活動	☐	☐	☐	☐
(6)アルバイト	☐	☐	☐	☐
(7)教員との交流	☐	☐	☐	☐
(8)特定の異性とのつきあい	☐	☐	☐	☐
(9)語学学校・専門学校・各種学校への通学	☐	☐	☐	☐
(10)ボランティア活動	☐	☐	☐	☐

Q8.卒業（修了）後の人生や生活の以下の領域において、「在学中力を入れたこと」の中で何が最も役に立ちましたか。1つずつ選んでください。

	友人とのつきあい	大学の授業や研究	関心領域についての自主的学習・読書	自分の趣味	サークルやクラブ活動	アルバイト	教員との交流	特定の異性とのつきあい	語学学校・専門学校・各種学校への通学	ボランティア活動
(1)社会生活	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(2)職業生活	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(3)家庭生活	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q9.在学中、以下の項目においてどの程度満足をしていましたか。あてはまるものをお答えください。

	満足	やや満足	やや不満足	不満足
(1)本学の教員との交流	☐	☐	☐	☐
(2)在学中の友人との交流	☐	☐	☐	☐
(3)卒業生との交流	☐	☐	☐	☐
(4)就職の指導・支援体制	☐	☐	☐	☐
(5)留学・国際交流支援体制	☐	☐	☐	☐
(6)経済的（奨学金）支援体制	☐	☐	☐	☐
(7)ゼミ担当教員の指導	☐	☐	☐	☐
(8)一般教養科目	☐	☐	☐	☐
(9)専門科目	☐	☐	☐	☐
(10)キリスト教科目	☐	☐	☐	☐
(11)図書館	☐	☐	☐	☐
(12)学生支援全般	☐	☐	☐	☐
(13)大学全体の雰囲気	☐	☐	☐	☐

III 卒業時の状況について

Q10.卒業（修了）後すぐの進路について、あてはまるものを1つ答えてください。

- ☐ 正規社員・正規職員として働いた
- ☐ 派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いた
- ☐ 一時的雇用（パート・アルバイト）として働いた
- ☐ 家業を継いだ
- ☐ 他大学・大学院、専門学校に進学、海外への留学
- ☐ 家事手伝い
- ☐ 収入をともなう仕事にはつかなかった

Q11.卒業（修了）後すぐの進路について「正規社員・正規職員として働いた」「派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いた」「一時的雇用（パート・アルバイト）として働いた」「家業を継いだ」と回答された方に伺います。

Q11-(1).就業先はどのような事業を営んでいました（す）か。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 建設業

☐ 製造業

☐ 電気・ガス・熱供給・水道業

☐ 運輸業

☐ 卸売・小売業、飲食業

☐ 金融・保険業

☐ 不動産業、物品賃貸業

☐ 新聞・放送・出版業

☐ 広告業

☐ 情報・通信

☐ 医療・福祉

☐ 教育・研究

☐ 法律・会計

☐ 公務

☐ その他 ()

Q11-(2).その際のあなたの仕事は何でしたか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 専門・技術的職業

☐ 事務的職業（民間企業・公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）

☐ 販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）

☐ 総合職

☐ 保安・サービスの職業（警察官、客室乗務員、グランドスタッフなど）

☐ 運輸業（鉄道・自動車・航空機運転手など）

☐ 農林漁業

☐ 技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）

☐ その他 ()

専門・技術的職業

☐ 研究者

☐ 栄養士

☐ 小学校教員

☐ 中・高等学校教員

☐ 幼稚園・保育所等保育者

☐ 技術者

☐ 薬剤師

☐ 看護師

☐ SE・プログラマー

☐ 学芸員

☐ その他 ()

Q11-(3).就職された企業等の規模について、あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 従業員5000人以上

☐ 4999～1000人

☐ 999～500人

☐ 499～100人

☐ 100人未満

☐ 国家・地方公務員

☐ 不明

Q11-(4).就職する上で重視したことは何ですか。最もあてはまるものを1つ答えてください。

☐ 自分のやりたい仕事ができる

☐ 社風がよい

☐ 職場が明るい

☐ 福利厚生がよい

☐ 仕事と家庭の両立のための制度が整っている

☐ 志望業種・職種である

☐ 将来性がある

☐ 休日が多く残業が少ない

☐ 給料が高い

☐ 昇進・昇格の可能性がある

☐ 女性が活躍できる

☐ 有名企業である

☐ その他 ()

Q11-(5).就職された企業の特徴について、あてはまるものを1つ答えてください。

①平日休暇の取りやすさ

☐ 取りやすい

☐ やや取りやすい

☐ やや取りにくい

☐ 取りにくい

②土日休暇の取りやすさ

☐ 取りやすい

☐ やや取りやすい

☐ やや取りにくい

☐ 取りにくい

③残業の多さ

☐ 多い

☐ やや多い

☐ あまりない

☐ ない

④仕事内容の規則性

☐ 規則的

☐ やや規則的

☐ あまり規則的ではない

☐ 規則的ではない

IV 卒業後の就職状況等について

Q12.卒業（修了）後すぐの進路について「正規社員・正規職員として働いた」「派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いた」「一時的雇用（パート・アルバイト）として働いた」「家業を継いだ」と回答された方に伺います。

Q12-(1).卒業(修了)後、何回転職をしましたか。卒業(修了)後に就いた就職先から1度も変わっていない場合を0回として転職回数をお答えください。

回

Q12-(2).あなたは現在も卒業直後の同じ勤務先で仕事を続けていますか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ やめた () 歳の時に退職

☐ 現在まで卒業直後の勤務先で仕事を続けている

Q13.Q12-(2).で卒業（修了）直後に勤めた職場を「やめた」と回答した方に伺います。その仕事を辞めた理由は何ですか。1番大きな理由と、2番目に大きな理由を選んでください。

1番大きな理由

☐ 転職

☐ 結婚

☐ 出産

☐ 育児（子ども () 歳時で退職）

☐ 家族や配偶者の転勤

☐ 家族の介護

☐ 自分自身の健康問題

☐ 仕事が合っていないかった

☐ 家族の反対

☐ 労働条件が過酷

☐ 収入が少ない

☐ 人員整理・倒産

☐ キャリアを積む限界が見えた

☐ 職場の人間関係

☐ その他 ()

2番目に大きな理由

☐ 転職

☐ 結婚

☐ 出産

☐ 育児（子ども () 歳時で退職）

☐ 家族や配偶者の転勤

☐ 家族の介護

☐ 自分自身の健康問題

☐ 仕事が合っていないかった

☐ 家族の反対

☐ 労働条件が過酷

☐ 収入が少ない

☐ 人員整理・倒産

☐ キャリアを積む限界が見えた

☐ 職場の人間関係

☐ その他 ()

Q14.Q12-(2).で「やめた」と回答した方に伺います。あなたはその仕事を辞めた後、何か収入を伴う仕事をしましたか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 再就職してフルタイムで働いた () 歳の時

☐ 再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた

☐ 自営業（自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした）

☐ 家業を継いだ・手伝いをした

☐ 収入をとまなう仕事はしなかった

Q15.Q14.で「再就職してフルタイムで働いた」「再就職して主にパート、アルバイト、派遣、非常勤、嘱託で働いた」「自営業（自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をした）」「家業を継いだ・手伝いをした」と回答した方に伺います。

Q15-(1).再就職先はどのような事業を営んでいます(した)か。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 建設業

☐ 製造業

☐ 電気・ガス・熱供給・水道業

☐ 運輸業

☐ 卸売・小売業、飲食業

☐ 金融・保険業

☐ 不動産業、物品賃貸業

☐ 新聞・放送・出版業

☐ 広告業

☐ 情報・通信

☐ 医療・福祉

☐ 教育・研究

☐ 法律・会計

☐ 公務

☐ その他 ()

Q15-(2).再就職先の仕事上の職位は何です（した）か。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 役職なし（一般教諭）

☐ 主任・課長・教頭職・課長相当職

☐ 部長職以上（部長・社長・校長等）

☐ 有期雇用

☐ アルバイト・非常勤

☐ その他 ()

Q15-(3).再就職された企業等の規模について、あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 従業員5000人以上

☐ 4999～1000人

☐ 999～500人

☐ 499～100人

☐ 100人未満

☐ 国家・地方公務員

☐ 不明

Q15-(4).再就職された企業の特徴について、あてはまるものを1つ答えてください。

1.平日休暇の取りやすさ

☐ 取りやすい

☐ やや取りやすい

☐ やや取りにくい

☐ 取りにくい

2.土日休暇の取りやすさ

☐ 取りやすい

☐ やや取りやすい

☐ やや取りにくい

☐ 取りにくい

3.残業の多さ

☐ 多い

☐ やや多い

☐ あまりない

☐ ない

4.仕事内容の規則性

☐ 規則的

☐ やや規則的

☐ あまり規則的ではない

☐ 規則的ではない

Q15-(5).あなたはその仕事をどのような経緯で見つけましたか。最もあてはまるものを1つ答えてください。

☐ 新聞などの求人欄をみて応募

☐ WEB上の求人欄をみて応募

☐ 職業紹介所の紹介

☐ 友人の紹介

☐ 親類の紹介

121

☐ 前の職場の人の紹介
 ☐ 同志社女子大学に雇いた求人
 ☐ その他 ()

Q15-(6).再就職によって働き方は変わりましたか。

☐ はい

☐ いいえ

Q15-(7).Q15-(6)で「はい」と答えた方は、以下の項目について、最もあてはまるものを1つ答えてください。

	少なくなった	多くなった	同じである
①働く時間	☐	☐	☐
②通勤時間	☐	☐	☐
③仕事に対するやりがい	☐	☐	☐

④仕事に対する責任

☐ 軽くなった

☐ 重くなった

☐ 同じである

⑤人間関係

☐ 悪くなった

☐ 良くなった

☐ 同じである

Q16.あなたはその仕事を現在も続けていますか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ やめた () 歳の時に退職

☐ 現在まで仕事を続けている

Q17.Q16で「やめた」と回答した方に伺います。その仕事を辞めた理由は何ですか。

1番大きな理由

☐ 転職

☐ 結婚

☐ 出産

☐ 育児 (子ども () 歳時で退職)

☐ 家族や配偶者の転勤

☐ 家族の介護

☐ 自分自身の健康問題

☐ 仕事が合っていなかった

☐ 家族の反対

☐ 労働条件が過酷

☐ 収入が少ない

☐ 人員整理・倒産

☐ キャリアを構む限界が見えた

☐ 職場の人間関係

☐ その他 ()

2番目に大きな理由

☐ 転職

☐ 結婚

☐ 出産

☐ 育児 (子ども () 歳時で退職)

☐ 家族や配偶者の転勤

☐ 家族の介護

☐ 自分自身の健康問題

☐ 仕事が合っていなかった

☐ 家族の反対

☐ 労働条件が過酷

☐ 収入が少ない

☐ 人員整理・倒産

☐ キャリアを構む限界が見えた

☐ 職場の人間関係

☐ その他 ()

Q18.Q12-(2).またはQ16で「現在まで仕事を続けている」と回答した方に伺います。仕事を続けた理由は何ですか。

 以下の項目について、最もあてはまるものを1つ答えてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①自分自身の収入	☐	☐	☐	☐
②家計の維持や補助	☐	☐	☐	☐
③生きがい	☐	☐	☐	☐
④職場の理解	☐	☐	☐	☐
⑤育児休暇取得が容易	☐	☐	☐	☐
⑥職場の期待や要請	☐	☐	☐	☐
⑦仕事のおもしろさ	☐	☐	☐	☐
⑧自分の代わりがない	☐	☐	☐	☐
⑨簡単な仕事	☐	☐	☐	☐
⑩社会や他者とのつながり	☐	☐	☐	☐
⑪キャリアアップ	☐	☐	☐	☐
⑫なんとなく	☐	☐	☐	☐

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
③働くのは当然	☐	☐	☐	☐
④家業だから	☐	☐	☐	☐
⑤技術・資格を生かす	☐	☐	☐	☐
⑥趣味を生かす	☐	☐	☐	☐
Q19. 結婚・出産を経てQ12-(2).またはQ16.で「現在まで仕事が続いている」と回答した方に伺います。仕事を続けられた理由は何ですか。最もあてはまるものを1つ答えてください。				
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①配偶者のサポート	☐	☐	☐	☐
②あなたの両親のサポート	☐	☐	☐	☐
③配偶者の両親のサポート	☐	☐	☐	☐
④会社・職場等のサポート	☐	☐	☐	☐
⑤地域の子育て支援等	☐	☐	☐	☐
⑥保育所への入所やサポート	☐	☐	☐	☐
⑦親の介護施設等への入所やサポート	☐	☐	☐	☐
⑧労働条件・給与等の待遇が改善された	☐	☐	☐	☐
⑨資格があった	☐	☐	☐	☐
⑩その他				

V 現在の就職状況等について

Q20. 全員の方に伺います。あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 正規社員・正規職員として働いている
☐ 派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いている
☐ 一時的雇用（パート・アルバイト）として働いている
☐ 自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をしている
☐ 家業を継いだ・手伝いをしている
☐ 収入を伴う仕事にはついていない（専業主婦・ボランティア・自治会役員等）
☐ その他（ ）

Q21. 現在、「正規社員・正規職員として働いている」「派遣社員、契約社員、嘱託社員として働いている」「一時的雇用（パート・アルバイト）として働いている」「自宅で塾、ピアノ教室、翻訳、添削等の仕事をしている」「家業を継いだ・手伝いをしている」と回答された方に伺います。

Q21-(1). 就業先はどのような事業を営んでいますか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 建設業
☐ 製造業
☐ 電気・ガス・熱供給・水道業
☐ 運輸業
☐ 卸売・小売業、飲食業
☐ 金融・保険業
☐ 不動産業、物品賃貸業
☐ 新聞・放送・出版業
☐ 広告業
☐ 情報・通信
☐ 医療・福祉
☐ 教育・研究
☐ 法律・会計
☐ 公務
☐ その他（ ）

Q21-(2). あなたの仕事は何ですか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 専門・技術的職業
☐ 事務的職業（民間企業・公務員の一般事務員、教育関係の教務・事務補佐、秘書など）
☐ 販売的職業（民間企業の営業・販売職、小売店経営、保険外交員など）
☐ 総合職
☐ 保安・サービスの職業（警察官、客室乗務員、グラウンドスタッフなど）
☐ 運輸業（鉄道・自動車・航空機運転手など）
☐ 農林漁業
☐ 技能工・単純労務作業（工場労働、製品製造作業など）
☐ その他（ ）

専門・技術的職業

☐ 研究者
☐ 栄養士
☐ 小学校教育員
☐ 中・高等学校教員
☐ 幼稚園・保育所等保育者
☐ 技術者
☐ 薬剤師
☐ 看護師
☐ SE・プログラマー
☐ 学芸員
☐ その他（ ）

Q21-(3). 就職された企業等の規模について、あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 従業員5000人以上
☐ 4999～1000人

資料1 調査票：アンケート依頼文・アンケート内容

☐ 999～500人

☐ 499～100人

☐ 100人未満

☐ 国家・地方公務員

☐ 不明

Q21-(4).現在の仕事上の職位は何ですか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 役職なし（一般教諭）

☐ 主任・課長・教諭職・課長相当職

☐ 部長職以上（部長・社長・校長等）

☐ 有期雇用

☐ アルバイト・非常勤

Q21-(5).差し支えなければ現在の年収はどれくらいですか。あてはまるものを1つ答えてください。

☐ 100万円未満

☐ 100～200万円未満

☐ 200～300万円未満

☐ 300～400万円未満

☐ 400～500万円未満

☐ 500～700万円未満

☐ 700～1000万円未満

☐ 1000万円以上

Q22.全員の方に伺います。現在、お持ちの免許や資格等についてお書きください。

- ☐ 小学校教員免許
☐ 中・高校教員免許
☐ 幼稚園教諭免許
☐ 保育士
☐ 薬剤師
☐ 管理栄養士
☐ 看護師
☐ 学芸員
☐ 図書館司書
☐ その他 ()

Q23.全員の方に伺います。就職する上で以下のことは現在どのくらい役に立っていたり、心の支えとなっていますか。以下の項目について、最もあてはまるものを1つ教えてください。

	とても	比較的	あまり	まったく
①学部・学科での専門的な学び	☐	☐	☐	☐
②幅広い教養科目	☐	☐	☐	☐
③キリスト教科目	☐	☐	☐	☐
④キャリアに関する科目	☐	☐	☐	☐
⑤教員からの教え	☐	☐	☐	☐
⑥クラブ・サークル活動	☐	☐	☐	☐
⑦友人との交流	☐	☐	☐	☐

Q24. 在学中の学びやキャリア支援の中で、就職をする際に1番目と2番目に役立ったものを1つずつ選んでください。

1番目に役にたったもの
☐ 教養に関する科目 ☐ 学科の専門科目やゼミ ☐ キャリアに関する科目 ☐ インターンシップ（正課科目） ☐ 就職ガイダンス・セミナー ☐ 大学の就職支援のための個別面談・添削等の就職支援 ☐ OG紹介 ☐ 資格取得支援講座 ☐ その他（ ）

2番目に役にたったもの
☐ 教養に関する科目 ☐ 学科の専門科目やゼミ ☐ キャリアに関する科目 ☐ インターンシップ（正課科目） ☐ 就職ガイダンス・セミナー ☐ 大学の就職支援のための個別面談・添削等の就職支援 ☐ OG紹介 ☐ 資格取得支援講座 ☐ その他（ ）

Q25. 家庭や結婚等についてあなたの考えに最も近いものを、それぞれ1つ選んでください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1)男性も女性と同等に家事・育児にかかわる	☐	☐	☐	☐

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(2)子どもは少なくとも1人は持つ	☐	☐	☐	☐
(3)自分より家族の都合を優先する	☐	☐	☐	☐
(4)家庭のごまごまとした管理は女性がする	☐	☐	☐	☐
(5)子どもがいると生活が楽しく豊かなになる	☐	☐	☐	☐
(6)結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守る	☐	☐	☐	☐
(7)妻も収入を得て家計を支える	☐	☐	☐	☐
(8)人前では妻は夫を立てたほうがよい	☐	☐	☐	☐
(9)子どもは夫婦の絆となる	☐	☐	☐	☐
(10)結婚しても、夫や家族とは別の自分だけの目標を持つ	☐	☐	☐	☐
(11)一度は結婚する	☐	☐	☐	☐
(12)子どもは老後の支えになる	☐	☐	☐	☐
(13)結婚は適当な相手がいなければしない	☐	☐	☐	☐
(14)まずは家族より自分自身を大事にする	☐	☐	☐	☐
(15)縁がなければ子どもは持たない	☐	☐	☐	☐
(16)子どもより夫婦関係のほうが大事である	☐	☐	☐	☐
(17)子どもには家を継いでほしい	☐	☐	☐	☐

Q26.仕事についてあなたの考えに最も近いものを、それぞれ1つ選んでください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1)女性であってでも社会の中で働いたほうがよい	☐	☐	☐	☐
(2)自分のライフスタイルに応じて転職をしたほうがよい	☐	☐	☐	☐
(3)女性でもキャリアアップを目指したほうがよい	☐	☐	☐	☐
(4)転職はできるだけしないほうがよい	☐	☐	☐	☐
(5)女性でも経済力をつけたほうがよい	☐	☐	☐	☐
(6)できるだけ資格を取ったほうがよい	☐	☐	☐	☐
(7)女性は結婚する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である	☐	☐	☐	☐
(8)少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たずに家にいるのが望ましい	☐	☐	☐	☐
(9)女性は補助するような仕事のほうがよい	☐	☐	☐	☐
(10)同じ職場ですっと働き続けたほうがよい	☐	☐	☐	☐

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(11)自分のキャリアアップのために転職をする	☐	☐	☐	☐
Q27.あなたの性格に最も合うものを、それぞれ1つ選んでください。				
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1)粘り強い	☐	☐	☐	☐
(2)人に負けたくない	☐	☐	☐	☐
(3)社交的である	☐	☐	☐	☐
(4)人に気配りできる	☐	☐	☐	☐
(5)失敗から立ち直るのが早い	☐	☐	☐	☐
(6)細かいことにこだわる	☐	☐	☐	☐
(7)他の人に気兼ねなく助けてもらうことができる	☐	☐	☐	☐
(8)他の人に頼らず、すべて自分でやりたい	☐	☐	☐	☐
(9)一人であるのが好き	☐	☐	☐	☐
Q28.あなたの父親から以下のことをどの程度言われましたか。最もあてはまるものをそれぞれ選んでください。				
	言われた	やや言われた	あまり言われなかった	言われなかった
(1)経済的自立をするように言われた	☐	☐	☐	☐
(2)結婚しても仕事を続けるように言われた	☐	☐	☐	☐
(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた	☐	☐	☐	☐
(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた	☐	☐	☐	☐
Q29.あなたの母親から以下のことをどの程度言われましたか。最もあてはまるものをそれぞれ選んでください。				
	言われた	やや言われた	あまり言われなかった	言われなかった
(1)経済的自立をするように言われた	☐	☐	☐	☐
(2)結婚しても仕事を続けるように言われた	☐	☐	☐	☐
(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた	☐	☐	☐	☐
(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた	☐	☐	☐	☐
Q30.結婚をしている（していた）人は、あなたの配偶者から以下のことをどの程度言われましたか。				

	言われた	やや言われた	あまり言われなかった	言われなかった
(1)経済的自立をするように言われた	☐	☐	☐	☐
(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた	☐	☐	☐	☐
(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた	☐	☐	☐	☐
(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた	☐	☐	☐	☐

Q31.あなたが卒業（修了）時に描いた生き方に最もあてはまるものを1つ選んでください。

☐ 結婚せず、仕事を一生続ける

☐ 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける

☐ 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける

☐ 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

☐ 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

☐ その他（）

Q32.あなたの現在の生き方に最もあてはまるものを1つ選んでください。

☐ 結婚せず、仕事を一生続ける

☐ 結婚する（した）が子どもは持たず、仕事を一生続ける

☐ 結婚し子どもを持つ（った）が、仕事も一生続ける

☐ 結婚し子どもを持つ（った）が、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

☐ 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

☐ その他（）

IX 女子大学の意義について

Q33.女子大学に在籍したことで、よかったことはありますか。

☐ ある

☐ ややある

☐ あまりない

☐ ない

Q34.Q33.で「ある」、「ややある」と答えた人は、以下の中で最もよかったことを1つ選んでください。

☐ 仕事を継続する大切さを学んだ

☐ リーダーシップを発揮できた

☐ 男性の目を気にせず、自由にのびのび活動できた

☐ 古い枠組みに縛られずに活動できた

☐ 女性学やジェンダー学などの講義を受けることができた

☐ 広い視野でみることができた

☐ 挑戦する大切さを学ぶことができた

☐ 積極的に行動することができた

☐ 見本になる女性教員がいた

☐ 女性として自信がついた

☐ その他（）

Q35.今後、同志社女子大学で卒業生に対しておこなってほしいことがあれば、自由にお書きください。

300文字まで入力できます。

0文字/300文字

この内容で提出する Submit

(1ページ / 1ページ)

資料 2

年代別・学部別のクロス集計表

対象者数980名								年齢区分				学部区分			
Q2. 現在配偶者の有無															
	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看				
なし	30.7	69.7	30.6	20.6	12.9	10.1	12.9	40.0	46.9	24.6	26.6				
あり	62.3	28.8	65.3	73.4	76.9	76.8	58.1	54.0	50.8	67.3	69.8				
離別・死別	4.1	0.0	3.6	5.2	5.9	4.3	12.9	4.0	0.6	7.0	1.8				
その他	0.5	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	3.2	1.0	0.6	0.0	0.7				
無回答	2.3	0.5	0.5	0.9	3.2	8.7	12.9	1.0	1.1	1.0	1.1				
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278				
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
結婚時の年齢															
21～25歳	27.2	38.9	16.1	22.1	27.7	54.3	58.8	22.4	23.6	27.1	30.3				
26～30歳	53.0	61.1	62.9	48.1	52.6	43.5	35.3	51.0	66.3	51.8	49.2				
31～35歳	12.7	—	15.4	14.3	14.6	2.2	5.9	12.2	6.7	13.0	14.6				
36～40歳	6.4	—	5.6	14.3	3.6	—	—	12.2	3.4	7.7	4.9				
41歳～	0.7	—	—	1.3	1.5	—	—	2.0	0.0	0.4	1.1				
実数	574	54	143	154	137	46	17	49	89	247	185				
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
Q3. 子どもの有無															
	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看				
なし	43.2	87.4	43.7	33.5	24.7	13.0	12.9	59.0	63.3	36.4	36.3				
あり	53.9	11.6	55.0	63.9	72.0	81.2	71.0	39.0	35.6	62.3	61.9				
無回答	3.0	1.0	1.4	2.6	3.2	5.8	16.1	2.0	1.1	1.3	1.8				
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278				
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
Q4. 居住地															
	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看				
近畿地方	61.2	71.1	66.7	59.6	60.3	58.5	65.4	62.2	67.8	61.6	64.2				
北海道・東北地方	0.8	0.5	1.4	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	1.5				
南関東地方	13.0	12.9	9.7	13.3	13.4	20.0	23.1	17.3	12.3	12.5	14.8				
北関東地方	1.1	0.5	0.9	0.9	2.8	1.5	0.0	0.0	1.2	1.8	0.7				
北陸地方	2.2	2.1	1.4	2.7	3.9	1.5	0.0	4.1	2.3	1.3	3.3				
東海地方	6.2	4.1	8.3	8.0	6.7	6.2	0.0	6.1	6.4	7.1	5.9				
中国地方	3.6	3.6	2.8	4.4	4.5	3.1	3.8	1.0	3.5	4.6	3.3				
四国地方	2.0	1.0	2.8	1.8	3.4	1.5	0.0	1.0	3.5	1.5	2.6				
九州・沖縄地方	3.7	3.1	4.2	4.4	2.8	6.2	3.8	4.1	1.2	4.6	3.7				
外国	2.3	1.0	1.9	4.0	1.7	1.5	3.8	4.1	1.2	4.3	0.0				
無回答	3.8	1.5	2.3	3.4	3.2	5.8	16.1	2.0	2.8	1.0	2.2				
実数	980	194	216	225	179	65	26	98	171	393	271				
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				

Q6. 卒業（修了）した学科・専攻

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
音楽	6.8	8.6	5.9	9.9	2.2	5.8	0.0	67.0	—	—	—
情報メディア	1.3	2.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	—	—	—
国際教養	2.0	9.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	—	—	—
社会システム	6.3	7.1	19.8	0.0	0.5	0.0	0.0	—	35.0	—	—
現代こども	11.7	39.9	14.0	0.4	0.5	0.0	0.0	—	65.0	—	—
医療薬学	0.8	1.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	2.9
看護	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	—	—	—	0.7
英米語・英文学	27.7	6.1	17.6	33.9	45.2	43.5	51.6	—	—	68.1	—
日本語日本文学	13.0	6.1	14.0	27.0	9.7	0.0	0.0	—	—	31.9	—
人間生活・家政	9.5	4.5	7.7	9.0	15.6	17.4	9.7	—	—	—	33.5
食物	17.9	12.6	13.5	17.6	24.2	29.0	22.6	—	—	—	62.9
無回答	2.8	2.0	1.8	2.1	2.2	4.3	12.9	—	—	—	—
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q7. 在学中力を入れていた項目

(1)友人とのつきあい	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
力を入れた	37.1	43.4	34.2	35.2	43.5	30.4	25.8	35.0	44.6	35.4	39.2
ある程度力を入れた	45.2	41.9	48.2	45.1	44.1	46.4	35.5	46.0	42.4	48.2	46.8
あまり力を入れなかった	12.0	11.6	11.7	15.0	7.5	15.9	16.1	17.0	9.6	13.6	10.8
力を入れなかった	1.5	0.5	3.6	1.3	1.1	0.0	0.0	2.0	2.3	1.8	0.7
無回答	4.1	2.5	2.3	3.4	3.8	7.2	22.6	0.0	1.1	1.0	2.5
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)大学の授業や研究											
力を入れた	33.6	44.9	39.6	29.6	27.4	23.2	32.3	52.0	32.2	28.9	37.8
ある程度力を入れた	46.9	46.0	44.1	50.6	46.2	49.3	32.3	39.0	53.1	48.0	48.9
あまり力を入れなかった	13.8	6.1	13.1	13.3	21.0	18.8	12.9	8.0	13.0	18.8	10.4
力を入れなかった	1.5	0.5	0.5	2.6	1.1	2.9	6.5	1.0	0.6	2.5	1.1
無回答	4.2	2.5	2.7	3.9	4.3	5.8	16.1	0.0	1.1	1.8	1.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3)自主的学習・読書											
力を入れた	23.2	23.2	23.4	26.2	20.4	23.2	22.6	35.0	16.9	25.9	21.2
ある程度力を入れた	44.8	48.5	44.6	42.5	45.2	40.6	41.9	40.0	49.7	46.7	45.0
あまり力を入れなかった	24.2	21.7	26.6	23.6	26.3	27.5	9.7	22.0	28.2	22.4	27.3
力を入れなかった	3.3	4.0	3.2	3.0	3.2	1.4	3.2	3.0	4.0	3.0	3.6
無回答	4.6	2.5	2.3	4.7	4.8	7.2	22.6	0.0	1.1	2.0	2.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4)自分の趣味	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生葉看
力を入れた	26.9	35.9	24.8	25.3	25.3	26.1	12.9	34.0	24.3	27.6	27.7
ある程度力を入れた	41.1	40.9	43.2	39.1	47.3	33.3	29.0	38.0	48.6	43.2	38.5
あまり力を入れなかった	24.0	18.7	25.7	28.8	19.9	30.4	22.6	23.0	23.7	23.4	27.7
力を入れなかった	3.5	1.5	4.1	2.1	3.8	2.9	12.9	5.0	1.7	4.0	3.6
無回答	4.5	3.0	2.3	4.7	3.8	7.2	22.6	0.0	1.7	1.8	2.5
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(5)サークルやクラブ活動											
力を入れた	32.7	29.8	32.9	22.7	45.7	37.7	41.9	20.0	31.1	34.7	38.5
ある程度力を入れた	23.7	19.2	26.1	28.8	19.4	24.6	32.3	25.0	24.3	24.1	24.5
あまり力を入れなかった	17.3	16.2	13.1	22.7	18.3	15.9	6.5	11.0	18.1	18.8	18.7
力を入れなかった	22.0	31.8	24.8	22.3	12.9	15.9	0.0	43.0	24.9	20.9	16.5
無回答	4.3	3.0	3.2	3.4	3.8	5.8	19.4	1.0	1.7	1.5	1.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(6)アルバイト											
力を入れた	22.0	31.3	26.1	20.2	18.3	7.2	6.5	19.0	30.5	20.4	22.3
ある程度力を入れた	39.1	39.9	37.4	42.9	43.0	29.0	12.9	42.0	41.8	41.5	36.7
あまり力を入れなかった	21.3	19.2	22.1	20.2	21.0	31.9	25.8	21.0	20.9	20.9	24.5
力を入れなかった	13.3	7.1	12.2	13.3	14.0	24.6	29.0	18.0	5.6	15.8	14.0
無回答	4.3	2.5	2.3	3.4	3.8	7.2	25.8	0.0	1.1	1.5	2.5
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(7)教員との交流											
力を入れた	8.0	16.2	8.1	4.7	4.8	7.2	0.0	16.0	9.0	9.0	3.6
ある程度力を入れた	32.3	47.0	34.2	26.2	29.0	23.2	16.1	34.0	50.8	23.1	36.3
あまり力を入れなかった	41.3	29.3	41.9	47.2	45.7	42.0	41.9	37.0	32.8	47.2	43.9
力を入れなかった	14.2	5.1	13.5	17.6	16.7	21.7	19.4	13.0	6.2	19.1	14.0
無回答	4.2	2.5	2.3	4.3	3.8	5.8	22.6	0.0	1.1	1.5	2.2
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(8)特定の異性とのつきあい											
力を入れた	11.6	16.7	13.5	9.0	8.6	10.1	3.2	11.0	15.3	10.1	12.9
ある程度力を入れた	32.6	30.3	33.8	35.6	31.7	36.2	22.6	32.0	35.6	29.9	37.8
あまり力を入れなかった	27.9	24.7	32.0	27.0	31.7	24.6	12.9	28.0	28.8	31.4	24.8
力を入れなかった	22.9	25.3	18.0	24.0	22.6	20.3	35.5	29.0	18.1	25.9	21.6
無回答	5.1	3.0	2.7	4.3	5.4	8.7	25.8	0.0	2.3	2.8	2.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(9)語学学校・専門学校・各種学校への通学	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
力を入れた	4.2	2.5	5.4	4.3	2.7	5.8	12.9	5.0	3.4	6.3	1.8
ある程度力を入れた	10.7	6.1	6.8	10.7	18.8	11.6	9.7	5.0	6.2	15.6	9.7
あまり力を入れなかった	14.0	14.1	13.5	14.2	14.5	17.4	6.5	15.0	16.9	15.3	11.2
力を入れなかった	65.3	70.7	71.2	66.5	59.1	56.5	41.9	74.0	70.1	60.3	72.7
無回答	5.8	6.6	3.2	4.3	4.8	8.7	29.0	1.0	3.4	2.5	4.7
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(10)ボランティア活動											
力を入れた	6.5	16.7	9.9	2.1	1.1	2.9	0.0	3.0	24.3	2.8	2.5
ある程度力を入れた	12.9	30.8	13.5	5.6	7.0	4.3	3.2	15.0	31.1	6.8	10.4
あまり力を入れなかった	18.5	14.1	16.7	18.9	23.1	17.4	22.6	17.0	15.3	21.9	18.0
力を入れなかった	57.0	35.4	56.8	68.7	64.5	68.1	45.2	65.0	28.2	66.6	64.4
無回答	5.1	3.0	3.2	4.7	4.3	7.2	29.0	0.0	1.1	2.0	4.7
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q8. 卒業（修了）後の人生や生活で在学中に力を入れていた項目で最も役に立った項目

1)社会生活	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
(1)友人とのつきあい	37.8	44.9	37.8	34.3	39.2	39.1	16.1	39.0	45.8	35.7	38.8
(2)大学の授業や研究	10.6	13.1	10.8	11.2	7.0	8.7	6.5	23.0	9.6	8.8	10.4
(3)自主的学習・読書	9.1	4.5	5.0	12.4	12.4	13.0	19.4	5.0	3.4	14.3	7.6
(4)自分の趣味	3.7	2.5	3.2	5.6	3.2	1.4	3.2	3.0	1.7	4.3	4.7
(5)サークルやクラブ活動	17.0	10.1	20.7	13.7	22.0	20.3	19.4	7.0	14.1	18.8	21.6
(6)アルバイト	9.3	12.6	13.5	8.6	5.4	4.3	0.0	11.0	14.1	7.8	8.6
(7)教員との交流	2.0	2.0	1.4	3.0	2.2	1.4	0.0	4.0	1.1	2.3	1.8
(8)特定の異性とのつきあい	0.3	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.7
(9)語学・専門学校等への通学	0.8	0.0	0.0	1.7	1.1	2.9	0.0	2.0	0.0	1.5	0.0
(10)ボランティア活動	2.4	6.1	2.3	1.3	1.6	0.0	3.2	3.0	7.9	0.8	1.4
無回答	6.9	3.5	5.0	8.2	5.4	8.7	32.3	2.0	2.3	5.8	4.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2)職業生活	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
(1)友人とのつきあい	7.4	7.6	6.3	5.6	10.8	1.4	12.9	10.0	6.8	8.0	6.8
(2)大学の授業や研究	35.9	42.9	40.1	29.6	32.8	36.2	25.8	37.0	41.2	29.9	44.2
(3)自主的学習・読書	14.0	7.6	9.5	18.9	16.7	24.6	12.9	14.0	6.8	18.6	13.3
(4)自分の趣味	3.1	3.0	2.7	3.0	3.8	4.3	0.0	6.0	1.7	3.5	2.5
(5)サークルやクラブ活動	8.0	4.0	8.1	7.3	11.3	10.1	9.7	7.0	5.6	9.8	7.9
(6)アルバイト	14.8	17.7	17.1	16.7	12.9	7.2	0.0	18.0	14.1	15.8	14.0
(7)教員との交流	2.7	6.1	3.2	2.1	1.1	0.0	0.0	5.0	4.5	1.8	2.2
(8)特定の異性とのつきあい	0.2	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
(9)語学・専門学校等への通学	2.2	0.5	3.2	3.0	1.6	1.4	9.7	0.0	2.8	3.8	0.7
(10)ボランティア活動	2.6	7.1	3.2	1.3	0.5	0.0	0.0	0.0	11.9	0.5	0.7
無回答	9.2	3.5	6.8	12	8.1	14.5	29.0	3.0	4.5	8.0	7.2
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3)家庭生活	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
(1)友人とのつきあい	32.2	31.8	40.1	29.6	30.1	34.8	6.5	33.0	38.4	34.4	28.1
(2)大学の授業や研究	10.6	10.1	7.7	9.9	14.0	17.4	9.7	7.0	4.5	3.5	27.0
(3)自主的学習・読書	9.5	4.0	4.1	12.0	16.1	15.9	16.1	9.0	2.3	15.6	6.5
(4)自分の趣味	14.4	19.2	13.1	13.3	12.9	7.2	12.9	16.0	18.1	15.3	11.5
(5)サークルやクラブ活動	5.9	3.0	6.3	5.2	10.2	4.3	6.5	4.0	4.5	8.0	5.0
(6)アルバイト	2.9	3.0	5.9	1.3	2.7	0.0	0.0	4.0	4.5	3.3	1.1
(7)教員との交流	0.3	0.5	0.0	0.0	0.5	1.4	0.0	2.0	0.0	0.3	0.0
(8)特定の異性とのつきあい	8.9	10.1	10.8	10.3	3.8	8.7	12.9	9.0	9.6	7.0	11.9
(9)語学・専門学校等への通学	0.4	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7
(10)ボランティア活動	1.1	3.5	0.5	0.9	0.5	0.0	0.0	4.0	1.7	1.0	0.0
無回答	13.8	14.6	11.7	15.9	9.1	10.1	35.5	12.0	16.4	11.1	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q9. 在学中に満足した項目

(1)本学の教員との交流	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
満足	27.6	47.5	32.4	20.6	17.7	18.8	6.5	39.0	42.4	21.4	25.5
やや満足	42.6	43.9	46.4	40.8	41.9	44.9	19.4	41.0	45.8	43.0	44.6
やや不満足	19.2	5.6	15.8	23.2	26.3	21.7	45.2	15.0	9.6	24.9	20.5
不満足	5.2	0.5	2.3	9.0	8.1	10.1	0.0	4.0	1.1	8.0	4.7
無回答	5.5	2.5	3.2	6.4	5.9	4.3	29.0	1.0	1.1	2.8	4.7
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)在学中の友人との交流											
満足	52.1	59.6	53.2	50.6	49.5	50.7	48.4	52.0	59.3	51.3	54.0
やや満足	35.7	34.3	36.5	35.6	36.0	36.2	22.6	40.0	35.6	37.2	35.6
やや不満足	6.5	3.5	5.4	7.7	8.1	7.2	12.9	4.0	3.4	8.0	7.9
不満足	1.2	0.0	2.3	0.9	2.2	1.4	0.0	3.0	0.6	1.8	0.4
無回答	4.4	2.5	2.7	5.2	4.3	4.3	16.1	1.0	1.1	1.8	2.2
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3)卒業生との交流											
満足	10.0	15.2	12.6	5.2	10.8	8.7	3.2	13.0	11.9	6.8	13.3
やや満足	31.3	44.4	28.8	27.9	29.6	27.5	22.6	31.0	40.7	29.9	30.6
やや不満足	29.5	23.7	33.3	30.5	29.6	29.0	29.0	25.0	30.5	32.4	29.1
不満足	17.9	7.6	17.6	22.3	18.3	24.6	19.4	25.0	8.5	20.9	18.7
無回答	11.3	9.1	7.7	14.2	11.8	10.1	25.8	6.0	8.5	10.1	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)就職の指導・支援体制											
満足	14.2	27.8	21.2	8.6	6.5	4.3	6.5	12.0	29.9	10.8	11.2
やや満足	37.3	46.0	43.7	31.8	36.6	21.7	16.1	32.0	46.9	35.7	39.2
やや不満足	27.2	15.7	24.3	35.2	33.3	27.5	19.4	28.0	16.4	34.4	26.3
不満足	13.5	6.6	5.9	18.0	15.1	29.0	25.8	24.0	3.4	14.1	16.5
無回答	7.8	4.0	5.0	6.4	8.6	17.4	32.3	4.0	3.4	5.0	6.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(5)留学・国際交流支援体制											
満足	9.3	17.2	12.2	7.7	3.8	2.9	0.0	18.0	10.2	9.5	6.1
やや満足	26.8	37.4	36.9	26.6	17.2	4.3	6.5	26.0	36.7	26.9	23.4
やや不満足	27.0	15.7	26.1	31.3	33.9	30.4	12.9	22.0	24.3	31.7	26.6
不満足	14.6	8.1	5.4	14.2	22.0	37.7	29.0	20.0	4.0	15.8	19.1
無回答	22.2	21.7	19.4	20.2	23.1	24.6	51.6	14.0	24.9	16.1	24.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(6)経済的（奨学金）支援体制	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
満足	11.2	16.2	15.8	8.2	7.0	8.7	6.5	15.0	12.4	11.3	10.1
やや満足	31.4	38.4	37.8	26.2	28.5	20.3	22.6	33.0	39.0	31.2	29.5
やや不満足	25.1	20.2	23.4	31.3	27.4	21.7	16.1	25.0	19.8	26.6	28.8
不満足	10.7	10.1	6.3	9.9	12.4	27.5	6.5	15.0	6.8	9.8	14.0
無回答	21.5	15.2	16.7	24.5	24.7	21.7	48.4	12.0	22.0	21.1	17.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(7)ゼミ担当教員の指導											
満足	46.3	75.8	47.7	38.2	34.4	31.9	16.1	54.0	68.4	35.7	49.3
やや満足	31.4	15.7	37.4	33.9	37.6	36.2	25.8	27.0	24.3	36.2	33.8
やや不満足	10.6	3.0	7.7	13.7	17.7	14.5	16.1	8.0	3.4	15.6	10.1
不満足	4.2	1.0	3.2	5.2	4.3	7.2	12.9	4.0	1.1	6.5	3.2
無回答	7.4	4.5	4.1	9.0	5.9	10.1	29.0	7.0	2.8	6.0	3.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(8)一般教養科目											
満足	24.4	32.3	30.6	24.0	15.6	15.9	19.4	31.0	28.2	26.4	19.1
やや満足	53.9	52.0	53.6	55.4	56.5	52.2	48.4	51.0	55.9	52.5	60.8
やや不満足	13.1	8.6	11.7	12.9	17.7	23.2	3.2	11.0	10.2	14.6	14.7
不満足	2.7	2.0	1.4	2.1	3.8	4.3	6.5	5.0	1.7	3.0	2.2
無回答	6.0	5.1	2.7	5.6	6.5	4.3	22.6	2.0	4.0	3.5	3.2
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(9)専門科目											
満足	38.8	56.1	44.1	31.3	31.7	26.1	25.8	52.0	45.2	33.7	41.0
やや満足	45.8	35.9	46.4	51.1	49.5	56.5	38.7	39.0	43.5	49.2	49.3
やや不満足	7.3	2.5	5.0	9.9	10.2	8.7	6.5	4.0	6.2	10.3	5.8
不満足	1.7	1.0	1.8	1.3	1.1	2.9	3.2	3.0	0.6	2.5	1.1
無回答	6.3	4.5	2.7	6.4	7.5	5.8	25.8	2.0	4.5	4.3	2.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(10)キリスト教科目											
満足	18.8	26.3	19.4	16.3	14.5	18.8	22.6	20.0	14.1	19.8	21.6
やや満足	50.9	47.5	52.7	52.4	51.6	50.7	38.7	51.0	54.2	54.5	48.6
やや不満足	16.7	15.7	16.2	18.0	19.9	15.9	9.7	19.0	16.4	15.8	19.1
不満足	4.7	3.5	4.1	4.7	5.4	5.8	6.5	7.0	6.2	3.8	4.7
無回答	8.9	7.1	7.7	8.6	8.6	8.7	22.6	3.0	9.0	6.0	6.1
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(11)図書館	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
満足	43.1	59.6	50.5	37.3	31.7	37.7	19.4	58.0	55.4	42.2	35.3
やや満足	38.8	31.8	34.2	40.8	53.2	33.3	32.3	32.0	34.5	41.7	43.5
やや不満足	10.1	3.5	10.4	14.6	6.5	18.8	16.1	7.0	4.5	10.3	15.5
不満足	2.3	1.5	1.4	0.9	3.2	5.8	9.7	3.0	2.3	2.5	2.2
無回答	5.7	3.5	3.6	6.4	5.4	4.3	22.6	0.0	3.4	3.3	3.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(12)学生支援全般

満足	20.3	34.8	25.2	16.7	11.3	11.6	3.2	30.0	26.6	18.3	17.6
やや満足	46.5	51.5	54.5	42.9	44.6	30.4	35.5	46.0	58.2	44.7	46.4
やや不満足	18.8	6.6	13.5	24.5	24.7	31.9	25.8	13.0	7.9	24.4	21.6
不満足	4.7	3.5	2.3	4.7	6.5	8.7	9.7	8.0	3.4	3.8	6.1
無回答	9.7	3.5	4.5	11.2	12.9	17.4	25.8	3.0	4.0	8.8	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(13)大学全体の雰囲気

満足	56.3	66.7	61.7	53.6	52.2	39.1	41.9	63.0	70.6	55.8	51.1
やや満足	34.1	27.8	32.0	37.8	37.1	43.5	29.0	31.0	25.4	36.4	40.6
やや不満足	3.7	2.5	1.4	3.4	5.4	7.2	9.7	5.0	0.0	4.5	4.7
不満足	1.0	0.5	1.8	0.0	1.1	2.9	3.2	1.0	2.3	1.0	0.4
無回答	4.9	2.5	3.2	5.2	4.3	7.2	16.1	0.0	1.7	2.3	3.2
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q10. 卒業（修了）後すぐの進路

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
正規社員・正規職員	69.0	69.7	73.4	64.4	77.4	55.1	51.6	42.0	82.5	70.1	75.2
派遣社員、契約社員、嘱託社員	11.5	14.6	11.7	11.6	9.7	11.6	6.5	18.0	7.9	12.1	11.9
一時的雇用	5.5	3.5	6.3	6.9	3.2	10.1	3.2	21.0	3.4	4.0	4.0
家業を継いだ	0.5	0.5	0.0	0.4	0.5	1.4	3.2	1.0	0.0	0.8	0.4
進学、海外への留学	5.4	8.1	2.7	7.3	3.2	7.2	0.0	14.0	4.0	5.8	3.2
家事手伝い	1.3	0.0	1.8	1.7	0.5	2.9	3.2	2.0	0.6	1.0	2.2
仕事にはつかなかった	2.2	0.5	1.4	3.4	1.1	5.8	9.7	1.0	0.6	4.0	1.4
無回答	4.5	3.0	2.7	4.3	4.3	5.8	22.6	1.0	1.1	2.3	1.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q11. 卒業後すぐの進路

Q11-(1). 就業先の事業内容	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
建設業	1.9	1.5	3.2	2.1	1.1	2.9	0.0	1.0	2.3	1.8	2.5
製造業	10.1	7.1	11.7	9.9	13.4	5.8	6.5	5.0	5.1	12.3	12.9
電気・ガス・熱供給・水道業	0.8	0.5	0.0	2.1	0.5	0.0	3.2	1.0	0.0	1.3	0.7
運輸業	2.8	3.0	1.4	3.4	3.8	2.9	0.0	6.0	0.6	4.5	0.7
卸売・小売業、飲食業	9.8	9.6	9.5	14.2	7.0	5.8	9.7	7.0	6.8	11.3	11.5
金融・保険業	12.2	8.1	13.5	15.9	13.4	5.8	6.5	12.0	14.1	15.8	7.2
不動産業、物品賃貸業	0.8	1.5	0.5	0.9	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.8
新聞・放送・出版業	1.2	0.0	1.4	0.9	1.6	4.3	3.2	0.0	1.1	1.8	1.1
広告業	1.0	1.0	1.4	0.9	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	1.3	1.1
情報・通信	2.9	1.0	3.6	1.7	5.4	1.4	3.2	5.0	1.7	3.0	2.9
医療・福祉	6.3	4.5	9.0	4.3	7.5	4.3	3.2	3.0	4.0	2.3	15.5
教育・研究	24.6	38.9	27.5	15.9	19.4	31.9	12.9	30.0	45.2	19.3	19.4
法律・会計	0.3	0.5	0.0	0.0	0.5	1.4	0.0	1.0	0.0	0.3	0.4
公務	3.8	5.6	2.7	4.3	2.7	1.4	6.5	3.0	6.2	1.8	5.8
その他	7.4	5.1	5.9	6.9	10.8	10.1	9.7	6.0	4.5	9.5	7.6
無回答	14.0	12.1	9.0	16.7	10.8	21.7	35.5	20.0	7.3	13.1	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Q11-(2). その際の仕事内容	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
専門・技術的職業	22.1	24.7	27.0	14.2	22.6	30.4	12.9	16.0	29.4	12.1	36.3
事務的職業	36.9	30.8	32.0	40.8	44.6	33.3	41.9	31.0	34.5	45.7	31.7
販売的職業	9.3	9.1	10.4	14.2	6.5	4.3	3.2	8.0	9.6	10.1	9.4
総合職	9.5	12.6	13.1	6.9	8.1	2.9	0.0	10.0	12.4	9.3	8.6
保安・サービスの職業	3.4	5.6	3.2	3.4	1.6	2.9	3.2	8.0	2.3	4.5	1.1
運輸業	0.4	0.0	0.9	0.4	0.5	0.0	0.0	1.0	0.6	0.5	0.0
技能工・単純労務作業	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
その他	4.0	4.5	4.5	3.0	4.3	4.3	3.2	7.0	4.0	3.8	3.6
無回答	14.3	12.1	9.0	17.2	11.8	21.7	35.5	19.0	7.3	14.1	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
専門・技術的職業の内容											
研究者	7.0	4.1	6.8	9.4	9.8	4.8	0.0	6.3	0.0	4.3	12.1
栄養士	16.0	8.2	20.3	18.8	14.6	9.5	33.3	0.0	0.0	0.0	34.3
小学校教員	15.5	36.7	23.7	3.1	0.0	0.0	0.0	6.3	57.7	2.2	1.0
中・高等学校教員	21.6	10.2	18.6	21.9	31.7	42.9	33.3	18.8	3.8	47.8	19.2
幼稚園・保育所等保育者	6.1	20.4	1.7	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	1.0
技術者	2.8	0.0	1.7	9.4	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.0
薬剤師	3.8	4.1	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1
看護師	0.9	2.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	1.0
SE・プログラマー	7.5	2.0	6.8	3.1	22.0	0.0	0.0	18.8	3.8	13.0	5.1
その他	18.8	12.2	10.2	31.3	14.6	42.9	33.3	50.0	11.5	26.1	14.1
実数	213	49	59	32	41	21	3	16	52	46	99
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q11-(3). 就職先の企業等の規模	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生葉看
従業員5000人以上	17.3	12.6	17.1	18.9	24.7	14.5	12.9	14.0	10.2	22.6	17.3
4999～1000人	12.6	11.6	14.9	14.2	9.7	4.3	12.9	12.0	14.1	14.8	9.7
999～500人	7.2	7.1	7.7	7.7	7.0	7.2	6.5	8.0	5.6	7.3	8.6
499～100人	16.9	15.2	16.2	19.7	15.1	15.9	9.7	15.0	14.1	17.1	20.9
100人未満	12.1	12.1	14.0	10.7	13.4	13.0	3.2	15.0	11.3	11.6	13.7
国家・地方公務員	11.8	24.2	12.2	6.4	7.5	13.0	6.5	7.0	31.6	5.8	10.8
不明	6.4	4.0	8.1	3.9	9.7	7.2	9.7	9.0	4.5	6.3	7.6
無回答	15.5	13.1	9.9	18.5	12.9	24.6	38.7	20.0	8.5	14.6	11.5
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Q11-(4). 就職する上で重視したこと	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生葉看
自分のやりたい仕事ができる	25.9	32.3	31.5	20.6	24.7	17.4	16.1	26.0	34.5	20.4	30.9
社風がよい	7.1	8.6	8.1	5.2	9.7	4.3	3.2	7.0	7.9	8.5	5.4
職場が明るい	2.3	5.1	1.8	2.1	2.2	0.0	0.0	3.0	1.1	1.5	4.3
福利厚生がよい	3.7	6.1	4.1	3.9	1.6	0.0	0.0	5.0	5.6	3.3	2.9
仕事と家庭の両立のための制度	2.4	2.5	1.4	3.4	1.6	4.3	3.2	3.0	3.4	2.3	2.2
志望業種・職種である	14.4	18.7	16.7	9.4	13.4	14.5	9.7	10.0	25.4	11.6	14.4
将来性がある	2.6	1.5	1.8	5.6	1.6	1.4	0.0	3.0	1.7	3.3	2.2
休日が多く残業が少ない	2.2	3.0	1.8	2.6	2.2	1.4	0.0	3.0	2.3	2.3	2.2
給料が高い	2.6	2.5	2.3	2.6	4.3	1.4	0.0	6.0	2.3	2.8	1.4
昇進・昇格の可能性がある	0.3	0.0	0.5	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4
女性が活躍できる	5.1	1.0	4.5	5.6	10.2	2.9	3.2	2.0	2.3	7.5	5.0
有名企業である	6.3	1.5	6.8	10.3	7.0	7.2	6.5	3.0	3.4	9.3	5.8
その他	9.2	4.5	8.6	9.9	7.5	20.3	16.1	8.0	2.8	10.6	12.6
無回答	15.8	12.6	10.4	18.5	13.4	24.6	41.9	21.0	7.3	16.3	10.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Q11-(5). 就職された企業の特徴											
①平日休暇の取りやすさ	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生葉看
取りやすい	25.6	27.8	23.4	27.5	25.3	30.4	16.1	32.0	20.3	26.6	27.7
やや取りやすい	19.7	13.1	24.8	21.0	22.0	11.6	16.1	22.0	13.0	21.1	23.0
やや取りにくい	16.5	13.1	14.0	15.5	25.3	15.9	12.9	11.0	15.3	18.6	18.0
取りにくい	22.9	32.8	28.4	18.0	16.1	17.4	6.5	14.0	42.9	18.3	21.9
無回答	15.3	13.1	9.5	18.0	11.3	24.6	48.4	21.0	8.5	15.3	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

②土日休暇の取りやすさ	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
取りやすい	51.6	52.0	49.1	48.1	62.4	46.4	38.7	47.0	59.3	51.0	54.3
やや取りやすい	11.2	13.1	13.1	8.6	10.8	11.6	3.2	11.0	11.9	9.5	14.4
やや取りにくい	8.8	7.6	12.2	9.4	8.6	7.2	3.2	9.0	6.8	9.8	9.4
取りにくい	12.2	13.1	15.8	13.3	7.0	11.6	6.5	11.0	12.4	13.1	12.6
無回答	16.1	14.1	9.9	20.6	11.3	23.2	48.4	22.0	9.6	16.6	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③残業の多さ											
多い	28.3	38.9	35.1	27.5	23.7	8.7	9.7	21.0	46.9	24.6	27.0
やや多い	22.6	19.2	24.3	21.9	28.0	20.3	3.2	20.0	24.3	21.6	25.9
あまりない	26.4	22.7	23.9	26.2	31.7	26.1	38.7	23.0	15.8	31.4	29.9
ない	8.0	6.6	7.2	6.4	5.9	21.7	6.5	15.0	5.6	7.8	7.9
無回答	14.8	12.6	9.5	18.0	10.8	23.2	41.9	21.0	7.3	14.6	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④仕事内容の規則性											
規則的	24.7	16.7	25.2	27.0	22.6	37.7	29.0	26.0	20.9	26.6	26.3
やや規則的	36.0	39.4	38.7	32.2	40.9	24.6	29.0	31.0	40.7	35.9	38.5
あまり規則的でない	15.2	20.2	18.5	11.6	17.2	7.2	0.0	10.0	19.8	15.1	15.8
規則的でない	9.4	11.6	8.1	11.6	8.1	5.8	3.2	12.0	11.9	7.8	10.1
無回答	14.7	12.1	9.5	17.6	11.3	24.6	38.7	21.0	6.8	14.6	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q12-(1). 卒業（修了）後の転職回数

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
0回	35.5	59.1	42.3	20.6	29.0	23.2	35.5	32.0	65.0	28.9	30.9
1回	16.7	15.7	21.6	14.2	17.2	15.9	3.2	21.0	13.6	16.8	18.7
2回	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
3回	11.4	5.6	10.4	15.5	15.1	11.6	6.5	10.0	7.3	12.3	14.4
4回	8.9	1.5	8.6	13.3	12.4	10.1	6.5	9.0	2.8	12.1	9.0
5回	4.3	0.5	3.2	6.4	4.3	5.8	6.5	5.0	0.0	5.3	5.8
6回	3.0	0.0	2.3	5.6	3.2	2.9	3.2	2.0	0.6	4.0	3.6
7回	1.0	0.0	0.5	2.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.4
8回	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.4
9回	0.6	0.0	0.5	0.9	1.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	1.1
10回	0.4	0.0	0.0	0.4	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.8	0.4
11回	0.8	0.0	0.0	1.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.8
無回答	17.1	17.2	10.8	19.3	12.9	29.0	35.5	21.0	9.6	16.8	12.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q12-(2). 卒業直後の仕事継続状況

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
やめた	57.3	28.8	53.6	67.0	74.2	69.6	58.1	54.0	30.5	67.8	66.2
続けている	25.7	55.6	34.2	13.3	13.4	4.3	0.0	25.0	62.1	16.3	18.7
無回答	16.9	15.7	12.2	19.7	12.4	26.1	41.9	21.0	7.3	15.8	15.1
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
退職時の年齢											
21～25歳	52.0	74.1	56.3	41.4	49.1	46.2	61.1	61.2	61.5	50.2	48.8
26～30歳	36.2	25.9	33.9	45.0	38.6	33.3	11.1	32.7	32.7	35.6	39.2
31～35歳	7.2	—	8.0	10.7	8.8	2.6	0.0	4.1	3.8	9.0	6.6
36～40歳	1.4	—	1.8	2.1	0.9	0.0	5.6	0.0	1.9	2.1	0.6
41～45歳	0.4	—	—	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6
46～50歳	0.6	—	—	0.7	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.4	1.2
51～60歳	1.6	—	—	—	0.9	15.4	5.6	2.0	0.0	1.7	1.8
61～65歳	0.6	—	—	—	—	2.6	5.6	0.0	0.0	0.4	1.2
実数	500	54	112	140	114	39	18	49	52	233	166
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q13. 仕事を辞めた理由

1番大きな理由	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
転職	17.0	14.0	21.3	15.4	19.0	6.5	11.8	21.3	21.1	15.5	17.0
結婚	23.9	9.3	17.0	14.6	38.0	47.8	23.5	14.9	15.8	23.2	29.6
出産	5.8	4.7	5.3	6.5	5.8	6.5	5.9	6.4	2.6	5.5	6.9
育児	1.3	0.0	2.1	1.6	0.8	2.2	0.0	0.0	0.0	1.4	1.9
家族や配偶者の転勤	4.3	4.7	3.2	8.1	1.7	4.3	5.9	4.3	2.6	5.5	3.1
家族の介護	0.9	0.0	1.1	0.8	0.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
自分自身の健康問題	3.7	4.7	4.3	4.9	2.5	2.2	5.9	2.1	7.9	4.5	1.9
仕事が合っていなかった	5.6	4.7	7.4	6.5	4.1	2.2	0.0	6.4	7.9	5.9	4.4
家族の反対	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.5	0.0
労働条件が過酷	9.3	27.9	8.5	13.8	4.1	0.0	0.0	14.9	7.9	8.6	8.8
収入が少ない	0.6	0.0	1.1	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.3
人員整理・倒産	1.7	4.7	0.0	2.4	0.8	2.2	0.0	4.3	2.6	2.3	0.0
キャリアを積む限界が見えた	4.7	4.7	9.6	4.1	1.7	2.2	5.9	2.1	10.5	5.0	3.8
職場の人間関係	4.5	9.3	6.4	3.3	4.1	0.0	11.8	8.5	2.6	3.2	5.7
その他	16.4	11.6	12.8	17.9	14.9	21.7	23.5	14.9	18.4	18.6	13.2
実数	464	43	94	123	121	46	17	47	38	220	159
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2番目に大きな理由	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
転職	7.6	10.0	7.2	8.1	5.4	13.3	0.0	11.4	9.4	9.1	3.9
結婚	6.8	15.0	6.0	2.0	6.5	13.3	18.2	9.1	9.4	6.7	5.4
出産	4.1	0.0	2.4	7.1	5.4	3.3	0.0	6.8	3.1	3.0	4.7
育児	3.0	5.0	2.4	2.0	4.3	0.0	9.1	4.5	0.0	3.6	2.3
家族や配偶者の転勤	7.3	0.0	4.8	8.1	11.8	13.3	0.0	4.5	0.0	7.9	9.3
家族の介護	1.9	2.5	0.0	1.0	3.2	6.7	0.0	2.3	0.0	1.8	2.3
自分自身の健康問題	6.2	10.0	2.4	8.1	6.5	6.7	9.1	6.8	3.1	6.7	6.2
仕事が合っていなかった	10.3	10.0	12.0	13.1	9.7	3.3	9.1	6.8	12.5	11.5	9.3
家族の反対	2.4	0.0	1.2	3.0	4.3	3.3	0.0	4.5	3.1	1.8	2.3
労働条件が過酷	13.0	12.5	19.3	14.1	9.7	3.3	9.1	9.1	21.9	10.9	14.7
収入が少ない	6.2	10.0	12.0	2.0	3.2	0.0	0.0	9.1	6.3	5.5	6.2
人員整理・倒産	0.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	1.2	0.8
キャリアを積む限界が見えた	5.9	5.0	2.4	12.1	3.2	6.7	9.1	4.5	3.1	7.3	5.4
職場の人間関係	8.6	12.5	7.2	9.1	9.7	0.0	0.0	6.8	12.5	7.3	10.1
その他	15.9	7.5	18.1	10.1	17.2	26.7	27.3	13.6	15.6	15.8	17.1
実数	370	40	83	99	93	30	11	44	32	165	129
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q14. 卒業直後の勤務先を退職した後、就いた仕事形態

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
再就職でフルタイム	38.1	36.4	53.6	41.7	31.9	14.3	23.1	45.5	38.9	35.2	39.6
再就職でパート・派遣など	38.3	52.3	27.4	38.3	45.1	31.0	30.8	29.5	41.7	38.2	40.3
自営業	5.4	0.0	2.4	2.6	5.3	23.8	15.4	13.6	0.0	7.0	2.0
家業を継いだ	1.4	0.0	0.0	1.7	2.7	2.4	0.0	0.0	0.0	1.0	2.7
仕事はしなかった	16.8	11.4	16.7	15.7	15.0	28.6	30.8	11.4	19.4	18.6	15.4
実数	428	44	84	115	113	42	13	44	36	199	149
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

再就職（フルタイム）時の年齢

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
21～25歳	59.8	80.0	71.1	45.5	52.0	50.0	66.7	75.1	100.0	48.0	55.3
26～30歳	27.6	20.0	21.1	39.4	28.0	25.0	0.0	25.0	0.0	30.0	34.0
31～35歳	7.1	—	5.3	9.1	8.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.0	6.4
36～40歳	3.1	—	2.6	6.1	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
41～45歳	0.8	—	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
46～55歳	1.6	—	—	0.0	4.0	0.0	33.3	0.0	0.0	2.0	2.1
実数	127	15	38	33	25	4	3	16	14	50	47
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(1). 再就職先の事業内容

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
建設業	0.9	0.0	1.6	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.9
製造業	8.9	19.4	6.3	8.9	6.9	3.4	11.1	14.7	7.1	9.1	7.2
電気・ガス・熱供給・水道業	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
運輸業	2.2	0.0	1.6	5.1	0.0	3.4	0.0	0.0	3.6	4.2	0.0
卸売・小売業、飲食業	12.7	13.9	12.7	20.3	6.9	3.4	0.0	17.6	14.3	9.1	15.3
金融・保険業	6.0	5.6	4.8	6.3	8.0	3.4	0.0	2.9	7.1	8.4	3.6
不動産業、物品賃貸業	1.9	0.0	1.6	2.5	3.4	0.0	0.0	2.9	3.6	2.8	0.0
新聞・放送・出版業	1.9	0.0	4.8	2.5	0.0	3.4	0.0	0.0	7.1	2.1	0.9
広告業	2.2	5.6	3.2	1.3	2.3	0.0	0.0	8.8	0.0	2.1	0.9
情報・通信	4.7	0.0	6.3	6.3	4.6	6.9	0.0	2.9	0.0	7.0	3.6
医療・福祉	11.1	5.6	17.5	11.4	8.0	6.9	11.1	2.9	10.7	7.0	18.9
教育・研究	31.6	41.7	23.8	16.5	42.5	48.3	44.4	32.4	39.3	33.6	27.0
法律・会計	0.6	0.0	1.6	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.6	0.0	0.9
公務	5.1	0.0	3.2	7.6	6.9	6.9	0.0	0.0	3.6	2.8	9.9
その他	9.8	8.3	11.1	7.6	10.3	10.3	33.3	14.7	0.0	9.8	10.8
実数	316	36	63	79	87	29	9	34	28	143	111
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(2). 再就職先の仕事上の職位

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
役職なし	35.6	37.1	48.4	29.1	32.5	26.9	33.3	41.2	44.4	34.3	33.3
主任・課長・教頭職等	6.5	0.0	3.1	10.1	10.8	0.0	0.0	5.9	0.0	7.1	7.4
部長職以上	1.3	0.0	1.6	1.3	2.4	0.0	0.0	0.0	3.7	1.4	0.9
有期雇用	16.2	28.6	21.9	20.3	6.0	11.5	11.1	20.6	14.8	14.3	17.6
アルバイト・非常勤	35.0	31.4	21.9	34.2	44.6	53.8	22.2	23.5	33.3	37.1	36.1
その他	5.5	2.9	3.1	5.1	3.6	7.7	33.3	8.8	3.7	5.7	4.6
実数	309	35	64	79	83	26	9	34	27	140	108
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(3). 再就職された企業等の規模

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
従業員5000人以上	14.1	11.4	11.5	17.1	13.1	7.1	14.3	12.5	18.5	15.8	11.3
4999～1000人	8.2	8.6	9.8	13.2	3.6	7.1	0.0	6.3	7.4	7.2	10.4
999～500人	8.6	17.1	14.8	7.9	3.6	3.6	0.0	25.0	11.1	7.2	4.7
499～100人	17.1	17.1	16.4	18.4	15.5	21.4	14.3	9.4	3.7	22.3	16.0
100人未満	33.6	28.6	29.5	28.9	39.3	50.0	28.6	31.3	40.7	29.5	37.7
国家・地方公務員	6.9	5.7	4.9	7.9	8.3	10.7	0.0	0.0	14.8	2.9	12.3
不明	11.5	11.4	13.1	6.6	16.7	0.0	42.9	15.6	3.7	15.1	7.5
実数	304	35	61	76	84	28	7	32	27	139	106
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(4). 再就職された企業等の特徴

①平日休暇の取りやすさ	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
取りやすい	41.2	52.9	45.2	39.2	40.2	36.0	66.7	43.8	44.4	40.2	41.0
やや取りやすい	25.0	14.7	21.0	24.3	24.4	32.0	16.7	25.0	14.8	26.5	25.7
やや取りにくい	18.2	14.7	16.1	18.9	20.7	20.0	0.0	12.5	22.2	21.2	15.2
取りにくい	15.5	17.6	17.7	17.6	14.6	12.0	16.7	18.8	18.5	12.1	18.1
実数	296	34	62	74	82	25	6	32	27	132	105
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

②土日休暇の取りやすさ	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
取りやすい	68.9	75.8	78.7	60.0	69.1	60.0	83.3	66.7	74.1	68.2	68.9
やや取りやすい	11.1	3.0	3.3	14.3	12.3	28.0	0.0	10.0	3.7	10.9	13.6
やや取りにくい	11.8	12.1	11.5	15.7	8.6	4.0	16.7	3.3	18.5	13.2	10.7
取りにくい	8.3	9.1	6.6	10.0	9.9	8.0	0.0	20.0	3.7	7.8	6.8
実数	289	33	61	70	81	25	6	30	27	129	103
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

③残業の多さ	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
多い	14.5	5.9	18.3	12.9	17.5	12.0	0.0	21.9	7.4	13.3	15.7
やや多い	19.0	17.6	16.7	21.4	23.8	16.0	0.0	9.4	18.5	15.6	26.5
あまりない	38.8	47.1	40.0	41.4	33.8	28.0	25.0	34.4	48.1	43.8	31.4
ない	27.7	29.4	25.0	24.3	25.0	44.0	75.0	34.4	25.9	27.3	26.5
実数	289	34	60	70	80	25	8	32	27	128	102
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

④仕事内容の規則性	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
規則的	40.3	38.2	50.0	43.1	35.4	36.0	50.0	34.4	37.0	42.5	40.2
やや規則的	38.5	35.3	34.5	31.9	44.3	40.0	37.5	37.5	40.7	38.6	38.2
あまり規則的でない	14.2	20.6	8.6	19.4	13.9	12.0	0.0	15.6	14.8	12.6	15.7
規則的でない	6.9	5.9	6.9	5.6	6.3	12.0	12.5	12.5	7.4	6.3	5.9
実数	288	34	58	72	79	25	8	32	27	127	102
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(5). 再就職先の仕事を見つけた経緯

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
新聞などの求人欄をみて応募	19.2	0.0	10.3	23.6	30.4	24.0	0.0	0.0	7.4	24.0	22.2
WEB上の求人欄をみて応募	20.6	52.9	41.4	12.5	6.3	0.0	0.0	31.3	59.3	17.8	10.1
職業紹介所の紹介	13.6	11.8	22.4	19.4	5.1	4.0	0.0	18.8	14.8	10.1	16.2
友人の紹介	13.9	8.8	6.9	8.3	19.0	20.0	71.4	15.6	0.0	17.8	12.1
親類の紹介	5.6	5.9	3.4	9.7	3.8	8.0	0.0	3.1	0.0	4.7	9.1
前の職場の人の紹介	7.7	5.9	6.9	9.7	6.3	4.0	28.6	9.4	0.0	8.5	8.1
同志社女子大学に届いた求人	2.4	0.0	1.7	2.8	5.1	0.0	0.0	3.1	3.7	1.6	3.0
その他	17.1	14.7	6.9	13.9	24.1	40.0	0.0	18.8	14.8	15.5	19.2
実数	287	34	58	72	79	25	7	32	27	129	99
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(6). 再就職によって働き方の変化

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
はい	84.3	97.1	86.2	78.9	82.3	75.0	87.5	81.8	92.6	79.2	89.1
いいえ	15.7	2.9	13.8	21.1	17.7	25.0	12.5	18.2	7.4	20.8	10.9
実数	286	34	58	71	79	24	8	33	27	125	101
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q15-(7). 再就職によって働き方が変わった内容

①働く時間	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
少なくなった	61.0	66.7	54.3	55.8	63.9	76.5	71.4	53.8	72.0	57.6	63.5
多くなった	25.4	15.2	28.3	26.9	27.9	23.5	0.0	26.9	8.0	26.1	29.4
同じである	13.6	18.2	17.4	17.3	8.2	0.0	28.6	19.2	20.0	16.3	7.1
実数	228	33	46	52	61	17	7	26	25	92	85
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
②通勤時間											
少なくなった	54.2	45.5	46.8	61.5	55.7	58.8	100.0	57.7	52.0	52.2	56.0
多くなった	23.3	27.3	25.5	19.2	27.9	17.6	0.0	19.2	16.0	26.1	23.8
同じである	22.5	27.3	27.7	19.2	16.4	23.5	0.0	23.1	32.0	21.7	20.2
実数	227	33	47	52	61	17	5	26	25	92	84
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③仕事に対するやりがい											
少なくなった	20.5	24.2	23.9	19.6	18.3	17.6	20.0	15.4	24.0	22.0	19.5
多くなった	48.7	36.4	54.3	51.0	48.3	41.2	40.0	57.7	32.0	50.5	48.8
同じである	30.8	39.4	21.7	29.4	33.3	41.2	40.0	26.9	44.0	27.5	31.7
実数	224	33	46	51	60	17	5	26	25	91	82
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④仕事に対する責任											
軽くなった	36.8	50.0	30.4	44.2	32.3	35.3	14.3	28.0	32.0	39.8	37.6
重くなった	34.2	15.6	37.0	40.4	35.5	35.3	28.6	40.0	8.0	34.4	40.0
同じである	28.9	34.4	32.6	15.4	32.3	29.4	57.1	32.0	60.0	25.8	22.4
実数	228	32	46	52	62	17	7	25	25	93	85
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤人間関係											
悪くなった	8.8	12.1	13.0	9.8	4.8	5.9	0.0	3.8	8.0	9.8	9.5
良くなった	42.3	48.5	50.0	37.3	40.3	29.4	33.3	46.2	52.0	43.5	36.9
同じである	48.9	39.4	37.0	52.9	54.8	64.7	66.7	50.0	40.0	46.7	53.6
実数	227	33	46	51	62	17	6	26	25	92	84
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q16. 再就職先の仕事の継続状況

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
やめた	69.0	47.1	63.6	83.6	66.2	70.8	100.0	56.3	55.6	73.8	70.8
継続	31.0	52.9	36.4	16.4	33.8	29.2	0.0	43.8	44.4	26.2	29.2
実数	277	34	55	67	77	24	8	32	27	122	96
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
退職時の年齢											
21～25歳	15.7	25.0	22.6	6.4	14.6	9.1	33.3	26.7	13.3	17.8	10.7
26～30歳	54.7	75.0	51.6	61.7	51.2	36.4	16.7	66.7	86.7	53.4	44.6
31～35歳	17.6	0.0	25.8	14.9	22.0	27.3	0.0	6.7	0.0	15.1	28.6
36～40歳	5.0	0.0	0.0	12.8	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	3.6
41～45歳	2.5	0.0	0.0	4.3	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	3.6
46～55歳	3.1	0.0	0.0	0.0	2.4	18.2	33.3	0.0	0.0	1.4	7.1
56～67歳	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	16.7	0.0	0.0	1.4	1.8
実数	159	16	31	47	41	11	6	15	15	73	56
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q17. 再就職先の退職の理由

1番大きな理由	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
転職	13.9	46.2	18.8	7.4	14.3	0.0	25.0	5.9	54.5	12.5	10.9
結婚	17.2	23.1	15.6	14.8	16.3	23.5	12.5	5.9	18.2	17.0	20.3
出産	17.8	0.0	15.6	22.2	20.4	29.4	0.0	29.4	0.0	20.5	14.1
育児	1.7	0.0	0.0	1.9	2.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
家族や配偶者の転勤	6.7	0.0	0.0	5.6	14.3	11.8	0.0	0.0	9.1	5.7	9.4
家族の介護	2.2	0.0	0.0	1.9	2.0	11.8	0.0	0.0	0.0	3.4	1.6
自分自身の健康問題	4.4	7.7	6.3	0.0	4.1	5.9	25.0	0.0	9.1	1.1	9.4
仕事が合っていなかった	2.2	0.0	6.3	0.0	4.1	0.0	0.0	5.9	0.0	2.3	1.6
家族の反対	0.6	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
労働条件が過酷	3.3	7.7	6.3	1.9	4.1	0.0	0.0	5.9	0.0	3.4	3.1
収入が少ない	0.6	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
人員整理・倒産	3.9	0.0	0.0	9.3	2.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.7	3.1
キャリアを積む限界が見えた	2.8	0.0	6.3	1.9	4.1	0.0	0.0	5.9	0.0	2.3	3.1
その他	22.8	15.4	21.9	31.5	12.2	5.9	37.5	35.3	9.1	26.1	17.2
実数	180	13	32	54	49	17	8	17	11	88	64
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2番目に大きな理由	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
転職	7.3	0.0	8.0	5.9	13.9	0.0	0.0	13.3	0.0	5.6	8.5
結婚	4.8	20.0	8.0	5.9	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	3.7	6.4
出産	7.3	0.0	0.0	2.9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	6.4
育児	6.5	0.0	8.0	8.8	2.8	20.0	0.0	6.7	0.0	7.4	6.4
家族や配偶者の転勤	6.5	0.0	8.0	8.8	5.6	0.0	0.0	6.7	0.0	9.3	4.3
家族の介護	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
自分自身の健康問題	4.8	10.0	8.0	0.0	2.8	10.0	20.0	6.7	12.5	5.6	2.1
仕事が合っていなかった	6.5	0.0	12.0	0.0	11.1	10.0	0.0	0.0	12.5	5.6	8.5
家族の反対	0.8	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
労働条件が過酷	8.9	0.0	16.0	8.8	5.6	10.0	0.0	26.7	0.0	5.6	8.5
収入が少ない	7.3	20.0	8.0	5.9	8.3	0.0	0.0	6.7	37.5	3.7	6.4
人員整理・倒産	1.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	2.1
キャリアを積む限界が見えた	7.3	10.0	4.0	8.8	8.3	10.0	0.0	6.7	0.0	9.3	6.4
職場の人間関係	7.3	10.0	12.0	8.8	2.8	0.0	20.0	0.0	12.5	7.4	8.5
その他	22.6	30.0	8.0	32.4	11.1	30.0	60.0	20.0	25.0	20.4	25.5
実数	124	10	25	34	36	10	5	15	8	54	47
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q18. 仕事を続ける理由

①自分自身の収入	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	52.5	46.5	54.2	61.9	59.2	50.0	0.0	34.2	52.1	51.5	63.3
ややあてはまる	29.9	30.7	29.2	23.8	28.6	50.0	0.0	23.7	35.5	32.0	21.5
あまりあてはまらない	11.6	16.5	11.5	7.1	6.1	0.0	0.0	28.9	7.4	11.3	10.1
あてはまらない	6.0	6.3	5.2	7.1	6.1	0.0	0.0	13.2	5.0	5.2	5.1
実数	335	127	96	42	49	10	0	38	121	97	79
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

②家計の維持や補助	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	42.4	41.3	41.7	45.0	47.9	40.0	0.0	27.8	41.7	42.1	50.6
ややあてはまる	33.0	33.3	33.3	37.5	22.9	30.0	0.0	33.3	39.2	31.6	25.3
あまりあてはまらない	14.8	16.7	16.7	12.5	12.5	10.0	0.0	25.0	13.3	15.8	11.4
あてはまらない	9.7	8.7	8.3	5.0	16.7	20.0	0.0	13.9	5.8	10.5	12.7
実数	330	126	96	40	48	10	0	36	120	95	79
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

③生きがい	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生葉看
あてはまる	41.3	37.3	34.4	38.1	61.2	80.0	0.0	31.6	44.6	39.6	43.0
ややあてはまる	35.3	36.5	38.5	40.5	24.5	10.0	0.0	36.8	33.9	36.5	35.4
あまりあてはまらない	15.9	17.5	21.9	11.9	10.2	0.0	0.0	21.1	14.9	14.6	16.5
あてはまらない	7.5	8.7	5.2	9.5	4.1	10.0	0.0	10.5	6.6	9.4	5.1
実数	334	126	96	42	49	10	0	38	121	96	79
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④職場の理解											
あてはまる	34.0	28.0	38.9	32.5	39.1	50.0	0.0	22.2	33.1	34.0	41.0
ややあてはまる	46.3	52.8	45.3	45.0	41.3	20.0	0.0	52.8	47.5	44.7	43.6
あまりあてはまらない	12.0	11.2	9.5	12.5	17.4	10.0	0.0	16.7	11.0	14.9	7.7
あてはまらない	7.7	8.0	6.3	10.0	2.2	20.0	0.0	8.3	8.5	6.4	7.7
実数	326	125	95	40	46	10	0	36	118	94	78
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤育児休暇取得が容易											
あてはまる	41.0	36.4	50.5	39.5	39.5	22.2	0.0	37.1	48.2	42.0	30.7
ややあてはまる	25.6	35.5	23.1	13.2	14.0	22.2	0.0	25.7	32.5	21.6	20.0
あまりあてはまらない	12.8	12.4	12.1	15.8	18.6	0.0	0.0	14.3	9.6	15.9	13.3
あてはまらない	20.5	15.7	14.3	31.6	27.9	55.6	0.0	22.9	9.6	20.5	36
実数	312	121	91	38	43	9	0	35	114	88	75
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑥職場の期待や要請											
あてはまる	26.9	22.0	30.5	26.8	31.1	40.0	0.0	25.0	24.1	28.0	30.4
ややあてはまる	45.7	45.5	45.3	46.3	44.4	40.0	0.0	33.3	51.7	44.1	44.3
あまりあてはまらない	18.5	23.6	16.8	17.1	17.8	0.0	0.0	25.0	19.0	19.4	13.9
あてはまらない	9.0	8.9	7.4	9.8	6.7	20.0	0.0	16.7	5.2	8.6	11.4
実数	324	123	95	41	45	10	0	36	116	93	79
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑦仕事のおもしろさ											
あてはまる	37.2	35.7	35.4	26.8	53.1	50.0	0.0	29.7	38.8	34.4	41.8
ややあてはまる	39.9	41.3	42.7	39.0	32.7	40.0	0.0	40.5	41.3	39.6	38.0
あまりあてはまらない	16.8	16.7	18.8	26.8	8.2	0.0	0.0	21.6	14.9	18.8	15.2
あてはまらない	6.0	6.3	3.1	7.3	6.1	10.0	0.0	8.1	5.0	7.3	5.1
実数	333	126	96	41	49	10	0	37	121	96	79
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑧自分の代わりがない											
あてはまる	14.4	13.5	11.5	20.5	19.6	20.0	0.0	11.1	12.5	18.1	14.3
ややあてはまる	26.6	27.8	21.9	30.8	30.4	30.0	0.0	25.0	29.2	23.4	27.3
あまりあてはまらない	33.0	31.7	39.6	33.3	26.1	20.0	0.0	30.6	36.7	30.9	31.2
あてはまらない	26.0	27.0	27.1	15.4	23.9	30.0	0.0	33.3	21.7	27.7	27.3
実数	327	126	96	39	46	10	0	36	120	94	77
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑨簡単な仕事											
あてはまる	2.8	4.0	2.1	2.6	2.1	0.0	0.0	5.6	1.7	1.1	5.1
ややあてはまる	8.3	8.1	12.5	5.1	6.4	0.0	0.0	11.1	7.6	7.4	9.0
あまりあてはまらない	38.3	39.5	35.4	53.8	25.5	40.0	0.0	38.9	33.9	43.6	38.5
あてはまらない	50.6	48.4	50.0	38.5	66.0	60.0	0.0	44.4	56.8	47.9	47.4
実数	326	124	96	39	47	10	0	36	118	94	78
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

⑩社会や他者とのつながり	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	45.5	44.4	43.8	39.0	57.4	50.0	0.0	38.9	45.0	48.4	45.6
ややあてはまる	40.9	38.1	49.0	43.9	29.8	40.0	0.0	36.1	46.7	40.0	35.4
あまりあてはまらない	7.3	7.9	5.2	12.2	8.5	0.0	0.0	11.1	5.0	7.4	8.9
あてはまらない	6.4	9.5	2.1	4.9	4.3	10.0	0.0	13.9	3.3	4.2	10.1
実数	330	126	96	41	47	10	0	36	120	95	79
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑪キャリアアップ											
あてはまる	22.5	17.1	24.0	20.5	34.0	40.0	0.0	17.1	19.5	24.5	26.9
ややあてはまる	33.8	32.5	32.3	38.5	29.8	30.0	0.0	20.0	36.4	33.0	37.2
あまりあてはまらない	29.8	35.0	28.1	28.2	29.8	10.0	0.0	40.0	32.2	29.8	21.8
あてはまらない	13.8	15.4	15.6	12.8	6.4	20.0	0.0	22.9	11.9	12.8	14.1
実数	325	123	96	39	47	10	0	35	118	94	78
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑫なんとなく											
あてはまる	16.2	21.0	9.5	17.9	15.9	11.1	0.0	17.1	15.3	19.6	13.2
ややあてはまる	24.6	29.8	22.1	33.3	11.4	0.0	0.0	25.7	22.9	22.8	28.9
あまりあてはまらない	19.3	16.1	26.3	17.9	18.2	11.1	0.0	20.0	23.7	18.5	13.2
あてはまらない	39.9	33.1	42.1	30.8	54.5	77.8	0.0	37.1	38.1	39.1	44.7
実数	321	124	95	39	44	9	0	35	118	92	76
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑬働くのは当然											
あてはまる	42.0	48.0	37.5	37.5	40.0	22.2	0.0	38.9	39.2	44.2	45.3
ややあてはまる	35.9	37.6	34.4	35.0	42.2	22.2	0.0	36.1	40.0	34.7	30.7
あまりあてはまらない	13.8	8.8	18.8	20.0	8.9	22.2	0.0	22.2	13.3	11.6	13.3
あてはまらない	8.3	5.6	9.4	7.5	8.9	33.3	0.0	2.8	7.5	9.5	10.7
実数	326	125	96	40	45	9	0	36	120	95	75
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑭家業だから											
あてはまる	2.2	0.8	1.0	5.1	4.5	10.0	0.0	2.9	0.9	4.3	1.3
ややあてはまる	1.9	4.2	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	2.9	1.7	1.1	2.6
あまりあてはまらない	4.7	5.0	2.1	7.7	4.5	20.0	0.0	5.9	6.0	4.3	2.6
あてはまらない	91.2	90.0	96.9	87.2	90.9	60.0	0.0	88.2	91.5	90.2	93.4
実数	319	120	96	39	44	10	0	34	117	92	76
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑮技術・資格を生かす											
あてはまる	28.7	28.0	20.8	25.6	43.8	70.0	0.0	18.9	30.3	25.5	34.6
ややあてはまる	25.6	28.0	27.1	20.5	20.8	20.0	0.0	24.3	31.1	21.3	23.1
あまりあてはまらない	13.7	10.4	20.8	23.1	6.3	0.0	0.0	16.2	9.2	19.1	12.8
あてはまらない	32.0	33.6	31.3	30.8	29.2	10.0	0.0	40.5	29.4	34.0	29.5
実数	328	125	96	39	48	10	0	37	119	94	78
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑯趣味を生かす											
あてはまる	10.1	9.6	6.3	10.3	17.4	20.0	0.0	20.0	7.5	9.7	10.3
ややあてはまる	16.9	22.4	12.5	12.8	15.2	30.0	0.0	20.0	21.7	16.1	9.0
あまりあてはまらない	24.5	28.0	26.0	25.6	17.4	10.0	0.0	14.3	27.5	25.8	23.1
あてはまらない	48.5	40.0	55.2	51.3	50.0	40.0	0.0	45.7	43.3	48.4	57.7
実数	326	125	96	39	46	10	0	35	120	93	78
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q19. 結婚・出産後仕事を続ける理由

①配偶者のサポート	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	43.1	39.1	39.1	50.0	42.9	55.6	0.0	52.4	40.9	38.7	47.8
ややあてはまる	23.6	17.4	27.5	32.1	22.9	22.2	0.0	19.0	30.3	22.6	17.4
あまりあてはまらない	11.3	4.3	15.9	7.1	14.3	11.1	0.0	9.5	9.1	16.1	8.7
あてはまらない	22.1	39.1	17.4	10.7	20.0	11.1	0.0	19.0	19.7	22.6	26.1
実数	195	46	69	28	35	9	0	21	66	62	46
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
②あなたの両親のサポート											
あてはまる	39.5	37.7	40.6	44.4	41.2	33.3	0.0	42.9	34.3	44.3	39.6
ややあてはまる	26.5	32.1	26.1	22.2	23.5	22.2	0.0	23.8	32.9	23.0	22.9
あまりあてはまらない	16.0	20.8	11.6	18.5	20.6	0.0	0.0	14.3	15.7	13.1	20.8
あてはまらない	18.0	9.4	21.7	14.8	14.7	44.4	0.0	19.0	17.1	19.7	16.7
実数	200	53	69	27	34	9	0	21	70	61	48
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③配偶者の両親のサポート											
あてはまる	17.7	13.0	15.9	30.8	20.6	11.1	0.0	18.2	15.4	16.9	21.7
ややあてはまる	12.5	15.2	14.5	11.5	2.9	11.1	0.0	9.1	15.4	15.3	6.5
あまりあてはまらない	19.8	21.7	20.3	19.2	20.6	11.1	0.0	18.2	24.6	15.3	19.6
あてはまらない	50.0	50.0	49.3	38.5	55.9	66.7	0.0	54.5	44.6	52.5	52.2
実数	192	46	69	26	34	9	0	22	65	59	46
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④会社・職場等のサポート											
あてはまる	34.8	37.3	41.2	32.1	22.9	25.0	0.0	28.6	34.8	38.3	33.3
ややあてはまる	36.4	35.3	39.7	39.3	31.4	37.5	0.0	23.8	43.5	31.7	37.5
あまりあてはまらない	14.6	11.8	10.3	14.3	28.6	12.5	0.0	23.8	11.6	18.3	10.4
あてはまらない	14.1	15.7	8.8	14.3	17.1	25.0	0.0	23.8	10.1	11.7	18.8
実数	198	51	68	28	35	8	0	21	69	60	48
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤地域の子育て支援等											
あてはまる	6.0	7.1	9.2	4.0	3.0	0.0	0.0	9.5	8.3	3.6	4.4
ややあてはまる	18.1	19.0	21.5	12.0	12.1	22.2	0.0	28.6	20.0	17.9	11.1
あまりあてはまらない	22.5	16.7	15.4	40.0	27.3	22.2	0.0	4.8	21.7	21.4	33.3
あてはまらない	53.3	57.1	53.8	44.0	57.6	55.6	0.0	57.1	50.0	57.1	51.1
実数	182	42	65	25	33	9	0	21	60	56	45
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑥保育所への入所やサポート											
あてはまる	34.6	10.5	42.9	37.0	41.2	44.4	0.0	26.3	31.6	40.7	34.1
ややあてはまる	15.6	13.2	19.0	22.2	8.8	22.2	0.0	21.1	17.5	15.3	11.4
あまりあてはまらない	8.9	7.9	6.3	7.4	11.8	11.1	0.0	0.0	10.5	3.4	18.2
あてはまらない	40.8	68.4	31.7	33.3	38.2	22.2	0.0	52.6	40.4	40.7	36.4
実数	179	38	63	27	34	9	0	19	57	59	44
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑦親の介護施設等への入所やサポート											
あてはまる	1.7	5.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0
ややあてはまる	4.5	2.6	0.0	12.5	5.7	22.2	0.0	10.0	1.8	5.3	4.7
あまりあてはまらない	12.5	10.5	9.7	12.5	14.3	22.2	0.0	5.0	12.5	5.3	25.6
あてはまらない	81.3	81.6	88.7	75.0	80.0	55.6	0.0	85.0	80.4	89.5	69.8
実数	176	38	62	24	35	9	0	20	56	57	43
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

⑧労働条件、給与等の待遇が改善	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	11.5	10.9	10.4	14.8	8.8	22.2	0.0	14.3	6.3	10.0	19.6
ややあてはまる	27.7	19.6	31.3	37.0	23.5	22.2	0.0	19.0	26.6	35.0	23.9
あまりあてはまらない	22.5	23.9	17.9	18.5	32.4	22.2	0.0	14.3	28.1	16.7	26.1
あてはまらない	38.2	45.7	40.3	29.6	35.3	33.3	0.0	52.4	39.1	38.3	30.4
実数	191	46	67	27	34	9	0	21	64	60	46
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑨資格があった											
あてはまる	34.4	31.3	27.9	32.1	48.6	62.5	0.0	27.3	33.8	28.3	45.8
ややあてはまる	15.4	20.8	16.2	10.7	11.4	12.5	0.0	13.6	27.7	8.3	8.3
あまりあてはまらない	8.7	4.2	10.3	10.7	11.4	0.0	0.0	0.0	7.7	15.0	6.3
あてはまらない	41.5	43.8	45.6	46.4	28.6	25.0	0.0	59.1	30.8	48.3	39.6
実数	195	48	68	28	35	8	0	22	65	60	48
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q20. 現在、収入を伴う仕事の従事状況

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
正規社員・正規職員	42.8	61.6	55.0	39.1	32.8	7.2	0.0	42.0	71.2	38.4	35.3
派遣社員、契約社員、嘱託社員	9.5	13.1	7.7	8.6	8.1	10.1	3.2	18.0	4.5	8.5	11.9
一時的雇用	11.8	6.6	9.5	15.0	18.8	14.5	3.2	8.0	6.2	13.6	15.5
自宅で塾、ピアノ教室、翻訳等	2.7	0.0	0.9	3.4	4.8	7.2	3.2	4.0	0.0	3.5	2.9
家業を継いだ	1.5	0.5	0.9	2.1	2.7	1.4	3.2	1.0	1.1	1.5	2.2
仕事にはついていない	15.7	6.6	14.4	15.9	16.7	33.3	38.7	13.0	7.9	20.1	16.9
その他	5.5	3.5	2.7	7.3	5.9	11.6	12.9	6.0	4.0	6.3	5.8
無回答	10.5	8.1	9.0	8.6	10.2	14.5	35.5	8.0	5.1	8.0	9.7
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q21-(1). 就業先の事業内容

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
建設業	1.5	2.0	2.3	1.3	0.5	1.4	0.0	2.0	1.1	1.3	2.2
製造業	6.6	6.6	8.1	8.2	5.9	0.0	0.0	10.0	4.0	6.8	7.6
電気・ガス・熱供給・水道業	0.5	0.0	0.9	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	0.4
運輸業	1.2	1.5	1.4	1.3	0.5	0.0	0.0	2.0	1.1	1.3	1.1
卸売・小売業、飲食業	5.6	5.6	8.1	4.3	5.9	1.4	0.0	4.0	4.5	6.5	6.1
金融・保険業	4.8	5.1	5.9	6.4	3.2	1.4	0.0	3.0	9.0	6.0	1.4
不動産業、物品賃貸業	1.0	1.5	0.9	1.3	0.5	1.4	0.0	0.0	1.1	1.0	1.4
新聞・放送・出版業	0.4	0.0	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.3	0.0
広告業	0.6	1.5	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	0.5	0.7
情報・通信	1.8	0.5	3.2	1.7	1.6	1.4	0.0	2.0	1.1	2.3	1.8
医療・福祉	9.4	7.1	9.0	10.7	11.3	10.1	6.5	4.0	6.8	6.3	18.3
教育・研究	23.9	38.4	24.8	19.3	23.7	13.0	0.0	31.0	41.8	21.9	15.1
法律・会計	0.7	0.5	0.9	0.9	0.0	1.4	3.2	1.0	0.6	0.8	0.7
公務	4.0	3.5	3.6	4.7	4.8	4.3	0.0	2.0	5.1	4.3	4.0
その他	4.9	6.6	2.3	4.7	7.5	2.9	3.2	8.0	2.8	4.5	6.1
無回答	33.0	19.7	26.6	33.0	34.4	60.9	87.1	30.0	18.1	35.7	33.1
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q21-(2). 現在の仕事内容

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
専門・技術的職業	22.3	27.3	24.3	19.7	24.7	15.9	6.5	16.0	33.3	15.1	30.2
事務的職業	24.9	28.8	27.5	27.0	22.6	10.1	0.0	34.0	27.1	28.4	17.6
販売的職業	4.6	4.0	7.7	4.3	4.3	1.4	0.0	4.0	5.1	5.3	4.0
総合職	6.6	10.1	10.4	4.7	4.3	0.0	0.0	6.0	9.6	6.8	5.4
保安・サービスの職業	1.7	3.5	0.9	1.3	1.1	2.9	0.0	5.0	1.1	1.8	1.1
運輸業	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
農林漁業	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
技能工・単純労務作業	0.3	0.5	0.0	0.0	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7
その他	6.2	5.6	2.3	9.0	9.1	5.8	6.5	6.0	4.5	6.8	7.2
無回答	33.1	19.7	26.6	33.9	33.3	62.3	87.1	29.0	18.6	35.4	33.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

専門・技術的職業	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
研究者	7.5	3.7	5.8	11.4	11.1	9.1	0.0	13.3	0.0	12.3	8.4
栄養士	11.7	9.3	9.6	11.4	13.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	30.1
小学校教員	18.2	31.5	32.7	6.8	4.4	0.0	0.0	6.7	54.2	5.3	3.6
中・高等学校教員	15.0	11.1	17.3	13.6	22.2	9.1	0.0	26.7	3.4	29.8	10.8
幼稚園・保育所等保育者	8.9	24.1	3.8	4.5	0.0	9.1	0.0	6.7	25.4	1.8	2.4
技術者	0.5	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
薬剤師	3.3	3.7	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.4
看護師	4.2	3.7	0.0	4.5	11.1	0.0	0.0	6.7	1.7	7.0	3.6
SE・プログラマー	2.3	0.0	3.8	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	3.4	5.3	0.0
その他	28.5	13.0	17.3	45.5	35.6	54.5	100.0	40.0	11.9	38.6	31.3
実数	214	54	52	44	45	11	2	15	59	57	83
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q21-(3). 現在の就職先の企業規模

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
従業員5000人以上	18.3	13.4	18.6	22.1	18.8	12.0	0.0	18.8	13.0	22.6	15.9
4999～1000人	9.7	9.0	14.5	6.2	7.7	12.0	0.0	7.8	13.0	6.3	12.9
999～500人	7.9	11.2	9.0	5.5	3.4	8.0	25.0	17.2	7.3	7.1	5.9
499～100人	18.1	18.7	14.5	19.3	17.9	28.0	0.0	20.3	12.2	21.3	17.1
100人未満	25.2	17.9	17.9	32.4	33.3	24.0	75.0	20.3	17.1	25.9	31.8
国家・地方公務員	14.1	23.1	19.3	8.3	8.5	12.0	0.0	7.8	33.3	9.2	9.4
不明	6.7	6.7	6.2	6.2	10.3	4.0	0.0	7.8	4.1	7.5	7.1
実数	596	134	145	145	117	25	4	64	123	239	170
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q21-(4). 現在の仕事上の職位

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
役職なし	50.0	76.6	54.7	37.3	30.2	20.0	33.3	55.7	75.4	43.4	37.4
主任・課長・教頭職等	17.2	1.3	21.4	25.3	25.0	4.0	0.0	7.1	10.9	20.5	21.4
部長職以上	3.0	0.0	1.3	4.0	7.8	8.0	0.0	0.0	1.4	3.3	4.9
有期雇用	9.1	11.0	8.2	7.3	7.8	8.0	0.0	15.7	4.3	9.4	9.9
アルバイト・非常勤	20.7	11.0	14.5	26.0	29.3	60.0	66.7	21.4	8.0	23.4	26.4
実数	634	154	159	150	116	25	3	70	138	244	182
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q21-(5). 現在の年収

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
100万円未満	14.6	4.7	8.4	20.3	24.1	42.3	25.0	8.8	6.2	19.3	16.4
100～200万円未満	13.3	12.8	10.3	12.2	17.2	23.1	0.0	20.6	6.9	13.2	15.3
200～300万円未満	17.3	37.6	13.5	8.1	8.6	11.5	0.0	30.9	23.1	10.7	16.9
300～400万円未満	17.3	28.2	20.6	11.5	9.5	0.0	25.0	16.2	26.2	14.4	15.3
400～500万円未満	15.5	14.1	26.5	14.2	6.9	7.7	25.0	13.2	26.2	12.8	12.6
500～700万円未満	12.5	2.7	15.5	23.0	8.6	3.8	0.0	4.4	9.2	16.5	12.6
700～1000万円未満	7.7	0.0	5.2	10.1	19.8	0.0	0.0	4.4	2.3	10.3	9.3
1000万円以上	1.8	0.0	0.0	0.7	5.2	11.5	25.0	1.5	0.0	2.9	1.6
実数	624	149	155	148	116	26	4	68	130	243	183
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q22. 現在持っている免許や資格の種類

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
小学校	3.4	5.6	9.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	17.5	0.3	0.4
小学校/中・高等学校	0.9	0.5	0.9	1.7	1.1	0.0	0.0	3.0	0.0	1.3	0.4
小学校/中・高等学校/その他	0.5	0.0	0.0	0.4	0.5	1.4	0.0	1.0	0.0	0.8	0.4
小学校/幼稚園	3.0	12.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.4	0.0	0.0
小学校/幼稚園/保育士	2.0	8.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3	0.0	0.0
小学校/幼稚園/保育士/その他	0.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
小学校/保育士	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
小学校/管理栄養士/その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
小学校/図書館司書	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
小学校/その他	0.3	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
中・高等学校	24.0	10.6	17.6	20.6	35.5	49.3	54.8	32.0	2.3	33.4	23.7
中・高等学校/幼稚園/保育士	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
中・高等学校/保育士	0.2	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
中・高等学校/保育士/薬剤師/その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
中・高等学校/保育士/図書館司書	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
中・高等学校/保育士/その他	0.2	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.4
中・高等学校/管理栄養士	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.7
中・高等学校/看護師	0.2	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
中・高等学校/看護師/その他	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
中・高等学校/学芸員	0.2	0.0	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.3	0.0
中・高等学校/学芸員/その他	0.1	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
中・高等学校/図書館司書	0.4	0.0	0.0	0.9	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
中・高等学校/その他	5.0	1.0	3.6	3.9	7.0	18.8	3.2	7.0	0.0	5.3	7.6
幼稚園	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
幼稚園/保育士	1.8	8.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	9.0	0.3	0.0
保育士	0.4	0.5	0.5	0.0	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7
保育士/管理栄養士	0.4	0.0	0.0	1.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
保育士/管理栄養士/その他	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
保育士/その他	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
薬剤師	0.7	1.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
薬剤師/学芸員	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
管理栄養士	5.1	5.6	5.0	2.1	8.1	7.2	0.0	0.0	0.6	0.0	17.6
管理栄養士/その他	1.4	0.5	0.9	1.7	2.2	1.4	3.2	0.0	0.0	0.0	5.0
看護師	0.7	1.0	0.0	1.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6	1.3	0.4
学芸員	0.3	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.4
図書館司書	1.2	1.5	1.8	1.3	1.1	0.0	0.0	0.0	1.7	2.0	0.4
その他	12.2	7.1	14.0	18.9	12.4	2.9	12.9	10.0	11.9	16.3	8.6
無回答	33.4	30.8	37.4	42.5	27.4	14.5	19.4	41.0	22.0	36.4	27.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q23. 就職で役立つ 心の支え

①学部・学科での専門的な学び	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
とても	24.7	39.9	22.1	20.2	17.7	30.4	19.4	40.0	27.7	18.8	28.1
比較的	35.4	33.3	38.7	33.0	40.9	33.3	32.3	24.0	41.8	37.2	36.3
あまり	23.4	17.2	23.4	26.2	24.7	21.7	19.4	17.0	22.0	28.9	20.9
まったく	7.1	4.0	8.6	11.2	7.0	1.4	0.0	12.0	4.0	8.5	6.1
無回答	9.4	5.6	7.2	9.4	9.7	13.0	29.0	7.0	4.5	6.5	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
②幅広い教養科目											
とても	19.4	25.8	18.9	16.7	17.7	17.4	16.1	28.0	21.5	20.4	15.5
比較的	47.1	45.5	50.5	49.4	44.6	49.3	38.7	49.0	50.8	46.0	50.4
あまり	21.0	20.7	20.7	20.2	24.2	18.8	16.1	13.0	19.8	23.9	22.7
まったく	2.7	2.0	2.7	3.9	2.7	1.4	3.2	3.0	2.8	2.3	3.2
無回答	9.8	6.1	7.2	9.9	10.8	13.0	25.8	7.0	5.1	7.5	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③キリスト教科目											
とても	6.3	5.6	4.1	5.2	7.5	18.8	6.5	7.0	4.0	7.5	6.5
比較的	19.7	15.7	17.1	20.2	25.8	21.7	29.0	22.0	10.7	25.4	18.3
あまり	36.6	36.9	35.6	39.1	37.6	29.0	32.3	31.0	40.7	37.2	38.8
まったく	27.0	34.8	35.1	24.9	18.3	18.8	6.5	33.0	37.3	22.1	28.1
無回答	10.3	7.1	8.1	10.7	10.8	11.6	25.8	7.0	7.3	7.8	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④キャリアに関する科目											
とても	6.5	10.1	7.7	3.9	5.9	5.8	3.2	8.0	7.9	6.5	5.8
比較的	28.7	42.4	37.4	20.2	18.3	27.5	12.9	29.0	44.1	23.6	28.8
あまり	35.2	26.8	31.1	43.8	38.2	33.3	32.3	34.0	30.5	40.7	34.2
まったく	15.9	13.6	14.0	18.9	19.4	17.4	9.7	21.0	10.2	16.1	19.1
無回答	13.7	7.1	9.9	13.3	18.3	15.9	41.9	8.0	7.3	13.1	12.2
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤教員からの教え											
とても	20.7	42.4	20.3	13.3	12.9	13.0	9.7	23.0	39.5	14.3	19.1
比較的	37.2	40.9	41.4	31.8	38.7	34.8	29.0	38.0	40.1	34.2	43.2
あまり	25.0	8.1	25.7	31.8	27.4	36.2	32.3	23.0	14.7	32.9	23.4
まったく	6.3	2.5	5.4	11.6	7.5	2.9	3.2	8.0	0.6	9.3	5.8
無回答	10.7	6.1	7.2	11.6	13.4	13.0	25.8	8.0	5.1	9.3	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

⑥クラブ・サークル活動	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
とても	15.9	17.2	19.4	11.2	19.9	11.6	12.9	12.0	17.5	17.1	16.2
比較的	27.4	25.8	27.9	25.8	28.5	26.1	51.6	21.0	29.4	28.6	29.5
あまり	22.3	21.2	18.5	25.3	24.2	31.9	3.2	21.0	26.6	21.4	23.7
まったく	21.4	27.3	22.5	24.9	13.4	14.5	6.5	36.0	16.4	22.4	20.1
無回答	12.9	8.6	11.7	12.9	14.0	15.9	25.8	10.0	10.2	10.6	10.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

⑦友人との交流											
とても	29.9	43.4	31.5	19.7	30.1	24.6	29.0	25.0	43.5	28.1	28.4
比較的	41.1	39.4	45.5	40.8	41.9	39.1	25.8	40.0	42.4	41.5	44.2
あまり	14.6	9.1	13.5	20.2	13.4	17.4	16.1	20.0	8.5	17.6	13.7
まったく	4.7	2.0	2.3	9.0	4.8	7.2	0.0	6.0	1.1	5.8	5.4
無回答	9.7	6.1	7.2	10.3	9.7	11.6	29.0	9.0	4.5	7.0	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q24. 就職する際に役だったものの内容

1番目に役にたったもの	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
教養に関する科目	13.0	9.6	6.8	17.2	17.2	8.7	22.6	13.0	6.2	16.8	12.9
学科の専門科目やゼミ	36.0	46.0	36.5	31.3	32.8	47.8	19.4	37.0	45.8	28.6	43.5
キャリアに関する科目	1.9	1.5	4.1	0.9	0.5	1.4	3.2	2.0	1.1	2.3	2.2
インターンシップ	1.9	5.6	2.3	0.4	0.5	1.4	0.0	1.0	6.2	0.8	1.4
就職ガイダンス・セミナー	11.7	8.1	18.5	14.2	9.1	2.9	0.0	14.0	11.3	13.3	10.1
個別面談等の就職支援	5.3	12.1	5.9	3.4	2.2	1.4	0.0	5.0	10.7	4.8	3.2
OG紹介	1.9	0.5	0.5	1.3	6.5	2.9	0.0	0.0	0.6	3.3	1.8
資格取得支援講座	3.8	3.0	9.0	1.7	0.5	1.4	0.0	4.0	7.3	3.3	2.5
その他	5.1	2.5	3.6	5.2	7.0	7.2	16.1	5.0	2.3	6.5	5.4
無回答	19.3	11.1	13.1	24.5	23.7	24.6	38.7	19.0	8.5	20.4	16.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2番目に役にたったもの											
教養に関する科目	22.9	24.7	20.3	25.8	18.3	36.2	19.4	29.0	24.3	24.4	19.8
学科の専門科目やゼミ	13.6	18.2	12.6	12.0	12.9	5.8	19.4	9.0	18.1	15.3	11.2
キャリアに関する科目	3.8	5.6	3.2	3.0	3.2	5.8	3.2	7.0	2.8	2.3	5.8
インターンシップ	2.2	5.6	2.3	0.0	1.6	2.9	0.0	1.0	4.5	0.8	3.6
就職ガイダンス・セミナー	9.5	10.6	12.6	8.6	9.7	1.4	0.0	6.0	9.6	11.1	9.4
個別面談等の就職支援	6.4	12.6	7.7	4.7	2.7	1.4	0.0	7.0	13.0	5.3	4.3
OG紹介	2.7	0.5	3.6	3.4	3.8	1.4	0.0	1.0	2.3	2.5	4.0
資格取得支援講座	5.5	4.5	13.5	3.0	2.2	0.0	0.0	4.0	9.0	4.0	6.5
その他	6.6	2.5	4.5	6.9	12.4	8.7	9.7	8.0	4.0	6.3	9.0
無回答	26.8	15.2	19.8	32.6	33.3	36.2	48.4	28.0	12.4	28.1	26.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q25. 家庭や結婚についての考え方

(1)男性も女性と同等に家事・育児にかかわる	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	43.7	63.1	47.7	38.2	36.0	23.2	19.4	46.0	60.5	41.0	40.3
ややあてはまる	35.7	23.7	40.1	39.1	37.6	42.0	45.2	33.0	32.2	38.9	37.8
あまりあてはまらない	9.9	5.6	3.6	10.7	15.6	26.1	9.7	10.0	2.3	11.6	13.3
あてはまらない	1.2	1.0	0.0	1.7	1.6	0.0	3.2	3.0	0.0	1.8	0.7
無回答	9.5	6.6	8.6	10.3	9.1	8.7	22.6	8.0	5.1	6.8	7.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)子どもは少なくとも1人は持つ											
あてはまる	37.7	43.4	36.5	31.8	33.3	53.6	38.7	35.0	45.2	31.2	46.8
ややあてはまる	21.0	19.7	20.3	25.3	18.8	17.4	19.4	20.0	24.3	24.9	15.8
あまりあてはまらない	16.4	17.7	20.7	13.7	17.7	10.1	9.7	20.0	15.8	17.1	16.2
あてはまらない	14.9	12.6	14.0	18.5	19.9	7.2	9.7	17.0	10.2	19.3	12.2
無回答	10.0	6.6	8.6	10.7	10.2	11.6	22.6	8.0	4.5	7.5	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3)自分より家族の都合を優先する											
あてはまる	15.7	12.1	17.6	15.5	13.4	23.2	16.1	18.0	10.7	15.8	19.4
ややあてはまる	50.9	56.1	53.2	49.8	49.5	44.9	41.9	48.0	62.7	50.0	50.7
あまりあてはまらない	20.3	21.7	18.9	19.3	24.7	17.4	12.9	22.0	20.3	22.9	18.0
あてはまらない	3.5	3.5	2.3	5.2	3.2	4.3	3.2	4.0	1.1	4.3	4.0
無回答	9.6	6.6	8.1	10.3	9.1	10.1	25.8	8.0	5.1	7.0	7.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)家庭のこまごまとした管理は女性がする											
あてはまる	9.5	5.6	6.3	14.2	7.0	21.7	9.7	8.0	4.0	10.8	12.6
ややあてはまる	35.8	34.8	37.8	36.1	34.4	37.7	35.5	33.0	41.2	36.2	36.3
あまりあてはまらない	31.0	32.8	30.2	28.8	36.6	20.3	22.6	36.0	32.2	29.9	33.1
あてはまらない	13.9	19.7	17.6	10.3	11.8	11.6	9.7	15.0	16.9	15.8	10.1
無回答	9.8	7.1	8.1	10.7	10.2	8.7	22.6	8.0	5.6	7.3	7.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5)子どもがいと生活が楽しく豊かになる	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	43.1	42.9	42.8	42.9	41.9	49.3	41.9	38.0	54.8	40.7	45.0
ややあてはまる	32.7	37.9	35.1	27.9	30.1	34.8	29.0	37.0	33.9	33.2	32.7
あまりあてはまらない	7.7	9.1	8.6	6.4	8.1	4.3	3.2	8.0	4.5	8.8	8.6
あてはまらない	5.9	3.0	4.5	9.9	9.1	1.4	3.2	8.0	1.1	9.3	4.0
無回答	10.7	7.1	9.0	12.9	10.8	10.1	22.6	9.0	5.6	8.0	9.7
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(6)結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守る											
あてはまる	2.4	3.0	0.9	3.0	2.2	4.3	3.2	3.0	0.0	3.0	3.2
ややあてはまる	15.2	9.1	14.0	18.0	17.2	26.1	9.7	11.0	12.4	16.6	18.0
あまりあてはまらない	34.9	41.4	36.9	29.6	33.9	33.3	32.3	38.0	41.8	32.2	36.7
あてはまらない	37.7	39.9	40.1	39.1	36.0	27.5	29.0	40.0	41.2	41.0	33.5
無回答	9.8	6.6	8.1	10.3	10.8	8.7	25.8	8.0	4.5	7.3	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(7)妻も収入を得て家計を支える											
あてはまる	32.2	39.9	29.3	30.0	31.7	33.3	22.6	34.0	37.9	32.9	30.2
ややあてはまる	44.6	44.4	51.8	40.8	42.5	46.4	38.7	42.0	49.7	42.7	49.3
あまりあてはまらない	10.8	8.1	9.9	14.2	11.8	10.1	6.5	14.0	7.3	12.8	10.1
あてはまらない	2.4	1.0	1.4	4.7	2.7	1.4	6.5	2.0	0.6	3.8	2.2
無回答	9.9	6.6	7.7	10.3	11.3	8.7	25.8	8.0	4.5	7.8	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(8)人前では妻は夫を立てたほうがよい											
あてはまる	12.2	16.2	11.7	12.9	9.7	13.0	3.2	14.0	10.2	10.3	16.9
ややあてはまる	44.0	37.9	52.3	42.1	42.5	50.7	41.9	46.0	47.5	43.5	46.0
あまりあてはまらない	22.1	26.8	16.2	19.7	25.8	21.7	22.6	17.0	23.7	23.6	23.0
あてはまらない	10.7	11.6	10.4	13.7	10.2	4.3	6.5	15.0	11.9	13.6	5.4
無回答	10.9	7.6	9.5	11.6	11.8	10.1	25.8	8.0	6.8	9.0	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(9)子どもは夫婦の絆となる											
あてはまる	31.4	32.8	35.1	31.3	25.8	36.2	19.4	28.0	40.7	27.9	34.9
ややあてはまる	37.0	40.4	38.7	32.2	38.2	34.8	35.5	38.0	42.4	37.9	35.6
あまりあてはまらない	12.6	11.6	11.7	13.7	14.0	14.5	12.9	8.0	7.3	14.3	16.2
あてはまらない	7.9	6.6	5.0	11.2	10.8	4.3	3.2	18.0	2.8	11.3	3.2
無回答	11.1	8.6	9.5	11.6	11.3	10.1	29.0	8.0	6.8	8.5	10.1
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(10)結婚しても、夫や家族とは別の自分だけの目標を持つ	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	35.8	32.8	29.7	38.2	45.2	40.6	22.6	36.0	33.3	38.7	36.7
ややあてはまる	40.5	43.4	44.1	38.6	35.5	44.9	38.7	42.0	41.8	42.2	40.6
あまりあてはまらない	11.4	13.6	16.7	11.2	7.0	2.9	3.2	10.0	16.4	9.8	12.2
あてはまらない	1.8	3.0	0.5	1.7	1.1	2.9	3.2	4.0	2.3	1.8	1.1
無回答	10.4	7.1	9.0	10.3	11.3	8.7	32.3	8.0	6.2	7.5	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(11)一度は結婚する											
あてはまる	39.2	44.9	38.3	36.5	36.0	44.9	22.6	38.0	46.3	33.7	46.8
ややあてはまる	28.3	27.8	29.7	25.8	31.2	30.4	25.8	27.0	29.4	31.7	25.9
あまりあてはまらない	12.7	12.1	14.9	12.9	12.4	8.7	12.9	14.0	11.3	14.8	11.2
あてはまらない	9.9	8.6	9.0	13.3	10.8	7.2	9.7	13.0	8.5	12.1	7.6
無回答	10.0	6.6	8.1	11.6	9.7	8.7	29.0	8.0	4.5	7.8	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(12)子どもは老後の支えになる											
あてはまる	15.5	25.8	15.3	13.7	9.1	13.0	9.7	18.0	23.7	12.3	15.5
ややあてはまる	32.4	34.8	36.9	32.2	25.3	34.8	25.8	31.0	43.5	30.4	32.0
あまりあてはまらない	26.8	23.2	23.4	25.3	37.1	27.5	22.6	24.0	19.8	29.1	31.7
あてはまらない	14.6	9.1	15.8	16.3	18.3	15.9	9.7	19.0	7.3	19.8	11.5
無回答	10.6	7.1	8.6	12.4	10.2	8.7	32.3	8.0	5.6	8.3	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(13)結婚は適当な相手がいなければしない											
あてはまる	37.6	44.9	37.8	38.6	34.9	24.6	22.6	47.0	35.6	41.0	34.2
ややあてはまる	38.7	34.3	37.8	41.2	40.3	44.9	32.3	35.0	41.8	37.7	43.2
あまりあてはまらない	9.3	10.1	12.6	7.3	7.5	13.0	6.5	8.0	14.7	8.3	8.6
あてはまらない	2.7	3.0	2.7	1.7	2.2	4.3	3.2	1.0	2.3	3.0	3.2
無回答	11.8	7.6	9.0	11.2	15.1	13.0	35.5	9.0	5.6	10.1	10.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(14)まずは家族より自分自身を大事にする											
あてはまる	10.6	15.2	9.5	12.0	9.1	4.3	6.5	18.0	8.5	12.6	7.6
ややあてはまる	33.9	42.4	31.5	30.0	36.0	30.4	29.0	33.0	39.0	34.4	33.5
あまりあてはまらない	38.9	29.8	45.5	42.1	36.0	43.5	25.8	34.0	40.7	37.2	45.7
あてはまらない	5.4	5.6	4.1	5.2	4.8	10.1	9.7	6.0	6.2	6.0	4.3
無回答	11.2	7.1	9.5	10.7	14.0	11.6	29.0	9.0	5.6	9.8	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(15)縁がなければ子どもは持たない	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	25.0	24.7	21.6	31.3	26.3	15.9	25.8	36.0	13.0	28.6	25.9
ややあてはまる	31.5	27.8	34.7	30.9	30.1	42.0	16.1	30.0	31.1	34.9	30.6
あまりあてはまらない	21.8	28.8	24.3	17.2	21.5	14.5	22.6	15.0	35.0	17.8	23.7
あてはまらない	9.1	11.6	9.5	6.9	6.5	15.9	3.2	11.0	13.6	7.0	9.4
無回答	12.6	7.1	9.9	13.7	15.6	11.6	32.3	8.0	7.3	11.6	10.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(16)子どもより夫婦関係の方が大事である

あてはまる	9.1	7.6	8.1	12.4	9.1	7.2	9.7	10.0	2.8	11.6	10.1
ややあてはまる	21.4	22.7	18.9	20.6	23.7	27.5	19.4	20.0	16.4	24.4	23.0
あまりあてはまらない	41.7	46.5	48.2	37.8	38.2	40.6	22.6	41.0	55.4	37.2	43.9
あてはまらない	15.2	15.7	14.0	16.3	13.4	14.5	16.1	19.0	19.2	15.1	12.9
無回答	12.6	7.6	10.8	12.9	15.6	10.1	32.3	10.0	6.2	11.8	10.1
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(17)子どもには家を継いでほしい

あてはまる	1.4	0.0	2.7	1.7	0.5	1.4	3.2	1.0	2.3	1.0	1.8
ややあてはまる	8.7	5.6	6.3	10.3	11.3	17.4	3.2	5.0	7.9	9.8	9.7
あまりあてはまらない	25.9	31.8	28.8	21.9	26.9	24.6	3.2	27.0	29.9	23.9	28.4
あてはまらない	51.5	55.1	51.8	52.8	46.8	44.9	54.8	56.0	53.7	54.5	49.3
無回答	12.4	7.6	10.4	13.3	14.5	11.6	35.5	11.0	6.2	10.8	10.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q26. 仕事についての考え方

(1)女性であっても社会の中で働いた方がよい	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	53.1	53.5	46.4	52.4	58.6	55.1	51.6	51.0	49.2	58.8	53.2
ややあてはまる	34.2	35.9	41.4	33.9	30.6	30.4	25.8	36.0	43.5	30.7	36.0
あまりあてはまらない	3.1	3.5	3.2	3.4	1.6	4.3	3.2	2.0	2.3	4.3	2.5
あてはまらない	0.5	0.5	1.4	0.4	0.0	0.0	0.0	3.0	0.6	0.3	0.0
無回答	9.2	6.6	7.7	9.9	9.1	10.1	19.4	8.0	4.5	6.0	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2)自分のライフスタイルに応じて転職をした方がよい

あてはまる	43.5	52.0	42.3	44.2	40.3	30.4	29.0	51.0	43.5	44.0	44.2
ややあてはまる	40.1	35.9	41.9	39.5	45.2	44.9	35.5	35.0	44.1	43.0	39.2
あまりあてはまらない	5.9	4.5	7.7	5.6	3.8	11.6	9.7	4.0	6.8	5.5	7.2
あてはまらない	0.6	1.0	0.5	0.9	0.5	0.0	0.0	1.0	1.1	0.5	0.4
無回答	9.9	6.6	7.7	9.9	10.2	13.0	25.8	9.0	4.5	7.0	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3)女性でもキャリアアップを目指した方がよい											
	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	39.6	37.9	32.4	42.5	44.1	42.0	38.7	43.0	32.2	44.7	39.6
ややあてはまる	41.5	43.4	46.8	39.9	38.2	40.6	38.7	42.0	53.1	39.4	41.0
あまりあてはまらない	8.0	9.1	12.2	6.0	7.0	5.8	0.0	5.0	8.5	7.0	10.8
あてはまらない	0.6	1.5	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.8	0.4
無回答	10.3	8.1	8.1	10.7	10.8	11.6	22.6	10.0	5.1	8.0	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)転職はできるだけしない方がよい											
あてはまる	4.7	4.0	3.6	6.4	3.8	5.8	0.0	4.0	4.0	5.3	5.0
ややあてはまる	19.9	19.7	21.6	17.6	16.7	33.3	25.8	16.0	23.2	19.3	21.9
あまりあてはまらない	40.2	37.9	41.9	40.3	46.2	39.1	22.6	40.0	41.8	43.7	38.1
あてはまらない	24.4	30.8	24.3	25.3	20.4	11.6	19.4	32.0	24.3	23.4	25.5
無回答	10.8	7.6	8.6	10.3	12.9	10.1	32.3	8.0	6.8	8.3	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(5)女性でも経済力をつけた方がよい											
あてはまる	54.7	50.5	50.0	54.9	64.5	53.6	48.4	52.0	48.0	60.1	57.6
ややあてはまる	34.2	39.4	40.1	34.3	25.3	33.3	29.0	38.0	44.6	32.2	32.4
あまりあてはまらない	1.5	2.0	2.3	0.9	1.1	1.4	3.2	1.0	1.7	1.5	1.8
あてはまらない	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
無回答	9.5	7.6	7.7	9.9	9.1	11.6	19.4	9.0	5.1	6.3	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(6)できるだけ資格を取った方がよい											
あてはまる	34.3	31.3	27.9	34.8	36.6	49.3	38.7	32.0	29.4	36.7	38.1
ややあてはまる	42.0	46.5	46.4	39.9	41.9	34.8	38.7	41.0	50.3	43.5	39.2
あまりあてはまらない	11.7	12.1	15.3	11.6	10.2	5.8	0.0	15.0	13.0	10.8	12.2
あてはまらない	2.0	3.0	1.8	3.4	1.1	0.0	0.0	4.0	2.3	1.8	1.8
無回答	9.9	7.1	8.6	10.3	10.2	10.1	22.6	8.0	5.1	7.3	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(7)女性は結婚する可能性があるため、男性と仕事の上で互角に並ぶのは無理である											
あてはまる	5.6	6.6	5.0	8.2	4.3	5.8	0.0	6.0	1.7	7.3	6.1
ややあてはまる	29.0	25.3	32.4	28.3	28.5	27.5	32.3	31.0	28.8	30.2	29.5
あまりあてはまらない	33.5	36.9	36.0	30.9	31.2	33.3	29.0	31.0	40.7	31.7	35.6
あてはまらない	21.6	24.2	17.1	21.5	25.8	23.2	16.1	24.0	21.5	23.9	19.8
無回答	10.3	7.1	9.5	11.2	10.2	10.1	22.6	8.0	7.3	7.0	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(8)子どもが小さいうちは、母親は家にいる	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	9.5	11.1	5.9	9.9	9.7	11.6	16.1	12.0	7.9	10.1	9.7
ややあてはまる	30.8	33.3	30.6	28.8	31.7	36.2	25.8	35.0	33.9	30.7	30.6
あまりあてはまらない	32.7	34.8	33.3	32.2	33.3	24.6	22.6	30.0	32.8	33.2	36.0
あてはまらない	17.0	13.6	21.6	18.0	15.1	17.4	16.1	15.0	19.2	18.8	15.5
無回答	10.0	7.1	8.6	11.2	10.2	10.1	19.4	8.0	6.2	7.3	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(9)女性は補助するような仕事の方がよい											
あてはまる	1.7	3.5	0.5	1.3	1.6	1.4	0.0	3.0	0.0	2.3	1.8
ややあてはまる	7.6	10.1	7.7	6.4	6.5	4.3	6.5	8.0	11.3	6.5	7.2
あまりあてはまらない	41.2	41.9	45.5	39.5	40.9	40.6	38.7	43.0	42.4	41.2	43.9
あてはまらない	39.6	37.9	38.3	42.1	40.3	43.5	32.3	38.0	41.2	42.7	38.5
無回答	9.9	6.6	8.1	10.7	10.8	10.1	22.6	8.0	5.1	7.3	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(10)同じ職場でずっと働き続けた方がよい											
あてはまる	3.6	4.5	4.1	3.0	3.2	5.8	0.0	5.0	2.8	3.0	4.7
ややあてはまる	22.0	25.3	25.7	20.2	16.1	27.5	16.1	13.0	25.4	21.9	25.5
あまりあてはまらない	42.2	38.9	42.8	43.3	46.2	42.0	32.3	51.0	44.6	45.0	37.8
あてはまらない	21.1	24.2	18.5	22.3	22.0	11.6	25.8	23.0	20.3	22.4	21.2
無回答	11.0	7.1	9.0	11.2	12.4	13.0	25.8	8.0	6.8	7.8	10.8
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(11)自分のキャリアアップのために転職をする											
あてはまる	19.9	24.2	22.5	16.7	19.9	11.6	6.5	32.0	16.4	18.6	21.6
ややあてはまる	45.3	44.9	42.8	49.8	47.8	44.9	32.3	45.0	48.6	48.0	43.9
あまりあてはまらない	19.4	18.7	21.2	19.3	17.2	21.7	29.0	11.0	23.2	20.6	20.1
あてはまらない	3.9	5.6	3.2	2.6	2.2	8.7	3.2	3.0	5.6	3.5	4.0
無回答	11.5	6.6	10.4	11.6	12.9	13.0	29.0	9.0	6.2	9.3	10.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q27. 性格

(1)粘り強い	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	28.9	31.3	31.1	28.8	21.5	34.8	35.5	38.0	27.7	31.2	25.9
ややあてはまる	43.1	39.9	40.5	43.8	48.9	46.4	32.3	38.0	46.3	44.0	45.7
あまりあてはまらない	16.4	18.7	18.5	15.0	17.7	8.7	12.9	13.0	19.2	16.1	18.0
あてはまらない	2.4	3.5	1.8	3.0	2.2	1.4	0.0	3.0	1.7	3.0	2.2
無回答	9.2	6.6	8.1	9.4	9.7	8.7	19.4	8.0	5.1	5.8	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)人に負けたくない											
あてはまる	18.8	24.7	21.6	19.3	14.0	8.7	6.5	26.0	22.6	16.8	18.3
ややあてはまる	40.6	41.4	41.4	40.8	38.7	44.9	41.9	36.0	40.7	41.0	45.7
あまりあてはまらない	25.8	21.2	24.3	25.8	30.6	29.0	25.8	21.0	26.6	29.6	24.1
あてはまらない	5.2	6.1	3.6	4.7	6.5	7.2	6.5	9.0	4.0	6.5	3.2
無回答	9.6	6.6	9.0	9.4	10.2	10.1	19.4	8.0	6.2	6.0	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3)社交的である											
あてはまる	23.0	32.3	25.7	19.3	18.8	18.8	12.9	36.0	27.1	21.4	20.1
ややあてはまる	35.9	30.3	33.8	36.1	41.9	37.7	41.9	28.0	33.9	38.2	40.3
あまりあてはまらない	26.4	26.8	24.3	28.8	25.8	29.0	25.8	21.0	29.9	28.6	25.5
あてはまらない	5.3	4.0	8.1	6.4	2.7	5.8	0.0	7.0	4.0	5.8	5.4
無回答	9.4	6.6	8.1	9.4	10.8	8.7	19.4	8.0	5.1	6.0	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)人に気配りできる											
あてはまる	24.6	29.3	21.2	24.5	21.5	34.8	25.8	29.0	23.2	24.1	27.0
ややあてはまる	48.2	46.5	49.5	45.1	54.8	44.9	35.5	47.0	49.7	48.7	51.4
あまりあてはまらない	16.4	15.7	19.4	18.9	13.4	10.1	19.4	12.0	19.2	19.6	13.3
あてはまらない	1.3	1.5	1.4	2.1	0.5	0.0	0.0	4.0	1.7	1.3	0.4
無回答	9.5	7.1	8.6	9.4	9.7	10.1	19.4	8.0	6.2	6.3	7.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(5)失敗から立ち直るのが早い											
あてはまる	13.8	15.7	12.2	17.6	12.4	11.6	9.7	20.0	13.6	13.3	13.7
ややあてはまる	34.9	34.8	30.6	33.9	36.6	47.8	38.7	34.0	32.8	39.4	33.5
あまりあてはまらない	31.9	31.3	36.9	28.3	34.4	26.1	29.0	30.0	35.6	30.9	34.9
あてはまらない	10.0	11.6	12.2	10.3	7.0	5.8	0.0	8.0	13.0	10.3	9.4
無回答	9.4	6.6	8.1	9.9	9.7	8.7	22.6	8.0	5.1	6.0	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(6)細かいことにこだわる											
あてはまる	13.9	15.7	14.4	15.0	12.9	10.1	3.2	13.0	14.7	15.8	12.2
ややあてはまる	39.5	37.4	42.3	37.8	39.8	44.9	35.5	35.0	39.0	40.7	43.5
あまりあてはまらない	30.0	30.8	27.0	31.8	29.6	31.9	32.3	36.0	32.8	30.4	28.4
あてはまらない	6.8	9.6	7.7	5.2	6.5	4.3	9.7	8.0	7.9	6.5	6.8
無回答	9.8	6.6	8.6	10.3	11.3	8.7	19.4	8.0	5.6	6.5	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(7)他の人に気兼ねなく助けてもら うことができる	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
あてはまる	14.8	23.7	13.5	12.9	11.3	17.4	6.5	18.0	18.1	11.1	18.3
ややあてはまる	33.3	36.4	36.0	27.5	36.0	29.0	32.3	41.0	41.2	30.7	32.4
あまりあてはまらない	35.7	27.3	35.6	43.3	34.9	40.6	29.0	29.0	30.5	42.2	35.6
あてはまらない	6.7	6.1	6.8	6.9	7.0	2.9	12.9	4.0	5.1	9.5	5.4
無回答	9.5	6.6	8.1	9.4	10.8	10.1	19.4	8.0	5.1	6.5	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(8)他の人に頼らず、すべて自分でやりたい											
あてはまる	8.5	6.1	7.7	7.3	10.8	10.1	9.7	13.0	5.1	10.1	7.6
ややあてはまる	35.0	29.8	34.2	42.9	37.1	31.9	29.0	30.0	28.2	40.2	37.1
あまりあてはまらない	36.4	40.4	38.7	32.2	32.8	40.6	38.7	38.0	45.8	33.9	37.1
あてはまらない	10.3	16.7	10.4	7.3	9.1	8.7	3.2	11.0	14.7	9.5	9.4
無回答	9.8	7.1	9.0	10.3	10.2	8.7	19.4	8.0	6.2	6.3	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(9)一人でいるのが好き											
あてはまる	19.3	18.2	21.6	21.0	15.1	15.9	16.1	37.0	11.9	24.1	12.6
ややあてはまる	41.5	40.4	39.2	46.8	39.8	43.5	35.5	29.0	44.6	42.7	46.4
あまりあてはまらない	23.5	26.3	22.5	18.5	30.1	24.6	22.6	17.0	28.8	20.9	28.4
あてはまらない	5.9	8.6	8.1	3.9	3.8	5.8	6.5	9.0	9.0	5.8	3.6
無回答	9.8	6.6	8.6	9.9	11.3	10.1	19.4	8.0	5.6	6.5	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q28. 父親から言われたこと

(1)経済的自立をするように言われた	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
言われた	7.4	13.6	5.4	7.7	5.4	2.9	3.2	11.0	10.7	7.8	4.3
やや言われた	12.3	15.2	14.0	9.9	11.3	11.6	3.2	13.0	18.6	10.1	12.6
あまり言われなかった	28.5	23.7	23.9	31.3	36.0	27.5	35.5	32.0	20.9	29.6	32.7
言われなかった	41.2	37.4	48.6	41.2	36.6	46.4	38.7	34.0	41.8	45.2	41.7
無回答	10.5	10.1	8.1	9.9	10.8	11.6	19.4	10.0	7.9	7.3	8.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた											
言われた	3.5	4.0	4.1	4.3	3.2	1.4	0.0	2.0	5.1	4.5	1.8
やや言われた	6.0	8.6	5.4	5.6	6.5	2.9	6.5	7.0	9.0	5.3	5.4
あまり言われなかった	25.5	22.2	17.6	26.6	32.3	31.9	29.0	24.0	23.2	26.4	28.8
言われなかった	54.2	54.5	64.4	53.6	47.8	52.2	38.7	57.0	54.2	56.5	54.7
無回答	10.8	10.6	8.6	9.9	10.2	11.6	25.8	10.0	8.5	7.3	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた											
言われた	4.1	3.5	1.8	6.4	4.8	7.2	0.0	5.0	2.3	4.8	4.3
やや言われた	9.1	4.5	8.1	8.2	12.9	13.0	6.5	12.0	7.9	9.5	9.0
あまり言われなかった	26.4	20.7	18.5	28.3	36.0	36.2	29.0	20.0	24.9	28.4	29.5
言われなかった	49.7	60.1	63.1	47.2	35.5	31.9	45.2	54.0	55.9	50.3	47.8
無回答	10.7	11.1	8.6	9.9	10.8	11.6	19.4	9.0	9.0	7.0	9.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた											
言われた	4.6	3.5	1.8	6.9	5.4	5.8	3.2	7.0	1.1	5.8	4.7
やや言われた	8.9	3.5	4.5	10.3	12.9	18.8	12.9	7.0	4.5	9.5	12.2
あまり言われなかった	21.8	18.7	15.8	22.3	30.1	30.4	22.6	21.0	23.2	23.6	20.9
言われなかった	54.3	64.1	69.8	51.1	40.3	33.3	41.9	56.0	63.3	54.0	53.2
無回答	10.4	10.1	8.1	9.4	11.3	11.6	19.4	9.0	7.9	7.0	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q29. 母親から言われたこと

(1)経済的自立をするように言われた	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
言われた	19.8	25.3	20.3	21.0	18.8	5.8	16.1	25.0	22.0	18.8	19.8
やや言われた	21.7	23.2	20.3	26.2	19.9	17.4	12.9	21.0	24.9	23.9	19.1
あまり言われなかった	20.3	19.2	19.4	17.2	24.7	20.3	22.6	21.0	20.9	18.6	23.4
言われなかった	29.1	25.8	32.4	26.2	26.9	46.4	29.0	25.0	27.1	32.4	29.9
無回答	9.1	6.6	7.7	9.4	9.7	10.1	19.4	8.0	5.1	6.3	7.9
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた											
言われた	12.4	13.6	13.1	15.9	11.8	1.4	6.5	12.0	13.6	13.6	11.5
やや言われた	14.9	16.7	15.8	15.5	14.0	13.0	16.1	9.0	22.6	16.3	11.5
あまり言われなかった	21.5	20.7	15.3	22.7	26.3	26.1	16.1	22.0	20.3	20.1	25.9
言われなかった	41.7	42.4	47.7	35.6	38.2	49.3	41.9	48.0	38.4	43.5	42.8
無回答	9.4	6.6	8.1	10.3	9.7	10.1	19.4	9.0	5.1	6.5	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
言われた	8.3	4.0	5.9	10.7	11.8	15.9	3.2	12.0	2.3	10.3	8.6
やや言われた	15.0	13.6	14.4	16.7	16.7	15.9	9.7	13.0	19.2	14.8	14.4
あまり言われなかった	26.4	23.7	21.6	25.3	34.4	23.2	29.0	21.0	22.6	28.1	30.9
言われなかった	40.6	52.0	48.6	37.8	26.9	34.8	38.7	46.0	50.3	39.9	37.1
無回答	9.7	6.6	9.5	9.4	10.2	10.1	19.4	8.0	5.6	6.8	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた											
言われた	7.1	6.1	5.4	7.3	9.1	14.5	0.0	7.0	4.0	8.3	8.3
やや言われた	15.4	10.6	13.5	19.3	17.2	20.3	16.1	16.0	11.9	17.8	15.5
あまり言われなかった	22.0	18.2	19.8	20.6	27.4	21.7	32.3	19.0	21.5	23.6	23.0
言われなかった	45.8	58.6	52.7	43.3	35.5	31.9	32.3	50.0	57.1	43.7	44.2
無回答	9.6	6.6	8.6	9.4	10.8	11.6	19.4	8.0	5.6	6.5	9.0
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q30. 配偶者から言われたこと

(1)経済的自立をするように言われた	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
言われた	3.6	2.0	3.2	4.7	3.8	2.9	3.2	6.0	2.8	3.5	3.6
やや言われた	7.9	4.5	9.0	6.9	10.2	10.1	9.7	8.0	7.3	8.8	7.6
あまり言われなかった	18.9	9.6	18.0	21.9	21.5	21.7	25.8	16.0	15.8	20.4	20.9
言われなかった	34.7	15.7	36.9	40.3	43.5	47.8	35.5	28.0	26.6	40.5	37.4
無回答	35.0	68.2	32.9	26.2	21.0	17.4	25.8	42.0	47.5	26.9	30.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(2)結婚しても仕事を続けるようにと言われた											
言われた	6.5	2.5	9.0	7.3	4.8	8.7	9.7	9.0	5.6	7.5	5.4
やや言われた	9.8	6.6	13.1	9.4	10.8	8.7	6.5	7.0	11.9	9.8	10.4
あまり言われなかった	14.8	7.1	12.6	17.2	19.4	18.8	16.1	10.0	13.0	15.6	17.3
言われなかった	33.8	15.7	32.4	39.9	43.5	46.4	41.9	32.0	22.0	39.9	36.3
無回答	35.1	68.2	32.9	26.2	21.5	17.4	25.8	42.0	47.5	27.1	30.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3)自分のことよりも家族を優先するように言われた											
言われた	4.2	0.5	2.7	7.3	7.0	4.3	3.2	3.0	2.3	4.3	6.1
やや言われた	9.2	2.5	5.9	11.2	13.4	14.5	19.4	12.0	4.0	12.6	7.6
あまり言われなかった	18.9	10.1	15.3	18.9	26.3	30.4	25.8	14.0	15.3	19.6	23.4
言われなかった	32.7	18.7	42.8	36.5	32.3	33.3	25.8	29.0	30.5	36.7	32.4
無回答	35.1	68.2	33.3	26.2	21.0	17.4	25.8	42.0	48.0	26.9	30.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(4)男性をたてて女性は控えめにするように言われた											
言われた	1.8	0.5	1.8	1.3	4.8	1.4	0.0	3.0	2.3	1.5	1.8
やや言われた	7.1	2.0	3.6	10.3	10.2	11.6	19.4	6.0	2.3	8.0	10.1
あまり言われなかった	15.1	5.1	12.6	15.9	21.0	31.9	22.6	10.0	9.0	17.3	18.7
言われなかった	40.8	24.2	48.6	46.4	43.0	37.7	32.3	39.0	39.0	46.0	38.8
無回答	35.1	68.2	33.3	26.2	21.0	17.4	25.8	42.0	47.5	27.1	30.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q31. 卒業（修了）時に描いた生き方

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
結婚せず、仕事を一生続ける	4.2	3.5	4.5	6.4	2.2	1.4	3.2	9.0	2.8	4.3	3.6
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	2.0	3.0	1.4	1.7	2.7	1.4	0.0	3.0	1.1	2.8	1.4
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	34.2	42.4	44.1	28.8	30.1	20.3	19.4	31.0	48.6	32.9	31.3
結婚し子どもを持つが、結婚・出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	32.4	33.8	29.7	33.0	32.3	37.7	25.8	37.0	32.8	30.4	36.0
結婚し子どもを持ち、結婚・出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	13.4	6.1	9.5	15.5	17.7	21.7	22.6	6.0	7.9	17.1	15.5
その他	4.2	3.0	2.7	4.7	5.4	7.2	9.7	5.0	1.7	5.5	4.0
無回答	9.6	8.1	8.1	9.9	9.7	10.1	19.4	9.0	5.1	7.0	8.3
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q32. 現在の生き方

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
結婚せず、仕事を一生続ける	8.0	9.1	7.7	11.6	6.5	4.3	3.2	11.0	5.6	9.8	6.5
結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける	6.2	4.0	5.4	9.9	7.0	4.3	0.0	8.0	2.8	9.3	4.0
結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける	30.5	36.9	41.0	24.9	22.6	20.3	16.1	29.0	46.9	28.1	27.0
結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ	27.4	27.8	23.9	24.9	31.7	39.1	19.4	26.0	26.6	25.6	33.1
結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	7.9	4.0	6.8	9.0	10.2	13.0	12.9	6.0	4.0	10.6	7.9
その他	9.1	7.1	6.8	9.0	11.3	8.7	25.8	9.0	7.3	9.0	11.2
無回答	10.9	11.1	8.6	10.7	10.8	10.1	22.6	11.0	6.8	7.5	10.4
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q33. 女子大学に在籍したことで、よかったことの有無

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
ある	57.4	63.6	60.8	53.2	55.4	56.5	54.8	59.0	62.1	57.0	59.4
ややある	22.6	24.2	22.1	24.5	21.5	18.8	12.9	21.0	28.8	21.6	22.7
あまりない	10.1	4.0	8.6	12.4	12.4	15.9	9.7	10.0	2.8	14.1	9.7
ない	1.1	1.0	0.9	0.9	1.6	0.0	3.2	2.0	1.1	1.3	0.7
無回答	8.8	7.1	7.7	9.0	9.1	8.7	19.4	8.0	5.1	6.0	7.6
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Q34. 女子大学に在籍して良かった内容

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	学芸	現社	表象	生薬看
仕事を継続する大切さを学んだ	2.0	2.5	2.3	1.3	1.1	2.9	3.2	0.0	3.4	1.8	2.5
リーダーシップを発揮できた	3.9	4.0	3.6	1.7	7.5	1.4	6.5	6.0	2.8	4.8	2.9
男性の目を気にせず、自由にのびのび活動できた	26.2	26.3	24.8	30.9	26.3	26.1	12.9	16.0	22.6	30.4	28.8
古い枠組みに縛られずに活動できた	4.0	3.0	4.5	3.9	4.3	4.3	6.5	5.0	3.4	2.8	6.1
女性学やジェンダー学などの講義を受けることができた	6.4	10.1	8.1	6.9	3.2	0.0	0.0	4.0	13.6	5.3	5.0
広い視野でみることができた	9.8	14.6	11.7	5.2	8.6	8.7	3.2	17.0	14.7	7.3	8.6
挑戦する大切さを学ぶことができた	4.6	7.1	5.4	2.6	1.6	8.7	0.0	8.0	6.2	3.8	4.0
積極的に行動することができた	7.4	6.6	9.0	7.7	6.5	7.2	12.9	8.0	8.5	6.8	7.6
見本になる女性教員がいた	3.5	2.0	3.6	4.7	3.8	4.3	3.2	2.0	1.7	3.8	5.0
女性として自信がついた	6.4	7.1	7.7	5.6	8.1	4.3	0.0	10.0	9.6	5.5	5.0
その他	4.5	3.5	1.8	5.6	3.8	7.2	19.4	4.0	2.8	5.8	4.3
無回答	21.2	13.1	17.6	24.0	25.3	24.6	32.3	20.0	10.7	22.1	20.1
実数	980	198	222	233	186	69	31	100	177	398	278
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

同志社女子大学 卒業生・修了生アンケート 実施結果報告書

発行日：2021年3月5日

発行：同志社女子大学 女性アクティベーションセンター（学術情報部内）
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入
Tel (075) 251-4153 Fax (075) 251-4152
E-mail: kenkyu-i@dwc.doshisha.ac.jp

印刷所：有限会社 木村桂文社

